

2025年度
Aセメスター(A1・A2ターム)
科目紹介(シラバス抜粋)

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2025 年度のＡセメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）が記載されています。

『科目紹介』では、授業計画時点での時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい・最新の情報は、UTAS（https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/）のシラバスで公開・更新していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。

それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』のⅠ－４に掲載されている、（表２）「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

Aセメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックにはAセメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割ｺｰﾄﾞ	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目		⑦					
目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	Aセメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
教養教育高度化機構
PEAK 前期
日本語
先進科学
先進融合

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

数理科学研究科
数理科学研究科

その他（後期課程諸学部、研究所など）
法学部
公共政策大学院
医学部
工学部
情報理工学系研究科
文学部
理学部
農学部
経済学部
教育学部
薬学部
情報学環
新領域創成科学研究科
医科学研究所
etc..

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目１単位または２単位で、計５単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列Ｓ（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられます（その他に総合科目Ｌ系列３単位）。
英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業です。英語二列Ｓも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施します。英語二列Wは、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施します。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修します。「英語一列」「英語二列Ｓ」は習熟度別にクラスが分けられています。UTAS ログイン後の「履修登録」画面より自分のクラスを確認してください（授業期間開始までには UTAS に反映されます。）。

●「英語二列Ｓ」の履修には英語スピーキング能力の申請（クラス分け申請）が必要です。過年度入学の 1 年生については、各ターム開始前に追加クラス分けに関する案内を前期課程ウェブサイト「お知らせ」に掲示するので、自分が履修するタームの前に必ず確認し、所定の手続きを行ってください。手続きに不備があると履修できないことがあります。

●「英語一列」「英語二列Ｓ」「英語二列W」の３科目をそれぞれどのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の４つのグループにあらかじめ分けられています。「（クラス指定総合科目Ｌ）」と記載されている部分については、総合科目Ｌ系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講されます。

<table>
<tr><td rowspan="2">所属クラス</td><td colspan="4">ターム・セメスター</td></tr>
<tr><td>1S1</td><td>1S2</td><td>1A1</td><td>1A2</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">1S</td><td colspan="2">1A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（8,11,22,25-26）
文三（5,7,11,14,19）
理一（1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39）
理二三（11,13,20,23）</td><td>英語一列①</td><td>英語二列 S</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（5-6,13,15,16,18-19,24）
文三（6,10,12,17）
理一（7,9,13,19,25,28,30,34,37）
理二三（6-7,18,19,22）</td><td>英語一列①</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列②</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（1-3,7,10,17,20-21,23,27-28）
文三（1-3,9,15-16）
理一（8,11,16,21,24,27,29,33）
理二三（4,8,9,14,17,21）</td><td>英語二列 S</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
<tr><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td><td colspan="2">英語二列 W</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文一二（4,9,12,14）
文三（4,8,13,18,20）
理一（5-6,10,14-15,22,26,32,38）
理二三（1-3,5,10,12,15-16,24）</td><td>（クラス指定総合科目 L）</td><td>英語一列①</td><td>英語一列②</td><td>英語二列 S</td></tr>
<tr><td colspan="2">英語二列 W</td><td colspan="2">（クラス指定総合科目 L）</td></tr>
</table>

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

≪英語一列②（教養英語）≫

目標・概要　英語一列は本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科生、文科生を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書を使用して行う授業である。言外の意味やニュアンス、書き手の真の意図への理解も含めた英文の深い読解力の涵養を目指すとともに、題材となっている科学、社会、文化、言語、歴史など文理横断的な多様なジャンルや問題への関心を喚起することで、多元化する世界に応じた幅広い「教養」を培うことを目標としている。クラスは学生の習熟度に合わせて 3 段階に分かれており、全クラスで共通して学習する教科書の指定されたセッションを試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法　・英語一列が行われる曜限にはそれぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割り当てについては教務課からの掲示を参照し、必ず指定されたクラスで受講すること（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
・英語一列では習熟度に応じて 3 つのグループを設定している。教務課からの教室割り当ての掲示にそれぞれのクラスがどのグループに該当するのかも示されている。
グループ 1（G1）：授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 2（G2）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲をカバーすることもあり、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
グループ 3（G3）：授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指すが、それをもとにした発展的な活動を含むこともある。
・具体的な授業の方法（教材の選択と利用方法、必要な準備、課題や小テストなど）については UTOL の各クラスのページを参照し、初回授業時に担当教員から説明を受けること。

成績評価方法　・平常点 5 割、定期試験（統一試験）5 割で評価が決定される。
・定期試験を受けなかった場合は平常点のみ（つまり 50 点以下）の成績がつくことになるので必ず受験すること。
・期末試験日以前に休学し試験当日に在籍していない場合は成績はつかない。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook

書名	多元化する世界を英語で読む
著者（訳者）	東京大学教養学部英語部会（編）
出版社	東京大学出版会
ISBN	978-4-13-082135-3

関連ホームページ

≪英語特別クラス≫

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17 ）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13･24-25 ）文三（11･17 ）理一（1-4･9･18-19 ）理二三（7･13 ）
				火 4	1 年文一二（6･8･18 ）文三（5･7･12 ）理一（20･30-31･34-35 ）理二三（11･18･22 ）
				水 2	1 年文一二（5･15･19･26 ）文三（6･19 ）理一（7･12･23･28･36 ）理二三（6･23 ）
				水 3	1 年文一二（11･16･22 ）文三（10･14 ）理一（13･17･25･37･39 ）理二三（19-20 ）

外国語（英語二列Ｓ）

Fluency-Oriented Workshop （FLOW）	
授業の目標・概要	The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in an academic discussion, to be aware of their weaknesses in holding a discussion in English, and to have the tools to improve autonomously.
成績評価方法	Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50303	Ａ 1	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50305	Ａ 1	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50306	Ａ 1	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50307	Ａ 1	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50308	Ａ 1	火 3	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50309	Ａ 1	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50310	Ａ 1	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50311	Ａ 1	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50312	Ａ 1	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50313	Ａ 1	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50315	Ａ 1	火 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50316	Ａ 1	火 3	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50317	Ａ 1	火 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50371	Ａ 1	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50372	Ａ 1	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50373	Ａ 1	火 4	Doris Zhang	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50374	Ａ 1	火 4	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50375	Ａ 1	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50376	Ａ 1	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50377	Ａ 1	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50378	Ａ 1	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	Ａ 1	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50380	Ａ 1	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	Ａ 1	火 4	Christopher Nicklin	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	Ａ 1	火 4	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50384	Ａ 1	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	Ａ 1	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50491	Ａ 1	水 2	Kristopher McEown	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50492	Ａ 1	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50493	Ａ 1	水 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50494	Ａ 1	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50495	Ａ 1	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50496	Ａ 1	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	Ａ 1	水 2	Candler Hallman	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	Ａ 1	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列Ｓ）

50500	Ａ１	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	Ａ１	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50502	Ａ１	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	Ａ１	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	Ａ１	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50564	Ａ１	水 3	Natsuno Funada	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50565	Ａ１	水 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50566	Ａ１	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50567	Ａ１	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50568	Ａ１	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50569	Ａ１	水 3	Candler Hallman	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50570	Ａ１	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50571	Ａ１	水 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50572	Ａ１	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50573	Ａ１	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50574	Ａ１	水 3	John Quayle	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50575	Ａ１	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50576	Ａ１	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50577	Ａ１	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60135	Ａ２	火 3	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60136	Ａ２	火 3	Stefanie Mack	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60138	Ａ２	火 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60139	Ａ２	火 3	Simon Perry	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60140	Ａ２	火 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60141	Ａ２	火 3	Richard Dietz	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60142	Ａ２	火 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60143	Ａ２	火 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60144	Ａ２	火 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60145	Ａ２	火 3	Christopher Nicklin	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60146	Ａ２	火 3	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60147	Ａ２	火 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60148	Ａ２	火 3	Alex Bueno	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60149	Ａ２	火 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60150	Ａ２	火 4	Christopher Nicklin	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60151	Ａ２	火 4	Alex Bueno	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60152	Ａ２	火 4	AKINDELE Tito	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60153	Ａ２	火 4	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60155	Ａ２	火 4	Simon Perry	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60156	Ａ２	火 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60157	Ａ２	火 4	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60158	Ａ２	火 4	Richard Dietz	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60159	Ａ２	火 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60160	Ａ２	火 4	Leonard Sprague	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列Ｓ）

60161	Ａ２	火 4	Doris Zhang	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60162	Ａ２	火 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60163	Ａ２	火 4	Stefanie Mack	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60164	Ａ２	水 2	John Solomon Maninang	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60165	Ａ２	水 2	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	Ａ２	水 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60167	Ａ２	水 2	Alexandra Terashima	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60168	Ａ２	水 2	Kristopher McEown	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60169	Ａ２	水 2	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60170	Ａ２	水 2	Ian Wash	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60171	Ａ２	水 2	Aurora Tsai	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60172	Ａ２	水 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60173	Ａ２	水 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60174	Ａ２	水 2	Manuel Senna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60175	Ａ２	水 2	Graham Peebles	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60176	Ａ２	水 2	Candler Hallman	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60178	Ａ２	水 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	Ａ２	水 3	Candler Hallman	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	Ａ２	水 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	Ａ２	水 3	Natsuno Funada	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	Ａ２	水 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60183	Ａ２	水 3	Francesco Cangemi	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60184	Ａ２	水 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60185	Ａ２	水 3	Kristopher McEown	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60186	Ａ２	水 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60187	Ａ２	水 3	John Quayle	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60188	Ａ２	水 3	Ian Wash	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60189	Ａ２	水 3	Tito Akindele	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60190	Ａ２	水 3	Graham Peebles	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60191	Ａ２	水 3	John Solomon Maninang	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)	開講区分	A

授業の目標・概要　This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence, and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:
- be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view;
- understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay;
- be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.

授業の方法　Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on an issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.

成績評価方法　Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities.

関連ホームページ　https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50717	木 2	Doris Zhang	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50718	木 2	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50719	木 2	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50720	木 2	Simon Perry	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50721	木 2	Richard Dietz	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50722	木 2	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50723	木 2	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50724	木 2	Catherine Hansen	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50725	木 2	Alex Bueno	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50726	木 2	イ ウンソン	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50727	木 2	Leonard Sprague	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50728	木 2	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50729	木 2	Dennis Stromback	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50731	木 2	Ian Wash	1 年 文一二(7,23,25-26)文三(5,14)
50769	木 3	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50770	木 3	Richard Dietz	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50771	木 3	Natsuno Funada	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50772	木 3	Leonard Sprague	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50773	木 3	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50774	木 3	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50776	木 3	Doris Zhang	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50777	木 3	Dennis Stromback	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50778	木 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50779	木 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50780	木 3	Alexandra Terashima	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50781	木 3	Alex Bueno	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50782	木 3	イ ウンソン	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50783	木 3	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50784	木 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(8,10,17,20)文三(9,19)
50829	木 4	Dennis Stromback	1 年 文一二(22)文三(7)

50830	木 4	ディーエル グレゴリー	1 年 文一二(22)文三(7)
50831	木 4	Aurora Tsai	1 年 文一二(22)文三(7)
50832	木 4	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(22)文三(7)
50896	金 1	Dennis Stromback	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	Catherine Hansen	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	Aurora Tsai	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	Alex Bueno	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50900	金 1	Simon Perry	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50901	金 1	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50902	金 1	Ian Wash	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50903	金 1	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50904	金 1	Incoronata Nadia Inserra	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50905	金 1	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
50906	金 1	イ ウンソン	1 年 文一二(1-3,11,21,27)文三(1-3,15)
51002	金 3	Sylwia Ejmont	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51003	金 3	Simon Perry	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51004	金 3	セイガー ジェニー エマ	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51005	金 3	Catherine Hansen	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51006	金 3	Alex Bueno	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51007	金 3	Aurora Tsai	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51008	金 3	Wei-Hao HUANG	1 年 文一二(28)文三(11,16)
51009	金 3	Candler Hallman	1 年 文一二(28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)	開講区分	A

授業の目標・概要　In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.

授業の方法　Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method.
The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.

成績評価方法　Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities.

関連ホームページ　https://ale2.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50033	月 2	Graham Peebles	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50034	月 2	Francesco Cangemi	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50035	月 2	Christopher Nicklin	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50036	月 2	Candler Hallman	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50037	月 2	Tito Akindele	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50038	月 2	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50039	月 2	Kristopher McEown	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50041	月 2	Manuel Senna	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50042	月 2	John Solomon Maninang	1 年 理一(4,35-36)理二三(13)
50075	月 3	Kristopher McEown	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50076	月 3	Leonard Sprague	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50077	月 3	Manuel Senna	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50078	月 3	Natsuno Funada	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50080	月 3	Graham Peebles	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50081	月 3	Alexandra Terashima	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50082	月 3	Candler Hallman	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50083	月 3	Christopher Nicklin	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50084	月 3	Francesco Cangemi	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50085	月 3	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50086	月 3	Tito Akindele	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50087	月 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50088	月 3	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50089	月 3	John Quayle	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50090	月 3	John Solomon Maninang	1 年 理一(8,21,23-24,27,31,33)
50139	月 4	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(11-12)
50140	月 4	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(11-12)
50141	月 4	Kristopher McEown	1 年 理一(11-12)
50142	月 4	Alexandra Terashima	1 年 理一(11-12)
50143	月 4	Raquel Moreno Penaranda	1 年 理一(11-12)
50210	火 1	Alexandra Terashima	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50212	火 1	Kristopher McEown	1 年 理一(17)理二三(21,23)

50213	火 1	Leonard Sprague	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50214	火 1	Stefanie Mack	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50215	火 1	Tito Akindele	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50216	火 1	John Solomon Maninang	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50217	火 1	Francesco Cangemi	1 年 理一(17)理二三(21,23)
50458	水 1	Francesco Cangemi	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50459	水 1	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50460	水 1	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50461	水 1	Ian Wash	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50462	水 1	Tito Akindele	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50463	水 1	John Quayle	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50464	水 1	ディーエル　グレゴリー	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50465	水 1	Stefanie Mack	1 年 理一(1-3,16,18,20)
50919	金 1	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理二三(8,14)
50920	金 1	Stefanie Mack	1 年 理二三(8,14)
50921	金 1	Manuel Senna	1 年 理二三(8,14)
50922	金 1	Graham Peebles	1 年 理二三(8,14)
50923	金 1	Richard Dietz	1 年 理二三(8,14)
50924	金 1	John Quayle	1 年 理二三(8,14)
51020	金 3	Stefanie Mack	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51021	金 3	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51022	金 3	Graham Peebles	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51023	金 3	Ian Wash	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51024	金 3	Manuel Senna	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51025	金 3	Jesus Alberto Pulido Arcas	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51026	金 3	Isaac Tyrone Ghampson	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51027	金 3	John Quayle	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51028	金 3	Doris Zhang	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51029	金 3	Christopher Nicklin	1 年 理一(29,39)理二三(9,20)
51066	金 4	Elisa Ruiz-Tada	1 年 理二三(4,11,17)
51067	金 4	Doris Zhang	1 年 理二三(4,11,17)
51068	金 4	Christopher Nicklin	1 年 理二三(4,11,17)
51069	金 4	Candler Hallman	1 年 理二三(4,11,17)
51070	金 4	Richard Dietz	1 年 理二三(4,11,17)
51071	金 4	Simon Perry	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。
履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。
なお、L 系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。

成績評価方法　平常点および試験によって行う。なお、1 年生 S セメスターの一列・二列には同一の成績がつく。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　ドイツ語共通教科書『Einblicke』
著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編
出版社
ISBN
その他

関連ホームページ　http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50048	月 2	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 理一(29)
50049	月 2	ドイツ語一列②	桑山 裕喜子	1 年 理一(32)
50100	月 3	ドイツ語一列②	速水 淑子	1 年 理一(30)
50320	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文一二(20)
50340	火 3	ドイツ語一列②	益 敏郎	1 年 文三(15)
50351	火 3	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(31)
50409	火 4	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理一(28)
50792	木 3	ドイツ語一列②	越懸澤 麻衣	1 年 文一二(22)
50814	木 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 理二三(17)
50822	木 4	ドイツ語一列②	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
50828	木 4	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 文一二(21)
51036	金 3	ドイツ語一列②	岡野 伸哉	1 年 理二三(19)
51056	金 4	ドイツ語一列②	針貝 真理子	1 年 文三(16)
51074	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理二三(18)
50604	水 3	ドイツ語特修	ヘルマン ゴチェフスキ	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語	開講区分	A

授業の目標・概要　文科生クラス、理科生クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。
　文科生は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　理科生には、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。
成績評価方法　平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他
関連ホームページ　http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50030	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
50050	月 2	フランス語一列②	谷本 道昭	1 年 理一(37)
50101	月 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 理一(38)
50102	月 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理一(39)
50131	月 4	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(23)
50399	火 4	フランス語一列②	西川 純子	1 年 文一二(26)
50474	水 1	フランス語一列②	赤羽 悠	1 年 理一(33)
50540	水 2	フランス語一列②	原 和之	1 年 理二三(20)
50595	水 3	フランス語一列②	實谷 総一郎	1 年 理一(36)
50622	水 4	フランス語一列②	中尾 沙季子	1 年 文三(17)
50738	木 2	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 文三(18)
50739	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 文三(19)
50740	木 2	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 文三(20)
50754	木 2	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 理一(35)
50756	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理二三(22)
50793	木 3	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文一二(25)
50794	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(27)
50795	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(28)
50823	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50848	木 4	フランス語一列②	野崎 夏生	1 年 理二三(23)
51031	金 3	フランス語一列②	平澤 暢之	1 年 理一(34)
51037	金 3	フランス語一列②	小西 英則	1 年 理二三(21)
51038	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
50605	水 3	フランス語特修	藤岡 俊博	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語	開講区分	A

授業の目標・概要
中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。
●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。
●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(月１に開講)
●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。

成績評価方法
期末試験、小テストなどで評価をするが、具体的には学期途中で指示をするので各教員の指示に従うこと。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　漢語教程
著者（訳者）　小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之・李佳樑 著
出版社　白帝社
ISBN
その他

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50026	月 2	中国語一列②	張 政遠	1 年 文一二(13)
50027	月 2	中国語一列②	大橋 義武	1 年 文一二(16)
50098	月 3	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(20)
50135	月 4	中国語一列②	及川 茜	1 年 文三(11)
50136	月 4	中国語一列②	瀬地山 角	1 年 文三(13)
50137	月 4	中国語一列②	王 欽	1 年 文三(14)
50201	火 1	中国語一列②	李 佳リョウ	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50347	火 3	中国語一列②	賈 黎黎	1 年 理一(22)
50472	水 1	中国語一列②	李 佳リョウ	1 年 理一(24)
50473	水 1	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(26)
50508	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文一二(17)
50520	水 2	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 文三(12)
50531	水 2	中国語一列②	及川 茜	1 年 理一(19)
50539	水 2	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理二三(16)
50620	水 4	中国語一列②	韓 燕麗	1 年 文一二(18)
50734	木 2	中国語一列②	松本 秀士	1 年 文一二(14)
50752	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 理一(25)
50791	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(19)
50813	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(15)
50826	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
50847	木 4	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理二三(13)
50917	金 1	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(27)
51017	金 3	中国語一列②	谷垣 真理子	1 年 理一(23)
51035	金 3	中国語一列②	毛 興華	1 年 理二三(14)
51065	金 4	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理一(21)
50637	水 4	中国語特修	谷垣 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語	開講区分	A

授業の目標・概要　初修ロシア語の 1 年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1 年を終えるころには簡単なロシア語テクストが自在に読める能力の獲得をめざす。
文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。
S セメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テクストによって読解の基礎をつける。

成績評価方法　定期試験と平常点に基づいて評価する。
(1) 平常点とは、出席、授業中に実施される小テスト、その他の課題等に基づいて算出される点数を指す。
(2) 定期試験 （本試験）を欠席した場合、平常点に関係なく「欠席」となり、実質的に 0 点（「 不可 」）となる（平常点は考慮されない）。
(3) やむをえない理由があって定期試験（本試験）を欠席した場合は、所定の手続きを経て追試験を受けることができる。
(4)追試験を欠席した場合の成績は、本試験欠席時と同様に、「欠席」となる。追試験を受けた場合の平常点の扱いは、本試験を受験した場合に準ずる。
※定期試験 （本試験・追試験）と成績評価に関しては「履修の手引き」36〜46 頁を熟読すること。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう)
著者（訳者）　西中村浩・朝妻恵理子
出版社　朝日出版社
ISBN
その他

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50412	火 4	ロシア語一列②	丸山 由紀子	1 年 理二三(4)
50742	木 2	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 理一(4)
50743	木 2	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 理一(5)
50992	金 3	ロシア語一列②	石井 優貴	1 年 文一二(4)
51010	金 3	ロシア語一列②	浜田 華練	1 年 文三(4)
50638	水 4	ロシア語特修	居阪 僚子	2 年 文科 理科

基礎科目 スペイン語

スペイン語	開講区分	A

授業の目標・概要
初修スペイン語では、共通教科書『Brújula』を用い、１年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分ける。Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、ネイティブ教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週２回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。

成績評価方法
各担当教員に任されている。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Brújula−スペイン語学習の羅針盤』
著者（訳者）　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55111-1
その他

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50025	月 2	スペイン語一列②	川上 英	1 年 文一二(9)
50052	月 2	スペイン語一列②	網野 徹哉	1 年 理二三(10)
50106	月 3	スペイン語一列②	川上 英	1 年 理二三(7)
50107	月 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理二三(8)
50155	月 4	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理二三(12)
50208	火 1	スペイン語一列②	杉守 慶太	1 年 理一(11)
50209	火 1	スペイン語一列②	丸山 共恵	1 年 理一(16)
50338	火 3	スペイン語一列②	杉守 慶太	1 年 文三(10)
50415	火 4	スペイン語一列②	藤井 礼奈	1 年 理二三(9)
50530	水 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(18)
50582	水 3	スペイン語一列②	伊香 祝子	1 年 文三(9)
50627	水 4	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(9)
50628	水 4	スペイン語一列②	伊香 祝子	1 年 理一(17)
50732	木 2	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 文一二(10)
50746	木 2	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理一(10)
50749	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 理一(15)
50785	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1 年 文一二(11)
50796	木 3	スペイン語一列②	澤村 るり子	1 年 文三(7)
50802	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(12)
50803	木 3	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 理一(13)
50812	木 3	スペイン語一列②	豊田 唯	1 年 理二三(11)
50825	木 4	スペイン語一列②	木﨑 孝嘉	1 年 文一二(8)
50836	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1 年 理一(14)
51000	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1 年 文一二(7)
51011	金 3	スペイン語一列②	受田 宏之	1 年 文三(8)
51049	金 4	スペイン語一列②	有田 美保	1 年 文一二(12)
50606	水 3	スペイン語特修	川崎 義史	2 年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語	開講区分	A

授業の目標・概要
●1 年生初修クラス
S セメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版)』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによって A セメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。
文科生はこのほか総合科目 L 系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。
●特修クラス
これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照してください。

成績評価方法
定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『ことばの架け橋（精選版)』
著者（訳者）　生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル
出版社　白帝社
ISBN　978-4-86398-406-6
その他

関連ホームページ　http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50133	月 4	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1 年 文三(5)
50297	火 3	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1 年 文一二(5)
50413	火 4	韓国朝鮮語一列②	月脚 達彦	1 年 理二三(5)
50912	金 1	韓国朝鮮語一列②	齊藤 良子	1 年 理一(6)
50639	水 4	韓国朝鮮語特修	月脚 達彦	2 年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語	開講区分	A

授業の目標・概要

●1 年生初修クラス
I列II列では、A セメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテクストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テクストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テクスト分析 I も開講されているので、積極的に受講してください。
●既修クラス
総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。
●授業計画
1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ
Aセメスター後半 講読中心
●学習上のアドバイス
時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。

成績評価方法
平常点とセメスター末の筆記試験

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』
著者（訳者）　東京大学イタリア語教材編集委員会編
出版社　白水社
ISBN
その他

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50045	月 2	イタリア語一列②	岡本 太郎	1 年 理一(8)
50154	月 4	イタリア語一列②	岡本 太郎	1 年 理二三(6)
50343	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1 年 理一(7)
50716	木 2	イタリア語一列②	村松 真理子	1 年 文一二(6)
50736	木 2	イタリア語一列②	山﨑 彩	1 年 文三(6)
50607	水 3	イタリア語特修	山﨑 彩	2 年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語	開講区分	A

授業の目標・概要

[注意事項]
● 前期課程外国語科目の既修外国語、あるいは、[既修・既修選択]の初修外国語相当として「日本語」を選択した学生は、基礎科目「日本語一列②」が必修となります。初回授業から必ず出席してください。
● 総合科目 L 系列科目は、自由選択科目です。履修登録は、UTAS や授業での指示に沿って進めてください。

● 基礎科目『日本語一列②』
「調査・分析・議論のための日本語演習」
文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ・資料収集・調査分析・結果発表を協働で行い、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象や課題について他者と建設的な意見交換を行う力を育むことを目指します。テーマは人文・社会・科学等様々な分野から、受講生の関心も踏まえて決定します。協働的タスクの遂行、及び授業中のディスカッション・プレゼンテーション・ピアフィードバック等への能動的な参加が求められます。
● 総合科目 L 系列『日本語上級』
総合科目 L 系列においては、「大学で、日本語を使って学んでいく」ために必要となる各種技能をバランス良く伸ばしていけるよう、多様な内容の科目を提供しています。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバスを参照してください。
2025 年度 A セメスターには、総合科目として以下のような科目が開講される予定です。
「アカデミックプレゼンテーションのための発音」
「アカデミックライティング（1）—日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」
「アカデミックライティング（2）—日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる
「アカデミックプレゼンテーションとディスカッション」
「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える」
「近代日本の童話を読む」
「読解を通じ，日本の歴史を考える」

成績評価方法

成績評価方法は、科目により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照してください。
全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価します。

教科書

その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN
その他

関連ホームページ
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50235	A	火 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科
50932	A	金 2	日本語一列②	本林 響子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習 II

身体運動・健康科学実習II	開講区分	A

授業の目標・概要
週 1 回の授業を通じて
1.身体および身体運動に関する知識を習得する。
2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。
3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。
4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。

授業計画
第 1 回 講義、種目選択（対面）
第 2 回から第 13 回 選択した種目での授業
（注意事項）
・第 1 回から対面で行う。使用教室は UTOL や 9 号館前の掲示板に掲示する。
・学期中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を行う。詳細は第 1 回授業、第 2 回授業で確認すること。
・雨天が続いた場合など、例外的に外種目を体育館で行い、本来の体育館種目が別の場所（教室など）に移動することもあるので、9 号館前の掲示板や UTOL のお知らせを毎回よく確認すること。
・体力テストを 12 月下旬の授業にて実施する。実施方法は UTOL を使って連絡する。
・以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。

授業の方法
第 2 回の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー、バドミントン等)、フィットネスコース、サイエンスコース（一部の曜限のみ）から選択する。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。
種目選択以降は、各種目に分かれて実習を行う。基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。
学期中に 2 回、身体運動の科学的理解を目的とした共通基礎実習を通常とは別の場所で行う。講義や共通基礎実習だけでなく、実技授業でも教科書「身体運動・健康科学ベーシック」を用いることがあるので、毎回持ってくること。

成績評価方法
出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。
達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。
体力テスト：例年 4 月と 12 月に行い、評価に含める。
レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。
その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　身体運動・健康科学ベーシック
著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室
出版社　東大出版会
ISBN

履修上の注意
種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。
必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。
更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。
体育館は土足、飲食禁止である。

学習上のアドバイス
盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。
障害保険に加入することが望ましい。
後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。

関連ホームページ
https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50031	月 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(26)文三(11,16) 理一(10-11,19,23,25-26)理二三(4,8)
50296	火 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(4,14)文三(18) 理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50369	火 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14) 理一(27)理二三(1-3,7,12,17,19)
50554	水 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(7-8,15)文三(8) 理一(1-3,6-7,9,15,18,30,32)
50619	水 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(16,27-28)文三(4,9) 理一(13,16,24)理二三(16,20-21)
50733	木 2	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(13)理一(12,31,33)理二三(5-6,9-11,15,24)

50768	木 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(6,9,18,23)文三(6,12,17)理二三(13-14,23)
51001	金 3	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(17,20,24)文三(5,7,10,15) 理一(4-5,8,21,36)理二三(18)
51048	金 4	身体運動・健康科学実習II	実技担当	1 年 文一二(10,19,21-22)文三(13,19-20) 理一(22,29,39)理二三(22)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）

身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ）	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 講義、種目選択（対面） 第 2 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業） （注意事項） ・第 1 回の授業は原則としてクラス指定された身体運動・健康科学実習 II の曜限で受講すること。使用する URL や教室は UTOL や 9 号館前の掲示板に掲示する。 ・第 1 回の授業後半に種目選択を行う。その際にメディカルケアコースの履修希望であることを申し出ること。履修する曜限（月１、月５、火１、水１のいずれか）もできるだけその日に決定することが望ましい。 ・第 2 回以降は月１、月５、火１、水１のいずれかで授業を受けることになる。いずれの曜限においても、各自の状態に応じて実習を行うことになるので、担当教員とよく話し合いながら実習に取り組むことが望ましい。 ・以上の授業計画に変更が生じる場合はメールまたは UTOL を使って連絡する。
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　身体運動・健康科学ベーシック 著者（訳者）　東京大学身体運動科学研究室 出版社　東大出版会 ISBN
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50169	月 5	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50481	水 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科
50001	月 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50219	火 1	身体運動・健康科学実習II（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50114	A	法II	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目	法学入門
授業の目標概要	実定法の主要分野（憲法、民法、刑法、行政法、民事訴訟法、刑事訴訟法等）について、教養という観点からも、学ぶに値するものである、という観点からお話をします。
成績評価方法	主に期末筆記試験によります（８割の予定)。 基本的に毎回、授業コメントを提出をしていただき、その内容も副次的に成績評価の資料とします（２割の予定)。 コメントには、当日の授業の要点と感想を記してください。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50455	A	法II	増井 良啓	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(1-12) 2 年 文一

講義題目	実定法学入門
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 この授業では、法学部の専門科目への橋渡しとして、法的テクスト（判決文など）を素材としつつ、現代日本法（の一端）を読み解きます。
成績評価方法	定期試験と平常点。平常点は UTOL 上の課題提出などによる。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 森田果 法学を学ぶのはなぜ？ 有斐閣 978-4-641-12620-6 補助教材は UTOL で配布
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50456	A	法II	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(13-22) 2 年 文一

講義題目	公法学のテクストを読む
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 「法 I」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、より多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。
成績評価方法	平常点及び期末試験による。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50457	A	法II	白石 忠志	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(23-28) 2 年 文一

講義題目	法２（白石忠志）
授業の目標概要	【文一のみ履修可】 「法律問題を扱う際に具体的に必要となる基本的な知識や枠組み」を身に付けることを目指す法学入門です。「身近な問題を自由に考えてみよう」という法学入門ではなく、高尚で抽象的な法学論を講ずる法学入門でもありません。 ９月末までに、UTOL に、この授業のポータルドキュメントへのリンクを置きます。詳しいことはポータルドキュメントに書きます。
成績評価方法	期末の定期試験によって評価します。
教科書	その他。／Other 関係資料を配布することがあります。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50115	A	政治II	作内 由子	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一

講義題目	自由民主主義諸国の比較政治学
授業の目標概要	日米欧の各国の具体例を豊富に挙げることによって、抽象的な理論と具体的な実態とを結びつけることができるようになることが講義の目的である。
成績評価方法	期末最終試験（１００％）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 伊藤武・作内由子・中井遼・藤村直史 民主主義の比較政治学 有斐閣 978-4-641-20014-2 期末試験で持ち込み可にする予定なので、電子書籍ではなく紙媒体のものをご入手ください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50482	A	政治II	寺下 和宏	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三

講義題目	社会理解と変化のための政治学
授業の目標概要	本講義では、政治学の基本的な理論・概念について概説する。「政治」という言葉にはネガティブなイメージや偏った見方がつきまとう。例えば「国会議員や官僚は数が多く、高給取りだ」「政治家は不正ばかりをしている」「企業と政府は裏で繋がっている」などの言説が根拠もないまま語られる。 以上のような根拠やデータに基づかない言説は、政治に対する誤った見方をもたらすだけでなく、政治に対する過度な忌避意識を生じさせることもある。政治に対する過度な忌避意識が生じると、本来、政治で議論されるべき問題が政治で取り上げられにくくなり、社会問題の解決の遅れをもたらす可能性もある。 政治学の理論や知識を身につければ、以上で示したネガティブで、偏った「政治」のイメージが一面的であることが理解できるようになる。それだけでなく、冷静に、確かな根拠に基づいて、社会問題を解決するために必要な視点を養うことにもつながる。 そこで本講義では、政治学の基本的な概念・理論について、最新の知見やデータを踏まえながら概説する。具体的には日本および諸外国を題材として、政治に関わるアクターとその役割、関連する理論・概念を概説する。また個別の社会問題と政治との関わりにも触れる。特にジェンダーや階級、階層、交差性といった観点から、少数派がいかにして利益を反映できるかという視点を持ちながら、個別の事例および研究の紹介を行う。
成績評価方法	期末試験を実施し、その点数によって評価する。 また授業毎に提出を求めるコメント、質問を最終評価に加味することがある。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 羅芝賢, 前田健太郎 権力を読み解く政治学 有斐閣 9784641200142
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50116	A	経済II	竹野 太三	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	経済学 II 価格理論
授業の目標概要	価格理論を学びます. 価格理論は経済学の基礎となる大変重要な理論体系であることから, 本講義では一学期をかけて, 価格理論をゼロから網羅的に，考え方を含めて学びます．なお，本講義は「基礎科目」ですので，本講義で初めて経済学を学ばれる方を想定します.
成績評価方法	期末試験（持ち込み不可）によります.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 竹野太三 経済学の基礎 価格理論 東京大学出版会 978-4-13-042146-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50438	A	経済II	高見 典和	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	科学コミュニティの社会性に注目する現代の科学論を参照しながら，経済学の歴史を議論します。
授業の目標概要	欧米の一部の研究者は，より洗練された視点で経済学の歴史を研究しています。本講義では，担当講師の訳書や著書を用いて，近年の経済学史研究の一端を紹介したいと思います。
成績評価方法	平常点および試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野原，沖，高見 経済学史 日本評論社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50117	A	社会II	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	政治哲学入門
授業の目標概要	本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、１９世紀に生まれ、２０世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、２０世紀を代表する分析的政治哲学者である J・ロールズの議論をおさえたうえで、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。
成績評価方法	定期試験の点数に、複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50483	A	数学I	辻 雄	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数学I
授業の目標概要	文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，順序は異なることがある．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50484	A	数学II	今野 北斗	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数学II
授業の目標概要	文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50485	A	数学II	池 祐一	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数学II
授業の目標概要	文科生向けの，ベクトルと行列に関する基礎的な内容や，計算手法を理解するための科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を総合科目 「数理科学概論 II」で学ぶことができる．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50118	A	哲学II	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　ハンナ・アーレントと哲学

授業の目標概要　ハンナ・アーレント［1906～1975］は、ドイツ生まれのユダヤ系の思想家で、戦後、亡命先のアメリカで活躍した。『全体主義の起源』『人間の条件』『エルサレムのアイヒマン』などの著作でその名を知られる……。
いま「思想家」と書いたのは、他に使える単語がなかったからである。おそらく一般的には、この人物は「哲学者」と形容されるだろう。２０世紀を代表する哲学者の一人である、と。そして特に彼女についての知識のない状態で、その著作を紐解いてみたならば、彼女が哲学者であることを誰も疑わないだろう。実際、そこでは哲学が論じられているのである。
しかし、多少とも彼女自身のことを知っていたならば、易々とはそうできない理由がある。アーレント自身は「自分は哲学者ではない」と強く強調していたからである。フッサール、ハイデガー、ヤスパースの元で学び、ギリシア以来の哲学史全体に通じ、学位論文はアウグスティヌスで書いているこの人物が、「自分は哲学者ではない」と言っているのである。
確かに、彼女の著作は哲学に対する批判で満ちあふれている。しかし、やはり人はそれでも彼女を「２０世紀を代表する哲学者」と紹介したくなるに違いない。私自身もそうである。このように強靱な哲学的思惟はめったにない。哲学を批判する彼女の言葉そのものが哲学的である。だが、もちろん、こう述べるときに問題にせねばならないのは、ここで言う「哲学的」とはどういうことなのか、である。
哲学とは何なのか、少なくともアーレントの考える哲学とは何なのかが分からなければ、彼女が哲学を断固として拒否していることの意味は分からないだろう。そして、どうやっても哲学者としか思えない人物が哲学者であることを断固拒否しているというこの事実を考えるなしに、アーレントの思想の本質に迫ることができるとは私には到底思えない。
「アーレント"の"哲学」とか「アーレント"の"思想」などといったものが論じられるよりも先に、「アーレント"と"哲学」が問われねばならない。「アーレントの哲学」と言う時、「哲学」は単に「その人が考えたこと」という程度の意味の"一般名詞"として言われているに過ぎない（たとえば「イチローの哲学」などと言われる時と同じである）。
しかし、アーレントは哲学の語をそんな意味では受け取っていない。彼女にとって、哲学という語は、自身が生涯をかけて戦わなければならなかった、或る伝統的な営みを指す"固有名詞"なのだ。だから、アーレントと哲学そのものとの関係、その間が問われなければならないのである。
この授業ではアーレントの哲学観、哲学史の読み方を紹介することで、哲学史についてもある程度の知識も得られるようになっている。その点に配慮しながら授業は進める。したがって、特に事前の知識はいらないが、授業には真剣に向き合う姿勢が求められる。

成績評価方法　期末レポート。但し、小テストを課す可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50439	A	哲学II	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目　哲学の原典を読む

授業の目標概要　西洋哲学の基礎を、その原典に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテクストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテクストも読解する。

成績評価方法　試験またはレポート

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
山本芳久
『アリストテレス ニコマコス倫理学 「よく生きる」ための哲学 』
NHK 出版
978-4140819722

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50119	A	倫理II	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	死をめぐる生命倫理
授業の目標概要	本シラバスを入力している 2025 年 7 月 21 日現在、マスメディアではまったく報じられていないが、日本は新型コロナウイルス感染症の第 13 波を迎えつつある。そして、この 5 年半に及ぶコロナ禍にあって、最も軽視されてきたのは、存外にも人々の「死」であるように思われる。2024 年 8 月までに日本でも累計 13 万 2000 人の者が新型コロナで死亡しており、そこには 13 万 2000 の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。 そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーや G.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。 脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。
成績評価方法	開講時（ガイダンス時）に課す「授業アンケート」の提出を条件として、期末試験で評価する（予定）。 授業内の質疑応答での優れた回答や、自主レポートの提出は、成績評価に加味する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50440	A	歴史I	渡辺 美季	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	東アジア世界のなかの琉球
授業の目標概要	琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジア世界の歴史的展開と密接に連動しつつ、その一王国として存続してきた。王国の対外関係の主軸となったのは 14 世紀後半に開始された中国（明・清）との君臣関係（冊封・朝貢関係）である。いっぽうで 1609 年、琉球は薩摩の大名・島津氏の軍事侵攻に敗れ、以後は徳川幕府の支配をも受けるようになった。すなわち 1609 年（薩摩の侵攻）から 1879 年（王国の消滅）までの 270 年間、琉球は中国・日本に二重に臣従する「王国」であった。 現代とは異なる、このような国際関係および王国の形態は、いかにして形成・維持されたのだろうか。本講義では、東アジア世界がどのような歴史的展開を共有し、その中で琉球がいかなる役割を果たしたのかという観点から、琉球王国の歴史を時間軸に沿ってひも解いていく。これにより現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、また長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。
成績評価方法	学期末の試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	歴史II	塚原 伸治	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	日本民俗学からみる歴史
授業の目標概要	民俗学は国や地域ごとの特徴が大きい分野であるが、特に日本の民俗学はその成立の時期から現在まで、歴史学との深い関係によって特徴づけられてきた面がある。本講義では、日本の民俗学がどのように歴史を考えようとしてきたのかを、具体的な研究成果を紹介しながら示す。特にパブリックヒストリーや文化遺産など、近年の研究動向を意識しつつ、21 世紀における歴史民俗学を構想してみたい。
成績評価方法	学期末試験を中心とし、授業中に実施する小課題の内容などを加味して総合的に判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	ことばと文学II	沖本 幸子	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	日本芸能入門ー人間中心ではない世界へのいざない
授業の目標概要	日本の芸能、特に前近代に由来する芸能には、人間ならざるものたち、死者や動植物たちが多く登場してきます。しかも、人間が人間ならざるものたちを支配したり、優位を主張したりするのではなく、むしろ、人間ならざるものたちの声を聴くために、それぞれの芸能が成り立っています。能「芭蕉」では、芭蕉（バナナの木）の精が僧侶に諭します。あるいは、最近にわかに再ブームの兆しのある盆踊りも、もとをたどれば、死者たちとともに踊る踊りです。先祖の声を聴くための神楽があり、鹿や鳥、獅子・麒麟といった想像上の動物たちに扮して舞い踊る芸能には枚挙にいとまがありません。 なぜ、人々は、人間ならざるものたちの声を聴こうとし、あるいは、人間ならざるものになろうとしてきたのでしょうか？ 近代以降、日本人もまた人間中心的な世界観を摂取し、また、人間が AI などの機械によって支配されつつあるようにも見える現代、人間ならざるものたちのありようは、私たちの今を見直す視座を与えてくれるかもしれません。
成績評価方法	テストおよびミニレポート
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	ことばと文学III	矢田 勉	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	日本語史の叙述方法
授業の目標概要	言語の歴史的研究（歴史言語学）の意義やその叙述方法を巡る諸問題について、特に日本語の場合（日本語史・国語史）を例にして考察を深める。 日本語史（国語史）の個別的事象については、各自が予め概説書（通史）によって知識を得ていることを前提として話を進める。
成績評価方法	毎週の課題および期末レポートによる判定を予定しているが、受講の状況等によっては、期末レポートに替えて期末試験を行う可能性もある。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50120	A	ことばと文学IV	乗松 亨平	ロシア語	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	近代の諸条件（ドストエフスキー『悪霊』を読む）
授業の目標概要	近代とは「人間」の時代であったといわれる。私が私であることが私にとって最も大切である、そのような時代。私たちはいまも、そんな近代を生きているのだろうか。 近代とはまた、文学の時代でもあり、「私」を描く中心的メディアは小説であった。「私」はいまも語られつづけているが、その中心的メディアは SNS に移り、「人間」を描く芸術は、さまざまなサブカルチャーへと拡大している。そこで描かれる「人間」や「私」は、近代文学が描いてきたものと変わらないのだろうか。 近代文学の代表者のひとりであるドストエフスキーの小説は、このような問いを考えるのに格好の材料を提供してくれる。というのも、彼はいかにも「純文学」的な近代的「人間」の葛藤を描く一方で、それとは相反するような「エンタメ」的な筋立てや、「キャラ」的な人物造形の達人でもあったからだ。 近代的「人間」の限界を見定めるためには、近代において「人間」なるものがいかにして可能となったか、その諸条件について考えなければならない。本授業では、ドストエフスキーの作品をとおしてそれを検討する。小説ジャンルの発生という文化的条件、メディア環境という社会的条件、資本主義という経済的条件、印刷機械の発達という技術的条件など、さまざまな条件がそこには含まれる。また、小説を分析するうえでの基本的な方法論も紹介してゆく。
成績評価方法	レスポンスシートと期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ドストエフスキー（江川卓） 悪霊（上・下） 新潮社 手に入りやすい翻訳で読んでもらえばよいですが、授業では新潮文庫版を使います。生協の教科書販売所で販売予定です
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50121	A	心理II	本吉 勇	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	人間は，環境から受け取った光や音の情報をもとに，外界のモノや出来事を認識し，過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し，また他の人間と相互作用することができる．このすぐれて知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである．認知科学(cognitive science)とは，心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら，その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である． 本講義では，多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら，知覚，認識，記憶，感情，思考，意識，社会性といった，人の心の基本的な仕組み及び働きを支えている脳情報処理の原理原則と，その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ．それによって，進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための知識と視点を身につけることをめざす．テーマは認知の基礎から社会心理学まで多岐にわたり，加えて人工知能や脳信号解読を含めた脳工学技術や心理学・認知科学の成り立ちにも触れる．
成績評価方法	試験の成績，出席，その他の提出物，をもとに総合的に評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50486	A	心理II	今福 理博	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	心理学：人の心と行動の発達を科学する
授業の目標概要	心理学は人を含む動物の心と行動を科学的に研究する学問である。 本講義では、心理学が人間を含む動物の「心」と「行動」を科学的に探究する学問であるという基本的な立場をふまえ、心理学の主要な領域とその理論的枠組み、研究方法について幅広く概観することを目指す。とりわけ、遺伝と環境の相互作用の中で人の心がいつ、どのように発達するのかという視点から、知覚、認知、感情、言語、パーソナリティなどのテーマについて詳述する。
成績評価方法	課題の提出 40%、学期末テスト 60%。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 今福理博 赤ちゃんの心はどのように育つのか：社会性とことばの発達を科学する ミネルヴァ書房 978-4623086542
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2

授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する. 1）将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする. 2）基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3）未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする.
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週１回受講する．実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと.
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者）　基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社　学術図書出版社、 東京化学同人 ISBN その他
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止.
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50072	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
50348	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50589	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
50800	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
51018	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
51133	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(物理学)α	1 年 理一
60001	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
60025	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60063	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
60076	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
60083	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
60088	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(物理学)α	1 年 理一
50073	A 1	月 3, 月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50590	A 1	水 3, 水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
50801	A 1	木 3, 木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
51019	A 1	金 3, 金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
51135	A 1	集中	基礎実験Ⅰ(化学)α	1 年 理一
60002	A 2	月 3, 月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,17-18)
60026	A 2	火 3, 火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60064	A 2	水 3, 水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(12,20-22,31,34,38)
60077	A 2	木 3, 木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(6,8,10-11,15-16,19)
60084	A 2	金 3, 金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1 年 理一(26-28,30,32,35,37)
60089	A 2	集中	基礎実験Ⅱ(化学)α	1 年 理一
50103	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数
50359	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数
50599	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
50810	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数

基礎実験

51033	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数
60003	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
60029	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
60070	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
60078	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
60085	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
50104	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 偶数
50360	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 偶数
50600	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 偶数
50811	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 偶数
51034	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶数
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-4,9-11) 奇数
60030	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(16,20-21,24) 奇数
60071	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17,22) 奇数
60079	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(5-6,8,18-19) 奇数
60086	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②	開講区分	A

授業の目標・概要

代数学，幾何学とともに，数学の根幹をなす解析学について，その基本的な考え方や方法を学ぶ．力学における運動方程式などに代表されるように，自然界の多くの現象が，微分積分学を用いて記述される．微分積分学は，あらゆる科学技術の基礎となっている．微分積分学は 17 世紀末に，ニュートンやライプニッツらによって創成された．ニュートンは量の変化の記述に注目し，速度，加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した．「微分積分学の基本定理」により，区分求積法によって定義される積分は，微分の逆操作であることが，明確に認識されるようになった．

微分積分学では，極限をとること，無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす．このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は，19 世紀後半から整えられていった．この授業では，「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき，微分積分学の基礎と応用を学ぶ．具体的な項目は以下の通りである． S2 タームで項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質，テーラーの定理，テーラー展開)
2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分，合成関数の微分の連鎖律)
3. 多変数関数の微分（続き）(高階偏微分，多変数のテーラーの定理とその応用)
4. 一変数関数の積分 (区分求積法，微分積分学の基本定理)
5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分，多重積分の変数変換公式)
6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束，広義積分)

実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は，2 年次 S セメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる．将来，本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる．なお，「解析学基礎」は 1 年次 S セメスターでも履修することができる．また，2 年次 S セメスターの総合科目として，「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」，および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」，「ベクトル解析」が開講される．

成績評価方法
主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．

教科書
その他。／Other
書名
著者 (訳者)
出版社
ISBN

関連ホームページ
https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50053	月 2	土屋 卓也	1 年 理二三(14-16)
50054	月 2	戸松 玲治	1 年 理二三(17-20)
50055	月 2	逆井 卓也	1 年 理二三(21-24)
50149	月 4	足助 太郎	1 年 理一(20-23)
50150	月 4	高山 茂晴	1 年 理一(24-27)
50151	月 4	河上 龍郎	1 年 理一(28-31)
50152	月 4	高津 飛鳥	1 年 理一(32-35)
50153	月 4	桐木 紳	1 年 理一(36-39)
50402	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(1-3,6,19)
50403	火 4	林 修平	1 年 理一(4-5,9,14)
50404	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(7-8,10,18)
50405	火 4	大場 清	1 年 理一(11-13)
50406	火 4	辻 雄	1 年 理一(15-17)
50596	水 3	大島 芳樹	1 年 理二三(1-7)
50597	水 3	松井 千尋	1 年 理二三(8-10)
50598	水 3	佐々田 槙子	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②	開講区分	A

授業の目標・概要

線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的，統一的に扱う手法として発明された．また，行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された．ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり，その意味で線型代数学の歴史は古い．しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され，数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく，20 世紀にはいってのことであった．
自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが，一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり，線型代数学の考え方は非常に有効である．また，量子力学や，フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており，線型代数学の応用については枚挙にいとまがない． このように，線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと，工学，農学，医学，経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており，応用範囲も広い．
線型代数学は理論的には単純で明快であるが，その反面，抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある．線型代数学を身につけるには，演習などのさまざまな問題にあたり，理解を深めることが必要である．「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする．
S2 タームで UTAS シラバス「授業計画」の項目 1,2 を扱い，A セメスターで項目 3〜6 を扱うことを目安とするが，担当教員によって，順序や内容に一部変更が加えられる場合がある．

成績評価方法
主として定期試験によるが，担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．

教科書
その他。／Other
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ
https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50475	水 1	植野 義明	1 年 理二三(1-7)
50476	水 1	清田 正夫	1 年 理二三(8-10)
50477	水 1	小林 正典	1 年 理二三(11-13)
50478	水 1	白石 潤一	1 年 理二三(14-16)
50479	水 1	葉廣 和夫	1 年 理二三(17-20)
50480	水 1	寺田 至	1 年 理二三(21-24)
50741	木 2	北山 貴裕	1 年 理一(1-3,6,19)
50799	木 3	下川 航也	1 年 理一(4-5,9,14)
50804	木 3	戸瀬 信之	1 年 理一(20-23)
50805	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(24-27)
50806	木 3	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50807	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50808	木 3	ケリー シェーン	1 年 理一(36-39)
50913	金 1	伊山 修	1 年 理一(7-8,10,18)
50914	金 1	関口 英子	1 年 理一(11-13)
50915	金 1	松本 久義	1 年 理一(15-17)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習	
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく，自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある．この２つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり，練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け，応用力を養う．講義内容に即した応用問題の他に，講義の理解を深めるための証明問題や，講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある．
成績評価方法	通常は定期試験を行なわず，平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ，授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする．出席点が重視されるため，欠席を重ねると単位を出せなくなることがある．
教科書	その他。／Other 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50108	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
50109	A	月 3	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理二三(14-16)
50110	A	月 3	微分積分学演習	戸松 玲治	1 年 理二三(17-20)
50111	A	月 3	線型代数学演習	葉廣 和夫	1 年 理二三(17-20)
50112	A	月 3	微分積分学演習	淺井 聡太	1 年 理二三(21-24)
50113	A	月 3	線型代数学演習	淺井 聡太	1 年 理二三(21-24)
50425	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1-3,6,19)
50426	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(1-3,6,19)
50427	A	火 5	微分積分学演習	森 迪也	1 年 理一(4-5,9,14)
50428	A	火 5	線型代数学演習	森 迪也	1 年 理一(4-5,9,14)
50429	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(7-8,10,18)
50430	A	火 5	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(7-8,10,18)
50431	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(11-13)
50432	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(11-13)
50433	A	火 5	微分積分学演習	榎園 誠	1 年 理一(15-17)
50434	A	火 5	線型代数学演習	榎園 誠	1 年 理一(15-17)
50631	A	水 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理二三(1-7)
50632	A	水 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理二三(1-7)
50633	A	水 4	微分積分学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理二三(8-10)
50634	A	水 4	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理二三(8-10)
50635	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50636	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50837	A	木 4	微分積分学演習	森 迪也	1 年 理一(20-23)
50838	A	木 4	線型代数学演習	森 迪也	1 年 理一(20-23)
50839	A	木 4	微分積分学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(24-27)
50840	A	木 4	線型代数学演習	後藤 ゆきみ	1 年 理一(24-27)
50841	A	木 4	微分積分学演習	河上 龍郎	1 年 理一(28-31)
50842	A	木 4	線型代数学演習	山﨑 満	1 年 理一(28-31)
50843	A	木 4	微分積分学演習	榎園 誠	1 年 理一(32-35)

50844	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50845	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)
50846	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）	
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする． 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．
成績評価方法	定期試験による．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN その他
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html
※講義の詳細については、UTAS も参照すること	

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50170	A	月 5	数理科学基礎（補修）	今井 直毅	1 年 理科 2 年 理科
50651	A	水 5	数理科学基礎（補修）	吉野 太郎	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学A

電磁気学A	開講区分	A

授業の目標・概要

電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。

1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・電位とその性質
・導体系
・静電場のエネルギーとストレス
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・静磁場の微分方程式
・ベクトルポテンシャル
・ビオー・サヴァールの法則
・円電流と等価磁石
・単位系
5.電磁誘導とマクスウェル方程式
・ファラデイ・レンツの法則
・変位電流と連続の方程式
・マクスウェル方程式
・電磁場のエネルギーと仕事
・平面電磁波
・準定常電磁場と交流回路
＊6.物質中の電磁場
＊考え方：分極電荷、磁化電流
＊誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性）
＊異なった物質の間の境界条件
＊物質中の電磁場エネルギー

成績評価方法

主として定期試験による.
担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書

その他。／Other
書名
著者(訳者)
出版社
ISBN

関連ホームページ
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50523	水 2	森松 治	1 年 理一(1-3,39)理二三(1-3,7)
50525	水 2	島野 亮	1 年 理一(4-6,31)
50533	水 2	多田 司	1 年 理一(32-34)
50534	水 2	水野 英如	1 年 理一(35,37-38)
50536	水 2	藤山 茂樹	1 年 理二三(8,11,19)
50541	水 2	大井 万紀人	1 年 理二三(21-22,24)
50744	木 2	國場 敦夫	1 年 理一(7-9,14)
50750	木 2	栗原 貴之	1 年 理一(21-23)
50751	木 2	中村 哲	1 年 理一(24,26-27)理二三(12-14)
50753	木 2	大川 祐司	1 年 理一(28-30)
50755	木 2	上野 和紀	1 年 理二三(4,17-18,23)
51060	金 4	白石 直人	1 年 理一(10-12)
51062	金 4	高木 隆司	1 年 理一(13,15-16)
51063	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(17-19)
51064	金 4	年吉 洋	1 年 理一(20,25,36)

51072	金 4	牛島 一朗	1 年 理二三(5-6,9-10)
51073	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(15-16,20)

電磁気学Ｂ

電磁気学Ｂ	開講区分	A

授業の目標・概要

入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。
高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。
講義では演習、宿題等を十分に課する。
目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において
物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。
1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存
2.静電場
・クーロンの法則とガウスの法則
・電位とその性質
・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理）
・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス
演習
3.定常電流
・オームの法則、連続の方程式
・回路への応用（キルヒホフの法則）
・ジュール熱
4.定常電流による磁場
・アンペールの法則
・ビオー・サヴァールの法則
・電流に働く力
・円電流と等価磁石
・磁場のエネルギー
・単位系
5.時間的に変動する電磁場
・ファラデイ・レンツの電磁誘導の法則
・交流回路
6.変位電流とマクスウェル方程式
・変位電流と電荷の保存
・マクスウェル方程式 （積分形）
・平面電磁波
演習

成績評価方法

主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること

教科書

その他。／Other
書名
著者(訳者)
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50524	水 2	若本 祐一	1 年 理一(1-6,31-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19,21-22,24)
50745	木 2	加藤 雄介	1 年 理一(7-9,14,21-24,26-30)理二三(4,12-14,17-18,23)
51061	金 4	野海 俊文	1 年 理一(10-13,15-20,25,36)理二三(5-6,9-10,15-16,20)

構造化学

構造化学	開講区分	A

授業の目標・概要

物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである．

1. 量子論の必要性
   ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子)
   ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波)
2. 量子論の基礎
   ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点)
   ・1 次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色)
   ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造)
3. 原子の構造と性質
   ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道)
   ・Pauli の排他原理(電子スピン)
   ・多電子原子(元素の周期律と構成原理)
4. 化学結合と分子
   ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合)
   ・2 原子分子(分子の性質と電子構造)

成績評価方法　定期試験。必要に応じて中間テスト・演習（クイズ）・出席状況を勘案する。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

書名

著者（訳者）

出版社

ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50043	月 2	奥野 将成	1 年 理一(5,31,33-34)
50047	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50051	月 2	十代 健	1 年 理二三(5,7,9,11)
50099	月 3	青木 優	1 年 理一(29,35-36)
50105	月 3	木下 卓巳	1 年 理二三(6,12-13)
50202	火 1	岩崎 純史	1 年 理一(9,12,38)
50218	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(15,17,20)
50344	火 3	山崎 康臣	1 年 理一(8,11,13,30)
50356	火 3	杉原 加織	1 年 理二三(8,14,22)
50357	火 3	安池 智一	1 年 理二三(10,18-19,23)
50585	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,24,28)
50591	水 3	澁田 靖	1 年 理一(16,19,27)
50626	水 4	城野 亮太	1 年 理一(6,10,14-15)
50629	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(23,25-26)
50630	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(32,37,39)
50798	木 3	生井 飛鳥	1 年 理一(1-3,7,17-18)
50809	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-4,16,21,24)
50894	木 6	羽馬 哲也	1 年 理科
51107	金 6	羽馬 哲也	1 年 理科

生命科学 II

生命科学II	開講区分	A

授業の目標・概要
細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。
１．細胞内輸送
２．細胞骨格と細胞運動
３．細胞間・細胞内情報伝達
４．神経伝達と機能
５．細胞周期
６．動物・植物の発生
７．遺伝子の発現制御
８．ゲノムと進化
９．生物多様性

成績評価方法
実施の詳細は担当教員から指示される.

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第５版
著者(訳者)　東京大学生命科学教科書編集委員会 編
出版社　（株）羊土社
ISBN　978-4-7581-2102-6

関連ホームページ
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50156	月 4	加納 純子、武内 秀憲	1 年 理二三(14,16,18-19)
50157	月 4	瀬尾 秀宗	1 年 理二三(20-23)
50918	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,9-11)
50925	金 1	佐藤 健、北西 卓磨	1 年 理二三(12-13,15,24)
51032	金 3	阿部 光知、長谷部 政治	1 年 理二三(1-6,8,17)

展開科目 社会科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50171	A	社会科学ゼミナール（国際関係）	石田 淳	国際関係	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	核時代の国際政治
授業の目標概要	核兵器は 1945 年になぜ使用されたのか。そしてそれ以降 80 年間に亘って、なぜ使用されなかったのか。はたして今後もこの不使用の歴史が続くのだろうか。 今学期は、核時代の国際政治についてミニ講義と演習とを組み合わせて広く深く考える。 最終的な目標は、核問題を題材に国際政治学の思考様式を身につけることにある。 なお、履修希望者が 20 名を超える場合には、初年次ゼミナール文科の小論文を主たる基準として参加者を決定する。したがって、履修希望者は所定の期間（UTOL で指定するが、第一回の授業から第二回の授業の間）に小論文を提出（UTOL でのアップロード）できるように準備しておくこと。選考を行う場合には、その結果は UTOL のお知らせの欄を用いて通知する。 なお、科類の関係で初年次ゼミナール文科を履修していない場合には、同科目の課題である小論文と同等の論文（この授業の内容と関連するテーマを選び、それについて既存の研究や議論を可能な範囲で踏まえたうえで、所見を 4,000 字程度にまとめたもの）を作成し、提出することを求める。
成績評価方法	演習における議論への貢献（報告者、討論者としての発言に限定されない）と、学期末の小論文によって成績を評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Nina Tannenwald The Nuclear Taboo Cambridge University Press 978-0-521-52428-5
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50236	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	小山 裕	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	研究入門：計量歴史社会学の射程
授業の目標概要	計量歴史社会学は、過去に行われた社会調査等のデータを収集・整理・分析する社会学の一分野です。本演習では、担当教員とともに、この分野の研究に従事することを通じて、主に次の 3 つ課題に取り組みます。 1．戦後日本社会の形成過程を、特に戦争の影響に留意しつつ、過去に実施された経験的な社会調査データをもとに記述・検証する論文の執筆。 2．アカデミック・ライティングや R などの統計分析ツールの基本的な使い方といった研究のための実践的なスキルの修得。 3．歴史的・社会的現実とデータの関係や史料としての統計データの性質といった理論的な問題の検討。 本演習で扱うデータの候補としては「京浜工業地帯調査（従業員個人調査）」(1951 年)、「貧困層の形成（静岡）調査」(1953 年)、「SSM 調査（1955 年、65 年、75 年)」、「神奈川県における民生基礎調査（ボーダー・ライン層調査)」(1961 年）などがあります。 今学期は、特に日本における福祉政策の形成過程に注目したいと考えていますが、どのデータを用いるかは履修者の関心に応じて決めます。 履修希望者が 20 名を超えた場合、小論文による選考を行う可能性があるので、初回の授業には必ず出席してください。受講許可は第 2 回の授業日までに掲示によって告知します。
成績評価方法	平常点（議論への貢献） 60% 論文 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50237	A	社会科学ゼミナール（社会・社会思想史）	橋本 摂子	社会・社会思想史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	質的調査の方法
授業の目標概要	社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。社会調査士【F】科目。
成績評価方法	授業中に出される諸課題、レポート等。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51084	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	内山 融	法・政治	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の研究
授業の目標概要	現在、中央省庁や地方自治体など政策の現場で EBPM（evidence-based policy-making, エビデンスに基づく政策形成）の導入が進んでいる。EBPM とは、政策の効果を科学的手法できちんと測定した上で、そうしたエビデンスに基づいて政策形成を行う活動である。 この授業では、EBPM の基本的な考え方や手法、海外や日本国内での先行事例、具体的な政策分析について理解を深めたい。 公務員や政策研究者を志望する人はもちろんのこと、シンクタンク、コンサル、NPO などで政策に関わりたいと考えている人に特に参加してほしい。そうでない人ももちろん歓迎する。
成績評価方法	平常点による（報告と議論への貢献）。期末レポートを課す可能性もある。 詳細は UTOL に掲載するシラバスを参照すること。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大竹文雄・内山融・小林庸平 EBPM エビデンスに基づく政策形成の導入と実践 日本経済新聞出版 9784296115266
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51328	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	白石 忠志	法学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	駒場白石ゼミ
授業の目標概要	白石が研究上の関心を持っている問題の中から題材を取って、基本的な解説をした上で、学生が調べて発表する機会も設ける、というゼミとする予定です。したがって、法学入門のあり方から、専門分野の国内法・外国法（英語）に至るまで、様々な可能性があります。 9 月末までに、UTOL に、この授業のポータルドキュメントへのリンクを置きます。どのような題材が考えられるかを含め、詳しいことはポータルドキュメントに書きます。 1 年生・2 年生を問わず、また、法学部進学の有無を問わず、参加を歓迎します。参加人数などの制限は設けません。 16:50-18:35 の 105 分とします。 補足 ▼S セメスターのシラバスで予告していたのとは異なる曜日に開講します。 ▼A セメスターの社会科学ゼミナールは、1 年生だけでなく 2 年生も履修登録できるようです。
成績評価方法	履修登録者に対する単位認定は、しっかり参加した学生について、行います。レポート・試験はありません。
教科書	その他。／Other 随時、資料を配布することがあります。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51329	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	遠藤 乾	法学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	本演習では、E・H・カーを題材にとり、国際政治について考えていく。 カーは、いうまでもなく国際政治学の始祖の一人である。彼の論考はよく読まれ、論じられてきたが、同時に型にはまらない分、誤解もされてきた。 近年改訳が進んだこともあり、ここでは国際政治学の古典でもある『危機の２０年』（原彬久訳）『平和の条件』（中村研一訳）『歴史とは何か』（近藤和彦訳）を精読し、そのなかから国際政治にかかわる学説、思考法、そこに潜む課題を掘り下げることとしたい。（原典精読のまえに、カーの伝記であるジョナサン・ハスラム『誠実という悪徳――E・H・カー 1892-1982』現代思潮新社、2007 年、を読む予定。） 余裕があれば、実務家のゲストを呼ぶなどして、カーの韻をふみつつ、時空間を超え、現在進行形の危機とその時代における平和について、考えるセッションをもちたい。
授業の目標概要	１．国際政治の基本的な概念・思考法について知識を得、考える能力を養う。 ２．カーが生きた時代背景と分析対象を踏まえつつ、現在進行形の問題を、広く理論や歴史の観点から分析する素地を作る。 ３．精読の訓練をする。 ４．併せて、討論やプレゼン（＋司会）の技法を学ぶ。
成績評価方法	・基本的に授業における議論への参画度合いによって判断する。 ・発表・コメント等をドタキャンした履修者を高評価することはない。 ・三回以上休んだ者には単位を与えられない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook E・H・カー（原彬久） 危機の二十年――理想と現実 岩波書店 978-4003402214
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51330	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	酒井 智大	法学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本中世法制史料入門
授業の目標概要	日本中世法制史の史料を読解するための手ほどきを行う。具体的素材として、日本中世において最も精緻な紛争解決システムを発達させた、鎌倉幕府の法と訴訟手続にかかわる史料を用いる。 履修にあたって選考は行わない。あらゆる関心の参加希望者を歓迎する。
成績評価方法	授業中のパフォーマンスによる。ゼミであるから、毎回の出席が単位付与の前提となり、無断欠席は著しい負の評価をもたらす。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51331	A	社会科学ゼミナール（法・政治）	梅林 啓	法学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	法律実務家からみた「法律を学ぶことのススメ」 法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益などについて、検事、弁護士としての経歴を有する法律実務家の観点から、様々な法律、法分野、国や社会の制度について、事例を交えながら、わかりやすく講義する授業。
授業の目標概要	私たちの社会や生活は、あらゆる面において、法律によって規制されている。「規制」というのは、自由を奪うという側面もあるが、法律がなければ、無秩序な社会になるだけなので、法律は私たちに平穏な生活をもたらすツールでもある。法律は、誰に対しても否応なしに適用されるものなので、法律を知っていることは生きていくための武器になる一方で、法律を知らないことで損をすることも多い。 法律を学ぶことは難しいと感じている人も多いかもしれないが、全ての法律を知る必要はない。法律を学ぶコツを知れば、必要なときに法律を知りに行くこともできる。ただ、法律は深く学べば興味は尽きない学問でもある。 この授業は、検事として 16 年、弁護士として 18 年の経験を有する法律実務家が、法律を学んだことのない学生を対象に、法律を学ぶことの意義、楽しさ、将来への実益について、様々な切り口から講義することを内容とする。そして、社会に出たときに、法律を学んだことがどう役立つかを理解し、法学部によるさらなる学業への意欲に繋げることを目標とするが、法学部に進学しない人にとっても、法律を学ぶことに興味を持つことを目標とする。 なお、履修に条件は設けない。
成績評価方法	出席
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

展開科目 人文科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50158	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	高山 大毅	国文・漢文学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	荻生徂徠『風流使者記』会読
授業の目標概要	荻生徂徠の紀行文である『風流使者記』を会読します。宝永三年（1706）に、徂徠は田中桐江戸（省吾）とともに主君である柳沢吉保の命を受け、柳沢家の所領である甲斐を視察しました。『風流使者記』は漢文で書かれた紀行文ですが、旅路での徂徠と桐江の大言壮語や冗談が生き生きと描かれており、読み物として興味が尽きないものです。返り点の付された本を用いるので、初歩的な漢文の知識があれば、詩はともかく文に関しては、理解はそう難しくないように思われます（『風流使者記』は詩が挿入されていることに特色があります）。『風流使者記』を通じて、江戸期の文学・思想について理解を深めることが本授業の目標となっています。
成績評価方法	各回の発言で成績評価を行います。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50240	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	アルヴィ なほ子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	詩とは何かーー外国語、日本語、翻訳、生成 AI をめぐって
授業の目標概要	履修希望者は、「課題」を提出してもらって選考し、20 名程度に受講を許可します。受講許可は第 2 回までに UTOL のこの授業のページで告知します。「課題」は初回授業開始時までに提出して下さい。初回授業は必ず出席すること。 「課題」は google form です。g.ecc のアドレスを用いて、以下のリンクからフォームを取得して回答してください。 https://forms.gle/8zKj1x9kvNTvBazm7 目標）英語で書かれた文学テクストを精読し、文学的なことばの使い方を学び、文学テクストを鑑賞し、批評するやり方を学ぶ。文学テクストを研究する場合に生成 AI をどのように活用・利用できる（できない）かを検討する。 １）文学テクスト、特に詩（韻文）を読むとはどういうことかを理解する。 ２）文学テクストが影響関係の中で織りなす文学空間、文学の外部――同時代のコンテクスト、現代の理論など――などを考察しながら、１つの作品（テクスト）を精読していくやり方を学ぶ。 ３）一次資料の扱い方、OED などの使い方に慣れる。Bibliography（Book history）の初歩を学ぶ。 概要）ことばが文学テクスト、特に「詩」となって花開くとき、何が起こっているのか、文学テクストの生成と想像力の関係、そのテクストが生み出される文化との関係、固有の文化、時間を越えた広がりについて考察します。現代にも大きな影響を与えているイギリス・ロマン派の詩作品を例に検討します。
成績評価方法	授業に関連するアクティヴィティ（口頭発表、ディスカッションへの参加、コメントなどの課題など）60%、 期末レポート 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ed., Marc R. Plamondon. Representative Poetry Online (https://rpo.library.utoronto.ca/） University of Toronto
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50487	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	矢田 勉	国文・漢文学	水 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	平安時代語資料としての訓点資料の読解
授業の目標概要	平安時代の日本語は、源氏物語をはじめとする所謂仮名文学以外に、漢文に訓点を施した訓点資料およびその関連資料としての古辞書などからその実態が解明されてきた。 本授業では、平安時代の訓点資料とはどのような文献資料であるかを理解した上で、実際にその解読方法に触れることを目標とする。 そのことを通じて、日本語史の研究法、日本語史さらにより広くは日本文化史における旧仏教寺院資料の持つ意義などについても理解する。
成績評価方法	平常点および期末レポートにより総合的に判定する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51383	A	人文科学ゼミナール（ことばと文化）	松山 洋平	文学部	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イスラム思想アラビア語原典講読
授業の目標概要	アラビア語で書かれたイスラム思想の古典の原書講読を行い、イスラム思想についての見識と理解を深めることを目指す。 講読するテクストは、イスラム法学の名著とされる、イブン・クダーマ・アル＝マクディスィーの『アル＝ムグニー（充足させるもの）』の「サラート（礼拝）の書」とする。法学書にはクルアーンやハディースの引用も多いので、それらを読む訓練を兼ねている。 なお、受講生が極端に少なく、受講生全員の関心領域が近接する場合には、学期の後半に、講読するテクストを変更することもあり得る。
成績評価方法	毎回の授業でのテクスト読解の出来と、各受講生のアラビア語能力の中で工夫してテクストを読み解こうとする姿勢により評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50239	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	小田 博宗	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	言語科学入門：生成統語論（統辞論）
授業の目標概要	言語は人間にとって最も身近なものの一つであり、人間から切り離すことのできないものである。それゆえに言語について考える際は主観的・観念的になってしまうことが多く、言語について客観的・科学的に考えることは、相応の訓練を積まなければ難しい。 この授業では、言語を客観的に観察し、分析する手法を学ぶことで、言語を科学的に研究する思考・技術を身につける。取り上げるのは統語論（もしくは統辞論、英語で syntax）と呼ばれる分野で、これは言語の文法を研究する分野である。ここでの「文法」とは、一般的にイメージされる語学の際に学ぶような（ともすれば暗記事項と思われがちな）個別具体的な項目ではなく、「人間言語の一般法則」のことを指す（もちろん語学においても言語の法則性として文法を考えることは有用である）。まず「言語」とは何か、そして「言語」はどこからやってくるのか、といった根源的な問いから始め、そうした問いに正面から向き合う生成文法理論と呼ばれる言語理論を学び、反証可能性、必要十分条件といった基本的な概念を踏まえながら言語データに対する客観的・科学的分析を積み上げていく。 教科書は英語で書かれたものを使用する。洋書を丸々一冊読み切ることで、英語の読解力や表現力を向上させるとともに、英語の文献を読む体力作りを行う。ただし、教科書自体は平易に書かれているため、関心さえあればたとえ英語に苦手意識があっても是非挑戦していただきたい。 言語（学）や人文科学に関心がある学生のみならず、社会科学、生命科学、自然科学、機械工学等、科類を問わず、どのような分野に関心がある学生も歓迎する。
成績評価方法	毎週の課題および期末課題を踏まえて、総合的に判断する。 期末課題はレポートもしくは試験になるが、最終的な判断は履修者数による。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Richard K. Larson Grammar as Science The MIT Press 9780262513036 入手方法は初回授業で案内するが、確実に履修することを決めている方は、事前に入手してもらって構わない。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50934	A	人文科学ゼミナール（データ分析）	大森 拓哉	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	心理学統計法
授業の目標概要	今日注目を集めているデータサイエンスという分野において重要なことは、物事を客観的に判断するために証拠となるデータを集め、的確に分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、統計ソフト R と EXCEL 上で動く HAD を用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。基礎統計の授業などで学んだ理論を実際のデータを自分の手で分析することによって理解を確実なものにすることを目的とする。 授業では、講義と演習を行うが、PC を用いた演習を主とする。演習においては、各自の調査内容をプレゼンテーションする機会も設ける。 受講者数が収容人数（30 名程度）を超えるような場合には受講人数に制限を設けることがある。その場合は初回授業出席者の中から選考する。
成績評価方法	平常点、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 平常点 20%、課題点 80%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50238	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	藤川 直也	哲学・科学史	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	言語哲学の古典的文献を読む。
授業の目標概要	現代の言語哲学の基礎をなす古典的な文献を精読する。今年度は、ポール・グライスの『論理と会話』という著作を取り上げる（この著作をすべて読むではなく、受講生の関心を踏まえつつどの章を読むかを決める）。専門的な論文の読み方（cf. ノートの取り方、批判的検討）、言語哲学を研究するための基礎的な知識の獲得を目指す。 なお受講許可のための選考は実施しない。
成績評価方法	学期末レポートに基づいて評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51384	A	人文科学ゼミナール（哲学・科学史）	横手 裕	文学部	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	東洋医学の根本経典『黄帝内経』を原典で読む
授業の目標概要	中国医学、および日本医学の根本経典である『黄帝内経』を、漢文の原典で読みたいと思います。テキストは訓点・送り仮名がついたものを使います。授業の最初の数回は漢文や中国医学の基礎的な知識についてお話しします。その後は参加者のみなさんに原典読解にトライしてもらい、自力で中国医学古典を読む力が身につくようにしたいと思っています。 授業を通して、陰陽思想に基づく中国医学の考え方や東洋的身体観の基本について認識を深め、あわせて初級～中級レベルの漢文読解の能力を着実に身につけてもらえればと考えています。
成績評価方法	授業参加（発表など）・授業出席率
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50933	A	人文科学ゼミナール（文化人類学）	中村 沙絵	文化人類学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	研究入門—語りと経験から考える身近な他者
授業の目標概要	文化人類学の根本には、異なる文化や価値観をもつ人びとの経験に耳を傾け、その意味を当事者の視点から理解しようとする姿勢がある。こうした態度は、文学や映像作品を共感的に読み解き、想像力を養う営みとも深く通じている。本講義では、身近な他者をキーワードとして、移民を題材にした映像・読み物、日本の在日女性作家による文学などを取り上げる。そして語り手の声に寄り添いながら、異なる経験を受けとめ、自分の立場を問い直すことについて考える。
成績評価方法	授業中の発表（40%）とディスカッションへの貢献度（60%）で評価を行う。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50172	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	桜井 英治	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中世日本の史料を読む
授業の目標概要	古代・中世史研究で使われる史料の多くは、変体漢文とよばれる特殊な漢文で書かれている。それは中国漢文が日本列島に入り、長い年月をかけて独自の変化をとげたものであり、それを読みこなすには一定の訓練と習熟が必要になるが、ひとたび慣れてしまえば、これ以上におもしろい世界はない。そのおもしろさに触れてもらおうというのがこの授業の第一の目標である。一方、一口に史料といっても、古文書・古記録・著述、あるいは一次史料か二次史料かに応じて求められる史料操作も異なってくるし、近年では文献史料ばかりでなく、考古学や民俗学資料の活用も不可欠になってきている。これらさまざまな史・資料を扱う際の技術や心構えについてもあわせて学んでもらうことになろう。 なお授業は第 1 回のみオンラインで実施し、第 2 回以降はすべて対面授業とする。したがって履修者も対面で受講可能な学生に限定する。履修者数は最大 25 名程度とし、第 1 回授業でそれを超えたばあいには授業内にヒアリング・くじ引き等による選抜をおこなう。
成績評価方法	出席態度、小テスト、学期末のレポート等によって総合的に判断する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50687	A	人文科学ゼミナール（歴史学）	外村 大	歴史学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本軍慰安婦の歴史研究
授業の目標概要	日本軍慰安婦がどのように集められたのか、いかなる待遇を受けたのか、そこに日本帝国やその軍隊は関わっていたのか、否かといったことは、1990 年代半ばから、日本や韓国において論じられてきた。この問題を取り扱った論著には、歴史研究の手法をまったく無視したものもあるが、しかし、史料が少ない中で、研究が進展したことも事実である。だが、にもかかわらず、史実をめぐって現在でも、対立的な意見が提示されている点が残されている。 そこで、日本軍慰安婦の史実について扱った代表的な論文を読みながら、現在までの研究の成果と課題を改めて確認していく。そこでは日本語だけでなく、韓国朝鮮語の文献も扱う予定である。 その作業を通じて、朝鮮近現代史、日本近現代史の理解を深め、基礎的な歴史学の手法の習得も目指す。 受講にあたっては、朝鮮韓国語について学術論文を読み内容を把握するレベルの読解能力があることが望ましい。 また、履修希望者が 20 名を超えた場合は、レポートを課して選考するので、初回授業に必ず出席すること。
成績評価方法	授業での報告、討論での寄与および学期末のレポートをもとに評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

展開科目 自然科学ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50241	A	自然科学ゼミナール（化学）	平岡 秀一	化学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	有機反応機構を考える
授業の目標概要	本ゼミナールは実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。講義では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考え、さらに、なぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業は、高校までの知識で履修可能で、特別な予備知識は必要としません。基本からはじめ、順にレベルが上がっていきますので、興味のある方、大歓迎です。なお、本講義では、受講希望者が多数の場合は、選抜を実施します。履修希望者はできるだけ第 1 回目の講義に出席してください。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示します。参考として、過去に受講者の選抜が行われたことはありません(平均して 15 名程度履修しています)。
成績評価方法	平常点および期末試験により評価を行います。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts オンラインで行う場合は、ITC-LMS を通して資料を提供します。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51425	A	自然科学ゼミナール（情報科学）	伊東 乾	情報学環	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。
授業の目標概要	
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50159	A	自然科学ゼミナール（身体運動科学）	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アドバンスト・フィットネス
授業の目標概要	定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員 25 名）。受講希望者が 25 名を超過した場合には、受講を希望する理由書（第 1 回講義の時間内に課す）に基づき選抜を実施する（詳細は、下記の「履修上の注意」を参照すること）。選抜結果は、第 2 回講義前までに UTOL に掲載する。
成績評価方法	出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50242	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	佐々田 槙子	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「美しさ」を数学で捉える-離散調和解析-
授業の目標概要	離散調和解析という分野は比較的新しく、高校までに学ぶ数学のみを主な前提知識としながらも、グラフ理論、群論、幾何学、確率論など、数学の様々な分野が見事につながり合う面白さを味わうことができる。離散調和解析の入門書として、分野を切り開いた第一人者により書かれた名著「ダイヤモンドはなぜ美しい?離散調和解析入門」を輪読し、対象を捉える様々な数学的考え方を知り楽しむことを目指す。 数学についての高度な予備知識は全く必要としない。受講者には、発表の準備のためにじっくり考える時間を確保し、わからないことはどんどん質問するなど、積極的に参加することを期待する。 なお、受講希望者が多数の場合は、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は第 1 回講義に必ず出席すること。第 1 回講義の参加者が多数の場合、その場で受講を希望する理由書の記入の時間を設ける。選抜結果は、第 2 回講義前までに掲示する。
成績評価方法	発表内容やグループディスカッションへの参加、毎回のリアクションペーパーなどで評価します。試験はしません。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 砂田利一 ダイヤモンドはなぜ美しい？ 丸善出版 978-4-621-06267-8
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50935	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	植田 一石	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	群と対称性
授業の目標概要	本ゼミナールでは, 自然界に存在するさまざまな形態の対称性や周期性を数学的に記述する群の概念の基礎を学ぶ。また、将来、物質科学などでも必要になる結晶群や、群の行列表現と指標などにもふれる。具体例を通して、受講者が主体的に課題に取り組めるようにする。
成績評価方法	発表を中心とした授業への参加による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51136	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	長谷部 政治	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	～生体脳は培養できるのか？～昆虫脳をモデルにした組織培養とその定量的評価
授業の目標概要	SF の物語などで「ガラスケース内で脳を培養している」といったシーンが出てくることがありますが、実際に「生体脳」をどの程度培養することが可能なのでしょうか？ 本講義では実習形式で、履修者自身の手で昆虫を実験モデル実際に脳組織摘出と培養を行い、組織培養の基礎にふれてもらいたいと思います。更に、その脳組織中の細胞が培養しても正常に「生きている」のかを、遺伝子発現解析・死細胞標識を行うことで定量的に評価します。これら一連の実習を通して、組織培養・定量解析技術の獲得を目標とする講義となっています。 本講義は実習（午後半日:3 コマ分×4 回）＋まとめ（1 コマ分）で構成されております。 実習パートの概要として、昆虫を実験モデルに用いて組織摘出と培養、遺伝子発現解析（リアルタイム PCR）と死細胞標識を以下のような予定で行います（詳細は授業計画も参照してください）。 第 1 回：実習内容のガイダンス、昆虫解剖・脳摘出の練習 第 2 回：昆虫脳の摘出と培養液への移行、摘出直後の脳の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 3 回：培養後の RNA 抽出と死細胞標識・カウント 第 4 回：培養前後の脳の遺伝子発現の定量的解析（リアルタイム PCR 法） 「自然科学ゼミナール（生命科学）」は、実習形式での実施のため受講可能人数・日程が限られているため、受講希望理由・受講可能日程調査票を提出してもらい、受講者を選別します（受講選抜者：最大 3-4 名程度を予定しています）。 履修希望者は 10 月 5 日（日）までに、以下の Google form（東京大学アカウント：ECCS メールアカウントからのみ回答可能）から申し込みを行ってください。 https://forms.gle/aZRZKCWyhAv49GcX7 選抜結果は、10 月 8 日（水）までに通知します。
成績評価方法	実習への参加度と実習内容をまとめたレポートにより評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51137	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	武内 秀憲	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	植物生殖遺伝学実習 ―被子植物の有性生殖の仕組みを視て、理解して、制御する―
授業の目標概要	有性生殖は生物の繁栄に必須の過程であるだけでなく、進化多様性を生み出す原動力でもある。植物の有性生殖は種子や果実の生産に深く関わっており、人類は古くから有用品種の育種を目的に人為的な交配をおこなってきた。では、植物が交配（受粉）した後、花の内部ではどのような現象が起きているのだろうか？そして、それらはどのような仕組みで制御されているのだろうか？ 本ゼミナールでは、花の内部で起こる現象に着目した実習形式のコースを通じて、植物の有性生殖の仕組みを理解するとともに、実験生物学の手法や考え方を体系的に学ぶことを目的とする。具体的には、モデル植物シロイヌナズナやその近縁種を用いて、雄の花粉管細胞がどのようにして動くのか、雄と雌が出会い受精した後に胚がどのように発生するのかなど、雌雄間で繰り広げられる多段階コミュニケーションの原理とその特異性について考察する。 本授業は実習形式で行うため、日程調整ならびに受講者の選抜を実施する。受講希望者は 10 月 6 日（月）までに LMS のメッセージ機能または武内へ直接 E-mail にて「氏名、所属、学生証番号、受講を希望する理由（200 字程度）、日程についての回答（※「授業計画」に記した実施予定日に参加できるか、複数の候補がある回では参加可能な日）」を連絡してください。選抜・日程調整の結果は 10 月 10 日（金）までに通知する。
成績評価方法	参加状況と実習レポート（12 月 26(金)提出締切）により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51138	A	自然科学ゼミナール（生命科学）	池田 啓、土畑 重人	生物	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	自然史生物学：博物館の標本から学ぶ生物多様性
授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 博物館が保有する標本をもとに生物の進化や多様性について考察することで，生物多様性に関する知識が形成されたプロセスを理解できるようになることを目標とする。 自然史博物館の役割を解説した上で，国立科学博物館（上野本館，及び筑波実験植物園[予定]）を見学し，博物館の活動を学ぶとともに生物標本を観察する。観察した標本から生物の進化や多様性に関する考察を行い，考察した内容の発表をもとにディスカションを行う。 「自然科学ゼミナール（生命科学)」では，実習及びディスカションを円滑に行うため，受講希望者を選抜する。ガイダンス後に UTOL 経由でアンケートを実施し，受講を希望する理由や集中講義を実施する日程などをもとに履修者を選抜する。選抜結果は，10 月 10 日までに通知する。（＊選抜に関する詳細は，ガイダンスの際に改めて連絡する)。
成績評価方法	出席状況をもとに総合的に評価する。出席だけでなく，プレゼンテーションでの発表やディスカションに対する取り組みなどを評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

展開科目 文理融合ゼミナール

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50652	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	中井 悠	先進融合	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	（偽）実験音楽史／Pseudo-History of Experimental Music
授業の目標概要	「実験音楽」を「論」として真面目にお勉強することほど、非実験的で、実験音楽の精神に反することはありません。 この授業では「実験音楽」を、歴史上の閉じたジャンルとしてではなく、これまで「音楽」と呼ばれてきた営みを問い直し、その外部へと切り開いていくたくさんの事例の開かれたネットワークとして考えます。そして、過去の実践や理論や問題を検討しながら、自分たちでもじっさいに実験を繰り広げることで、あり得たかもしれない実験音楽の作曲家や演奏家や作品や理論（「偽実験音楽史」）を構想・空想・妄想していきます。そうすることで、これまで「実験音楽」と呼ばれてきた営み自体を問い直し、その外部へと切り開いていくことを目指します。 具体的にはこれまでの実験音楽の歴史に登場したたさまざまな実践を個別の問題系に即して語る「紙芝居の回」と、それを踏まえてあり得たかもしれない「偽実験音楽」を構想・空想・妄想する「実験の回」を交互に行ないます。 この授業は総合科目「偽西洋音楽史（音楽論）」の実践編として組み立てられていますが、前提知識は必要ありませんので「偽西洋音楽史（音楽論）」を履修していない学生と聴講生も歓迎します。
成績評価方法	出席、参加、発表を踏まえた自己採点
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50864	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	斉田 一樹	先進融合	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	電子楽器制作入門
授業の目標概要	簡単な電子工作、プログラミングを通じて音の仕組みを学びながら、自分の手で電子楽器を作ります。アナログ/デジタルの電子回路やマイクロコントローラ、PC やブラウザなどを使い、それぞれの方法で音が出るものを作ります。その過程で音の仕組み、利用する技術や音を使った表現や、関連する学問分野などについて、幅広く学びます。 最終的に自作の楽器で簡単な演奏を行うことを目的に、制作を行います。 専攻不問。未経験者を歓迎します。
成績評価方法	授業の進捗により判断（各自の制作と発表の時間が別にとれれば、発表内容で判断）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50865	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	金井 学	先進融合	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	メディア=都市空間への介入と漂流、あるいはその換骨奪胎
授業の目標概要	この授業では、私たちの生活世界を構成している都市の空間をメディアとしてとらえ、そのメディアの裏をかくことで、隠された可感的領野を探求します。 私たちが日常の生活の中で私たちを取り巻く世界を感覚する時、そこには世界と私たちの感覚との媒（なかだち）となるもの＝メディアが存在しています。従って「私たちは何を感覚するか？」はメディアのあり方に拘束されており、「私たちは何を感覚することができる（ようになるの）か？」という可能性もまたメディアと私たちとの関わりのあり方にかかっていると言えるのかもしれません。 この授業では、東京を代表する都市の一つである「渋谷」の街を一つの巨大なメディアとして捉え、20 世紀フランスの前衛芸術運動体であるシチュアシオニスト・インターナショナル（1957-1972）の芸術活動とその方法論を手引として、この渋谷というメディアのあり方を探ります。そして、そのメディアへの介入やその空間での漂流を画策し、そして都市空間=メディアを換骨奪胎することで、その拘束=感覚のを作り変えることを試みます。 フィールドワークを通して音声、写真、スケッチ、その他を採集するとともに、それらを教室に持ち帰って観察とディスカッションやリフレクションを行い、メディアの残滓から新たな感覚の手触りをもたらす事物の構成に挑戦します。
成績評価方法	出席、参加度や積極性、制作物などから総合的に評価します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50937	A	文理融合ゼミナール（メディアと芸術）	越田 乃梨子	先進融合	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	見ることの再構築：映像の種を探る
授業の目標概要	出来事の記録や物語を伝える手段として広く用いられてきた映像を、それを構成する（目をはじめとする）諸々のメディアが持つ独自の特性や根本的な仕組みに立ち戻ることで、その存在基盤から見つめ直す授業です。カメラオブスキュラを通じて光がイメージを生み出す原理を体感したり、カメラやプロジェクターを使わずに映像を体験するさまざまな実験を通じて、私たちが生きる世界に潜む映像の原型を探ります。さらに、私たちのイメージへの欲求が映像をどのように発展させてきたのかを、日常の感覚を見直しながら考察します。これらの体験を通じて、映像が時空間や認識を揺さぶる装置としてどのように見るという行為に働きかけるのかを実験しながら、新しい視覚や感覚の発見につなげます。
成績評価方法	授業への積極的な参加と課題等の提出物などをふまえた自己採点。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51139	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	舘 知宏	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	つながるかたち
授業の目標概要	文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「つながるかたち」では、手を動かして「かたち」をつくることを端緒とし、科学的視点で発見すること、問いを得ること、その問いを解くことの連鎖を実践します。研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、CAD・プログラミングによるモデリングなども行います。
成績評価方法	研究活動への取り組み、対外発表等への取り組みなどを総合して評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51427	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	筧 康明	情報学環	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	マテリアルインタラクション
授業の目標概要	文理融合ゼミナール「研究入門」では、芸術と諸学術の協働により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「マテリアルインタラクション」では、物理的な素材の特性や現象に着目しながら、コンピュータを介した新しいインタラクションを創出することを目指します。身の回りの素材を含むものの特性に注目し、ディスプレイやセンシングなどインタフェースへの活用方法を考えます。さらに、アプリケーションシナリオの提示や作品表現などアウトプットやプレゼンテーション方法にもこだわりを持って進めます。 研究テーマに応じて、研究室のデジタルファブリケーション機器などを用いた製作や、Arduino などを用いた電子工作なども行います。 受講に際してガイダンスを、10/6 6pm-オンラインで行います（リンクは UTOL に記載します）。受講には課題の提出が必要になりますので、ガイダンスを受講するようにしてください。
成績評価方法	授業への取り組み（出席は重要視します）、成果、対外発表などを総合して評価を決定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51460	A	文理融合ゼミナール（研究入門）	中井 悠	先進融合	月 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	副産物ラボ／Side Effects Lab Of the University of Tokyo [S.E.L.O.U.T.]
授業の目標概要	文理融合ゼミナール「研究入門」では、学芸技術の連携により得られた諸分野の問いに実際に取り組み、教員のメンターシップのもと、研究発表、展示・公演、社会実装などを目指します。 「副産物ラボ」では、さまざまな専門を持つ学生たちとともに、広い意味でのパフォーマンスの研究と制作、そして「癖」や「影響」などの関連トピックを軸とするセミナーや出版物の企画を行なっています。同時に、ラボの名前通り、個々の目的を追求しながらも、その過程において生じてくる思いがけない副産物や副作用にも注目し、それらを活動に回収していくことも目指します。ラボの詳しい活動についてはホームページを見てください（http://selout.site）
成績評価方法	取り組み、出席、成果などを総合的に踏まえた自己評価。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50173	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	中井 悠	先進融合	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Archi-Choreographies：振付としてのクセ（SEASON 10）
授業の目標概要	口癖、手癖、怠け癖、思考壁、酒癖、難癖、曲者、潔癖、寝癖、癖が強い、などなど、日本語の「クセ」という言葉は、単なる「習慣（habit）」には収まらない広がりを持つ不思議な概念です。この授業では人の持つさまざまな「クセ」を、当人が知らない間に身体や思考に植え付けられた根源的な「振り付け（コレオグラフィー）」とみなし、拡張されたダンスの問題として捉えます。そしてそのような身体や思考の偏りを受講生どうしの相互観察を通じて探り合い、個々のクセの来歴を明らかにしたり、それを他人に移したりすることで、個人の「その人らしさ」という感覚がどこで生み出され、どのように変容しうるかを検証します。新しい振付を考えることでダンスをいわば足し算的につくる通常のアプローチとは逆に、各自が気づかないうちにすでに踊っている振付を露わにすることで引き算的にダンスを浮かび上がらせる試みです。
成績評価方法	出席、参加、学習・納得の程度、発表などを考慮に入れた自己採点をベースとします（怠け癖、虚言癖は減点の対象になります）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51085	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	西原 尚	先進融合	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	音が鳴る物を手作りすることから、自分の体を完全に客観視する。
授業の目標概要	毎回の授業で、ひとつずつ、音が鳴る物を作ります。作業を通じて、自分の体の働き方を見つめ直します。手で材料を加工し、音を鳴らし、耳で聞き、そして手の作業を繰り返し、再び音を鳴らして、耳で聞き、手の作業を重ね、音の鳴り具合を確認し、手の作業に戻るといった、体の連携とフィードバックの作業を行います。音を媒介に耳と手の連携を見直す作業であり、普段は使わない思考回路の開通作業でもあります。理屈で音が鳴る仕組みを理解することと同時に、またそれ以上に鳴り物の音の具合に耳を澄ませながら、手触りや手探りを頼りに次の手作業を判断する、という作業です。そして耳と手を使うことから、体全体のネットワークを再認識することを目標にします。 監督者の数、工具の数、材料の数、授業時間などの理由で履修人数を調整します。課題によって選考し 18 名程度に絞り込みます。選考に残った履修者には、第 2 回までに告知します。課題は初回授業で提出してもらいますので、必ず出席してください。課題は以下の通りです。 「この授業を履修する動機について、また、この授業に対する期待を 1000~2000 字程度にまとめてください」提出は、2025 年 10 月 6 日（月曜日）5 限の授業中に集めます。形式は A4 用紙、PDF にてデータを持参、のいずれかとします。
成績評価方法	出席重視。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51426	A	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	伊東 乾	情報学環	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。					
授業の目標概要						
成績評価方法						
教科書						
ガイダンス						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60091	A 2	文理融合ゼミナール（身体と芸術）	舘 知宏、教員未定	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	数学と音楽					
授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 集中講義で創作活動を実践する。音楽家かつ数学研究者・STEAM 教育者の中島さち子と本学研究者の舘知宏とが協働し担当する。途中、中島の周囲の音楽家もゲストに呼び込み、サックスやドラム、ベースなども一緒に演奏を交えて伝えていく。 制作の実践とフィードバックのサイクルの中に、理論的・実践的なレクチャーが織り込まれる。音楽と数学の関係について、例えばバッハなどに見られる対称的構造、ハーモニーや音律と数比の関係、コードの変化と群、リズムと円の分割、さまざまな音色とフーリエ解析などに基づき、さまざまな音楽の背後に潜む数学について解説を行う。また、簡単に Processing ないし p5.js を用いて多様な形で音の視覚化や AI と絡める方法を示唆し、創作に生かせるようにする。 バッハやモーツァルト、ベートーベン、ドビュッシー、コルトレーン、中島や他音楽家の楽曲の特徴を司る数学的特徴や時代背景と数比の関係などを多岐にわたって紹介する。数学 x 音楽による五感のアートの事例も総合的な演出で魅せることで、音楽やアートの未来と数学・技術・ものづくりとの協働の可能性を探る。本科目では、「数学と音楽」による新たな表現を模索し、実践する。					
成績評価方法	授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50243	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	先進融合	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	マンガにとってコマ割りとは何か					
授業の目標概要	この授業では、視覚芸術としてのマンガの「コマ割り」をめぐって、講義と実践的演習の両面から探究します。マンガの制作には、物語を構想すること、絵を描くことなど、様々な技術が用いられますが、中でも「コマ割り」はこのジャンルに固有の要素として、マンガに関する従来の批評・研究の中でも特権視されてきました。本授業では、そうした従来の理論について学びつつ、受講者各自が手を動かして実際にコマ割りという作業を体験することを通して、このジャンル固有の特性について考えを深めることを目的とします。なお、受講者の作成物は、授業内で共有した上でフィードバックを行います。					
成績評価方法	授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50688	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	谷口 暁彦	先進融合	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	メディアの凸凹に触れる α
授業の目標概要	この授業では、さまざまなメディアの質感＝凸凹を探ります。古代に文字を記録するために用いられていた粘土版や、現在私たちがデジタルデータを記録する際に使用する CD-ROM やメモリも、なんらかの凸凹のパターンを作り出すことで情報を記録しています。情報が物質で表現される際には必ず物理的な凸凹が生まれています。まずこうした凸凹について確認し、そこからテキスト、音声、画像、映像といった、異なるメディアを比較したり、組み合わせたり、お互いに翻訳したりする時に感じられる質感＝凸凹について探っていきます。講義とワークショップを交互に行いながら、メデ゛ィアのもつ質感について検討していきます。具体的には、身の回りにある言葉から短歌を作ったり、独自な情報の記録方法（＝暗号）を作ったり、離散的な過去として 3D スキャンを検討したり…などのワークショップを予定しています。S セメスターで行った同タイトルの授業の内容をもとに一部改変して実験的な取り組みを含めて行う予定です。 ワークショップの際にはノート PC を持参するようにしてください。
成績評価方法	授業への出席、参加、発表と自己採点をもとに総合的に判断します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50936	A	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	三輪 健太朗	先進融合	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	四コママンガ再発見
授業の目標概要	四コママンガは、そのフォーマットのコンパクトや、古今の多様なメディアへの浸透ぶりからすれば、ある意味で最も身近なマンガのサブジャンルといえますが、しかし従来のマンガをめぐる批評や研究のなかでは必ずしも盛んに分析されてきたとは言い難い分野でもあります。この授業では、わずか四コマという定型のなかにどのような表現の可能性が見出せるかを、既存の四コママンガを分析したり、受講者自身に四コママンガを制作してもらったりしながら実践的に探究します。四コママンガの制作といっても、参加者のひらめきに期待して大喜利大会を毎週やることが目的ではありませんから、たとえば既存の作品を再構成してみたり、偶然性を利用してアイデアを得たりといった実験的な試行錯誤をしながら進めていきます。したがって目標となるのは、「面白い四コママンガ」を描けるようになることよりも、「四コママンガの面白さ」を考え、言語化できるようになることです。
成績評価方法	授業への積極的な参加と課題等の提出物から総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60090	A 2	文理融合ゼミナール（認知と芸術）	舘 知宏、 野老 朝雄	先進融合	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	個と群
授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 美術家の野老朝雄氏をお招きし、本学で「かたち」について研究者している舘知宏と協働しながら、集中講義で制作を行う実技の授業です。野老氏の制作のプロセスを受講者が実際に手を動かしながら一緒に実践します。 野老は、図形的操作や幾何学的原理に基づき、単純なピースを組み合わせて平面や空間を充填することで、多様な表現を生み出しています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックエンブレム「組市松紋」をはじめとし、紋様作品、グラフィックデザイン、建築ファサードデザインなど、その表現は多岐にわたりますが、野老はこれらの表現の体系を「個と群」と呼んでいます。 本科目では、受講者は実際に手を動かしながら、「個と群」による表現のアクティビティを実践します。 さらに授業中の講評・講義では、「かたち」を通して、幾何学、アルゴリズム、生物、建築などを横断した学問のつながりをたどります。例えば、「個と群」の原理は古今東西の紋様、建築や宇宙構造物、セル材料、結晶や準結晶の原子配列、あるいはウイルスのカプシドの自己集合など、自然現象や人工物に普遍的にあらわれる考え方です。 本授業では、つくることを通して科学・数理の現象を理解したり、美術の背後にある数理を解き明かすことにつながり、時々研究論文も生まれます。興味ある人は次の学期に「研究入門」の履修も検討ください。
成績評価方法	授業の取り組み、提出物、最終発表を総合して評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

英語中級（クラス指定ターム型）火３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50323	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50324	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	加太 康孝	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する
授業の目標概要	◎授業の目標 英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。 ◎授業概要 A1 ターム。過ごしやすくなっていく気候に喜びつつも、どんどん昼が短くなっていくのが気になってまいります。そうしてあっという間に過ぎていく 7 週間。読書の秋とも言われるこの時季に毎週ちびちびと味わう英語作品と言えば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella）は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モダニズム文学」などとして高く評価されています。 英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導いてくれるではありませんか！ もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テクスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。 ‘The Dead’ は 20 世紀初頭のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどの国に属していたのか、と問うことはやはり必要です。しかしながらやはり、文学テクストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそのものですから、「正しく英語を読む」ことと「文学作品として読む」こととの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にして進めていきたいと思います。
成績評価方法	※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立った段階で方針を確定する予定です。 平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10% 授業内提出物 30% 小テスト 60% ※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画をご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50325	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Effective Communication and Presentation Skills in English
授業の目標概要	This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.
成績評価方法	•Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50326	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する
授業の目標概要	教育､環境､家族など多岐にわたるテーマを用いて､自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり､様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。
成績評価方法	課題レポート、授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、クイズ）などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50327	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50328	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
授業の目標概要	This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must complete both a presentation and a (short) final essay in order to receive a passing grade for this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50329	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要	Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法	Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments. Weekly written assignments: 50% Active participation in class: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50330	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	武田 将明	英語	火 3	1年 文一二(25)文三(11) 理一(1-4,18)理二三(13)

講義題目	James Joyce “The Dead”を読む
授業の目標概要	英文の精読。英語で文学作品を味わえるだけのスキルを身につける。
成績評価方法	授業時の質問への回答：50% 期末試験：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60103	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9)理一(16,27) 理二三(17)

講義題目　Effective Communication and Presentation Skills in English

授業の目標概要
This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids.
By the end of this course, students will be able to:
1.Compose clear and concise scientific abstracts.
2.Deliver various types of presentations.
3.Develop structured outlines and notes for presentations.
4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions.
5.Design impactful visual aids, including slides and posters.
6.Integrate technology to enhance presentations.
7.Conduct informative presentations with confidence.
8.Engage in constructive peer evaluation.

成績評価方法
•Class contribution (20%)
•Peer work, group discussion (30%)
•Reflection (20%)
•Final presentation (30%)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60104	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	加太 康孝	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目　ジェイムズ・ジョイス「死者たち」を精読する

授業の目標概要
◎授業の目標
英語で書かれた短編作品を精確に読みながら、基礎的な読解力を固める。
◎授業概要
A2 ターム。冬至を挟み、寒くて暗い。人はそんなときに集い、宴を催します。食べて飲んで、年越し。未来に向かって気持ちを新たにする時季でありながら、これまでを振り返る機会も多い。そうこうしているうちにあっという間に過ぎて行くターム。こんな学期を有意義に過ごすための英語作品と言えば、もう James Joyce の ‘The Dead’ しかありません。ほんの 100 年ちょっと前に出版されたこの中編小説（novella）は、今でも広く読まれるだけでなく後の文学作品に少なからぬ影響を与えており、「アイルランド文学」「英語文学」「モダニズム文学」などとして高く評価されています。
英語科目としての目標は上記の通りで、ともかく英語の精確な読解を重視します。具体的には、語彙や文法の知識を適切に動員し、文脈に留意しながら読むという、いわば定石通りの読み方となります。大学で学習を進めていく中で、まっとうに読む力を初期に固めておくことは必ずや助けになるでしょう。その意味でも ‘The Dead’ は大学の前期課程で読むのにちょうどふさわしい歯ごたえを備えています。題からして、〈定冠詞＋形容詞〉の機能についての復習に導いてくれるではありませんか。
もちろん、扱うのは中編小説ですから、「文学テクスト読解」としてこれらの作品に向き合うことにも（受講生の関心を考慮しつつ）取り組みたいと思います。歴史的背景にも時折触れることになるでしょう。 ‘The Dead’ は 20 世紀初頭のダブリンという街を舞台にしていますが、この場所はどの国に属していたのか、と問うことはやはり必要です。しかしながらやはり、文学テクストの読解というものも結局は英語がきちんと読めてこそのものですから、「正しく英語を読む」ことと「文学作品として読む」こととの両者は連続しています。英文を精確に読み解くためにやるべきことは実にたくさんあるので、基礎を大切にして進めていきたいと思います。

成績評価方法
※上記の通り「授業の方法」に調整の余地があるため変更の可能性もありますが、初週で大まかな受講人数の予測が立った段階で方針を確定する予定です。
平常点（授業内での議論に対する貢献など） 10%
授業内提出物 30%
小テスト 60%
※事情にかかわらず授業を 3 回欠席した時点で単位放棄と見なされます。初回はその後の受講を円滑にするためにも重要なので必ずご出席ください。初回については、履修の関係でやむを得ない事情でのご欠席と認められる場合、録画をご視聴いただいた上で課題を提出することでご出席と見なします。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60105	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	武田 将明	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	James Joyce “The Dead”を読む
授業の目標概要	英文の精読。英語で文学作品を味わえるだけのスキルを身につける。
成績評価方法	授業時の質問への回答：50% 期末試験：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60106	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席したことで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60107	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
授業の目標概要	This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must complete both a presentation and a (short) final essay in order to receive a passing grade for this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60108	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要	Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法	Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments. Weekly written assignments: 50% Active participation in class: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60109	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60110	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	火 3	1 年 文一二(1-3,7,27) 文三(1-3,9) 理一(16,27)理二三(17)

講義題目	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する
授業の目標概要	教育､環境､家族など多岐にわたるテーマを用いて､自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり､様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。
成績評価方法	課題レポート、授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、クイズ）などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）火４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50386	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
授業の目標概要	This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must complete both a presentation and a (short) final essay in order to receive a passing grade for this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50387	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50388	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 英国と米国で出版されたサスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50389	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Effective Communication and Presentation Skills in English
授業の目標概要	This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.
成績評価方法	•Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50390	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	Visual Literacy: Analyzing Advertisements
授業の目標概要	This course will help students develop their visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing how visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will demonstrate their acquisition of these skills through the close study, over the course of the term, of an authentic print advertisement that they have selected and, finally, by writing an essay that encapsulates their analysis. This analytical essay should make a bold, original claim about what the selected advertisement means and thoroughly explicate how the advertisement produces that meaning. This will involve presenting the reader with detailed evidence and providing critical interpretation of that evidence such that it persuades the audience with regards to the merits and reasonableness of the author’s claim.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions, a reflective journal, an annotated advertisement, an in-class mini-analysis, and a final essay to be submitted at the end of the term.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50391	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	火 4	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する
授業の目標概要	教育､環境､家族など多岐にわたるテーマを用いて､自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり､様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。
成績評価方法	課題レポート、授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、クイズ）などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50392	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	武田 将明	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	James Joyce “The Dead”を読む
授業の目標概要	英文の精読。英語で文学作品を味わえるだけのスキルを身につける。
成績評価方法	授業時の質問への回答：50% 期末試験：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50393	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 ４	１年 文一二(8)文三(5,7) 理一(20,31,35)理二三(11)

講義題目	アメリカにおける刑罰国家の歴史―アンジェラ・Y・デイヴィスを読む
授業の目標概要	現代アメリカにおける刑罰国家の拡大に警鐘を鳴らし、ブラック・ライヴズ・マター運動の理論的支柱の一人となった哲学者で活動家のアンジェラ・Y・デイヴィスの論考を読む。デイヴィスはアメリカの黒人自由闘争史、刑罰国家の歴史、ジェンダー史、グローバルな連帯について多数の著書を執筆しており、アメリカ内外の知識人に大きな影響を与えてきた。デイヴィスの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリーを視聴し、背景となる 20 世紀アメリカ合衆国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。
成績評価方法	授業への貢献 30%、期末試験 50%、ドキュメンタリーへのコメント 20%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts James, Joy The Angela Y. Davis Reader, Chapter 4. Blackwell Rosas, Abigail. South Central Is Home: Race and the Power of Community Investment in Los Angeles. Stanford University Press.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60111	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	火 ４	１年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Visual Literacy: Analyzing Advertisements
授業の目標概要	This course will help students develop their visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing how visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will demonstrate their acquisition of these skills through the close study, over the course of the term, of an authentic print advertisement that they have selected and, finally, by writing an essay that encapsulates their analysis. This analytical essay should make a bold, original claim about what the selected advertisement means and thoroughly explicate how the advertisement produces that meaning. This will involve presenting the reader with detailed evidence and providing critical interpretation of that evidence such that it persuades the audience with regards to the merits and reasonableness of the author’s claim.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions, a reflective journal, an annotated advertisement, an in-class mini-analysis, and a final essay to be submitted at the end of the term.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60112	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	武田 将明	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	James Joyce “The Dead”を読む
授業の目標概要	英文の精読。英語で文学作品を味わえるだけのスキルを身につける。
成績評価方法	授業時の質問への回答：50% 期末試験：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60113	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	土屋 和代	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	アメリカにおける刑罰国家の歴史―アンジェラ・Y・デイヴィスを読む
授業の目標概要	現代アメリカにおける刑罰国家の拡大に警鐘を鳴らし、ブラック・ライヴズ・マター運動の理論的支柱の一人となった哲学者で活動家のアンジェラ・Y・デイヴィスの論考を読む。デイヴィスはアメリカの黒人自由闘争史、刑罰国家の歴史、ジェンダー史、グローバルな連帯について多数の著書を執筆しており、アメリカ内外の知識人に大きな影響を与えてきた。デイヴィスの論考を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開等を学び、英文読解力を向上させるとともに、関連するドキュメンタリーを視聴し、背景となる 20 世紀アメリカ合衆国の歴史、社会、政治、文化についての理解を深める。
成績評価方法	授業への貢献 30%、期末試験 50%、ドキュメンタリーへのコメント 20%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts James, Joy The Angela Y. Davis Reader, Chapter 4. Blackwell Rosas, Abigail. South Central Is Home: Race and the Power of Community Investment in Los Angeles. Stanford University Press.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60114	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	石原 剛	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	多種多様な英語ディスカッションやリスニング練習を通して、英語の表現力と理解力を養成する
授業の目標概要	教育、環境、家族など多岐にわたるテーマを用いて、自分の考えを英文でパラグラフにまとめたり、様々な英語 Discussion や英語 Listening 練習を行い、必要な情報や重要な意見を的確に英語で表現し、かつ理解する能力を養う。その為に、ディスカッションの場で良く使用される英語表現や重要語彙だけでなく、確認、批判、同意などの技法を学ぶことで、効果的に英語でコミュニケーションを進める経験をしてもらう。特に、アイディアを効果的に整理し、主張を明確にまとめ、的確な英語表現で発信できるような練習や、様々なジャンルやテーマのリスニング教材を利用して、必要な情報を効率よく把握する練習を行う。具体的には、予測の仕方や、図などを利用した情報整理の方法、話者の声のトーンなどに注目することで真意を推し量る技術などを学ぶ。
成績評価方法	課題レポート、授業内活動（出席状況、授業への貢献、提出物、クイズ）などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60115	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	王 怡人	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Effective Communication and Presentation Skills in English
授業の目標概要	This course aims to equip non-native English-speaking students with essential skills for writing and presenting scientific content in English. Through interactive workshops, students will learn to craft concise scientific abstracts, deliver compelling elevator pitches, and create engaging presentations with effective visual aids. By the end of this course, students will be able to: 1.Compose clear and concise scientific abstracts. 2.Deliver various types of presentations. 3.Develop structured outlines and notes for presentations. 4.Apply advanced presentation techniques for openings, closings, and Q&A sessions. 5.Design impactful visual aids, including slides and posters. 6.Integrate technology to enhance presentations. 7.Conduct informative presentations with confidence. 8.Engage in constructive peer evaluation.
成績評価方法	•Class contribution (20%) •Peer work, group discussion (30%) •Reflection (20%) •Final presentation (30%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60116	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	三吉 美加	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席したことで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60117	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	リチンスキ ダン	英語	火 4	1 年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims
授業の目標概要	This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of experiments and models.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60118	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 4	1年 文一二(21,23)文三(16) 理一(21)理二三(8,14)

講義題目	The Ghost Story: Describing spaces of the supernatural
授業の目標概要	This short, term course will introduce students to key figures of supernatural horror writing, exploring the ways in which writers have tried to imagine and describe the ‘ghostly’ world that surrounds them. You will think about how the figure of the ghost (and the spaces it haunts) has had an impact on the way we think about and describe our relationship to place, history and society. The course is designed to help you think critically about ghost stories and how they describe people's fears, anxieties and experiences of the landscapes they live in. A number of short readings will provide opportunities for in-class discussion and develop your comprehension of the English text itself. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class work and discussion activities.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 30% Response paper: 30% Presentation: 40% Students must complete both a presentation and a (short) final essay in order to receive a passing grade for this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50510	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要	Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法	Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments. Weekly written assignments: 50% Active participation in class: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50511	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Reading Drama Texts
授業の目標概要	This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50512	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	宗実 陽子	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Broadcast Media and Media Literacy: Navigating the Era of Misinformation and Deepfakes
授業の目標概要	The primary objective of this course is to enhance students' English communication skills, focusing on listening, speaking, and writing. Students will refine their listening skills by engaging with authentic English-language TV news, improve their speaking skills through discussions, and develop their writing skills by responding to the materials presented. Additionally, the course will help students navigate a broad range of topics and issues in broadcast media. The course also aims to foster students' critical thinking abilities, enabling them to analyze stories from both traditional and new media and assess their credibility. During the course, students will have opportunities to explore strategies for navigating the challenges of misinformation and deepfakes in the digital age.
成績評価方法	Active participation/group work (30%) Assignments, quizzes, presentations (40％) Final Presentation, final short paper (30%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Shigeru Yamane & Kathleen Yamane ABC Newsroom 3 Kinseido 978-4-7647-4218-5
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50513	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50514	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	・担当部分の訳に対する評価（30%） ・学期末レポート（2-3 ページ程度の英文を訳して、解釈の根拠を示すための訳注をつけたもの。課題は UTOL で後日配布。UTOL にファイルで提出して頂きます）（70%）
教科書	その他。／Other 「授業の方法」をご参照ください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50515	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	Art and Design in English
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50516	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1年 文一二(26)文三(19) 理一(12,23,36)理二三(23)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60119	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	栗原 浪絵	英語	水 2	1年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Art and Design in English
授業の目標概要	教科書のリーディングやリスニングを行いつつ、美術史や現代のアートについて英語でディスカッションを行う。並行してデザインや建築についても関心を広げる予定である。
成績評価方法	プレゼンテーション、授業への積極的な参加、レポートで評価する。（試験は行わない。）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Sophia Wisener Monet, Manet, and Degas Living in Modern Times 英宝社 978-4-269-11082-3 一部の章のみを扱う予定である。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60120	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60121	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	・担当部分の訳に対する評価（30%） ・学期末レポート（2-3 ページ程度の英文を訳して、解釈の根拠を示すための訳注をつけたもの。課題は UTOL で後日配布。UTOL にファイルで提出して頂きます）（70%）
教科書	その他。／Other 「授業の方法」をご参照ください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60122	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60123	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	宗実 陽子	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Introduction to Positive Psychology: Science, Application and Cultural Patterns
授業の目標概要	This introductory course on positive psychology aims to explore how to live a better, more satisfying life. Research in positive psychology demonstrates that a significant percentage of well-being comes from our own mindset, our chosen activities, and our lifestyle behaviors. To deal with the challenges in real-world life, we need to develop our internal resources to bring the best of ourselves. Specific topics include a brief overview of the key theories, research methods, and findings in the field of positive psychology, the goals and principles of positive psychology, the biological, emotional, psychological, and social influence on positive psychology, and the politics and economics of positive psychology among others. The course also involves the practical application of theory and research findings in the field of positive psychology. Additionally, happiness and well-being in relation to cultural patterns will be briefly discussed. Students critically evaluate the societal myths related to well-being and life satisfaction and reflect on their current personal life events to promote an understanding of positive psychology. Students will have the opportunity to engage in a series of scientifically validated, well-being-enhancing activities, and reflect on the processes of their own positive changes.
成績評価方法	Active Participation/Group Work (30%) Homework Assignments and Classwork, Quizzes, etc. (40%) Final Project Presentation and Final Paper (30%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ronald D. Siegel Positive Psychology: Harnessing the power of happiness, mindfulness, and inner strength Harvard Health Publications Kindle Version 611 yen: Available on amazon
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60124	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Reading Drama Texts
授業の目標概要	This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60125	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	水 2	1 年 文一二(10,20) 理一(11,24)理二三(4,9)

講義題目	Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要	Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法	Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments. Weekly written assignments: 50% Active participation in class: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定ターム型）水３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50555	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	・担当部分の訳に対する評価（30%） ・学期末レポート（2-3 ページ程度の英文を訳して、解釈の根拠を示すための訳注をつけたもの。課題は UTOL で後日配布。UTOL にファイルで提出して頂きます）（70%）
教科書	その他。／Other 「授業の方法」をご参照ください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50556	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50557	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	英語で読み解く現代社会
授業の目標概要	この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法	授業内の発表、小テスト（数回実施予定)、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Anthony Elliott Reinvention Routledge 9780415682848
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50558	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Reading Drama Texts
授業の目標概要	This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, presentation and a written assessment.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50560	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Visual Literacy: Analyzing Advertisements
授業の目標概要	This course will help students develop their visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing how visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will demonstrate their acquisition of these skills through the close study, over the course of the term, of an authentic print advertisement that they have selected and, finally, by writing an essay that encapsulates their analysis. This analytical essay should make a bold, original claim about what the selected advertisement means and thoroughly explicate how the advertisement produces that meaning. This will involve presenting the reader with detailed evidence and providing critical interpretation of that evidence such that it persuades the audience with regards to the merits and reasonableness of the author’s claim.
成績評価方法	Grades will be determined based on participation in group and class discussions, a reflective journal, an annotated advertisement, an in-class mini-analysis, and a final essay to be submitted at the end of the term.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50561	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	宗実 陽子	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Broadcast Media and Media Literacy: Navigating the Era of Misinformation and Deepfakes
授業の目標概要	The primary purpose of this course is to further enhance student's English communication skills including listening skills to listen to authentic English TV news, speaking skills to discuss and debate, and writing skills to respond to the materials presented, while helping students to access and understand the broadcast media with a wide variety of topics and issues. Secondly, this course aims to develop student's critical thinking skills to analyze the stories presented in both traditional media such as TV news, and new media such as social media and YouTube, and examine their credibility. During the course, students will have an opportunity to explore ways to navigate this age of misinformation and deepfakes.
成績評価方法	Active participation/group work (30%) Assignments, quizzes, presentations (40％) Final Presentation, final short paper (30%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Shigeru Yamane & Kathleen Yamane ABC Newsroom 3 Kinseido
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50562	Ａ１	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1年 文一二(11,22)文三(14) 理一(17,39)理二三(20)

講義題目	Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要	Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法	Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments. Weekly written assignments: 50% Active participation in class: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60126	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	宗実 陽子	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	Introduction to Positive Psychology: Science, Application and Cultural Patterns
授業の目標概要	This introductory course on positive psychology aims to explore how to live a better, more satisfying life. Research in positive psychology demonstrates that a significant percentage of well-being comes from our own mindset, our chosen activities, and our lifestyle behaviors. To deal with the challenges in real-world life, we need to develop our internal resources to bring the best of ourselves. Specific topics include a brief overview of the key theories, research methods, and findings in the field of positive psychology, the goals and principles of positive psychology, the biological, emotional, psychological, and social influence on positive psychology, and the politics and economics of positive psychology among others. The course also involves the practical application of theory and research findings in the field of positive psychology. Additionally, happiness and well-being in relation to cultural patterns will be briefly discussed. Students critically evaluate the societal myths related to well-being an
成績評価方法	Active Participation/Group Work (30%) Homework Assignments and Classwork, Quizzes, etc. (40%) Final Project Presentation and Final Paper (30%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ronald D. Siegel Positive Psychology: Harnessing the power of happiness, mindfulness, and inner strength Harvard Health Publishing (Harvard Medical School) Kindle Version 611 yen: Available on amazon
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60127	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	Christopher D. Hammond	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Introduction to Political Ideologies
授業の目標概要　Political ideologies shape how people understand power, justice, identity, and change in an increasingly complex world. This course explores the role of ideology in political life: how it informs beliefs, drives social movements, influences policy, and frames global debates. Through critical analysis and discussion, students will gain the tools to recognize and evaluate competing worldviews, understand their impact on contemporary society, and reflect on their own political assumptions in a rapidly changing world.
成績評価方法　Students will be graded on active participation and completion of weekly assignments.
Weekly written assignments: 50%
Active participation in class: 50%
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60128	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	ペティート ジョシュア	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Visual Literacy: Analyzing Advertisements
授業の目標概要　This course will help students develop their visual literacy through the close reading of print advertisements. Visual literacy in this context means: 1) recognizing how visual information produces meaning; and 2) being able to critically interpret and assess those meanings. Students will demonstrate their acquisition of these skills through the close study, over the course of the term, of an authentic print advertisement that they have selected and, finally, by writing an essay that encapsulates their analysis. This analytical essay should make a bold, original claim about what the selected advertisement means and thoroughly explicate how the advertisement produces that meaning. This will involve presenting the reader with detailed evidence and providing critical interpretation of that evidence such that it persuades the audience with regards to the merits and reasonableness of the author’s claim.
成績評価方法　Grades will be determined based on participation in group and class discussions, a reflective journal, an annotated advertisement, an in-class mini-analysis, and a final essay to be submitted at the end of the term.
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60130	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	アンダル ジャクリーン	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　Reading Drama Texts
授業の目標概要　This course will use a contemporary British drama text to improve reading comprehension. It will focus on understanding authentic contemporary dialogue and will help students to learn to draw inferences and to make appropriate connections when reading. The course will also help students to speak more effectively in English through practicing authentic speech and dialogue and through assimilating a range of features linked to oral fluency.
成績評価方法　The course will be evaluated based on participation, presentations and a written assessment.
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60131	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	岩佐 将志	英語	水 3	1年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目　英語で読み解く現代社会
授業の目標概要　この授業では、現代社会の動向を社会科学の視点から考察している英語文献を教材とし、読解を行う。これを通じ、英語の社会科学系の学術論文に特徴的な議論の流れや、そこで使用される幅広い英語表現を学ぶ。
成績評価方法　授業内の発表、小テスト（数回実施予定）、期末エッセーから総合的に判断する。
教科書　授業中に指示をする。／Will specify at class time
Anthony Elliott
Reinvention
Routledge
9780415682848
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60132	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	瀧野 みゆき	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	英語動画を素材に英語で Discussion
授業の目標概要	身近で時事性のあるテーマの英語の短編動画を視聴して、内容を理解し、関連した問いについて小グループでディスカッションします。 授業内の英語 Discussion では、１）自分の意見を英語で言う、2）英語の Discussion に必要な賛成・反対・提案などの表現を使う、3）他の人の意見を積極的に聞く、そして 4）英語 Discussion の基本的ルールを実践する、の 4 点を目標とします。 授業中は、できるだけ長くスピーキングの時間を取り、話す経験を積み、明解で説得力がある英語表現をすることを目指します。 併せて、動画などの英語の素材を活用し、長期的な英語学習に役立つスキルを身に着けます： □英語の動画を知的な情報元として効果的に活用する方法を理解する □英語動画等を視聴しながら、英語を聴き取り、理解する力を伸ばす □動画等を引用しながら、自分の意見を説得力をもって英語で話す力を習得する
成績評価方法	授業のディスカッションのノート 40% 各授業のリスニングミニテスト 6 回 40% 授業への積極的な参加 20% （期末テスト等は行わない）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60133	Ａ２	英語中級(クラス指定ターム型)	堀越 庸一郎	英語	水 3	1 年 文一二(17,28)文三(15) 理一(8,29,33)理二三(21)

講義題目	諸国民の工芸―Marcus B. Huish, Samplers & Tapestry Embroideries (1913)を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、扱う教材のテーマは、あー、皆さん、工芸、それも刺繍とか、ご興味ないですかね。19 世紀イギリスのいわゆるアーツ・アンド・クラフツ運動は、芸術作品としての絵画や彫刻といったものに加えて、それ以外の美術や工芸の復権と発達を促進することで、近代社会の都市化と商品の粗製濫造に疲弊した人々の、QOL 向上やら SAN 値回復やらを目指す、といったものでしたが、その過程で、近代化の波に押されて衰退しつつあった、様々な職人技や伝統工芸が注目されることになりました。そういった流れで書かれた本をひとつ、このクラスでは、英語の読解教材として扱ってみようと、そういう趣向です。で、刺繍です。1913 年出版の、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ著、『刺繍見本とタペストリ刺繍』。 百年以上前の英語ですが、どうぞご心配なく。たしかに、古くて格調高い文体で、現代人から見れば読みにくいと思うこともあります。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。また、内容も、古いうえにわりと専門的ですので、漫然と読んでも意味が分からないことも多いでしょう。ちゃんと読もうと思ったら、調べて、その上で解釈しなければなりません。たしかにそうなのですが、でも、このクラスが主眼とするのは、まさに、そこなのです。つまり、調べて、解釈する手法―科学的テキスト解釈。テキストをきちんと解釈する際には作法がありまして、それはそのテキストがどんなものだろうと同じです―教養英語の教科書だろうと、百年前の刺繍の本だろうと、千年前の修道院文書だろうと、です。そこをお伝えしたい。分からなくて当たり前、分からないときどうするか。そういう授業です。
成績評価方法	・担当部分の訳に対する評価（30%） ・学期末レポート（2-3 ページ程度の英文を訳して、解釈の根拠を示すための訳注をつけたもの。課題は UTOL で後日配布。UTOL にファイルで提出して頂きます）（70%）
教科書	その他。／Other 「授業の方法」をご参照ください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50015	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926）の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。 N.B. この本はこれまでしばらく扱ってきていて、すでに第 8 章まで読みました。今回は第 9 章から扱いますが、第 8 章までの内容は要約を配布して、授業開始時に詳しくご説明しますので、事前に読んでおいて頂く必要はありません。 このクラスがもっぱら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%)、および学期末レポート（70%：3〜4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。
教科書	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50016	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations
授業の目標概要	The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50017	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Visual Communication and Persuasion
授業の目標概要	The goal of this course is to help students understand how images, shapes, colours and other forms of visuals are used to communicate. Through visual image and media, this course introduces students to communication from a non-textual perspective. The principles, theories, aesthetics, and techniques of visual communication will be discussed. Visual persuasion, photography, graphic design, culture and ethics will also be explored. We will study famous posters and paintings, influential photographs, advertising campaigns, and other significant examples of graphic design. By the end of this class, students will be able to present and discuss issues in a researched and structured manner. Topics covered will include: - The mechanics of seeing - Poster Design - Introduction to Typography - Print Advertisements Design - Visual and Linguistic Landscape By the end of the course, students should be able to understand the basics of graphic design and use correct language to analyze and critique visual images. Students will also be able to better understand the power of images and their use in society.
成績評価方法	30%: Visual Analysis Portfolio 20%: Learning Journal 10%: Report on Visual and Linguistic Landscape Field Study (or an alternate task is Field Study attendance is not possible) 20%: Presentation(s) 20%: Active contribution to the class
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50018	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む
授業の目標概要	『オペラ座の怪人』の約 100 年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により 100 年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。 このレパートリーの中から、『ミカド』につぐ人気作『ペンザンスの海賊』をブロードウェイ上演版を含む複数の上演映像を見ながら読み、イギリス的ユーモアを味わう。主人公の恋のゆくえ、海賊と警官隊の対決の結末は？
成績評価方法	試験の成績に平常点を加味する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50019	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	国際政治に影響を与える諸要素を英語で学ぶ
授業の目標概要	本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者は、このリーディングを通じて国際政治の動向に影響を与える様々な諸要素（国際法・人種・人権など）に関しての基本的な事実・理論上の問題点などが理解できるようになるとともに、あるべき世界に向けての改革案をも見据えた、より豊かな国際政治観を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：本コースでは、第２回（１０月６日）から第１２回（１月５日）までの各授業の終了間際に、 UTOL 上での「小テスト」の受験（１０分間）が課される。本項目の評価は、全小テスト（計１１回分）の結果を合計した点数をもとに、それを０～３０点の間に換算させた形で行なわれる。なおテストの問題はいずれも、その日の授業回でカバーされた教材内に登場する英単語に関連したものに限られる。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１９日）に行なわれる試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容にすべて関連したものである。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50020	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50021	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	西川 杉子	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	History Today を読む
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。 History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 また、テーマに関連した DVD などを視聴することもある。
成績評価方法	毎回の小テストおよび授業への参加度。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50022	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	LANDAU Samantha	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Introduction to 20th and 21st Century American Poetry
授業の目標概要	Poetry is a short form of writing, which lends itself well to close readings and discussion because it uses language flexibly. The aim of this course is to learn the basics of how to read a poem, focusing on poems from the 20th and 21st centuries. We will consider different ways of reading and and interpreting poetry: learning on how to read texts, paying attention to traditional and revolutionary forms, and thinking about poetic genres. We will also consider how a poet's background and influences may change the way they write, their subject matter, and their intended audience. We will first reexamine how authors who are well-known (canonized), such as Robert Frost, Karl Shapiro, and Langston Hughes. We will then examine poets such as Joy Harjo, N. Scott Momaday, or Li-Young Li, as well as contemporary writers such as Hyejung Kook and Julia Kolchinsky Dasbach.
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50023	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 2	1 年 文一二(6,14,19) 文三(10,12,20) 理一(9,13)理二三(1-3)

講義題目	Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore Studies
授業の目標概要	This course will provide students with a foundation in working in English to conduct studies of folklore . Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, presentations, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring folktales, ghost stories, myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). The class will be based on in-class discussion, written responses and presentation of ideas in English.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50091	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	三吉 美加	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	19 世紀後半から 20 世紀前半に書かれた優れた短編小説を深く味わう
授業の目標概要	作品をただ読むのではなく、その中の表現方法や起こっている事がらを通して見えてくる時代の風潮、当時の社会通念や文化表象などについて知識を深めながら、作品の世界を深く味わっていく。風景描写や会話のなかに登場する英語表現、助動詞や冠詞一つ、文体、時制にもある意図や含みがあったりする。そうした細かな点にも注目する。小説の中にさりげなく登場する階級意識、社会運動、ジェンダー、風俗習慣、ヨーロッパ的/米国的世界観の相違、テクノロジーなどについても、参考資料を読みながら該当社会の知識を得ていく。 サスペンス・怪奇短編小説を検討しています。
成績評価方法	テスト（期末試験＋小テスト含む） 80% 平常点（グループワーク時､授業時における自主的な発言などの積極性､課題への取り組みなど総体的判断） 20% なお、出席しただけで付与される点数はありません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50092	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	楽園はどこにある―Marcus B. Huish, Happy England as Painted by Helen Allingham, R.W.S. (1903) を読む
授業の目標概要	リーディング主体の英語の授業ですが、ところであなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょう。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、多少の悶着も厄介ごとも、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、居心地のいい楽園。そこで永遠に繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつか、薄汚れた都会など離れ、緑のコテージに住んで、そういう「本当に確かなもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ているのです。 この「楽園」としての農村を、ヴィクトリア朝イギリスの画家、ヘレン・アリンガム (1848-1926) の水彩画が描いています。うっとりするような、はかない夢のような、イングランドの田園風景。今回、このクラスでテキストにするのは、そのアリンガムの絵をふんだんに掲載した、画集のような伝記のような、マーカス・ボーン・ヒューイッシュ (1843-1921) による 1903 年出版の本です。これを一緒に読んでいきます。 N.B. この本はこれまでしばらく扱ってきていて、すでに第 8 章まで読みました。今回は第 9 章から扱いますが、第 8 章までの内容は要約を配布して、授業開始時に詳しくご説明しますので、事前に読んでおいて頂く必要はありません。 このクラスがもっぱら扱うのは 120 年も前の、ヴィクトリア朝の格調高い英文ですので、少々読みにくいと感じる方もおいでかもしれません。文体もそうですし、内容的にも古いので、ある程度はウェブ検索などで調べながら読んでいかないと、うまく読解することはできません。授業で行うのは、ですので、そういったこと、つまり、テキストの精読、ということになります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはどんな文章であろうと変わりません―現代英語の気楽な読み物だろうと、ヴィクトリア朝イングランドの流麗な文体だろうと、千年前に書かれた古英語の断片だろうと、同じです。この「作法」を、まあ、お伝えしたい、そういう授業です。
成績評価方法	授業中の和訳に対する評価（30%)、および学期末レポート（70%：3〜4 頁分の英文の和訳に訳注を付記したもの)。学期末レポートは UTOL で配布・回収します。
教科書	その他。／Other 下記「履修上の注意」に詳細があります。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50093	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	英語に関する誤解を解く：認知文法入門講義
授業の目標概要	アメリカの言語学者 Ronald W. Langacker の創始した言語理論である認知文法（Cognitive Grammar）の立場から，英語の文法に関するありがたちな誤解・疑問（「授業計画」参照）を解消することを目指します。これが毎回の授業の目標です。 より長期的な目標は，学期が終わる頃には，新しく触れる様々な英語の実例に対して本講義受講前とは違った新しい見方をとることができるように――話者が発話の現場で直接的に利用している言語知識がどのようなものであるかに目を向けることができるように――なっていることです。 予習課題としてテキストの指定箇所を読んできていただきますが，授業ではこれに対してドラマや小説などの実例をもとに補足をしたり，あるいは批判的検討を加えたりします。
成績評価方法	予習課題：30%（テキストの一部と，教員が集めた小説／TV ドラマ・映画の実例を読解／視聴してくる） 期末試験：70%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野村益寛 英文法の考え方：英語学習者のための認知英文法講義 開拓社 4758925879
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50094	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	ミュージカル（My Fair Lady）の台本を読む
授業の目標概要	映画版は毎年、地上波でも放送されるほどの古典中の古典ミュージカル。言語学の権威ヒギンズ教授の特訓により上流階級の英語を話せるようになったロンドンの花売り娘イライザが社交界にデビューしようとするが…。イギリスの階級社会を風刺したバーナード・ショーの原作の台詞を活用した台本を読み、アラン・ジェイ・ラーナー作詞、フレデリック・ロウ作曲の名曲揃いのナンバーを原語で堪能する。
成績評価方法	試験の成績に平常点を加味する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50095	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	国際政治上の諸問題を英語で学ぶ
授業の目標概要	本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者は、このリーディングを通じて現代世界が直面する主要な懸案事項（地球環境問題・貧困・感染症など）に関しての基本的な事実・理論上の問題点などが理解できるようになるとともに、こうした問題の克服・解消にはどのような道筋があり得るのか、を考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：本コースでは、第２回（１０月６日）から第１２回（１月５日）までの各授業の終了間際に、 UTOL 上での「小テスト」の受験（１０分間）が課される。本項目の評価は、全小テスト（計１１回分）の結果を合計した点数をもとに、それを０～３０点の間に換算させた形で行なわれる。なおテストの問題はいずれも、その日の授業回でカバーされた教材内に登場する英単語に関連したものに限られる。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１９日）に行なわれる試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容にすべて関連したものである。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50096	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations
授業の目標概要	The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50097	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 3	1 年 理一(15,25-26,28,34)

講義題目	[M3] Social Inequality: Now and in the Future
授業の目標概要	This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.
成績評価方法	20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class
教科書	その他。／Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc).
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）月４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50144	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	[M4] Social Inequality: Now and in the Future
授業の目標概要	This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world today. We will also explore how ideas of social inequality in future societies is represented in films. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class and could include: Social Stratification Gender Inequality Impact of AI and robots on society Inequalities of Race and Ethnicity etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class.
成績評価方法	20%: Learning Journal 30%: Presentation (including poster) (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class
教科書	その他。／Other No textbook is required, but students will have to watch two films themselves (DVD, digital, streaming, etc).
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50145	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	愛甲 雄一	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	国際政治上の諸問題を英語で学ぶ
授業の目標概要	本コースは、Jeffrey Haynes, et al., World Politics: International Relations & Globalisation in the 21st Century (Sage, 2023), third edition の中に収められている一部の章を教材として用い、その読解を行なっていく「リーディング」を主眼としたコースである。本コースの受講者は、このリーディングを通じて現代世界が直面する主要な懸案事項（地球環境問題・貧困・感染症など）に関しての基本的な事実・理論上の問題点などが理解できるようになるとともに、こうした問題の克服・解消にはどのような道筋があり得るのか、を考察していくための基礎的な素養を身に付けることができる。また現代国際政治の様々な問題に関する英語で記されたニュース報道、報告書、研究論文などを読み進めていくための基本的な語彙力・読解力が身に付いていく。
成績評価方法	本コースでは、以下の３項目の合計点を基準に、各受講者の最終成績の評価が行なわれる。 (1) 平常点（１０点満点）：授業への貢献度などに応じた評価項目。授業時において発言を求められた場合の対応、グループ内での話し合いにおける積極度などをベースに、本項目の評価は行なわれる。 (2) 小テスト（３０点満点）：本コースでは、第２回（１０月６日）から第１２回（１月５日）までの各授業の終了間際に、 UTOL 上での「小テスト」の受験（１０分間）が課される。本項目の評価は、全小テスト（計１１回分）の結果を合計した点数をもとに、それを０～３０点の間に換算させた形で行なわれる。なおテストの問題はいずれも、その日の授業回でカバーされた教材内に登場する英単語に関連したものに限られる。 (3) 学期末試験（６０点満点）：最終授業回の第１３回（１月１９日）に行なわれる試験の結果に応じて、本項目の配点は行なわれる。なお本試験の問題は、授業内で扱った教材の内容にすべて関連したものである。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50146	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	WONG Michelle	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	TED Talks - Discussions and Presentations
授業の目標概要	The primary goal of this course is to develop students' confidence in using English to converse spontaneously on a range of topics. Through discussion activities and presentations, students will develop and strengthen communication strategies to express themselves more accurately and smoothly.
成績評価方法	40% Student-led discussion assignment 40% Group presentation assignment 20% Participation Full attendance and active participation are expected of all students.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50147	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	英語に関する誤解を解く：認知文法入門講義
授業の目標概要	アメリカの言語学者 Ronald W. Langacker の創始した言語理論である認知文法（Cognitive Grammar）の立場から，英語の文法に関するありがちな誤解・疑問（「授業計画」参照）を解消することを目指します。これが毎回の授業の目標です。 より長期的な目標は，学期が終わる頃には，新しく触れる様々な英語の実例に対して本講義受講前とは違った新しい見方をとることができるように――話者が発話の現場で直接的に利用している言語知識がどのようなものであるかに目を向けることができるように――なっていることです。 予習課題としてテキストの指定箇所を読んできていただきますが，授業ではこれに対してドラマや小説などの実例をもとに補足をしたり，あるいは批判的検討を加えたりします。
成績評価方法	予習課題：30%（テキストの一部と，教員が集めた小説／TV ドラマ・映画の実例を読解／視聴してくる） 期末試験：70%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 野村益寛 英文法の考え方：英語学習者のための認知英文法講義 開拓社 4758925879
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50148	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	月 4	1 年 理一(19)理二三(7,15,24)

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50203	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	西川 杉子	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	History Today を読む
授業の目標概要	イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 History Today に収録された小論文を読み、イギリスの文化・歴史を学ぶ。History Today については図書館に入っているので、参考にするとよい。 また、テーマに関連した DVD などを視聴することもある。
成績評価方法	毎回の小テストおよび授業への参加度。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50204	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小林 宜子	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う
授業の目標概要	毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声を教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 5~6 ほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。
成績評価方法	隔週で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる期末試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50205	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	Colonial Encounters
授業の目標概要	This reading-based course will use different texts to develop skills in English comprehension. The course will draw on fiction and autobiographical writing related to the colonial encounter between Britain and the Caribbean. It will be based on the work of the British writer Andrea Levy. Her writing has focused on Britain's long relationship with the Caribbean and the erasure of that history in contemporary Britain. However, her writing lends itself to broader universal and contemporary themes. Students will learn to engage with the language and ideas in the selected texts and to explore their responses to the readings in class.
成績評価方法	The course will be evaluated based on participation, a presentation and a written assessment.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50206	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	橋川 健竜	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	歴史研究者はどのような英語を書くか：一般読者向け、研究者向けのアメリカ史論文から探る
授業の目標概要	学術的な英文とはどのようなものか。誰に向けて書くかによって文体や段落はどう変わるか。人文系の学術英文に日本で学ぶ皆さんがどう体をなじませ、解きほぐすか、アメリカ史に関する入門的な実例をもとに検討する。やや硬い文体やボキャブラリがなぜどの箇所で選ばれるか、それをどう書きかえればわかりやすくなるか、頭の中で変換するトレーニングを行う。
成績評価方法	出席、授業中に指名された際の解答、時折織り交ぜる宿題（ITC-LMS を使用する）、期末レポート、期末試験を総合する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50207	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	英語	火 1	1 年 理一(10,14)理二三(12,16)

講義題目	エドガー・アラン・ポーの推理小説『盗まれた手紙』と『黄金虫』を原文で読む
授業の目標概要	『盗まれた手紙』と『黄金虫』の原文の音声教材を自宅でよく聴いて予習し、発音やリズム等に気をつけながら音読することで、英語の読み方の基本を身につけます。また、毎回授業の初めに TOEIC の語彙についての小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。
成績評価方法	毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）火５

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50435	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	髙橋 和子	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	Pronunciation and Listening
授業の目標概要	概要：英語発音とリスニング力の向上を目指すクラスである。特に発音訓練に重点をおくため、「発音だけには自信がなく、自分が話した英語が聞き手に通じにくい」と感じている人が履修することをお勧めする。主に、発音記号に沿って注意すべき英語音声について学び、ひとつずつ発音練習をしていく。加えて、英語独特の音の連結、消失、弱化やイントネーション、リズムを学び、リスニングの訓練を行う。また、聞き手に理解してもらえるように、文章の音読やプレゼンテーションを行う。 目標：英語を聞き、話す際に重要である英語音声の基礎知識を習得し、実践で活かせる力をつけることが本授業の目的である。将来、国際的な場において英語で発信、発表するための確かな道具を手に入れよう。本授業の到達目標は次の通りである。（１）英語音声を正しく理解し、発音できるようになる。（２）日本人にとって紛らわしい英語発音を聞き分けられるようになる。（３）専門用語を含む英文を、発音記号を調べ、正しく音読できるようになる。（４）英語リスニング力を向上させる。
成績評価方法	・個別発音テスト 40%、リスニングテスト 20%、単語テストとレポート 20%、授業参加（出席、プレゼンテーションを含む）20% を総合して評価する予定である。 ・個別発音テストにおいては、44 問中 35 問以上正しく発音できることが必要である。 ・感染症対策など、状況によっては評価方法を多少変更しなくてはいけない場合もあるが、個別発音テストに一番大きなウエートが置かれることは変わらない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鷲見由理 DVD＆CD でマスター 英語の発音が正しくなる本 ナツメ社 13: 978-4816344640
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50436	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	リチンスキ ダン	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	English Lectures on General Physics
授業の目標概要	This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accessible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications.
成績評価方法	Participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% W While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50437	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	田尻 芳樹	英語	火 5	1 年 理一(30,37)理二三(5)

講義題目	短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。
成績評価方法	平常の参加度と、期末テスト（13 回目＝最終回）。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）水１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50467	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	Yassin Eiman	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	The Growing Influence of AI in Our Daily Lives
授業の目標概要	By the end of this course, you will be able to: •Explain basic AI concepts and their applications in various domains. •Critically evaluate the impact of AI on society, considering both benefits and drawbacks. •Conduct research on a specific AI tool and present your findings effectively. •Collaborate effectively in a group setting to complete a project. •Communicate your ideas clearly and concisely in spoken and written English.
成績評価方法	•Peer work and group discussion: 20% •Reflection: 10% •Weekly assignments: 20% •Indvidual report: 10% •Final presentation: 30% •Class participation: 10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50468	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	波戸本 涼子	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	基礎からの The New York Times で学ぶ科学ニュース
授業の目標概要	このコースでは、The New York Times などの科学関連の記事を毎週読むことで、学生の英語の読解力、ディスカッション力、批判的思考力の向上を目指します。（ニュースなどの映像を見ることもあります。）科学英語の語彙に慣れて、最新の科学的な記事の内容を理解し、話し合ってみましょう。記事を読み、分析し、グループディスカッション通じて、科学分野での英語コミュニケーション能力を実践的に高めたいです。普段英字新聞を読んでいない生徒さんがこのクラスを受講して新聞をチェックする習慣を身につけてもらえると嬉しいです。記事を読んで内容を理解し、リサーチして発表する練習を楽しく進めましょう。”基礎からの”というタイトルの通り、英語が苦手、英語でしゃべるのが苦手、という方も基礎から楽しく練習しますので心配いりません。毎回英語で聞いてしゃべるのでだんだん慣れると思います。
成績評価方法	ニュースのブリーフィング 20% クラスアクティビティの参加 20% グループディスカッション参加 20% グループプレゼンテーション 20% ボランティアプレゼンテーション 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50469	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	佐々木 悠介	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	ジャック・ロンドンの短編小説を読む
授業の目標概要	本格的な小説のテクスト（リライト版でない）を自力で読むには、報道記事や論文を読むのとは異なる種類の英語力が必要になる。 この授業では、英語の文体に対する感受性を養うための最初の一歩としたい。
成績評価方法	予習課題および輪読を評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50470	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	こころ(認知)と遺伝・環境についての英文を読む
授業の目標概要	こころ(認知)の在り方およびそれに影響する遺伝や物理的•社会的環境に関わるトピックを扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての基礎的な理解を得ることを目的とする。
成績評価方法	授業で使用した教材英文と初見の英文から出題する最終授業時に行う試験が 60%、授業中の小試験・課題と授業への参加度・積極性が 40%になる割合で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教材は pdf 化したものを順次各回 1 週間前に UTOL にアップロードしていくので、各自ダウンロードすること。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50471	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	秦 邦生	英語	水 1	1 年 理一(6,22,32,38)

講義題目	「名作」の英語を読む
授業の目標概要	英米文学史や思想史に残る重要な作家や思想家の文章をピックアップして、抜粋で読んでゆきます。１ページの文字数にもよりますが、最初はだいたい毎週４～５頁前後のリーディングを課しますので、（１）適切な内容把握と（２）文体や文彩の効果の両方に目配りした上で、（３）自力で、全体としてのテーマの深い理解と解釈を行うことができるように、リーディング・スキルの精度を上げてゆくのがねらいです。 授業の終盤にかけては一週間で読む分量をすこし増やして、短篇小説またはエッセイを数篇、数回に分けて読めるようにしたいと思います。 あわせて、「精読(close reading)」のスキル向上を図るために、ワークシートなどをもちいたエクササイズを実施することもあります。英語のテクストと、それを元にした映像版とを比較して、言語ならではの伝達力について考えるエクササイズも行いたいと思います。
成績評価方法	平常点（発言や課題、プレゼンテーションなどを通じた授業への貢献）ならびに期末課題による総合評価。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）木２

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50711	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	アカデミックプレゼンテーション
授業の目標概要	大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。
成績評価方法	授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Susan M. Reinhart Giving Academic Presentations, Second Edition The University of Michigan Press 9780472035090
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50712	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	Qualitative research methods focusing on gender, sexuality and minority issues in Japan.
授業の目標概要	This course guides students identify strong research questions related to gender, sexuality and minority issues in Japan. By emphasising qualitative research methods such as literature review, surveys and interviews, students develop rigorous, evidence-based research (Week 1-5). These initial exercises help students formulate clear research questions that require data collection and analysis, preparing them for subsequent lessons (Weeks 6–8), which focus on gathering academic materials and qualitative data. The skills acquired in these lessons directly support students in writing coherent and persuasive reports (Weeks 9–13), fostering a meaningful connection between their research interests and broader social issues.
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (20%) Group work (15%) Peer review (15%) Research plan (5%) Research note (10%) Draft report (10%) Final report (25%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50713	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。
成績評価方法	学期末試験、提出物、平常点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50714	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	坪井 栄治郎	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	こころ(認知)と遺伝・環境についての英文を読む
授業の目標概要	こころ(認知)の在り方およびそれに影響する遺伝や物理的•社会的環境に関わるトピックを扱った英文を読むことを通して読解力の増強に努めるとともに関連事項についての基礎的な理解を得ることを目的とする。
成績評価方法	授業で使用した教材英文と初見の英文から出題する最終授業時に行う試験が 60%、授業中の小試験・課題と授業への参加度・積極性が 40%になる割合で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 教材は pdf 化したものを順次各回 1 週間前に UTOL にアップロードしていくので、各自ダウンロードすること。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50715	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	野口 大斗	英語	木 2	1 年 文一二(4,9,18)文三(17)

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）木３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50786	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	久世 恭子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	"Notes on Brotherhood": 現代アメリカの中編小説を読む
授業の目標概要	本授業では青少年を主人公とする現代アメリカの中編小説を読みます。読解力を中心に総合的な英語力を養うことを第一の目的としますが、このような文学作品をじっくり読むことで、受講生の皆さんが言葉の使い方や様々な解釈の可能性に触れ、自分の意見を持てるようにすることも本授業のねらいです。主人公の眼を通して語られる 2000 年前後のアメリカの社会や文化にも興味を持って学習してください。
成績評価方法	授業参加・発表 20%、小テスト 20%、中間課題 10%、学期末試験 50%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Michael Larson 著、日本英文学会（関東支部）編 "Notes on Brotherhood"『兄と弟の記録』 朝日出版社 9784255157030
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50787	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	アカデミックプレゼンテーション
授業の目標概要	大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッション、学会発表など、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。
成績評価方法	授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Susan M. Reinhart Giving Academic Presentations, Second Edition The University of Michigan Press 9780472035090
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50788	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	平賀 優子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	英語発音演習―発音力から聴解力へ―
授業の目標概要	この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習（音読）は、模倣からのみでなく、音声学の理論（特に、IPA：International Phonetic Alphabet や音声変化）やオーバーラッピング、フォニックスを用いて行います。また、応用言語学に基づく英語学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。
成績評価方法	学期末試験、提出物、平常点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中郷慶他 こうすれば英語が聞ける 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50789	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	矢島 宏紀	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	英文リーディング演習―初期アメリカ史を題材に
授業の目標概要	【概要】 英文を丹念に読む作業を通して分野を問わず学術の世界で通用する英語読解力（およびそれに基づく作文力）の強化を目指します。本授業で扱う英文はアメリカの歴史、思想、社会等に関するものです。論説記事、研究書の一部（通史の序章など)、論文等を読みます。扱う資料は受講者の人数と関心に応じて設定されます。 【目標】 ・アカデミックな英文を正確に理解するために必要となる解釈力と語彙力を高める。 ・やや難解な英文を簡潔かつ正確な日本語および英語で要約できるようになる。 ・アメリカの歴史、思想、社会に関する知識と解釈を知りアメリカについての理解を深める。
成績評価方法	期末試験（60%）小テスト(20%) 発表（レジュメ含む）(20%) 上記を基準に、態度・貢献度（出欠状況含む）を加減して最終評価を決定する。 欠席数が授業回数の 1/3 を超えると単位認定不可とします。個人の過失によらない原因（交通機関遅延含む）による遅刻・欠席であっても、程度と頻度によっては単位認定のために追加の課題が課されます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50790	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	木 3	1 年 文一二(13,15)文三(13) 理二三(10)

講義題目	Qualitative research methods focusing on gender, sexuality and minority issues in Japan.
授業の目標概要	This course guides students identify strong research questions related to gender, sexuality and minority issues in Japan. By emphasising qualitative research methods such as literature review, surveys and interviews, students develop rigorous, evidence-based research (Week 1-5). These initial exercises help students formulate clear research questions that require data collection and analysis, preparing them for subsequent lessons (Weeks 6–8), which focus on gathering academic materials and qualitative data. The skills acquired in these lessons directly support students in writing coherent and persuasive reports (Weeks 9–13), fostering a meaningful connection between their research interests and broader social issues.
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (20%) Group work (15%) Peer review (15%) Research plan (5%) Research note (10%) Draft report (10%) Final report (25%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金１

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50908	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	井上 博之	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	アメリカ合衆国の短編小説を読む Reading Contemporary American Short Stories
授業の目標概要	1980 年代以降にアメリカ合衆国の作家によって書かれた現代の短編小説を複数講読します。レイモンド・カーヴァー（Raymond Carver）、ジュンパ・ラヒリ（Jhumpa Lahiri）、ヴィエト・タン・ウェン（Viet Thanh Nguyen）、エドワード・P・ジョーンズ（Edward P. Jones）の 4 人の作家の作品を 1 本ずつ取りあげる予定です（それぞれ「ささやかだけれど、役にたつこと」[“A Small, Good Thing,” 1983]、「地獄／天国」[“Hell-Heaven,” 2004]、「アメリカ人」[“The Americans,” 2010]、「鳩を育てた少女」[“The Girl Who Raised Pigeons,” 1992]）。一部の作品は差し替えるかもしれません。舞台となる場所、時代、登場人物、扱われる主題や文章のスタイルなどは作家によって異なります。個別の作品をなるべく楽しんで読みながら、多様で雑多な短編小説の魅力に触れ、アメリカ合衆国の社会や小説の言語への理解を深める機会にしてください。 多読と部分的なパッセージの精読とを組みあわせて 4 本の作品を読み進め、ある程度の分量の英語を継続的に読む習慣と能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を分析的に読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標です。グループでのディスカッションや発表を中心に進行するため、受講生の主体的な参加を求める授業であることは強調しておきます（説明を聞くだけでいたいという人には向かない授業です）。しっかり予習をして積極的に議論に参加してもらえるならば、今まであまり小説を読んでこなかった人も含めてあらゆる学生の受講を歓迎します。2 週目以降は毎回 8〜10 ページほどのペースで進行するので、毎週の予習にある程度の時間がかかることは覚悟しておいてください。こちらからも補助教材の提供などをとおしてできるかぎりサポートします。教材は PDF ファイルと印刷物で提供します。履修が決まった方は初回の授業から必ず出席してください。初回は予習の必要はありません。 ※初回から教室での対面授業です。
成績評価方法	予習やディスカッションへの参加度、発表担当を含む平常点（30%）、毎回提出のレスポンス・ペイパー（10%）、学期中の 3 回の小テスト（30%［それぞれ 10%］）、学期末課題（30%）を基本として判断し、学期末に調整を加えます。ただし発表担当と学期末課題の提出の両方をこなしていることは単位認定のための必須条件とします。 予習をしていない場合、議論に積極的に参加していない場合は欠席と同じ扱いです。また、特別な事情と教員への連絡がないまま 4 回以上欠席した場合は不可とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50909	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	彦田 理矢子	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	グレアム・グリーン『情事の終わり』(The End of the Affair (1951) を読む 20 世紀を代表する作家グレアム・グリーン(1904-1991)の小説『情事の終わり』(The End of the Affair (1951) を、1 学期かけて読破します。この小説は、ストーリーとしては、第二次大戦下のロンドンを舞台に男女の恋愛ドラマを追っていますが、同時に、神と人間存在、罪と赦し、生と死、愛と信仰など、哲学的・宗教的に奥深いテーマを扱っており、色々な方向から語ることのできる作品です
授業の目標概要	・1 文学作品を 1 学期かけて読破する。 ・イギリス英語に親しむ。 ・文学的英語表現に親しむ。 ・壮大で抽象的なテーマから身近な感情的トピックまで、幅広い話題を英語で語れるようにする。
成績評価方法	以下の要素で総合的に成績評価をつけます。 ・出席・参加 ・毎週の UTOL 掲示板投稿（毎週のリーディングに基づき、リアクション／疑問など） ・確認の小クイズ・テスト ・期末に、3 分間のスピーチ（テクストに関連するテーマで）
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time Graham Greene The End of the Affair Penguin Classics
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50910	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	榊原 知樹	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	エッセイを読む
授業の目標概要	この授業では、英語エッセイの名作を精選したアンソロジー Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes から数篇を講読します。扱うのは、人生・記憶・心の動きなど、誰にとっても身近で普遍的なテーマを取り上げた随筆ばかりです。個性豊かな名エッセイストたちの文章をじっくりと読み解き、英語ならではの表現の豊かさや文章の工夫に触れながら、深く読む力を養います。 授業の目標は、英語の読解力を高めるとともに、内容理解を深める中で、自分の意見や感じたことを英語で受けとめ、表現する素地を育てることにあります。英文読解力を高めたい人、良質な英語に触れてみたい人、英語で考える力を養いたい人におすすめの授業です。
成績評価方法	学期末試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況および授業への取り組み（30%）を総合評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50911	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	川﨑 修一	英語	金 1	1 年 文三(6,8)理二三(6,18)

講義題目	「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する英語文献を読むー世界最高峰の 2 大英文法書を中心に
授業の目標概要	本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成です。また、学校文法で扱われることのない（にもかかわらず実際の英語では頻繁に確認できる）文法や構文に関する文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とします。 なお、使用する教材は、世界最高峰の 2 大英文法書： Quirk et al (1985). A Comprehensive Grammar of the English Language. Huddleston and Pullum (2002). The Cambridge Grammar of the English Language. を中心に、第一級の研究者による文献を予定しています。
成績評価方法	毎回の小テスト（30%）と授業最終日の学期末試験（70%）
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金３

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50993	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	Gender and sexuality in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research report (33%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50994	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.
成績評価方法	Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50995	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	英語	金 3	1年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	現代の短編小説を読む
授業の目標概要	この授業では英語圏の一般読者向けに書かれた短編小説を中心にさまざまなタイプの文章を読むことで、総合的な英語力の向上を目指します。語り手や視点、時制、話法等、小説に限らず文章を読む際に必要な英文解釈のこつを学ぶとともに、現代に求められる教養や洞察力、思考力を養うことが重要な目的となります。
成績評価方法	授業内活動への積極的な参加と貢献（クイズ解答、UTOL の Forums への投稿等も含む）３0%；諸課題・試験への取り組み（授業時間内に取り組みその場で提出する課題、授業後の Reflection 提出状況、中間・最終課題・試験等）７0%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50996	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	英語文学の 1200 年
授業の目標概要	英文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんが、教養としての英文学の諸作品に、その原文で触れることが授業の目的です（関心のある学生さんももちろん歓迎です)。 受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。 ・学生さん一人ひとりが、英語文学の作品を選んで日本語で紹介する授業です。 ・具体的な作品をつうじて、中世から現代にいたる英語文学の歴史をごく簡単にたどります。
成績評価方法	・授業内での発表：50% ・授業内テスト：20%（発表の進み具合によってレポートに差し替えられることがあります） ・課題提出等：20% ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50997	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	那谷 洋太朗	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	Contemporary American Society
授業の目標概要	This is an introductory sociology course, with a focus on Reading in English. The aim of the course is to provide a general overview of American society, and strengthen the English abilities of students comprehensively. This will be accomplished through (a) reading assignments, (b) writing exercises, (c) discussion, (d) presentations, and (e) the completion of a research project. During the semester, we will explore the following themes: (1) capitalism and the market economy; (2) race, gender, and inequality; (3) the culture of individualism and its relation to community; (4) politics and religion; (5) nationalism and the crisis of American democracy. Cumulatively, studying these topics will help us understand why the United States today is such a divided society. Through the close reading of texts and discussion in class, we will think about what it means to live in a democratic society and the challenges confronting the American democratic project. この社会学入門では、アメリカ社会の概要を英語文献の購読を通して学び、同時に総合的な英語力の向上を目指します。具体的には、リーディング課題、ライティング演習、ディスカッション、プレゼンテーション、およびリサーチプロジェクトを通して学習を進めます。本コースでは、以下のテーマを探求します：（１）資本主義と市場経済；（２）人種、ジェンダー、格差・不平等；（３）個人主義文化と共同体；（４）政治と宗教；（５）ナショナリズムとアメリカ民主主義の危機。これらのテーマを考察することで、現代アメリカ社会がなぜこれほどまでに分断されているのかを理解します。また、英文読解と議論を通じて、民主主義社会に生きることの意味や、アメリカの民主主義が直面する課題について深く考察します。
成績評価方法	Participation and Exercises (30%); Exam (25%); Research Paper (25%); Presentation (20%)
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Erik Olin Wright & Joel Rogers American Society: How it Really Works (3rd Edition) W. W. Norton & Company, Inc. 978-1-324-03329-5 All texts will be provided by the instructor. Students do not have to purchase anything.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50998	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	朝岡 浩美	英語	金 3	1 年 文一二(5,12,16)文三(18) 理二三(22)

講義題目	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。
授業の目標概要	本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
成績評価方法	期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級（クラス指定セメスター型）金４

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51050	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	このコースでは、ビジネスコンテクストで使われる英語（海外に進出する日系企業の例など）を中心に学習していく. In this course, we will focus on learning English as used in business contexts, such as examples of Japanese companies expanding overseas.
授業の目標概要	グローバルな視野を持つリーダーになるためには、英語力だけでなく、異文化に関する知識や専門知識、リーダーシップなども習得することが不可欠です。このコースでは、マーケティング・ミックス、海外ビジネスにおけるマーケティング、ローカライゼーションについてケーススタディを通じて学ぶだけでなく、グループディスカッションを通じてそれらの課題に対する理解をさらに深めていきます。 To become a globally-minded leader, it is essential to develop not only English language proficiency but also intercultural understanding, leadership skills, and more. In this course, we will explore the marketing mix, international marketing, and localization through case studies, and further deepen our understanding of these topics through group discussions.
成績評価方法	平常点評価: 30% （提出物,授業内での発言など） 授業内での short Speech & Group Presentation: 40% 期末テスト： 30%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Nakatani, Y. & Smithers, R. (2024). Global Business Case Studies (3rd edition). Seibido. 978-4-7919-7266-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51051	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	小野 五弥子	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	Gender and sexuality in Japan
授業の目標概要	The aim of this course is to enable students to read and critically engage with academic articles written in English about gender issues. In class, students will discuss topics related to Japanese youth, namely gender equality, LGBT issues and sexual harassment, and compare how Japan and other countries perceive these issues. At the end of the course, students will collect data on a topic covered in class through readings or interviews/surveys and write a report about it. このクラスでは、日本の若者について英語で書かれた学術文献を読みます。内容は、ジェンダー平等・同性婚・セクシャルハラスメント等で、日本と諸外国がこれらの問題をどのように捉えているかを比較、議論します。また、授業で触れた内容について実際に文献かインタビュー・アンケート等でデータ収集をして、最終レポートを書きます。
成績評価方法	Active class participation, including class discussions (25%) Weekly assignments (12%) Group work (15%) Presentation (15%) Research report (33%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51052	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	ミュージカル（Les Miserables）の台本を読む
授業の目標概要	ヴィクトル・ユゴーの長大な原作を極限まで刈り込んで、イギリス演劇界の総力を結集してミュージカル化した『レ・ミゼラブル』は、1985 年の初演以来、今や世代と国境を超えて受け継がれている。今年、日本での上演も予定されているが、翻訳上演は近似値であり、十分に味わうためには原文をていねいに読む必要がある。この授業では、舞台映像や映画版を鑑賞しながらミュージカルの英語台本（歌詞）を読む。フランス語版、ドイツ語版、日本語版などの CD も随時鑑賞する予定であり、楽譜もあるので、各国語で歌ってみるのも面白いだろう。
成績評価方法	試験の成績に平常点を加味する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51053	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	朝岡 浩美	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	英語の動画を視聴し、英語でディスカッションやプレゼンテーションを行う。
授業の目標概要	本授業では、英語の総合的な能力を高めることを主目標としています。映像を使った教材を使い、リスニング力と読解力を養い、グループディスカッションを通じて、自分の意見を英語で話す練習を行います。ロジカルに自分の意見を言えるようになるために、ロジカルシンキングについても学びます。また、プレゼンテーションのテーマに基づいて、様々な角度から調べ、スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行い、プレゼンテーションとディスカッションのスキルを磨いていただきたいと思います。 本授業の目的は、以下の通りです。 （１）英語の動画を視聴して、英語のリスニング力と読解力を伸ばす。 （２）英語でのプレゼンテーションを通じて、プレゼンテーション力を高める。 （３）様々なテーマに基づいて、ディスカッションを行い、自分の意見を英語で話すスキルを高める。
成績評価方法	期末試験：50% プレゼンテーション：20% クラスディスカッション（授業への貢献）：20% 宿題：10%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Makoto Shishido AFP World News Report 7 SEIBIDO 9784791972883
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51054	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	MENISH Marc Craig	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	Innovative Public Speaking: Creating Dynamic Presentations in English
授業の目標概要	This class will provide students with a strong foundation in understanding spoken English. Students will create and deliver powerpoint presentations in class which will then be discussed and evaluated. In addition to classroom exercises and homework assignments, students are encouraged to listen to English on their own as well.
成績評価方法	Homework Assignments 20% Weekly Quizzes and Class Participation 20% In-class Presentations 20% Media Projects 20% Final Exam 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51055	A	英語中級(クラス指定セメスター型)	鈴木 哲平	英語	金 4	1 年 文一二(24)文三(4) 理一(5,7)理二三(19)

講義題目	英語文学の 1200 年
授業の目標概要	英文学に関心があるというより、今後触れる機会さえないような学生さんが、教養としての英文学の諸作品に、その原文で触れることが授業の目的です（関心のある学生さんももちろん歓迎です）。 受験英語や高校世界史の知識を活かすことができます。 ・学生さん一人ひとりが、英語文学の作品を選んで日本語で紹介する授業です。 ・具体的な作品をつうじて、中世から現代にいたる英語文学の歴史をごく簡単にたどります。
成績評価方法	・授業内での発表：50% ・授業内テスト：20%（発表の進み具合によってレポートに差し替えられることがあります） ・課題提出等：20% ・エクストラポイント：10%（発表・課題・テストで特に優れた活動が見られた場合に加点）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

英語中級・上級

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50174	A	英語中級	野口 大斗	英語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	アウトプットのための英語リスニング					
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。					
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50244	A	英語中級	小林 宜子	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Reith Lectures の読解と聴解を通して英語の理解力を養う					
授業の目標概要	毎年、イギリスの公共放送局 BBC のラジオで放送される Reith Lectures のスクリプトと音声を教材として用い、各界を代表する専門家が一般の聴衆向けに行なった講演内容の読解と聴解を通じて英語の理解力を養います。講演の内容は政治、法律、科学技術、芸術、倫理など多岐にわたります。特に印象深く、啓発的な内容の講演を 5~6 ほど選び、英文を細部まで正確に理解する力を養うとともに、講演で扱われた種々のテーマについて考察します。					
成績評価方法	隔週で行われる小テストと、学期の最終日に行なわれる期末試験を併せて成績評価の対象とし、その結果を総合的に評価します。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50245	A	英語中級	橋川 健竜	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	歴史研究者はどのような英語を書くか：一般読者向け、研究者向けのアメリカ史論文から探る					
授業の目標概要	学術的な英文とはどのようなものか。誰に向けて書くかによって文体や段落はどう変わるか。人文系の学術英文に日本で学ぶ皆さんがどう体をなじませ、解きほぐすか、アメリカ史に関する入門的な実例をもとに検討する。やや硬い文体やボキャブラリがなぜどの箇所で選ばれるか、それをどう書きかえればわかりやすくなるか、頭の中で変換するトレーニングを行う。					
成績評価方法	出席、授業中に指名された際の解答、時折織り交ぜる宿題（ITC-LMS を使用する）、期末レポート、期末試験を総合する。					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50246	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education's role in society - Debating the "grand challenges" of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education's role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 30%, Active participation in class: 40% Final research project: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50640	A	英語中級	牛村 圭	英語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	New York Times で世界を読む
授業の目標概要	New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。
成績評価方法	担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記課題による（予定）。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Scarcity and Excess ニューヨークタイムズ社会点描 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50653	A	英語中級	牛村 圭	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	New York Times で世界を読む
授業の目標概要	New York Times に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることをも目指したい。
成績評価方法	担当した訳文の発表を含めた平常点、そして学期末の筆記課題による（予定）。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Scarcity and Excess ニューヨークタイムズ社会点描 英宝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50654	A	英語中級	Christopher D. Hammond	英語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Education and Society
授業の目標概要	What roles do schools and universities play in shaping individuals, societies, and nations? This course offers a broad introduction to key theories, issues, and debates about the societal functions of education systems around the world. Taking a sociological perspective, students will critically explore how education intersects with identity, inequality, power, and change in diverse social and cultural contexts. Course objectives include: - Introducing foundational theories and approaches for analyzing education's role in society - Debating the "grand challenges" of education, including participation, relevance, flexibility, quality, and funding - Analyzing education's role in social mobility and social reproduction across dimensions of gender, race, ability, and class - Examining how schooling contributes to national identity and global citizenship - Investigating how colonization and language policy shape culture through education - Considering the implications of rapid technological innovation for the future of education Throughout the course, students will engage with leading academic scholarship, media representations, and their own educational experiences. Emphasis will be placed on developing academic skills in critical reading, analytical writing, presentation, and collaborative discussion.
成績評価方法	Weekly written assignments: 30%, Active participation in class: 40% Final research project: 30% (*completion of all components is required to receive a passing grade)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50689	A	英語中級	野口 大斗	英語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アウトプットのための英語リスニング
授業の目標概要	この授業では、学習者向けではなく、ネイティブスピーカー向けに話された英語を聞くための土台を身につけることを目指す。また、その過程のなかで、簡単なスピーキングやライティングなどのアウトプットの練習も取り入れる。
成績評価方法	積極的な授業への参加（発言など）：10% 課題：15% 小テスト：15% 期末試験（教材以外の初見問題を含む）：60%
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50849	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Weird Fiction
授業の目標概要	This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.
成績評価方法	Final Report: 40%, Written assignments (including Midterm Report): 30%, In-class assignments and Participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50850	A	英語中級	中澤 恒子	英語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Little Miss Sunshine
授業の目標概要	2006 年公開のアメリカのコメディ映画 Little Miss Sunshine を教材とする。Jonathan Dayton, Valerie Faris 監督、Abigail Breslin 主演、アカデミー作品賞ノミネート、助演男優賞 (Alan Arkin) 受賞。自然な英語を聞き取り、大意をつかみ、自分の言葉で内容や感想を伝える練習をする。映像によってストーリーの理解に努めた後で、スクリプトを読み進めながら理解できなかった部分を確認する。英語細部の追求より、物語の展開、何がおかしくてどこが悲しいのか、登場人物と共に笑ったり泣いたりできるような、映画を楽しむための英語理解を目指す。
成績評価方法	毎週の授業参加とクイズ（ディクテーション)、期末試験。欠席は 3 回までとし、4 回以上の場合は理由に関わらず単位を認定しない。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51458	A	英語中級	宮本 エジソン 正	英語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Information, attention and technology
授業の目標概要	Objectives 1. Achieve a basic understanding of ・ how information is used by companies ・ how people’s attention is monetized ・ innovation, monopolies and regulations ・ bias, choice and how to cope 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	期末試験、追試、追加課題等はありません。 成績は、毎週の課題のみによって決定されます。 There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51459	A	英語中級	宮本 エジソン 正	英語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Information, attention and technology
授業の目標概要	Objectives 1. Achieve a basic understanding of ・ how information is used by companies ・ how people’s attention is monetized ・ innovation, monopolies and regulations ・ bias, choice and how to cope 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	期末試験、追試、追加課題等はありません。 成績は、毎週の課題のみによって決定されます。 There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50866	A	英語中級	LANDAU Samantha	英語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		Weird Fiction				
授業の目標概要		This class will focus on reading a variety of short "weird fiction" mainly published between the late 1800s and 1970s. Touching on monsters, unexplained/unexplainable events, parallel universes, and even ghosts, "Weird Fiction" is a genre that expresses both the anxieties of society and the human fascination for the unknown and inexplicable. This course is designed to engage students in interdisciplinary approaches to reading a text. This course also aims to teach students to deeply consider historical contexts when reading literature. Students will broadly consider how these stories deal with phobias and fascinations, but also consider historic issues in scientific ethics, colonialism, and racism. Students who want to understand psychological, historical, or scientific aspects of literature are encouraged to take this course.				
成績評価方法		Final Report: 40%, Written assignments (including Midterm Report): 30%, In-class assignments and Participation: 30%				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50938	A	英語中級	榊原 知樹	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		エッセイを読む				
授業の目標概要		この授業では、英語エッセイの名作を精選したアンソロジー Ten on Ten: Major Essayists on Recurring Themes から数篇を講読します。扱うのは、人生・記憶・心の動きなど、誰にとっても身近で普遍的なテーマを取り上げた随筆ばかりです。個性豊かな名エッセイストたちの文章をじっくりと読み解き、英語ならではの表現の豊かさや文章の工夫に触れながら、深く読む力を養います。 授業の目標は、英語の読解力を高めるとともに、内容理解を深める中で、自分の意見や感じたことを英語で受けとめ、表現する素地を育てることにあります。英文読解力を高めたい人、良質な英語に触れてみたい人、英語で考える力を養いたい人におすすめの授業です。				
成績評価方法		学期末試験（40%）、小テストおよび授業内課題（30%）、授業参加状況および授業への取り組み（30%）を総合評価します。				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50939	A	英語中級	田尻 芳樹	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		短編小説を読む				
授業の目標概要		この授業では 20 世紀の英語圏のノーベル賞クラスの作家の短編をいくつか精読し、２０世紀ヨーロッパの歴史や新しい文学形式に注意を向けながら、英語の読解力増進を図ります。精読の授業ですので、細かいニュアンスも含めてすべてを訳出していきます。その過程で、英語の表現に関して辞書を丹念に調べたり、文脈に応じての意味をじっくり考えたりする訓練をします。				
成績評価方法		平常の参加度と、期末テスト（13 回目＝最終回）。				
教科書		プリントを配布する。／Will distribute handouts				
ガイダンス		特に行わない。／Will not conduct guidance				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51462	A	英語中級	宮本 エジソン 正	英語	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Information, attention and technology
授業の目標概要	Objectives 1. Achieve a basic understanding of ・ how information is used by companies ・ how people's attention is monetized ・ innovation, monopolies and regulations ・ bias, choice and how to cope 2. Use English to practice ・ reading skills, and ・ discussion skills
成績評価方法	期末試験、追試、追加課題等はありません。 成績は、毎週の課題のみによって決定されます。 There are no final exams, makeup tests or extra activities at the end of the semester. Final grades will be based on the weekly activities only.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50175	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Geographies of Horror
授業の目標概要	This course introduces students to the role of geography in literary and cinematic horror, exploring the ways in which writers and filmmakers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, Lafcadio Hearn, and Ambrose Bierce. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, creatures, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for weekly class discussions, written responses and brief presentations in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials.
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50247	A	英語上級	サーギル ジェームズ クリストファー	英語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	An Introduction to Cultural Geography
授業の目標概要	This course will provide students with an opportunity to explore the complex terrain of cultural geography through English language texts. Starting with an overview of cultural geography, the course will then look at specific cultural, critical and aesthetic theory, helping students to reflect on the relationship between culture, nature and representation. Each class will focus on a particular cultural geographic theme (e.g. the culture-nature divide; mobility; the anthropocene; landscape and memory; urbanism and rurality; folklore and landscape). By the end of the course students will have a comprehensive understanding of the connections between people, landscape and the geographic imagination. The course is designed to develop your critical thinking, discussion and presentation, and reading skills and will therefore require you to read short academic articles and take part in class discussion on a weekly basis. You will be expected to prepare for classes in advance and play an active role in the discussion, presentation and defence of your ideas throughout the course. Students should be prepared to share their ideas with the rest of the class and take part in group work..
成績評価方法	Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% Students must submit both a research paper and conduct a presentation in order to pass this class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50941	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	20th Century American Sci-Fi
授業の目標概要	In this course, students will learn about the genre of Science Fiction and the political and social issues it concerned itself with during the 20th Century in the U.S. Through the study of short Sci-Fi fiction by American authors, issues such as climate change, gender inequality, and mental health, among other issues, will be deeply considered. Sci-Fi asks the reader not only to consider the problems of humanity and the environment humans live in, but also asks philosophical questions such as "what it means to be human." Through discussions, presentations, and written work, students will focus on how to approach Sci-Fi from an interdisciplinary standpoint, and develop their ideas about what steps society (and humanity) should take in the future to build a better world.
成績評価方法	Final Report: 40%, Midterm Report: 30%, In-class assignments and participation: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51086	A	英語上級	LANDAU Samantha	英語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Crime Fiction
授業の目標概要	Crime fiction is an important subset of speculative fiction that focuses on solving a mystery. Classic crime fiction focuses on detectives and the mechanics of the crime committed, while later iterations of the genre focus on character studies and character types, atmosphere and suspense, and the motives of the criminal. Crime fiction may also include depictions of legal processes and prominent figures such as judge (and jury), witnesses, and police. The genre continues to evolve today , crossing over into various other areas of speculative fiction, such as horror and sci-fi. This course will provide an overview to several of the major subsets of crime fiction. In addition to literary fiction, students will be introduced to historical contexts, social criticism, cultural theory, and scientific theories that suit the story we are discussing. Students who want to understand legal, psychological, scientific, or historical aspects of literature are encouraged to take this course.
成績評価方法	Final Report: 40%, Written assignments: 30%, In-class assignments: 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L ドイツ語

ドイツ語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird. 一列の授業で学習する教科書のテーマに沿った文法と会話の練習をおこなう。
成績評価方法	出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名　　ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）　東京大学教養学部ドイツ語部会編 出版社 ISBN
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50029	月 2	ファイファー マティアス	1 年 文一二(21)
50321	火 3	Ｉ・カウフマン	1 年 文一二(22)
50522	水 2	EINS Wieland	1 年 文三(16)
50797	木 3	ヤン シュトラースハイム	1 年 文三(15)
50827	木 4	ヤン シュトラースハイム	1 年 文一二(20)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50265	A	ドイツ語初級（演習）［高度］	針貝 真理子	ドイツ語	火 2	1 年 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50655	A	ドイツ語初級（演習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	水 5	1 年 理科

講義題目	ドイツ語初級（演習）
授業の目標概要	授業は文法の基礎知識がある初心者を対象とし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの 4 技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen mit leichten Grundkenntnissen in Grammatik. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel für das Sprachniveau A1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Der Unterricht besteht aus praktischen Übungen in allen vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.
成績評価方法	平常点（出席、練習、授業への参加）および宿題（毎週）によって行う。 Regelmäßige Teilnahme und Mitarbeit im Unterricht, wöchentliche Hausaufgaben.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51094	A	ドイツ語初級（演習）［高度］	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50267	A	ドイツ語初級（演習）②［高度］	針貝 真理子	ドイツ語	火 2	1 年 文科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51096	A	ドイツ語初級（演習）②［高度］	桑山 裕喜子	ドイツ語	金 5	1 年 文科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	In dem Kurs wird zum einen das in der 1. Reihe erworbene grammatische Wissen durch Übungen gefestigt und zum anderen werden die Grundlagen in den Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben eingeführt. Der Kurs soll mit dem Niveau A2+ des Europäischen Referenzrahmens abschließen. Die Teilnehmer üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. この授業では、必修の一列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業はドイツ語を初めて学ぶ学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 のレヴェルを修了することを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練をおこなう。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Evans, Sandra et al. Momente A2, Kursbuch Hueber
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50942	A	ドイツ語初級（会話）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（会話）、Deutsch-Konversation für Anfänger/innen
授業の目標概要	初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語会話の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1"に必要なドイツ語能力の養成にある。会話の授業であるため、重点は口頭の練習及び語彙の増やすことにある。 Der Kurs richtet sich an Anfänger*innen. Geübt werden alltägliche Szenen aus dem nahen Lebensumfeld. Ziel ist der Erwerb mündlicher Ausdrucksfähigkeiten auf dem Niveau des Goethe Zertifikats A1. Im Mittelpunkt des Unterrichts stehen direkte Sprechübungen und die Erweiterung des Wortschatzes.
成績評価方法	平常点（授業への参加・宿題・出席率）・期末試験を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die mündliche Mitarbeit im Unterricht, Hausaufgaben, Anwesenheit und die Abschlussprüfung werden zusammen verrechnet. Schwerpunkt der Notengebung bildet die mündliche Mitarbeit im Unterricht.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50002	A	ドイツ語初級（作文）	上田 知夫	ドイツ語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（作文）
授業の目標概要	S セメスターにドイツ語文法の基礎を学んだ学生、あるいはその知識のある学生を対象に、文法知識の定着を図りながら、日常生活に沿う形での作文練習をします。A セメスターに必修クラスで学習する文法の進度も考慮しながら、授業を進めます。
成績評価方法	テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50867	A	ドイツ語初級（作文）	宮谷 尚実	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（作文）
授業の目標概要	平易なドイツ語での文章表現の経験を積む。作文により文法事項の理解を深め、語彙力も高める。作文したドイツ語を音読することで発音のブラッシュアップをし、会話やプレゼンテーションの基礎固めを目指す。必修クラスで学習する文法の進度も考慮しながら、授業を進める。
成績評価方法	平常点（提出物を含む）と授業最終回のプレゼンテーションにより総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 清野智昭 ［改訂版］ドイツ語を書いてみよう！ 白水社 978-4-56006417-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51087	A	ドイツ語初級 （表現練習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（表現練習） Redemittelübungen Deutsch für Anfänger*innen
授業の目標概要	初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語の運用能力を養う。授業はヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の言語レベル A1 の典型的な表現に焦点を当て、聞き取り、読解、会話、作文の 4 技能すべての実践的な演習で構成されている。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die zum ersten Mal Deutsch lernen. Geübt werden grundlegende Ausdrucksfähigkeiten in alltäglichen Szenen. Im Mittelpunkt stehen typische Redemittel auf dem Sprachniveau A1 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens für Sprachen (CEFR). Der Unterricht umfasst praktische Übungen für die vier Fertigkeiten Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率)、中間テスト、期末プレゼンテーションを総合的に評価する。累積欠席回数が 4 回に達した場合、不可とする。 Die Note setzt sich aus der Mitarbeit im Unterricht, einem Midterm-Test und einer abschließenden Präsentation zusammen. Bei viermaligem unbegründetem Fehlen kann die Teilnahme nicht meh
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50266	A	ドイツ語初級 （インテンシヴ）［高度］	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50880	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50881	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）［高度］	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51095	A	ドイツ語初級 （インテンシヴ）［高度］	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語演習（GLP クラス指定科目）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an fortgeschrittene Anfänger*innen mit Vorkenntnissen auf dem Niveau A1. Im Mittelpunkt stehen die vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben, die gleichmäßig geübt werden. Die Teilnehmenden lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Auf diese Weise werden die grammatischen Kenntnisse aus den Pflichtkursen (1. Reihe) in der Praxis eingeübt und gefestigt. Der Kurs bereitet u. a. auf die offizielle deutsche Sprachprüfung "Goethe Zertifikat A2" vor und schließt mit dem Niveau A2+ des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER, englisch: CEFR) ab. この授業はドイツ語を前期で始めた学生を対象とし、レベル A1 程度の予備知識からスタートする。授業は聴く・読む・話す・書くの 4 技能を同時に練習させ、日常的な状況でのコミュニケーション能力に重点を置く。このようにして、必修科目の一列で学んだ文法的知識を練習し、定着させる。授業は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の A2+レベルを目指す。授業の目的は、ドイツ語検定試験「Goethe Zertifikat A2」を準備することでもある。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Deutsch als Fremdsprache / Kursbuch + interaktive Version Hueber 9783195017923
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50249	A	ドイツ語初級 （第三外国語）	瀬尾 文子	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語・通年）
授業の目標概要	２セメスター（週１回１コマ）通年でドイツ語の文法項目をひと通り習得する。四技能（読む・書く・聞く・話す）の基礎を身につける。辞書を使えば平易な文章を充分理解できるようになる。
成績評価方法	平常点（継続的かつ積極的な出席、授業での活発な発言、ピア・ラーニングへの貢献など）および期末試験により総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Ikumi Waragai（藁谷郁美）, Andreas Meyer, Tatsuya Ohta（太田達也） Module 1（モドゥーレ 1） 朝日出版社 9784255254708 C1084
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50656	A	ドイツ語初級 （第三外国語）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語・通年） Deutsch als dritte Fremdsprache für Anfänger:innen
授業の目標概要	この授業は、ドイツ語を学んだことがなく、第三外国語としてドイツ語を学びたい学生を対象としています。1 年間かけてドイツ語の基礎を学びます。 Dieser zweisemestrige Kurs richtet sich an Studierende, die noch über keine Deutschkenntnisse verfügen und Deutsch als dritte Fremdsprache lernen wollen.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を５０％で、期末試験を５０％で総合的に評価する。累積欠席回数が 5 回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei fünfmaligem unbegründetem
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Anne Buscha, Szilvia Szita Begegnungen A1+. Integriertes Kurs- und Arbeitsbuch Schubert Verlag 978-3-96915-005-4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50690	A	ドイツ語初級（第三外国語）	高橋 亮介	ドイツ語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語初級（第三外国語）／German Language (Introductory)
授業の目標概要	１学期で入門レベルのドイツ語文法を扱う。やさしい文章を読み解く力と初歩的な表現力の習得を目指す。
成績評価方法	中間試験、授業期間を利用した期末試験、出席状況などの基準に基づき、総合的に成績評価を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 高橋亮介・川名真矢 新・アプライゼ 伝え合うドイツ語 朝日出版社 978-4-255-25473-9
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50250	A	ドイツ語中級（演習）	板倉 歌	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語中級（演習）
授業の目標概要	初級の復習を取り入れながら中級への橋渡しをします。文法・会話・読解練習を通じて文法知識の定着を図ります。
成績評価方法	テストと平常点（提出物を含む）によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50944	A	ドイツ語中級（演習）	林 志津江	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語テクストを読み、考え、楽しむ
授業の目標概要	（目標）ドイツ語のテクストを読む楽しさや奥深さを共有しつつ、ドイツ語テクストを自力で読む力の習得とともに、資料を精読する意味や、文献研究に対する理解を深めていきます。 （概要）文学・歴史・法律など、複数のジャンルのドイツ語テクスト（詩、短編、エッセイ、文化論的記述、法律文など）の精読を通じて、ドイツ語初級文法の復習と中級文法の導入を行います。ドイツ語初級文法の知識があることを前提としますが、１年生（S セメスターのみ既習）の履修者にも配慮する形で、文法事項の学習も適宜補足します。
成績評価方法	授業への積極的な参加・貢献および学期末テストの得点をあわせ、総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50003	A	ドイツ語中級（会話）	ファイファー マティアス	ドイツ語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Konversationskurs (Mittelstufe) - ドイツ語中級（会話）
授業の目標概要	Dieser Kurs ist für Studierende mit Vorkenntnissen der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A2-B1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Entwicklung der Kommunikationsfähigkeit. Die bisher erworbenen sprachlichen Fertigkeiten sollen gefestigt und automatisiert werden. Das Hörverständnis soll verbessert, der Wortschatz erweitert und die Ausdrucksfähigkeit ausgebaut werden. Besonders die mündliche Kommunikation soll gezielt gefördert werden. 初級程度の会話力を持つひとのための授業です。コミュニケーション能力を高めるために、すでに得た会話能力をいっそう確実にし、すらすらと話せるようにしましょう。また、聴き取り能力を向上させ、語彙を増やし、高度な表現力を身につけましょう。
成績評価方法	Die Bewertung ergibt sich aus der aktiven Teilnahme im Kurs, den Ergebnissen der Hausaufgaben und einer Präsentation und/oder mündlichen Prüfung am Ende des Semesters. Regelmäßige Anwesenheit wird vorausgesetzt. 授業への積極性、宿題、プレゼンテーション、学期末の口述試験によって評価します。出
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 藤村三枝子 スタート！２（コミュニケーション活動で学ぶドイツ語） 三修社 978-4384-13096-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50176	A	ドイツ語中級（作文）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Deutsch: Schreiben für fortgeschrittene Anfänger:innen (Mittelstufe)
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende mit Vorkenntnissen (ein Jahr und mehr). Trainiert werden das Schreiben von eigenen Texten zu Themen nach Wahl des Kurses. Ziel ist das Erlernen von Textmustern und das Einüben geeigneter Redemittel etwa auf dem Niveau A2-B1. Der Inhalt der Schreibübungen richtet sich nach den Interessen des Kurses. ドイツ語を 1 年（以上）学んだことがある受講者を想定している。本授業では、講座で選んだテーマを基盤に各自の文章を書く訓練を行う。授業の目標は、複数のテクスト・パターンを学び、適切な表現を練習することにある。演習の内容は、コースの興味に応じて決定される。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar sowie der Hausaufgaben. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Ein Test findet nicht statt. 成績評価は平常点によって行う。授業中の貢献と宿題の質が判断基準となる。積極的な参加が前提となる。小テスト・期末試験は行わない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51487	A	ドイツ語中級 （インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.
成績評価方法	授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteili
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Kursbuch plus interaktive Version Hueber Verlag 978-3-19-501792-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51488	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ドイツ語中級（インテンシヴ）／German Language (Intermediate)
授業の目標概要	この授業では、必修の一・二列の授業で学習した文法的な知識を、練習を重ねることで定着させるとともに、ドイツ語で聴く・読む・話す・書くための能力の基礎を固める。授業は S セメスターの「ドイツ語初級（インテンシヴ）」を続け、ドイツ語を前期で始めた学生を対象としたもので、ヨーロッパ言語共通参照枠の A2 レヴェルに必要な能力を養うことを目指す。 ドイツ語の文法構造を練習するほか、日常的なシチュエーションに応じた会話や、短い文章をドイツ語で作成する訓練などを行う。練習の重点は、A2 レヴェルのドイツ語認定試験に合わせて学習者の語彙を増やすことにある。 Dieser Kurs ist die Fortsetzung des Kurses „German Language (Intensive)“ aus dem Sommer-Semester und richtet sich an Lernende mit geringen Vorkenntnissen (ca. A1) der deutschen Sprache. Durch Übungen in den vier Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben wird das erworbene Wissen erweitert und gefestigt. Die Lernenden üben die grammatischen Strukturen des Deutschen und lernen, sich in Alltagssituationen zu verständigen, einfache Gespräche zu führen und kleine Texte zu verfassen. Der Kurs zielt auf das Niveau A2 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens (GER). Im Mittelpunkt der Übungen steht die Erweiterung des Wortschatzes im Hinblick auf die Anforderungen des Goethe Zertifikats A2.
成績評価方法	授業への参加、宿題、定期的な課題によって総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. Schwerpunkt der Benotung bildet die aktive Beteili
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Braun-Podeschwa, Julia et al. Momente A2: Kursbuch plus interaktive Version Hueber Verlag 978-3-19-501792-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51040	A	ドイツ語上級（演習）	ククリンスキ ルーベン	ドイツ語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Deutsch für Fortgeschrittene (Oberstufe) ドイツ語上級（演習）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse (Niveau B1 〜) verfügen und Ihre Deutschkenntnisse erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle Themen aus dem deutschsprachigen Raum in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、ドイツ語圏の現在トピックを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und an den gestellten Aufgaben. 評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50608	A	ドイツ語上級（会話）	Ｉ・カウフマン	ドイツ語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Konversationskurs Oberstufe ドイツ語上級（会話）
授業の目標概要	Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits über fortgeschrittene Deutschkenntnisse ab Niveau B1 verfügen und Ihre Deutschkenntnisse erhalten oder weiter ausbauen möchten. Im Kurs werden aktuelle Themen aus dem deutschsprachigen Raum in gemeinsamen Übungen und Gesprächen bearbeitet. Der Schwerpunkt liegt auf der mündlichen Kommunikation, aber auch andere Kompetenzen (Lesen, Hören, Schreiben) werden trainiert. 本授業は、レベル B1 以上のドイツ語能力を持ち、その能力を維持またはさらに向上させたい学生を対象としている。授業では、ドイツ語圏の現在トピックを取り上げ、合同演習やディスカッションを行う。重点は口頭コミュニケーションにあるが、他のスキル（読む、聞く、書く）も練習させる。
成績評価方法	Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung am Unterricht und an den gestellten Aufgaben. 評価は、授業とその課題への積極的な参加に基づいて行われる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50641	A	ドイツ語上級（読解）	ヤン シュトラースハイム	ドイツ語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Lektürekurs Deutsch für Fortgeschrittene
授業の目標概要	中級文法を習得済みの受講者を対象とした科目。文法と語彙の知識を増やし、短いテキストや抜粋を使って総合的な読解力の向上を目指す。 Der Kurs richtet sich an Studierende, die bereits Grammatikkurse der Mittelstufe belegt haben. Ziel ist es, bestehende Deutschkenntnisse mit Blick auf das Leseverständnis zu erweitern. Bestehendes Wissen zu Grammatik und Wortschatz soll dabei anhand kurzer Texte oder Textauszüge erweitert, angewandt, abgewandelt und verfeinert werden.
成績評価方法	平常点（授業への参加・課題・出席率）を５０％で、期末試験を５０％で総合的に評価する。累積欠席回数が４回に達した場合、不可とする。 Die Note ergibt sich zu 50% aus der Mitarbeit bei den Sitzungen, den Aufgaben und Übungen und der Teilnahmehäufigkeit sowie zu 50% aus einer Abschlussprüfung. Bei viermaligem unbegründetem
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L フランス語

フランス語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。
　この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、自由選択が可能な国際コミュニケーションの初級科目への積極的な参加を勧める。

成績評価方法　平常点（宿題、出席、発言等）と期末試験で総合的に評価する。

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50132	月 4	デルヴロワ ミカエル	1 年 文一二(26)
50322	火 3	COUCHOT Herve	1 年 文一二(23)
50398	火 4	CAPEL Mathieu	1 年 文一二(24)
50517	水 2	BELOUAD CHRIS	1 年 文一二(27)
50518	水 2	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(28)
50579	水 3	ファイフ ベアトリクス	1 年 文一二(25)
50623	水 4	Steve Corbeil	1 年 文三(20)
51013	金 3	BELOUAD CHRIS	1 年 文三(17)
51014	金 3	アルベリック ドリブル	1 年 文三(19)
51057	金 4	アルベリック ドリブル	1 年 文三(18)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51296	A	フランス語初級（演習）［高度］	松井 裕美	仏語・伊語	火 2	1 年 理科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) / A2 – Livre + livre numérique + didierfle.app / Didier FLE 9782278104680 Date de parution en librairie : 2022/07/08
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50268	A	フランス語初級（演習）②［高度］	松井 裕美	仏語・伊語	火 2	1 年 文科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) / A2 – Livre + livre numérique + didierfle.app / Didier FLE 9782278104680 Date de parution en librairie : 2022/07/08
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50251	A	フランス語初級（会話）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Conversation en français
授業の目標概要	Dans ce cours, les étudiants s'exerceront à la conversation et devront ainsi mettre en pratique les connaissances lexicales et grammaticales qu'ils ont acquises au cours de leur apprentissage universitaire du français.
成績評価方法	L'évaluation se fera sous la forme d'un contrôle continu (devoirs à faire à la maison) à hauteur de 10% de la note finale, et en fin de semestre, dans le cadre d'une conversation de 10 minutes entre étudiants sur un thème choisi par l'enseignant. Cet examen oral représentera 90% de la note finale. 本授業では、通常の宿題の代わりに、有料の e ラーニングサイト「Furago.io」を活用した課題を実施します（受講料：1 学期あたり 990 円）。授業外の学習活動として、このプラットフォーム上で指定されたエクササイズを行っていただきます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50657	A	フランス語初級（会話）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Communication orale en français (niveau débutant A1-A2)
授業の目標概要	Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français oral. Les étudiants participeront à différentes activités orales : - Compréhension orale : exercices d'écoute de dialogues en français - Production orale en continu : lectures, présentations - Production orale en interaction : discussions, jeux de rôle Parler, c'est bien prononcer, mais c'est aussi bien structurer son discours. La maîtrise de la grammaire (structures, conjugaisons des verbes, etc.) sera, au même titre que la maîtrise de la prononciation, un élément important dans la pratique en classe et dans les évaluations. Certaines activités seront de format libre, d’autres suivront le format du DELF A1-A2.
成績評価方法	1) Contrôle continu : exposés en classe, devoirs, travaux préparatoires 2) Examen final (les modalités seront expliquées pendant le cours) 3) Assiduité, participation active et comportement respectueux 1) 授業内での発表、課題提出などの平常評価 2) 期末試験（内容は授業内で説明します） 3) 出席状況、授業への参加態度、周囲への配慮を含む授業中のマナーも評価の対象となります。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50868	A	フランス語初級（作文）	ビゼ	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Lecture/écriture en français フランス語での読み書き
授業の目標概要	À partir de supports divers (roman graphique, texte littéraire, court métrage, photographie, tableau), les étudiants devront écrire en français des textes de formes diverses (description, dialogue, récit etc). この授業では、学生はフランス語で多様な形式の文章（説明文、会話文、物語など）を用いて、文学、短編映画、写真、絵画、グラフィックノベルなどを素材に執筆する必要があります。
成績評価方法	Tous les travaux écrits seront fait en classe et évalués. La moyenne sera calculé en fin de semestre. Il n'y a pas d'examen final. 最終試験はありませんが、授業内で複数回の小テストを行い、全ての小テストの平均点によって評価を行います。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50658	A	フランス語初級 （表現練習）	デルヴロワ ミカエル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「フランス語表現」
授業の目標概要	この授業では必修の「フランス語初級（演習）」で学んだ内容を強化します。「フランス語初級（演習）」の復習をしながら理解を更に深め「フランス語初級（演習）」のA+を狙いましょう。
成績評価方法	講義に関する宿題が 50%、毎回のレッスン課終了毎に行う小テストが 50%（期末テスト無し）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	フランス語初級（読解）	須藤 佳子	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語読解の基礎力をつける
授業の目標概要	この授業では、初級文法にもとづき基本語彙をもちいて書かれた、フランス語の文章を読んでいきます。 文の構造を正確に把握した訳読をおこなうことで、初級文法の知識を補いつつ定着させ、基本語彙を身につけ、読解の基礎力を養います。まとまりのある平易な文章を、辞書をたよりに、自力で読めるようになることを目指します。
成績評価方法	授業への参加度、課題、授業内テストにより評価をします。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小川・メルメ・フロランス /久松健一 LE COLLIER 朝日出版社 978-4-255-35278-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50542	A	フランス語初級（読解）	赤羽 悠	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語の新聞記事を読む
授業の目標概要	比較的平易なフランス語の新聞記事を丁寧に読んでいきます。フランス語の読解力を向上させると同時に、実際のフランス語がある程度読める、という手ごたえをつかんでもらうことを目指します。 なお、まだ初級文法を学習途中の 1 年生でも無理なくついてこられるような授業にするつもりです。文法事項の先取りになってしまう箇所も多々あると思いますが、そのような箇所は特に丁寧に説明していきます。まだ初級文法が学び終わっていなくても、実際のフランス語に触れてみたい、あるいは文法の学習をどんどん先に進めたいという意欲のある学生は歓迎します。
成績評価方法	平常点（授業への参加）、学期末試験等により総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50006	A	フランス語初級（インテンシヴ）［高度］	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 1	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読）、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50177	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜 5 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 本授業では、通常の宿題の代わりに、有料の e ラーニングサイト「Furago.io」を活用した課題を実施します（受講料：1 学期あたり 990 円)。授業外の学習活動として、このプラットフォーム上で指定されたエクササイズを行っていただきます。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier A1+ Didier 978-2278104673 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50178	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる２つの授業のうちの１つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz, テスト、, 定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50659	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科

講義題目	フランス中級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜 2 限の授業（フランス語中級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 本授業では、通常の宿題の代わりに、有料の e ラーニングサイト「Furago.io」を活用した課題を実施します（受講料：1 学期あたり 990 円)。授業外の学習活動として、このプラットフォーム上で指定されたエクササイズを行っていただきます。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L'atelier A2+ Didier 978-2278104727 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50691	A	フランス語初級（インテンシヴ）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（インテンシヴコース）
授業の目標概要	このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる 2 つの授業のうちの 1 つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに 開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培する授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日 1 限の授業（フランス語初級（インテンシヴ)、アガエス）も受講しなくてはなりません。S セメスターと A セメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、quiz, テスト、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app DIDIER FLE 9782278104680
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50961	A	フランス語初級（インテンシヴ）［高度］	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	フランス語インテンシヴ・コース（1 年次）
授業の目標概要	一列・二列（文法と講読)、フランス語初級（演習）［高度］、そしてフランス語初級（インテンシヴ）［高度］を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 秋学期の目的：DELF のレベル A2 に達する
成績評価方法	参加者の規則正しい出席を前提としています。宿題、QUIZ、定期試験によって評価をします。 We will also use the Furago Website for homeworks and the students will have to pay around 1000 yens to use it.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Marie-Noëlle Cocton, Emilie Pommier, Delphine Ripaud, Marie Rabin L’atelier + A1 (édition 2022) – Livre + livre numérique + didierfle.app Didier FLE 9782278104710
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50252	A	フランス語初級（第三外国語）	伊達 聖伸	仏語・伊語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語（特急）
授業の目標概要	初級フランス語文法を 1 セメスターで通覧する。
成績評価方法	平常点（出席と課題）、小テストおよび期末試験による。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook S.D.F.G グラメール・フランセーズ新訂版 朝日出版社 9784255353692
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50660	A	フランス語初級（第三外国語）	黒木 秀房	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級 French(Introductory)
授業の目標概要	フランス語の発音や初級文法を学ぶ。基本的な語彙や表現を身につける。
成績評価方法	平常点（授業への参加度、小テスト等）と期末試験によって総合的に判断する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 澤田直、Liliane Lattanzio、黒川学 『アミカルマン〈プリュス〉（二訂版）』 駿河台出版社 9784411011473
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50945	A	フランス語初級（第三外国語）	小西 英則	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス語初級（第三外国語）
授業の目標概要	フランス語の文法的な仕組みを一通り理解し、丁寧に辞書を引けば標準的な文章の意味が正しく理解できるようになる。 フランス語の綴りと発音の関係を理解し、文章を正しく発音できるようになる。 学習した文法事項や表現を用いながら、特定の身近な話題についてフランス語で自然に会話ができるようになる。
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習状況、課題等）および学期末試験によって、総合的に判断する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 太田浩一、前田保、渡辺仁 新・フランス語文法の＜基礎＞ 駿河台出版社 978-4-411-00775-9
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50056	A	フランス語中級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	Ce cours vise à développer la fluidité dans la prise de parole en français. À travers des activités variées et interactives, les étudiants s’exerceront à comprendre, reformuler, s’exprimer, raconter, décrire, débattre, présenter, et à interagir avec les autres. L’approche est flexible et adaptable : les contenus précis et le rythme seront ajustés selon les profils et niveaux des étudiants, évalués en début de semestre.
成績評価方法	L'évaluation portera sur : 1. La participation orale en classe : 30 % 2. La présentation orale (exposé en binôme ou petit groupe) : 40 % 3. L'entretien individuel de fin de semestre : 30 %
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50253	A	フランス語中級（会話）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Communication orale en français : présentations et discussions
授業の目標概要	Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français oral. Nous prendrons quelques semaines pour traiter chaque thème. Pour préparer chaque thème, nous commencerons par lire de courts textes ou regarder de courtes vidéos ensemble. Les étudiants participeront ensuite à différences activités orales sur ce sujet : présentations de différents types, discussions, jeux de rôle, etc. Certaines activités seront de format libre, d’autres suivront le format du DELF/DALF. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne. ※ Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - フランス語中級（会話）: pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. - 共通フランス語 (15) (会話) : pour les étudiants de 3e et 4e années. ※ Le premier cours du semestre aura lieu en ligne (Zoom). Le professeur postera le lien Zoom sur UTOL quelques jours avant le premier cours.
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe) 2) Contrôle final 3) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50946	A	フランス語中級（作文）	BELOUAD CHRIS	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Écriture de la vie quotidienne
授業の目標概要	Ce cours s’adresse aux étudiants qui veulent progresser dans la maîtrise du français écrit. Au semestre d’automne, nous travaillerons principalement sur les styles d'écriture de la vie quotidienne. Nous prendrons quelques semaines pour traiter chaque thème. Pour chaque thème, nous utiliserons différents documents (épreuves du DELF et du DALF, extraits d’articles de journaux, extraits de romans, etc.) à partir desquels nous effectuerons différents exercices : écrire une lettre, un essai argumenté, imaginer la suite d’une histoire, etc. Les discussions et la correction des devoirs en classe seront l’occasion de réviser des points de grammaire et d’enrichir votre vocabulaire. ※ Les cours de printemps et d’automne sont indépendants l’un de l’autre. Il est possible de suivre les cours des deux semestres, ou seulement celui de printemps, ou seulement celui d’automne. ※ Ce cours est un cours conjoint (合同授業) : - フランス語中級（会話）: pour les étudiants de 2e année, et les étudiants de 1re année qui ont étudié le français avant d'entrer à l'université. - 共通フランス語 (16) (作文) : pour les étudiants de 3e et 4e années. ※ Le premier cours du semestre aura lieu en ligne (Zoom). Le professeur postera le lien Zoom sur UTOL quelques jours avant le premier cours.
成績評価方法	1) Contrôle continu (devoirs et activités en classe) 2) Contrôle final 3) Assiduité (nombre limité d'absences et de retards) et participation en classe
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50869	A	フランス語中級 （表現練習）	アルベリック ドリブル	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Cours d'expressions orale et écrite de niveau intermédiaire
授業の目標概要	Ce cours est destiné aux étudiants ayant déjà étudié le français pendant au moins un an. Il s'agit d'un cours de français de niveau intermédiaire destiné aux étudiants désireux de progresser dans les quatre grandes compétences langagières : productions écrite et orale, compréhensions écrite et orale.
成績評価方法	L'évaluation finale comportera un examen écrit et un examen oral portant sur les contenus linguistiques travaillés durant le semestre.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50057	A	フランス語中級 （読解）	小西 英則	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	インターネット上の時事フランス語を読む
授業の目標概要	今日の標準的なフランス語で書かれているマスコミの記事の中から、各自が興味のあるものを選んでできるだけ多く読み、フランス語を正確に読みこなす実力と自信を身につける。フランス語学習の目的が何であれ、それは高度な語学力に不可欠な確かな土台となるはずである。
成績評価方法	平常点（授業への積極的参加、予習状況、課題等）および学期末の試験（またはレポート）によって、総合的に判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50757	A	フランス語中級（読解）	片岡 大右	仏語・伊語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。					
授業の目標概要						
成績評価方法						
教科書						
ガイダンス						

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50220	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	仏語・伊語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Cours de conversation en français niveau avancé (DELF B1, B2 et plus)					
授業の目標概要	Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets et de thèmes variés (cinéma, musique, société, etc.). Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. Nous ferons aussi des jeux pour pratiquer le français.					
成績評価方法	Présentations, rapports, attitude et participation en classe, absences.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50543	A	フランス語上級（読解）	藤岡 俊博	仏語・伊語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	フランス語で読む哲学・思想					
授業の目標概要	哲学・思想分野の文献を正確に読みこなすためのフランス語の読解能力を身につける。					
成績評価方法	授業への参加の度合い、および、最終授業時におこなう試験で評価する。					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

総合科目 L 中国語

中国語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
注意事項：クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
著者(訳者)　毛 興華
出版社　白帝社
ISBN

関連ホームページ
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50028	月 2	林 立梅	1 年 文一二(18)
50318	火 3	郭 馳洋	1 年 文一二(15)
50319	火 3	喬 志航	1 年 文一二(16)
50339	火 3	毛 興華	1 年 文三(13)
50395	火 4	斉 金英	1 年 文一二(19)
50618	水 4	中原 裕貴	1 年 文一二(14)
50621	水 4	王 牧	1 年 文三(11)
50735	木 2	王 牧	1 年 文一二(17)
50737	木 2	毛 興華	1 年 文三(12)
50907	金 1	斉 金英	1 年 文一二(13)
51012	金 3	張 玉萍	1 年 文三(14)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50004	A	中国語初級（演習）	林 立梅	中国語	月 1	1 年 理科

講義題目	中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要	一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 注意事項：通年開講するので、通年に履修すること。
成績評価方法	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』 白帝社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50271	A	中国語初級（演習）［高度］	鄧 芳	中国語	火 2	1 年 理科

講義題目	中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要	一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。 下記の①②③から一科目ずつ履修してください。 ① 初級演習 火２ 鄧芳先生 初級演習 金２ 白春花先生 ② 初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生 初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生 ③ 初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生 初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生
成績評価方法	定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 毛 興華 『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50964	A	中国語初級（演習）［高度］	白 春花	中国語	金 2	1 年 理科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
（①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生
尚、実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を２０名まで計４０名）
履修希望者多数が予想されるため、開講前に抽選を行います。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50270	A	中国語初級（演習）②［高度］	鄧 芳	中国語	火 2	1 年 文科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング

授業の目標概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
下記の①②③を、各一科目選択してください。
①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生
②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生
③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生
尚、実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を２０名まで計４０名）
Ｓセメスターに履修した学生を優先します。希望者が定員を超えた場合は抽選を行います。
【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆原則辞退や履修クラスの変更を認めないので、受講できないクラスにはくれぐれもエントリーしないように注意ください。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。

成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50963	A	中国語初級（演習）②［高度］	白 春花	中国語	金 2	1 年 文科

講義題目　中国語の基礎を固めるトレーニング
授業の目標概要　一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
（①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生
尚、実践訓練を行うため人数制限をします。（１クラス定員を２０名まで計４０名）
履修希望者多数が予想されるため、開講前に抽選を行います。
成績評価方法　定期試験を行わず、繰り上げ試験などを行うが、詳細は担当教員の指示に従うこと。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
毛 興華
『「聴・説・読・写」で中国語を身につけよう 初修中国語 演習テキスト』
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50692	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級作文
授業の目標概要　半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。
成績評価方法　課題、小テストと期末試験によって総合的に評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
何彬 小野秀樹
チャイニーズ ライティング
白帝社
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50947	A	中国語初級（作文）	張 玉萍	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　中国語初級作文
授業の目標概要　この授業は半年から一年程度で中国語を履修した学生を対象とした授業である。自分のことや日常生活などで必要なことを中国語で表現する能力を養成するのが目的である。中国語の文法事項や重要な構文を学習した上、短文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を身に付けていきます。
成績評価方法　授業の予習、復習、トレーニングの完成度、授業の参加度、試験によって総合的に評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
井田みずほ・小園瑞恵
初中級 中国語作文トレーニング
白帝社
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50254	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング A

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
A クラス：火２ 毛興華先生 金２ 王英輝先生
B クラス：木１ 王牧先生 金２ 賈黎黎先生
☆A クラスは必ず金２（担当教員：王英輝先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（月）の 17 時 55 分までにお名前、学年、S セメインテンシヴ受講歴の有無などの情報を明記の上、cjialili@g.ecc.u-tokyo.ac.jp に送信してください。
【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を 10 月 1 日（水）に UTOL にて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

成績評価方法　授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
朝日出版社
978－4－255－45377－4

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50269	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	白 春花	中国語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。

①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生

【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆S セメスターに履修した学生を優先します。希望者が定員を超えた場合は抽選を行います。

成績評価方法　小テスト、期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50693	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 牧	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
A クラス：火２ 毛興華先生 金２ 王英輝先生
B クラス：木１ 王牧先生 金２ 賈黎黎先生
☆B クラスは必ず金２（担当教員：賈黎黎先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（月）の 17 時 55 分までにお名前、学年、S セメインテンシヴ受講歴の有無などの情報を明記の上、cjialili@g.ecc.u-tokyo.ac.jp に送信してください。
【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を 10 月 1 日（水）に UTOL にて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

成績評価方法　授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
朝日出版社
978－4－255－45377－4

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50699	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	白 春花	中国語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。

①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生

【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆S セメスターに履修した学生を優先します。希望者が定員を超えた場合は抽選を行います。

成績評価方法　小テスト、期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50882	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	鄧 芳	中国語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
下記の①②③から一科目ずつ履修してください。

①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生

【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆Ｓセメスターに履修した学生を優先します。希望者が定員を超えた場合は抽選を行います。

成績評価方法　小テスト、期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50948	A	中国語初級（インテンシヴ）	王 英輝	中国語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。Ｓセメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
A クラス：火２ 毛興華先生 金２ 王英輝先生
B クラス：木１ 王牧先生 金２ 賈黎黎先生
☆A クラスは必ず火２（担当教員：毛興華先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（月）の 17 時 55 分までにお名前、学年、S セメインテンシヴ受講歴の有無などの情報を明記の上、cjialili@g.ecc.u-tokyo.ac.jp に送信してください。
【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を 10 月 1 日（水）に UTOL にて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

成績評価方法　授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
朝日出版社
978－4－255－45377－4

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50949	A	中国語初級（インテンシヴ）	賈 黎黎	中国語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング B

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。週２回をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）

実践訓練を行うため、クラスは人数制限をする。A セメスターは２クラス開講し、各クラス定員を２０名までとする。S セメスターに履修した学生を優先する。希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。
A クラス：火２ 毛興華先生 金２ 王英輝先生
B クラス：木１ 王牧先生 金２ 賈黎黎先生
☆B クラスは必ず木１（担当教員：王牧先生）とセットで履修すること。
☆基本的に初修者を対象とするためネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めない。
☆抽選の必要の有無を開講前に把握すべく、履修希望者は 9 月 30 日（月）の 17 時 55 分までにお名前、学年、S セメインテンシヴ受講歴の有無などの情報を明記の上、cjialili@g.ecc.u-tokyo.ac.jp に送信してください。
【注意事項】抽選を行なった場合、当選結果を 10 月 1 日（水）に UTOL にて知らせる。抽選で履修が認められた者は必ず履修すること。

成績評価方法　授業貢献度、課題の完成度、小テスト・グループ活動・期末試験等の完成度に基づき総合的に評価する。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
朝日出版社
978－4－255－45377－4

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50962	A	中国語初級（インテンシヴ）［高度］	鄧 芳	中国語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目　中国語の実践能力を養うためのトレーニング[高度]

授業の目標概要　基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別な授業です。
この[高度]科目は、初級インテンシヴコース[高度]２コマと初級演習[高度]の計３コマをセットで履修することを義務付けています。
旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週３コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。
下記の①②③から一科目ずつ履修してください。

①
初級演習 火２ 鄧芳先生
初級演習 金２ 白春花先生

②
初級インテンシヴ１ 木５ 鄧芳先生
初級インテンシヴ１ 金２ 鄧芳先生

③
初級インテンシヴ２ 火２ 白春花先生
初級インテンシヴ２ 木１ 白春花先生

【注意事項】
☆基本的に初修者を対象とする授業なのでネイティヴ、ニアネイティヴの受講は認めません。
☆「上級英語」「中級英語」と授業が重なる場合にはエントリーをしないでください。１コマでも授業が重なった場合には履修できません。セット履修ができない場合には履修を認めません。
☆S セメスターに履修した学生を優先します。希望者が定員を超えた場合は抽選を行います。

成績評価方法　小テスト、期末試験など

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
小嶋美由紀・李佳樑
聞いて話す 初級中国語インテンシブ
白帝社

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50255	A	中国語初級（第三外国語）	賈 黎黎	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語初級（第三外国語）
授業の目標概要	この授業は中国学習をゼロからスタートする学生を対象とし、中国語の基礎を身につけることに重点を置いて学習を進める。学び終わった段階で中国語の発音ができ、500 語程度の単語を運用して簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。
成績評価方法	受講態度、発表、期末試験などによって成績を判定する。詳しいことは初回授業の時に説明する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 雷桂林 賈黎黎 読む力・書く力を鍛える初級中国語 朝日出版社 978－4－255－45377－4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	中国語初級（第三外国語）	吉川 雅之	中国語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語初級（A セメスターから始める中国語）
授業の目標概要	現代標準中国語の基礎知識と初級運用能力を身につけることを目標とします。
成績評価方法	１．期末試験、小テスト、平常点から算出します。 ２．平常点については授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小野秀樹ほか 漢語課本（第 2 刷） 白帝社 978-4863984226 第 2 刷を用います。第 3、4 刷ではないのでご注意ください。東大生協で取り扱い。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50694	A	中国語初級（第三外国語）	菊池 真純	中国語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語初級（第三外国語）／ Chinese Language (Introductory)
授業の目標概要	中国語学習の重要な基礎となる”発音”と”文法”を学ぶ。 S セメスターに半年間の授業があり、その進度から継続して A セメスターに同じテキストで開講する授業である。 S セメスターを授業した学生を優先的に受け入れ、30 名を定員とする。初回授業で定員を超えている場合に抽選を行うので履修希望者は必ず出席をすること。
成績評価方法	出席状況、授業中のパフォーマンス、課題、小テスト、期末試験などで総合的に評価する。 課題、小テスト、期末試験などについては、教員の指示に従うこと。 授業に参加することが成績評価の前提であり、出席日数が三分の二未満の場合は不合格とする。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小嶋美由紀, 李佳樑 著 聞いて話す 初級中国語インテンシブ 白帝社 9784863984547
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	中国語中級（演習）	高柳 峻秀	中国語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語文章読解（中級）
授業の目標概要	本授業では 1 年半程度の中国語学習を通じて基本的な文法知識を学んだ学生を対象に、さらなる基礎力向上のために不可欠な読解力・翻訳力を習得することを目的とする。 授業では、新聞記事をはじめとする中国語の読解・和訳に取り組み、文法・語彙知識の強化および文章の種類に応じた自然な表現について学習する。 また、中国語圏の時事に関する文章を適切に理解・翻訳するためには、その背景となる中国文化や昨今の中国の動向についても理解する必要がある。そのため、授業内では必要に応じて文法事項のほか中国事情についても適宜解説する。
成績評価方法	平常点（出席、授業への取り組み）と期末試験の結果を合算して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50609	A	中国語中級（会話）	中原 裕貴	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	楽しく中国語を学ぶ
授業の目標概要	まず、「話す」能力を向上させるには、レスリングの練習を徹底的にやる。 次に会話を通じて、自己紹介、家族の紹介、大学生活の紹介、趣味、日常生活および日本の文化と中国文化の相違などを自由に表現できるのを目標にする。
成績評価方法	平常点 50% 試 験 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50870	A	中国語中級（会話）	姚 毅	中国語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	コミュニケーション能力を高めるための実践的授業
授業の目標概要	初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践的授業である。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面に関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。
成績評価方法	平常点（授業の参加・小テスト）と期末試験を吟味して評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三潴正道/陳 祖ハイ/古屋順子 『 時事中国語の教科書』2025 年度版 朝日出版社 9784255454115
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50950	A	中国語中級（会話）	斉 金英	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級中国語会話
授業の目標概要	中級レベルの文法を習得しながら、中国や日本の現代文化や社会事情が織り込まれた文章に触れ、テーマごとの会話練習を通して、中国事情に対する理解を深めつつ、様々な場面における中国語の自然な言い回しを応用できる口頭表現力を培うことを目指す。
成績評価方法	期末試験(60 点)や授業への参加度（40 点）により総合的に評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 及川淳子・朱力 『16 テーマで読む現代中国』 白水社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50926	A	中国語中級（作文）	王 英輝	中国語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語中級作文
授業の目標概要	文法と語彙を強化し、読解力を高めながら、平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。 モデル文を読み、文章表現のポイントを解説した上、テーマ別に中国語の文章を書いてもらい、教員が添削することによって、文章力が着実に身につくことを目指している。
成績評価方法	平常点（課題、授業への取り組み度など）と期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 楊彩虹 /趙晴 /陳敏 『文章力アップ 伝わる中国語作文』 朝日出版 978-4-255-45363-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50256	A	中国語中級（読解）	李 洵	中国語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	精読で表現力を高めよう
授業の目標概要	中国語検定試験２級レベルの長文を精読する。 精読作業を通じて、初級既習文法への理解を深め、新たな応用展開について学び、合わせて様々な場面での表現や語彙を習得する。中国語の読解力を身につけるとともに作文の力も高めていく。
成績評価方法	平常点 30%（出席、小テスト、授業参加）、期末試験 70%。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50951	A	中国語中級（読解）	伊藤 徳也	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級中国語：近代中国文学を読む
授業の目標概要	本授業では、現代中国語の基礎となった胡適、魯迅、周作人等の近代中国文学を代表する作家の様々なタイプの文章を、一字一句分解しつつゆっくり訳読（日本語訳）していく。 ＊中国語のテキストを日本語に翻訳する。テキストは中国語だが、授業中に使用する言語は日本語である。 ＊初回のみオンライン
成績評価方法	平常点と期末テストによって総合的に評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50544	A	中国語上級（演習）	菊池 真純	中国語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（演習）
授業の目標概要	授课语言为汉语。这不是“学习汉语的课”，而是“用汉语学习的课”。 这门课要介绍在中国农村实施的林业政策、环境政策，以及在此政策之下的当地居民生活。 这门课的内容是关于森林保护政策和当地生活。每节课都会介绍任课教师在中国农村进行实地调查时获得的一手资料。 这门课的最终目标是让学生们从中国农村的案例中学会思考各种问题，并思考这些问题在整个中国社会中具有什么样的意义？它们跟日本有什么关系？对国际社会有什么影响？
成績評価方法	平时表现 60%，期末考试 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51041	A	中国語上級（演習）	王 牧	中国語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（演習）
授業の目標概要	本授業では、一般言語学や現代中国語文法論に関するいくつかのテーマを取り上げ、中国語で書かれた論文を講読し、専門的な内容を正確に理解するとともに、学術的な文章を読み解く力を養い、言語現象の背後にある思想や文化、認知メカニズムの違いについて理解を深めます。また、論文の要約、プレゼンテーション、レポートや小論文の作成などの実践的な課題を通じて、アカデミックな中国語運用能力の向上も目指します。
成績評価方法	平常点（出席率、予習状況、授業態度など）、授業内で行う演習や発表、期末課題を総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50952	A	中国語上級（会話）	王 牧	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（会話）
授業の目標概要	この授業では、中国語の会話能力をさらに高めることを目的とし、実際の会話場面や抽象的・社会的なテーマについて、自分の意見を論理的に述べる力を養います。自然な発音、適切な語彙の使用、文化的背景の理解も重視します。
成績評価方法	期末発表の成績、課題の提出状況、授業への参加度（出席状況、プレゼンテーションやディスカッションの参加度など）に基づき、評価を行います。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50815	A	中国語上級（作文）	毛 興華	中国語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語上級（作文）
授業の目標概要	平明達意な中国語の文章を書けることを目標とする。 模範文例を読んだ上で、テーマ別に中国語で書いてもらい、文章力が着実に身につくことを目指している。 提出した作文について、教員が添削し講評する。 語彙や文法ポイントの運用能力を高めるために、翻訳の練習も適宜行う。
成績評価方法	課題（作文）、授業への貢献度
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 楊彩虹 /趙晴 /陳敏 文章力アップ！伝わる中国語作文 朝日出版社 978-4-255-45363-7
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50058	A	中国語上級（読解）	高柳 峻秀	中国語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国語文章読解（中上級）
授業の目標概要	本授業では、近代以降の中国における多様な中国語文章、特に中国人による日本観、日本研究、日中関係に関する論考・記事を精読する。これにより、中国側の視点や議論も把握しつつ日本と中国の関係について多角的に考察する力を養うことを目的とする。 あわせて、異なる時期・文体の中国語文章に触れることで、応用的な文法・語彙知識を習得し、文章種別に応じた表現や読解の技術を高めるとともに、適切な発音で滑らかに文章を音読する能力も向上させることを目指す。なお、繁体字・簡体字の両方の文章を取り扱う予定である。 さらに、これらの文章をより正確に読み解くためには、当時の時代背景や執筆者の経歴・立場についても理解していることが不可欠である。そのため、履修者はこうした背景知識も含めて予習しておく必要があると同時に、授業内でも必要に応じて教員が当時の中国事情や日中関係の歴史的背景について適宜解説を行う。 以上を踏まえ、本授業は主に中国語の読解力を中級から上級へ高めたい学生や、中国近現代史・日中関係史に関心を持つ学生を主な受講生として想定している。
成績評価方法	・平常点と期末試験から評価する。 ※平常点では出席、予習の実施、音読の正確さ、訳出の適切さ、背景知識への理解度、議論への参加などが重視される。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L ロシア語

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　【以下、昨年度 A セメスターのシラバス内容を教務課がインポートしました。入力が完了次第、本文章を削除してください】
正確な発音を実につけて、簡単なテクストを読む。内容を理解した上で、テクストに関して質疑応答ができるようにする。

成績評価方法　平常点など。

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
書名
著者（訳者）
出版社
ISBN

関連ホームページ

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50824	木 4	ゴロウィナ クセーニヤ	1 年 文一二(4)
50833	木 4	GRECKO Valerij	1 年 文三(4)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50871	A	ロシア語初級（演習）	GRECKO Valerij	ロシア語	木 5	1 年 理科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50928	A	ロシア語初級（演習）［高度］	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 理科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50929	A	ロシア語初級（演習）②［高度］	GRECKO Valerij	ロシア語	金 1	1 年 文科

講義題目	現代ロシア語の基礎
授業の目標概要	基礎的なロシア語運用能力を身につけることを目標とする。日常生活に密着したトピックを扱いながら、パターン・プラクティスを通じて、聞く、話す、読む、書くという４つのスキルをバランスよく習得する。書かれたテクストだけでなく、ビデオなどのメディアも用いながら、ノンバーバル・コミュニケーションや言語を使用する際の態度についても学ぶ。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出、テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50661	A	ロシア語初級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語会話の基礎
授業の目標概要	ロシア語ネイティブの教員が担当する初心者向けロシア語会話の授業。基礎的なロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）を習得することを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 日常生活に密着した場面を設定して、会話練習を行う。また、毎回の授業で取り上げるトピックを通して、ロシアでの生活や社会事情、ロシア特有の習慣などについての知識を得る。
成績評価方法	平常点（授業中での発言、発表）、課題の提出、小テスト
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50257	A	ロシア語初級（作文）	丸山 由紀子	ロシア語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（作文）
授業の目標概要	和文露訳、ロシア語作文を通じて既習文法事項・語彙の定着と運用能力向上を目指します。また、文学作品、歌、映像などを用いて生のロシア語に触れる機会を設け、総合的にロシア語にアプローチすることで、ロシア語能力の全体的な底上げを図ります。
成績評価方法	学期末試験の出来映えと授業への貢献度により総合的に判断します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50179	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	石井 優貴	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）
授業の目標概要	必修クラスの内容をフォローしながら、ロシア語についての理解をさらに深めることを目標とします。基礎的な文法の定着と、読解・作文などの技術向上を目指します。今学期は、必修クラスの授業で特に重要な体（アスペクト）などの文法事項について、解説や問題演習を行います。
成績評価方法	定期試験と平常点に基づいて評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50183	A	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］
授業の目標概要	インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。
成績評価方法	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50883	A	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（インテンシヴ）［高度］
授業の目標概要	インテンシヴ・コースである。ネイティブ・スピーカーの先生が担当し、ロシア語のリスニングやスピーキングの基礎を集中的に学習する。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に沿って、A1 に続き A2 のレベルを目指した学習を行う。２コマセットで履修すること（月曜 5 限と木曜 5 限）。
成績評価方法	授業貢献度、提出課題、小テスト、学期末試験などを考慮して総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51088	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級インテンシヴ
授業の目標概要	ロシア語の基礎的知識を確認しながら、会話力を身につける。 ※「初級インテンシヴ」はかならず週 2 回のペアで履修してください。片方だけの履修はできません。
成績評価方法	授業態度、宿題提出状況、小テスト、口頭試験による総合評価。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50953	A	ロシア語初級（第三外国語）	大崎 果歩	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	基礎的なロシア語文法を一通り学び、辞書を引きつつ平易な文章を読めるようになることを目標とします。
成績評価方法	平常点（出席、宿題への取り組みなど）、小テスト、および期末テストの結果で評価します。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50642	A	ロシア語中級（会話）	GRECKO Valerij	ロシア語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語会話表現（中級）
授業の目標概要	ロシア語運用能力（特に聞き、話す能力）をさらに伸ばすことを目指すとともに、ロシアの社会や文化に対する理解を深めることを目標とする。 授業では日常生活や身近な話題に取材した短い文章やスキットなどを使って、会話練習を重点的に行う。日常的な場面でよく使われる言い回しを習得し、語彙を増やすとともに、比較的複雑な構造をもった表現を正しく聞き取り、自分でも使えるようになることを目指す。また、毎回の授業で取り上げる題材を通して、ロシアでの生活や社会事情についての知識も身につける。 ※ロシア語を 1 年以上学習した者
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、課題の提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50160	A	ロシア語中級（作文）	石井 優貴	ロシア語	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語中級作文
授業の目標概要	体（アスペクト）の用法を中心に、必修外国語の授業では扱われなかった発展的な文法事項を学び、ロシア語での表現能力を向上させることを目的とした授業です。
成績評価方法	平常点（宿題への取り組みなど）によって評価します。授業中に小テストなどを実施した場合、その点数を評価基準に含める場合があります。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51075	A	ロシア語中級（読解）	石井 優貴	ロシア語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	20 世紀ロシア語文学作品読解
授業の目標概要	主に 20 世紀のロシア語文学（ソヴィエト文学）作品を読むことで、ロシア語文学に関する基本的な知識を学びつつ、ロシア語の読解力を向上させていくことを目標とした授業です。
成績評価方法	課題の実施状況を評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50610	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	居阪 僚子	ロシア語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語中級（インテンシヴ）
授業の目標概要	ロシア語の基礎文法を学んだ受講者を対象とし、文学作品などの文章をロシア語で読むことで、文法知識を実際に活用する技術を身につけていくことを目的とした授業です。必要に応じて、発展的な文法知識を取り上げた練習問題などにも取り組みます。
成績評価方法	平常点（宿題の実施状況、授業への取り組みなど）を評価基準とします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50851	A	ロシア語中級 （インテンシヴ）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語中級（インテンシヴ）
授業の目標概要	ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。
成績評価方法	授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50447	A	ロシア語上級（会話）	GUTOVA Ekaterina	ロシア語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語上級（会話）／ Russian Language (Advanced)
授業の目標概要	ネイティヴ・スピーカーの先生がリスニング、スピーキングに関して高度な運用能力を育成する。取り上げられたテーマに関する会話やディスカッション能力を養う。 Занятия с преподавателем-носителем языка направлены на развитие навыков аудирования и говорения продвинутого уровня, а также на формирование способности вести беседы и дискуссии
成績評価方法	授業への積極的な参加、宿題提出状況を総合的に判断して評価する。 Активное участие в занятиях и выполнение домашних заданий будут учитываться для комплексной оценки.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50418	A	ロシア語上級（作文）	GRECKO Valerij	ロシア語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロシア語の文章表現
授業の目標概要	ロシア語のさまざまな文体（日常会話、新聞や雑誌の記事、文学作品など）を読み、それらについてディスカッションし、ロシア語の文章を書く練習を行う。ロシア語運用能力をさらに高め、特に書く能力を向上させることを目指す。最終的にはエッセイやレポートをロシア語で書く能力を身につける。また、さまざまなスタイルの文章に触れることを通じて、ロシア文化やロシア事情に対する理解を深めることを目指す。 ※前期課程（1・2 年生）でこの授業を履修できるのは、「ロシア語既習」で入学した学生のみです。
成績評価方法	平常点（授業中の発言、発表）、宿題、レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L スペイン語

スペイン語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要　共通教科書『Brújula』を用い、Aセメスターでは、1列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。

成績評価方法　各担当教員に任せられている。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　『Brújula−スペイン語学習の羅針盤』
著者(訳者)　東京大学教養学部スペイン語部会
出版社　朝日出版社
ISBN　978-4-255-55111-1

関連ホームページ

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50024	月 2	松田 葉月	1 年 文一二(7)
50134	月 4	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(10)
50300	火 3	AIT MORENO Isaac	1 年 文一二(10)
50301	火 3	松田 葉月	1 年 文一二(11)
50302	火 3	サンブラノ グレゴリー	1 年 文一二(12)
50394	火 4	AIT MORENO Isaac	1 年 文一二(9)
50505	水 2	松田 葉月	1 年 文一二(8)
50581	水 3	松田 葉月	1 年 文三(7)
50834	木 4	FERNANDEZ HERBOSO	1 年 文三(8)
50835	木 4	AIT MORENO Isaac	1 年 文三(9)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50273	A	スペイン語初級（演習）［高度］	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 80 点 Exámenes parciales y examen final: 80% 平常点 20 点 Participación y tareas: 20% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 朝日出版社 978-4-255-55075-6
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50954	A	スペイン語初級（演習）	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 2	1 年 理科

講義題目	スペイン語初級（演習）
授業の目標概要	この演習では、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざします。文系はクラス指定の演習を設けてあります。理系ではこれに対応する「スペイン語初級（演習）」（理科生限定）を開講しますので、積極的に参加してください。
成績評価方法	小テストと期末テスト 80 点 Exámenes parciales y examen final: 80% 平常点 20 点 Participación y tareas: 20% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Justified absences up to 3 times. Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 Brújula−スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 9784255551111 大学生協駒場書籍部を通じて初回までに購入しておいてください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50272	A	スペイン語初級（演習）②［高度］	松田 葉月	スペイン語	火 2	1 年 文科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 80 点 Exámenes parciales y examen final: 80% 平常点 20 点 Participación y tareas: 20% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook スペイン語教材研究会編 Entre amigos 2, Editorial Asahi, 2º edición. 朝日出版社 978-4-255-55075-6
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50695	A	スペイン語初級（会話）	若林 大我	スペイン語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Zoom を用いたメキシコの大学生との会話
授業の目標概要	Zoom を用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。
成績評価方法	受講者は、1 月初頭までに自分の好きなテーマについて 3 分程度のスペイン語の動画を作成する。UNAM 側の受講者も日本語のビデオを作成する。東大受講者の動画は UNAM 教員が、UNAM 受講者の動画は若林がそれぞれ評価する。1 月初旬に動画を鑑賞し合う機会を設ける。動画の評点に、毎回の授業への参加状況を加えて成績をつける。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50872	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語（初級会話）
授業の目標概要	練習を通して、文法とその機能についての内容を体系化し、生徒の理解を強化する。また、授業を通して学んだことを、それぞれの生徒が活用し表現できるようにすることを目指す。 その他に文法、単語のレベルを DELE A2 まで引き上げていく。
成績評価方法	平常点（授業期間内のレポート・テストなども含む）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51089	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション。
授業の目標概要	スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 The course is recommended for students who want to learn basic Spanish and want to develop essential conversational skills.
成績評価方法	参加 30%、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献 30%、プレゼン 40% Participation 30%、Performance, attitude, homework 30%、Presentation 40%.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 東京大学教養学部スペイン語部会 “BRÚJULA. Primer curso de español” スペイン語初級 朝日出版会 978-4-255-55111-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50852	A	スペイン語初級（作文）	内田 兆史	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語をスペイン語にする技術を磨きます。
授業の目標概要	日本語をスペイン語にする際に気をつけるべき点を考えることはスペイン語の構文、とくに日本語との相違に注意を払うことでもあります。文法をを見据えた作文の授業にしていきます。
成績評価方法	授業前提出課題 20%、毎週の小テスト（作文）40%、期末テスト 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 木越勉、古川亜矢 表現のためのスペイン語作文 朝日出版社 9784255550862
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50180	A	スペイン語初級 （インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	月 5	1 年 文科 理科

講義題目	（会話）
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。会話練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。 この月曜日のスペイン語初級（インテンシヴ）（会話）を履修する場合、木曜日 5 限目のスペイン語初級（インテンシヴ）（作文）を一緒に履修する必要があります。
成績評価方法	試験: 85% (中間＋期末) 小テスト等: 15%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50873	A	スペイン語初級（インテンシヴ）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	（作文）
授業の目標概要	必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。スペイン語初習者に必要とされる、基礎的な表現、文法、語彙を学ぶ。作文練習中心で、個人やグループでの様々なアクティビティなどで、実際にコミュニケーションしながら、文法や語彙の定着を図るようにする。授業はスペイン語ネイティブの教員が担当する。 この木曜日のスペイン語初級（インテンシヴ）（作文）を履修する場合、月曜日 5 限目のスペイン語初級（インテンシヴ）（会話）を一緒に履修する必要があります。
成績評価方法	試験: 85% (中間＋期末) 小テスト等: 15%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50884	A	スペイン語初級（インテンシヴ）［高度］	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 80 点 Exámenes parciales y examen final: 80% 平常点 20 点 Participación y tareas: 20% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2º edición. ISBN 978-4-255-55075-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51097	A	スペイン語初級（インテンシヴ）［高度］	サンブラノ グレゴリー	スペイン語	金 5	1 年 文科 理科

講義題目	スペイン語初級インテンシヴ [高度] ／Curso intensivo de español del nivel básico (ampliado)
授業の目標概要	コミュニケーションに必要な知識と技術を身につけることを目標にして授業を進める。単に文法と発音を勉強するだけでなく、スペイン語でコミュニケーションがとれるようになること、さらにスペイン語圏の文化、習慣を学ぶことをめざす。 旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 Dinámicas realizadas en torno a situaciones comunicativas. Estas dinámicas buscan que el alumno aprenda la gramática y la pronunciación, al mismo tiempo que aprende a comunicarse en español y a conocer la cultura hispana. Siguiendo el Programa Trilingüe (TLP), que ofrecía tres clases por semana para quienes ingresaron a la universidad hasta el año académico 2024, este curso tiene como objetivo alcanzar el mismo nivel que el TLP.
成績評価方法	小テストと期末テスト 80 点 Exámenes parciales y examen final: 80% 平常点 20 点 Participación y tareas: 20% 欠席は、正当な理由を含み 3 回まで。Inasistencias justificadas hasta 3 veces.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Equipo para la elaboración de manuales de español Entre amigos 2 Editorial Asahi, 2º edición. ISBN 978-4-255-55075-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50005	A	スペイン語初級（第三外国語）	松尾 俊輔	スペイン語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	1 年間で学ぶ三外スペイン語
授業の目標概要	この授業は、スペイン語を第二外国語として履修していない学生を対象とし、1 年間かけてスペイン語の基礎的な運用能力を身に付けることを目標としています。併せて、スペイン・ラテンアメリカの豊かな文化と歴史に触れる道を開きます。 文法事項をひとつひとつ身に付けていきながら、スペイン語世界で通用する実践的なコミュニケーション能力（読む／書く／話す／聞く）の基礎を固めます。S セメスターと A セメスターを通してスペイン語の文法体系全体を学び、「ここまで来ればあとは生のスペイン語にぶつかるだけ」というレベルまで持っていくことが目標です。 A セメスターの授業では、S セメスターで学んだ現在形〜過去形の復習から始め、接続法までを含むひと通りのスペイン語の文法体系全体を学び終えることを目指します。
成績評価方法	小テスト（上記授業計画の★印） 10 点×5=50 点 期末試験（最終授業日） 50 点
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 スペイン語学習の羅針盤 朝日出版社 978-4-255-55111-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50258	A	スペイン語初級（第三外国語）	受田 宏之	スペイン語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	速習スペイン語
授業の目標概要	１セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。
成績評価方法	小テストと最終試験で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学教養学部スペイン語部会 『Brújula−スペイン語学習の羅針盤』 朝日出版社 978-4-255-55111-1
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50853	A	スペイン語中級（演習）	アルバロ ペラルヒガンテ	スペイン語	木 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Conversación en español スペイン語での会話
授業の目標概要	El objetivo fundamental del curso consiste en que los estudiantes adquieran habilidad y seguridad en la interacción oral en español y puedan tener conversaciones con un hispanohablante sobre diferentes temas. 本講義では、履修者がスペイン語による口頭でのインターアクションの能力と確かさを身につけ、 さまざまなテーマについてスペイン語話者と会話できるようになることを目指します。 También estudiamos la forma de escribir composiciones en español. Vamos a escribir composiciones sobre diferentes temas, como la infancia, los viajes, la vida en el futuro, la salud o el trabajo. 子供時代、旅行、将来の生活など、さまざまなテーマで作文を書きます。 健康とか仕事とか。
成績評価方法	Examen final 40% Deberes y composiciones 30% Participación en clase 30% 最終試験 40% 宿題と作文 30% 授業への参加率 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Paloma Trenado, Juan Carlos Moyano y Hanako Saito Por escrito 2 Editorial Dogakusha
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51076	A	スペイン語中級（会話）	サンブラノグレゴリー	スペイン語	金 4	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	Curso de español avanzado: “El mundo hispano a través del cine”.
授業の目標概要	En este curso, los estudiantes podrán conocer aspectos de la vida de América Latina a través de algunas películas. Mediante ejercicios de observación y comprensión de películas, los alumnos podrán expresarse oralmente sobre los temas vistos y escribir breves composiciones utilizando algunas herramientas de redacción. También podrán reforzar aspectos de la gramática, sintaxis y ampliación del vocabulario en español.
成績評価方法	Conversación y composiciones (ejercicios de escritura de reseñas): 50% Asistencia y participación en clase: 20% Presentación y reporte final 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50259	A	スペイン語中級（作文）	豊田 唯	スペイン語	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	神と人の境界――スペイン語と美術
授業の目標概要	【概要】 1. 近世スペインを代表する 3 人の画家ベラスケス、ムリーリョ、ゴヤの作品をひとつずつとりあげ、原語の作品解説を読みながら文法・構文を実践的なかたちで捉えなおします 2. 和文西訳をとおして文法・構文知識の定着を図ります 3. スペインの美術や歴史に関しても説明します 【目標】 1. スペイン語の基礎文法・構文を実践的なかたちで捉え、平易な日本語をスペイン語に訳せるようになる 2. 西洋絵画の一般的な見方を体験する
成績評価方法	原則として毎回の小テストの点数に基づきます。 なお、受講者として不適切な言動（私語、立ち歩き、不聴講など）をとった場合、即座に不合格とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50545	A	スペイン語中級（読解）	丸山 共恵	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中級レベルの様々なテーマのスペイン語圏のニュースを教材として使用し、基本的な文法知識と語彙を増やし、総合的なスペイン語力の向上を目指す。
授業の目標概要	ニュースを聞き取るために理解するために必要な文法(S セメスペイン語 1 列の復習から接続法）を確認し、語彙を増やしながら、読解力・リスニング力を向上することを目標とする。12 回の授業で、様々な構文を理解し、将来スペイン語の文章を自分で読めるようになる為のスペイン語の読解力を基礎から学ぶ。また、ニュースを通じて、スペイン語圏の社会や文化への理解を深める。
成績評価方法	毎回の小テスト（文法と語彙中心）/出席 /課題 60% 期末テスト 40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島聡子 著/ 佐藤佐知 著/ David Taranco ニュースで学ぶ中級スペイン語［改訂版］ 三修社 978-4-384-42021-0 C1087
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50874	A	スペイン語中級（読解）	内田 兆史	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテンアメリカを中心にしたスペイン語圏のニュースや曲を聞き取り、内容を理解することでスペイン語という視点を獲得し、世界を、あるいは日本を複眼的に眺める武器にしよう。また、短篇の最終段落や長篇の第一段落を読んでラテンアメリカの文学にも触れてみよう。
授業の目標概要	スペイン語を用いて世界を、日本を複眼的に眺める手段について学び、たとえばニュースについて日本や英語圏のメディアでの取り上げられ方とスペイン語世界での取り上げられ方との違いについて考察することにより、新たな視点から世界を眺められるようになる。
成績評価方法	リスニングを含めた課題提出 40%、予習に基づいたテクスト読解 40%、期末課題 20%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50546	A	スペイン語上級（演習）	AIT MORENO Isaac	スペイン語	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Español Avanzado. Cultura e Historia del Mundo Hispánico.
授業の目標概要	Practicaremos la gramática y el vocabulario del español mientras estudiamos temas sobre la cultura y la historia del mundo hispánico (España e Hispanoamérica). Este curso está destinado a estudiantes que ya han alcanzado niveles intermedios y desean profundizar en su aprendizaje del español y de la cultura hispánica. Los objetivos son: - Presentar nuevos contenidos gramaticales y discursivos que permitan a los alumnos expresarse en español con más precisión, tanto por escrito como oralmente. - Ampliar el vocabulario de los alumnos, con el mismo objetivo de mejorar la riqueza y precisión de su expresión en español. - Practicar los nuevos aprendizajes por medio de ejercicios, redacciones y presentaciones orales. - Ampliar los conocimientos sobre el ámbito histórico y cultural hispánico.
成績評価方法	Pruebas escritas: 75% Actividades de clase y tareas: 25%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50816	A	スペイン語上級（会話）	松田 葉月	スペイン語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Noticias sobre el mundo hispano
授業の目標概要	Este curso tiene el objetivo de profundizar el conocimiento sobre la realidad actual de América Latina a través de los medios de comunicación. Ampliaremos el vocabulario y ejercitaremos diversas expresiones de opiniones y valoraciones mediante el intercambio de ideas en grupo y redactando breves composiciones.
成績評価方法	Presentaciones: 70 % Reportes: 30 %
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Las referencias bibliográficas se compartirán en clase.
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50758	A	スペイン語上級（作文）	FERNANDEZ HERBOSO	スペイン語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	スペイン語による作文の授業
授業の目標概要	Aprender a escribir bien en una nueva lengua requiere del aprendizaje de un género discursivo totalmente nuevo. Este curso de redacción tiene como fin dotar a los alumnos de las estructuras conceptuales imprescindibles que les permitan comprender el objetivo del texto y cómo realizarlo. El enfoque consiste en la introducción de los modelos conceptuales que permitan al estudiante reorganizar sus ideas y su entorno tanto dentro del aula como fuera de ella para facilitar el aprendizaje de este nuevo el discurso escrito en español. Los niveles de referencia de español que abordaremos son B1-B2 y C1. 新しい言語で正しく書くことを学ぶには、まったく新しい論法を学ぶ必要がある。この授業では、文章を書く目的とその実行方法を理解できるようにするための基本的な概念構造を学生に提供することを目的としている。授業の方法は、スペイン語で書かれたこの新しい論法の学習を容易にするために、学生が自分の考えを教室の内外で再編成できるようにする概念モデルを紹介することである。 授業で使用するスペイン語のレベルは前半が B1~B2、後半が C1 である。
成績評価方法	Método de evaluación: La evaluación continua del trabajo diario en el aula y de la producción de textos que se pidan en la clase. 期末試験は実施しない。毎回の授業で課す課題によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Arturo Escandón Trivium. Manual de composición escrita Liberas Press 978-4-909580-02-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L 韓国朝鮮語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50222	A	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］
授業の目標概要	この［高度］科目は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セミスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。 ★★★［高度］科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を読んでください。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40%（但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50130	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 4	1 年 文一二(5)

講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）
授業の目標概要	この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40%（但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50223	A	韓国朝鮮語初級（演習）②［高度］	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 1	1 年 文科

講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）［高度］
授業の目標概要	この［高度］科目は、旧 TLP 制度（2024 年度入学生までの制度）の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とする。 この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。 ★★★［高度］科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を読んでください。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40%（但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50335	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文三(5)

講義題目	韓国朝鮮語初級（演習）
授業の目標概要	この授業は、韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当し、韓国朝鮮語一列の授業で学んだ基礎知識の定着と応用のため、さまざまな練習を行い、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。具体的には、S セメスターにつづき、一列の授業内容に合わせ、短文ドリルを始め、会話、聞き取り、読解、作文などをバランスよく練習し、より実践的な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40%（但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50419	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（会話）
授業の目標概要	本授業は、2025 年の S セメスターに引き続いて進めます。韓国語の基礎知識を習得、活用しながら、「聴く」そして「話す」能力のトレーニングに重点を置く科目です。そのため、授業では「聴く」と「話す」練習用の様々な種類のアクティビティを行い、実践的な学びを目指します。教科書『Begin to Study KOREAN 1』（第 10～15 課）と、『実用韓国語会話 2』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、UTOL を通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み 10%、小テストと課題：10%、期末試験（筆記・口頭）80%を目安に総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬・尹秀美 Begin to Study KOREAN 1 博英社 9784910132358
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50007	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）［高度］	朴 天弘	韓国朝鮮語	月 1	1 年 文科 理科

講義題目	［高度］韓国朝鮮語 初級インテンシヴ二列
授業の目標概要	この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。韓国朝鮮語［高度］の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 [高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を読んでください。
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20%（宿題やミニエッセイなど） ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 2 (사랑해요 한국어 2) 서울대학교출판문화원 9788952128744 http://www.hanglesup.com/shopdetail/000000001650/ct72/page1/recommend/
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50059	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	崔 泰源	韓国朝鮮語	月 2	1 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級 インテンシヴ
授業の目標概要	必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50611	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語 初級インテンシヴ
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。
成績評価方法	期末試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末テスト未受験者は成績評価の対象にならない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 朴珍姫 /李順蓮 /金菊熙 とくとく韓国語 1 朝日出版社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50700	A	韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）［高度］	朴 天弘	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科

講義題目	［高度］韓国朝鮮語 初級インテンシヴ一列
授業の目標概要	この[高度]科目は、旧 TLP 制度(2024 年度入学生までの制度)の履修形態を継承する週 3 コマ履修により、同程度の到達度に至る事を目標とします。韓国朝鮮語［高度］の学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 [高度]科目の履修希望者は、必ず下記の「履修時の注意事項」を読んでください。
成績評価方法	授業参加（平常点）、小テスト、期末試験を実施して総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。 ○授業への取り組み：20%（宿題やミニエッセイなど） ○音声の課題：20% ○小テスト：20% ○期末試験：40%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 서울대학교 언어교육원 I Love Korean 2 (사랑해요 한국어 2) 서울대학교출판문화원 9788952128744 http://www.hanglesup.com/shopdetail/000000001650/ct72/page1/recommend/
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50260	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級
授業の目標概要	S セメスター火曜 2 限の続きで、同講義を履修した方を受講対象とします。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 必ず「履修上の注意」をよく読んだ上で受講してください。
成績評価方法	課題、小テスト、期末テスト
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中島仁ほか 新・韓国語へのとびら 朝日出版社 9784255556772
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50261	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	李 英蘭	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級
授業の目標概要	本授業は、S・A 両セメスターの履修を前提にし、通年で初級レベルの韓国朝鮮語の表現や語彙を学び、日常生活の基本的な会話ができるようになることを目指す。A セメスターでは、初級後半レベルの表現と語彙を学ぶ。 S セメスターを履修していない場合は､ハングルの読み書きと初級前半レベルの文法を事前に学習することが望ましい。 授業は「韓国朝鮮語のみ」で行う。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40%（但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の 3 分の 1 以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50362	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	金 庚芬	韓国朝鮮語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）
授業の目標概要	本授業は、A セメスター始まりの授業です。初めの韓国語の文字（ハングル）と発音の学習に続き、基本的なあいさつ表現、基礎語彙、基本的な助詞、用言の活用の基礎を学びます。教科書『チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1』を使い、新しい文法や表現の習得、自然な発音を身につけるための繰り返し練習、自己紹介の表現をはじめ、実践的な表現を学びます。教室活動の他に、UTOL を通して、お知らせ、課題がありますので、必ず確認してください。 また、自習用動画が用意されているので下記 URL から視聴して下さい。毎週、単語の暗記や本文の読む練習などの予習と、授業後の学習内容の復習を持続することをお勧めします。 https://youtube.com/playlist?list=PL0OYQWCBVXi-YUEH08O4V_Fl1lBOzeBA7
成績評価方法	受講態度・授業への取り組み 10%、小テスト＆課題：10%、期末試験（筆記・口頭）80%を目安に総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 金庚芬・丁仁京 チンチャ！チョアヘヨ！！韓国語 1 朝日出版社 9784255557021
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50875	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	鄭 宇鎭	韓国朝鮮語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語初級（第三外国語）／ Korean Language (Introductory)
授業の目標概要	韓国朝鮮語は、語順が日本語と似ている上に、共通する漢字語も多いので、日本語母語話者や日本語学習者にとって取り組みやすい言語です。ただ、そうは言っても、手を抜かずに努力をしなければならないことは、他の言語の場合と同じです。 この授業では、(1) 文字・発音の習得に力点をおきながら、(2) 簡単な日常会話を通して、基礎的な文法事項を学びます。
成績評価方法	毎回の小テスト、中間試験、期末試験、平常点（出席、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末の作文課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50643	A	韓国朝鮮語中級（作文）	ジ ミンギョン	韓国朝鮮語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語中級（作文）
授業の目標概要	韓国朝鮮語において日常生活に必要な文の読み書きが自由にできる程度の表現能力を身につけることを目指す。具体的には、中級レベルの語彙・表現を使った短文作文の練習をしつつ、パラグラフ作文及びより論理的な文の作成まで発展させていく。課題作文については教員による添削をみんなで共有し、よくある誤用や韓国朝鮮語の文の特徴についての理解を深める。
成績評価方法	期末課題と平常点（出席、課題、発表、授業への参加度など）を総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50696	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	伊藤 英人	韓国朝鮮語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語中級
授業の目標概要	基礎を終えた受講者を対象に『コリア語中空教材』で中級・上級文法を学ぶとともに、『韓国漢字音トレーニングブック』で漢字音を学ぶ。後半では読会とプレゼンテーションを行う。
成績評価方法	授業での発表、その他による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50262	A	韓国朝鮮語中級（読解）	吉良 佳奈江	韓国朝鮮語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語小説の訳読 Reading and translating Korean short stories
授業の目標概要	韓国朝鮮語で書かれた小説を原文で読み、翻訳してみることで、韓国朝鮮語の多彩な文章表現に触れるとともに、日本語の文章表現との共通性や違いについて学びます。 2024 年度 A セメスターでは、キム・ジュンヒョク「메이드 인 공장」(2014 年) とチャン・ガンミョン「나무가 됩시다」(2023 年) を取り上げます。 By reading and translating short stories written in Korean, students are encouraged to gain insight into the nuances of written expression in Korean and develop an understanding of the similarities and differences between Korean and Japanese written expressions. The reading list for A Semester in 2025 will include Kim Joong Hyuk's “Made in factories” (2014) and Chang Kang-Myoung's “Let’s be a tree” (2023).

成績評価方法	平常点（80%。授業の参加度と課題提出）＋アクティブラーニング（20%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50123	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	李 英蘭	韓国朝鮮語	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）
授業の目標概要	本授業では、韓国朝鮮語の初級を学び終えた者を対象とし、中級レベルの文法と語彙を学んでいく。具体的には、主に中級文法の解説と練習を通じて場面に的確な表現を習得し、より高度な韓国朝鮮語の運用能力を身につけることを目指す。また、様々なテーマについての読み物を読むことによって読解力の向上も図る。履修前に「ヘヨ体」「不規則活用」「連体形」の復習しておくことが望ましい。
成績評価方法	平常点（小テスト、課題、授業への参加度など）と中間試験・期末試験を総合的に評価する。 平常点：30%、中間試験：30%、期末試験：40% （但し、中間試験がなかった場合は、期末試験を 70%とする） ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末試験の未受験者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50612	A	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）	河崎 啓剛	韓国朝鮮語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語中級（インテンシヴ）
授業の目標概要	韓国朝鮮語を集中的に学習したい学生を対象とし、基礎を固めつつ中級レベルの運用能力を鍛えるほか、語彙力の体系的強化を行う。 文法や語彙の学習が「単なる丸暗記」ばかりではない事を学び、本質的かつ効率的な学び方を身につける事を目標とする。
成績評価方法	課題、小テスト、授業への積極的参与
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 生越直樹 ことばの架け橋 ― 中級表現編 白帝社 978-4-89174-962-0
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50817	A	韓国朝鮮語上級（会話）	金 秀美	韓国朝鮮語	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語上級（会話）
授業の目標概要	中級まで習ってきた文法や表現などをさらにスキルアップして様々な場面で自由にコミュニケーションができることを目標とする。「聞く、話す、読む、書く」ことも同時に行いながら、自立したコミュニケーションがとれる人を目指す。
成績評価方法	平常点（出席状況、授業態度）：４０％ 課題（小テスト）や発表など ：６０＆
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51042	A	韓国朝鮮語上級（作文）	李 英蘭	韓国朝鮮語	金 3	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	韓国朝鮮語上級（作文）
授業の目標概要	本授業は、韓国朝鮮語においてより高度で専門的な文の読み書きができるよう、読解力と表現力の向上を目指す。具体的には、上級レベルの語彙や表現を使い、韓国の社会、文化、政治、歴史など、あらゆる分野のテーマについて論理的でよく構成されている文の作成に取り組む。その上、日本語と韓国朝鮮語の文の違いを意識しつつ高度で自然な韓国朝鮮語の表現を身につけていく。授業は、主に「韓国朝鮮語」で行う。
成績評価方法	期末課題（発表）と平常点（出席、課題、授業への参加度など）を総合的に評価する。 ※出席日数の３分の１以上を欠席した者や期末課題の未提出者は、成績評価の対象にならない。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L イタリア語

イタリア語初級（演習）②	開講区分	A

授業の目標・概要	会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。
成績評価方法	平常点と定期試験（最終授業時）。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
関連ホームページ	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること	

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50032	月 4	USICCO Francesca	1 年 文三(6)
50999	金 3	DANIELI Daniela	1 年 文一二(6)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50955	A	イタリア語初級（演習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 2	1 年 理科

講義題目	イタリア語初級演習（理科生むけ演習）
授業の目標概要	習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることをネイティブのイタリア語教員といっしょに目指します。生きたイタリア語の教材等を使って、理解力を高めながら、話したり書いたりする応用力を高め、コミュニケーション能力をみがきましょう。
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50363	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）
授業の目標概要	ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50613	A	イタリア語初級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	チャオとひとこと、イタリア語を始めよう（その 2）
授業の目標概要	ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50854	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（作文）
授業の目標概要	イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。
成績評価方法	平常点と期末試験（最終授業時に行います）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ディ・ルッソ、長神、西本 イタリア語練習問題集 白水社
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50876	A	イタリア語初級（表現練習）	Diego Martina	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（表現練習）
授業の目標概要	本講義では、イタリア語の「書く・読む・聞く・話す」の 4 技能を総合的に高めることを主な目的とします。ネイティブスピーカーの講師とともに、イタリアの文化に触れながら、言語運用能力の向上を目指します。受講者の関心やニーズに応じて、多様な教材を用いながら授業を展開していきます。
成績評価方法	授業への取り組み、期末試験（最終授業時）の結果をもとに総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51077	A	イタリア語初級（表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（表現練習）
授業の目標概要	ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 2)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 3)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50644	A	イタリア語初級（読解）	村松 真理子	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「世界文学の古典」を読みながらイタリア語を身につけよう
授業の目標概要	ほかの多くの近代語とは異なり、現代イタリア語の文法は、その知識があれば、現代語のテクストも古典的テクストも読めます。S セメスターまででに習得したイタリア語初級文法の定着をはかりつつ、テクストを丁寧に読みながら、イタリア読解能力の習得と、イタリア文化の真髄に直接ふれることを目指します。東京大学イタリア語教材編集委員会（編）の読解教科書 Piazza によりながら、教科書以外に参考教材・補助教材として、プリントを配布します。具体的なテクストは以下の予定。1）20 世紀の記録文学の古典であるプリモ・レーヴィの作品を手がかりに、１４世紀のダンテ「神曲」のテクストを読む。2）ダンテとほぼ同時代のボッカッチョの世界の笑いと雄弁について、ノヴェッラを読む。
成績評価方法	平常点と学期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会（編） Piazza 東京大学出版会
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50263	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	USICCO Francesca	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ・コース）
授業の目標概要	イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシブコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、金曜 2 限に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。ネイティブスピーカーの教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に運用に重点を置き、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。
成績評価方法	1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50956	A	イタリア語初級（インテンシヴ）	木﨑 孝嘉	仏語・伊語	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	イタリア語初級（インテンシヴ）／Italian Language (Introductory)
授業の目標概要	イタリア語を集中的に学びたい初学者のための講座です。インテンシブコースは週に 2 回、日本人とイタリア人の教員からイタリア語を学ぶコースです。本授業の受講者は、火曜に開講される「イタリア語初級（インテンシヴ）」も受講するようにしてください。日本人の教員とともに学ぶ本授業では、イタリア語の特に文法的な側面に注意をしながら、会話の力や作文力・語彙力を着実に身につけることをめざします。
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 2)教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記試験を受験する必要があります。 3)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 4)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50060	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語の基本文法の理解。
授業の目標概要	基本文法の習熟と運用。
成績評価方法	学期末試験（最終授業時）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会 イタリア語のスタート 白水社 9784560017630
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51090	A	イタリア語初級（第三外国語）	大澤 麻里子	仏語・伊語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	初級イタリア語
授業の目標概要	イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いてイタリア語の基礎文法を学びます。第 1 課から第 4 課で学ぶ初歩的な文法事項（名詞、冠詞、形容詞、前置詞、動詞・補助動詞の直接法現在）について既習の方を対象にしています。独学でイタリア語を学ばれた方は初回の授業時に教員にご相談下さい。 今学期は教科書の第 5 課からスタートし、初級～中級レベルの文法の習得を目指します。また文法知識のインプットのみではなく、その知識を活用してアウトプットできるように支援していきます。
成績評価方法	・平常点：(授業での積極的な発言、授業後のフィードバックの提出、宿題・課題の提出) ・小テスト（各単元ごとに復習小テストを実施） ・プレゼンテーション（イタリア語でのプレゼンテーション） で総合的に判断します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学イタリア語教材編集委員会編 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』 白水社 9784560017630
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50061	A	イタリア語中級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（会話）
授業の目標概要	習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使い、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50645	A	イタリア語中級（会話）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語の世界を覗いた貴方へボンジョルノ。 欧州文化の中心地、イタリア人の言語を使いこなそう。
授業の目標概要	ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の基本を身につけながら、コミュニケーションと自然な会話を学びます。文法事項の学習と会話練習を行います。文法に関する学びと練習に加え、生きた言葉として実際に使う演習が不可欠です。これにより基本的なイタリア語会話のやり取りを正確にできるようになります。
成績評価方法	最終授業時の試験のみならず、平常点（授業への参加と積極性、宿題）を考慮して判定します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50855	A	イタリア語中級（会話）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（会話）Lingua italiana, livello elementare
授業の目標概要	すでに習得した初級文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーション能力に結びつけることがを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。
成績評価方法	学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50264	A	イタリア語中級（作文）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（作文）／ Italian Language (Intermediate)
授業の目標概要	初級レベルのイタリア語を習得した人が、作文に力を入れながら、さらにイタリア語運用能力を向上させるための中級コースです。
成績評価方法	授業中の参加と、学期中の課題を考慮し、学期末の試験とあわせて評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50877	A	イタリア語中級 （表現練習）	DANIELI Daniela	仏語・伊語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語中級（表現練習）（Lingua italiana, espressioni di livello intermedio）
授業の目標概要	すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。
成績評価方法	成績評価の方法について 1)全授業回数のうち、2/3 以上の出席が必須です。 【共通イタリア語／イタリア語中級（表現練習)】教師より出された課題/アクティビティを行い学期末に筆記または口述試験を受験する必要があります。 2)授業中の課題/アクティビティへの個人およびグループでの参加態度は評価の対象になります。 3)科目への興味や習得したいという熱意は評価の対象になります。 出席/欠席について 1)最終授業日には期末試験を行いますので、必ず出席してください。 2)期末試験に欠席した学生は、出席回数が足りていても単位取得できません。 3)病気、その他の正当な理由によって期末試験に欠席した学生は、できるだけ早く教師と連絡を取ってください。このような場合には、追試験を受けなくてはなりません。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50662	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	仏語・伊語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Facciamo un passo avanti!
授業の目標概要	Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).
成績評価方法	Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts Nuovo Espresso 3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50646	A	イタリア語上級（作文）	USICCO Francesca	仏語・伊語	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato）
授業の目標概要	イタリア語で学術的な文章を書く訓練をするコースです。 アカデミックな文章を書くのは簡単なことではありませんが、他の言語で書くとなると、その難易度はさらに上がります。イタリア語で作成される論文について、引用の仕方、注のつけ方などを学ぶほか、論文の中で良く用いられる決まった構文や言い回しについても学んでいきます。
成績評価方法	授業中に提出された課題と期末テストによって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51078	A	イタリア語上級（読解）	村松　真理子	仏語・伊語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	イタリア語上級講読
授業の目標概要	さまざまな文学・思想・芸術等のテクストを精読し、訳読ではなく、イタリア語で直接理解することをめざしつつ、基礎文法の知識を生かしながら、イタリア語の運用能力を高める。
成績評価方法	講義最終日に期末テストをおこないます。
教科書	その他。／Other
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 L その他外国語

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50448	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	古典語・地中海諸言語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	1 年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。
成績評価方法	毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男 ・ 飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 9784475018388 S セメ同様、教科書に準拠したレジュメを配布します。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51091	A	アラビア語初級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語初級（第三外国語）
授業の目標概要	アラビア語の基礎的な文法を解説します。今年度の学習を終えた時に、辞書を引きながらアラビア語の簡単な文章を読めるようになっていることが目標となります。毎回、教科書の練習問題を課題として出しますので、復習は必須です。
成績評価方法	各課の課題と学期末に行う試験で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 黒柳恒男・飯森嘉助 現代アラビア語入門 大学書林 978-4-475-01838-8 2009 年 2 月刊行の第 6 版以降（誤植等訂正済み）を推奨します。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51044	A	アラビア語中級（第三外国語）	苅谷 康太	古典語・地中海諸言語	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アラビア語中級（第三外国語）
授業の目標概要	正則アラビア語の簡単な読み物を講読します。アラビア語・英語辞典を引きながら短い物語などを正確に読み取れるようになることが目標となります。なお、本授業は、初級文法を一通り終えた方を対象とします。
成績評価方法	担当となった箇所の訳読などによります。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50697	A	ヒンディー語初級 (第三外国語)	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヒンディー語初級 B
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「現代標準ヒンディー語」を学びます。 現代標準ヒンディー語の基礎文法を理解し、更に学習を進めていくことができるレベルに至ることがこの授業の目標です。
成績評価方法	試験を行い、その合計点で評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook R. Snell and S. Weightman Complete Hindi Teach Yourself Books
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50759	A	ヒンディー語中級 (第三外国語)	足立 享祐	アジア・日本研究コース	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヒンディー語中級 B
授業の目標概要	インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口 6 億人超を有する「共通・標準ヒンディー語」を学びます。 この授業では、実際のヒンディー語文を読むことで、より深い知識の獲得を目指します。 (1) 中級レベルの散文体の読解力を身につける。特に文章の論点を理解する力を身につける。 (2) 歴史・社会・文化・思想についての基礎的な知識をヒンディー文学を通して学習する。
成績評価方法	テキストの理解度（予習・復習）によって評価を行います。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50818	A	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	インドネシア語入門 2 (Indonesian language for beginners)
授業の目標概要	インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、S タームにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 A タームでは、S タームにおける授業内容を前提に授業を進める。
成績評価方法	学期末テスト
教科書	その他。／Other PDF を配布
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50856	A	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	アジア・日本研究コース	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students)
授業の目標概要	この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテクストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。
成績評価方法	演習の内容により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50181	A	ベトナム語初級 (第三外国語)	野平 宗弘	アジア・日本研究コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ベトナム語入門 2
授業の目標概要	S セメスターで学んだことを復習し、暗記し、応用しながら、ベトナム語の新たな基本的文法事項を学んでいく。 ベトナム語を用いた自己紹介や日常の簡単な会話表現ができるようにする。
成績評価方法	授業参加と課題提出および定期試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 三上 直光 『ニューエクスプレス ベトナム語』 白水社 ISBN-13 : 978-4560067888
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51045	A	ベトナム語中級 (第三外国語)	岩月 純一	アジア・日本研究コース	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ベトナム語文献講読/Vietnamese Literature Reading
授業の目標概要	ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50663	A	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之	中国語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	香港広東語の入門と初級
授業の目標概要	広東語は香港と澳門（マカオ）で第 1 言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南 3 地域を覆うリンガ・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中華圏の言語の中では現代標準中国語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約 8000 万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。
成績評価方法	１．期末試験、小テスト、平常点から算出します。 ２．平常点については授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 ３．小テストは随時行います。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉川雅之 香港粤語［基礎会話］ 白帝社 978-4-86398-094-5
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50124	A	ヘブライ語初級（第三外国語）	飯郷 友康	アジア・日本研究コース	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヘブライ語文法初歩
授業の目標概要	古代中世イスラエル思想、近現代ユダヤ文化を研究するためにも、中東情勢を分析するためにも、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること──すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。
成績評価方法	期末にレポートの提出を課す。 以下「履修上の注意」「学習上のアドバイス」を参照せよ。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50614	A	上海語初級（第三外国語）	張 ユエ	中国語	水 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	上海語初級
授業の目標概要	本授業は、上海語を基礎から身につけたい人を対象に、発音、語彙、文法、表現、聴き取り、書き取りといった言語的アプローチを中心に勉強します。また、中国語の共通語である普通話との違い、とりわけ音声言語としての上海語の書記方法にも着目します。さらに、言葉の学習のみならず、上海や上海語にまつわる社会・文化・歴史・トレンドについても適宜紹介します。本授業を通して、上海語ならびに漢語派諸語への理解を深め、上海語を用いた総合的コミュニケーション能力の育成を目標とします。
成績評価方法	授業の参加度や提出課題のクオリティに基づき、総合的に評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 榎本英雄・範暁 『ニューエクスプレスプラス上海語』 白水社 単行本：https://www.hakusuisha.co.jp/book/b517242.html／電子書籍：https://www.hakusuisha.co.jp/book/b589572.html
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50647	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	アジア・日本研究コース	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ペルシア語文法と読解講読
授業の目標概要	1）辞書や文法書を参照しながら、中級程度のテキスト・資料の読解力を身につけることを目標とする。 2）ペルシア語テキストの読解を進めつつ、文法学習の補足を行う。 3）予習段階での ChatGPT や Google 翻訳の活用も認めるが、まずは辞書と文法書のみで読解を試み、疑問点を明らかにしてから、ChatGPT・Google 翻訳等を利用すること。また、利用したことを授業内で明言すること。 これらがどの程度「使える」のか、もしくは「使えない」のかを授業内で共有することも目標の一つとしたい。 4）授業の最初に簡単なペルシア語会話の練習を行い、ペルシア語の文と言い回しに慣れる。
成績評価方法	課題提出に基づく ペルシア語テキストの読解を進めつつ、文法学習の補足を行う。 3）予習段階での ChatGPT や Google 翻訳の活用も認めるが、まずは辞書と文法書のみで読解を試み、疑問点を明らかにしてから、ChatGPT・Google 翻訳等を利用すること。また、利用したことを授業内で明言すること。 これらがどの程度「使える」のか、もしくは「使えない」のかを授業内で共有することも目標の一つとしたい。 4）授業の最初に簡単なペルシア語会話の練習を行い、ペルシア語の文と言い回しに慣れる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51092	A	セルビア・クロアチア語初級（第三外国語）	山崎 信一	ロシア語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	セルビア・クロアチア語(初級)
授業の目標概要	セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎を復習し、その後、読解力向上のための平易な文章の購読を行う。基礎的な言語能 力を身につけることを目標とする。
成績評価方法	平常点による。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50957	A	ポーランド語初級（第三外国語）	福嶋 千穂	ロシア語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ポーランド語初級／Polish Language (Elementary)
授業の目標概要	ポーランド語の基本文法、基本の語彙を学び、運用能力の土台をつくることを目標とする。 ポーランド語の正書法、格変化や活用は複雑であり、これらを理解し身に付けることが学習の要となる。
成績評価方法	平素の授業への取り組み姿勢＋学期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石井哲士朗、三井レナータ、阿部優子 『ニューエクスプレス+ ポーランド語』 白水社 978-4-560-08849-4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50547	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	アジア・日本研究コース	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	タイ語／Thai language
授業の目標概要	Ｓセメスターからの継続。原則として、Ｓセメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている場合は、Ａセメスターのみの履修も認めます。今年度ではなく、昨年度以前のＳセメスターにタイ語を履修した人たちの履修も歓迎します。Ａセメスターの前半は、テキスト第 13 課以降を２週間に３課のペースで扱います。A セメスター後半は、オンライン辞書を使ってタイ語の長文読解にも挑戦してもらいます。辞書を引けば、タイ語で書かれたニュース記事などを理解できるようになるのが目標です。
成績評価方法	宿題 10%、期末試験 90%。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水野潔 ニューエクスプレス・プラス タイ語 白水社 9784560087992
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50878	A	ポルトガル語初級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ポルトガル語の基礎
授業の目標概要	ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、S セメスターの授業と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。
成績評価方法	授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席 1/4 以上で受験資格を失いますので留意してください。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50857	A	ポルトガル語中級（第三外国語）	牧野 真也	スペイン語	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ポルトガル語の基礎
授業の目標概要	ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、読解力と聴解力を身に付けることを目指します。なお、ポルトガル語既修者の受講がない場合は初心者の受講も可能です。
成績評価方法	出席点 5 割＋平常点 5 割（講読の割り当て部分の発表など）で 60 点以上を合格とします。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50958	A	台湾語初級（第三外国語）	蔡 承維	中国語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	台湾語初級 A
授業の目標概要	「台湾語」は、17 世紀以来、福建南部の泉州、漳州、厦門などから台湾に渡ってきた人々がもたらした言語である。台湾では、2300 万の総人口の 75%を占める 1700 万人の母語と推定される。この言語は、現代中国では「閩南語」と称し、母語話者もおよそ 1700 万と言われている。歴史的に東南アジアや欧米では、この言語を「福建語」と称している。インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピンでは福建語は華語の方言の中で最も話者が多く、インドネシア語、マレーシア語においても福建語由来の語彙が 500 以上あるとの研究もある。しかし第二次世界大戦後、各地の言語政策においては、台湾語、閩南語、福建語のメディアにおける使用が厳しく制限される傾向があった。このような状況にもかかわらず、映画、ドラマ、歌謡曲、文学などの流通はさまざまな形で続いた。近年、台湾において振興の動きが著しく、2019 年 7 月、初めての台湾語による公共放送のテレビチャンネル「公視台語台」も設立された。そのほか、方言の使用に対して厳しく制限しているシンガポールでも、2016 年より、準国営且つ唯一のテレビ局も 37 年ぶりに方言（主な福建語）番組の制作、放送を再開した。 この授業では、台湾語の発音とローマ字表記法、基本的な文法と会話表現を習得することを目指す。
成績評価方法	① 平常点（ 学習態度、発音、会話力 、毎回のコメントシート） 20% ②「作文」（120 文字程度）或いは「映像の字幕作成」（8 文程度）30% ③ 期末テスト 50%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 村上嘉英 ニューエクスプレスプラス 台湾語 白水社 9784560088395 ※村上嘉英『ニューエクスプレス 台湾語』も可
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50959	A	モンゴル語初級（第三外国語）	青木 雅浩	アジア・日本研究コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	モンゴル語
授業の目標概要	本授業は、夏学期履修者を前提とした授業である。 夏学期に引き続き、初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につけることを目標とする 夏学期では聞く、話すを中心としたが、秋学期では読む、書くを中心としたものとなる。 とはいえ、今回は部分的にドラマなどを参照するので、状況によるより具体的な菊、話すの理解を深めることも目標としている モンゴル語の背景にある文化を織り込んだ話題を購読で織り込み、モンゴル文化への理解を深める
成績評価方法	毎回小テストを行う予定であるので、その点数と 最終テストおよび、授業での発言で評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50364	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代トルコ語初級文法入門 2
授業の目標概要	現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A 両セメスターの通年で完結するため、A セメスターは、S セメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。A セメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。
成績評価方法	教科書練習問題による課題の提出と、学期末に課される試験の成績をもとに評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京外国語大学 トルコ語専攻 編 『トルコ語文法 初級・中級 改訂版』 東京外国語大学生活協同組合出版部 978-4-903386-18-8 一般書店では市販されていないので生協書籍部で購入すること
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50420	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	アジア・日本研究コース	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	トルコ語中級文献講読 2
授業の目標概要	文献講読を通じて、現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。 あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。
成績評価方法	学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50701	A	古典語初級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語の手ほどき（のつづき）
授業の目標概要	古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 水谷智洋 『古典ギリシア語初歩』 岩波書店 4000008293
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51079	A	古典語初級（ギリシア語）II	松浦 高志	古典語・地中海諸言語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語初級（後半） Elementary Greek (second half)
授業の目標概要	※当授業は S セメスターの「古典ギリシア語初級（前半）」（科目名：私の担当する「古典語初級（ギリシア語）I」）の続きである．これを履修していない場合，その内容を自習しておく必要がある．A セメスターで扱う内容の概要は以下の「授業計画」に記載されている．S セメスターで扱った内容は「関連ホームページ」に記載されているので確認しておくこと．S セメスターで使用したテキストは，UTOL 上に当授業のコマが設定され次第載せるので，A セメスターからの受講者は確認しておくこと． I. 目標 初級文法を一年かけて学び，古典ギリシア語で書かれた文章を，辞書と文法書を使えば読めるようにする． II. 概要 A セメスターの授業の主な内容は次の三つである． A. 動詞の活用を覚える． B. 単文の主要な構文を覚える． C. 複文の主要な構文を覚える．
成績評価方法	I. 概要 練習問題・原典講読の発表状況（60 点） 提出課題（10 点） 小テスト（30 点） S セメスターとは異なり，学期末試験は実施しない．提出課題は，ふだん口頭で発表している練習問題を，書いて提出するもの． II. 採点基準 おおむね次のようになるように採点を行う予定である． 50 点：形態をある程度理解しており，練習問題を解いてきている． 65 点：形態をだいたい理解しており，練習問題を解く際にそれを用いている． 80 点：形態をほぼ理解しており，構文や語法に注意して練習問題を解いてきている． 90 点：形態や構文，語法をほぼ正しく理解しており，自分の言葉で正しく説明できる． 練習問題を解く際は，単語の形態（名詞なら性・数・格，動詞なら法・時称・相・数・人称など）をきちんと調べておき，また構文や語法については教材のどの項目に説明があるかを調べておくと上達が早い．すなわちそのようにすれば，練習問題をよく理解して解くことができ，ギリシア語の原典も正確に理解することができるようになる．単に上手（に見えるよう）な和訳ができただけでは評価を得ることができないことに注意せよ．逆に和訳がぎこちなかったとしても，形態や構文等について教材の内容をきちんと理解した上でのものであれば評価は高くなる． III. 小テスト 小テストの内容は主に変化表の単なる暗記であり，90 分授業の時間外（105 分授業との差分）に各自で実施する形式である．そのため公平性を確保した上で厳密に採点することが難しい．したがって採点の際にはその点を考慮する．ただし小テストで扱う内容はいずれも暗記しているものとして授業を進めるので，その点に注意して取り組むこと．
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50760	A	古典語中級（ギリシア語）II	上野 愼也	古典語・地中海諸言語	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古典ギリシア語散文講読
授業の目標概要	古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。
成績評価方法	平常点と期末試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。 ※遠隔授業になった場合にも、履修者の平常点が積み上がるよう工夫するので、安心して受講されたい。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50421	A	古典語初級（ラテン語）I	ヘルマン ゴチェフスキ	古典語・ 地中海諸言語	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語初級（1）−名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に
授業の目標概要	ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。
成績評価方法	平常点と試験。最後の授業で対面の試験を行う可能性を検討しています。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Hans H. Ørberg LINGVA LATINA PER SE ILLVSTRATA. PARS I: FAMILIA ROMANA; 別冊：LINGVA LATINA PER SE ILLVSTRATA. EXERCIT 複数の出版社があり、いずれのエディッションも使えます。ネットで調べてください。
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50008	A	古典語初級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・ 地中海諸言語	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語初級
授業の目標概要	辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。
成績評価方法	最終日に行う期末テストに基づいて評価する
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 中山恒夫（著） 『標準ラテン文法』 白水社 ISBN978-4-560-01761-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50062	A	古典語中級（ラテン語）II	井上 秀太郎	古典語・ 地中海諸言語	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ラテン語散文講読
授業の目標概要	初級の授業で学んだことの上に立ってラテン語の散文を読み進めていく。基本的な文法事項を確認しつつ、辞書を使って独力でラテン語を読解する能力を身に付けることを目標とする。後期も前期に引き続きアウルス・ゲッリウスの『アッティカ夜話』を第 3 巻途中から読み進めていく。当作品はローマ帝政期の著述家ゲッリウスが、冬の夜を楽しく過ごせるようにとの意図で蒐集した逸話、随想集である。読み切り形式の興味深い話が多数収録されており、履修生も楽しく読み進めていくことが出来るであろう。
成績評価方法	平常点に基づいて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50665	A	古典語初級（サンスクリット語）II	加藤 隆宏	古典語・地中海諸言語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	サンスクリット初級文法 (II)
授業の目標概要	古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。A セメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせて進める。
成績評価方法	授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50666	A	古典日本語	田村 隆	国文・漢文学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	テキストと絵で読む『伊勢物語』
授業の目標概要	『伊勢物語』を初段の初冠から順に味読する。一語一語にこだわり物語の言葉を味わいつつ、古注釈にも目配りして諸説を紹介しながら読み進める。解釈が分かれている箇所も多く、議論に積極的に参加してほしい。 講義では、テキストとともに絵にも着目する。近世初期に刊行された嵯峨本やそれに基づく奈良絵本など、『伊勢物語』は挿絵を伴って読み継がれてきた側面がある。物語内容を適切に描いた絵が読者を楽しませてくれる一方で、今日の物語解釈とは異なるような絵も見られ、そうした問題もふまえて受講生の皆さんの意見も聞きながら講義を進めたい。
成績評価方法	筆記試験（持込不可）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 大津有一校注 伊勢物語 岩波文庫 9784003000816
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50702	A	古典中国語	谷口 洋	国文・漢文学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	語学としての漢文
授業の目標概要	中国の文章語は、戦国の諸子百家や『史記』『漢書』などの歴史書においてその骨格を確立し、中国はもとより日本・朝鮮・ベトナムなど東アジア世界における知の世界の共通語となった。日本ではそれを訓読の技法によって日本語の中に取り入れ、今なお国語科の中に「漢文」と称して位置づけている。しかしそのためにかえって、それが本来中国語であった事実は、学習の現場においては忘れられがちでもある。 この科目を漢文と呼ばずに古典中国語と称するのは、その本来の姿に注意するからであるが、他方で、訓読を通じてそれを日本語化したものまで含めて扱う。近年の古代中国語の研究成果を踏まえて、高等学校で「漢文」として学習したものをいったん外国語として客観化し、より本質的な理解に到達することと並んで、国語学の研究成果をも参照しつつ、古典中国語を日本の先人たちがいかに日本語世界に取り入れてきたかを理解することもまた、この科目の目標である。 この科目は、古典中国語が流通した東アジア諸地域の研究を志す者に、そのために必要な読解力の基礎を身につけさせることを目的の一つとするが、それにとどまらず、日本語の使い手として、「漢文」を新たな角度から学び直してみたいと考える者の受講をも、大いに歓迎する。
成績評価方法	最終回の授業で行う持ち込みなしの確認テストと、丁寧に辞書を引いて作成するレポート（指定された文献の訳注）との、両方によって評価する。片方のみでは単位は出ない。さらに、通常の授業で行う小テスト等の状況を加味する。
教科書	その他。／Other 教材はプリントを配布する。漢和辞典を準備すること。これから準備するのであれば、『漢辞海』（三省堂）か『新字源』（角川書店）を勧める。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50182	A 1	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50221	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	読解を通じ，日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50664	A 1	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える： その３
授業の目標概要	授業の目標：日本の近代文学を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：いくつかの日本の近代文学をじっくり読むことで、言葉の意味や表現の豊かさを学ぶ。その際、時代背景や当時の社会状況について知ることで、日本文化についての理解を深める。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50698	A 1	日本語上級	串田 紀代美	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語で語る美術・芸術 / Discussing Visual Arts and Art Culture in Japanese Contexts
授業の目標概要	目標 (1)基本用語を正しく理解し、適切な説明ができるようになる。 (2)研究対象を明確にしたうえで、文化事象を国際的な視点から考察することができるようになる。 (3)特定の文化事象について批判的かつジャンル横断的に考え、専門用語を交え他者に伝えられるようになる。 概要 日本文化の歴史的文脈と現在までの継承システムを国際的な視点に立って読み解き、理解し、新たな日本研究に繋げることが本授業の目的である。とりわけ、日本を中心とした美術・芸術に関するテーマを扱いながら、学術的な場面で使用する日本語の運用力向上を図る。授業では、日本語で書かれた評論、論文等の読解とディスカッションを行いつつ、批判的思考を深化させる。さらに「タテ割り」の学問分野を相互に繋ぎ、領域横断的な文化研究の手法と新たな視点を構築することに注力する。考察を深めるため自身の専門分野のみならず、対立軸となるような他領域や日本以外の文化事象についても視野に入れながら、関連づけて学ぶ場を提供する。
成績評価方法	授業への取り組み（読解準備 20%、ディスカッション 20%、ショートスピーチ 20%）、成果物等の課題達成度 20%、口頭発表 20%、これらを総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50879	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	読解を通じ，日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史について書かれた記事の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50927	A 1	日本語上級	奥川 育子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックプレゼンテーションとディスカッション
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。 学術的なテーマについて「アクティブラーニングにより必要な情報を収集し、根拠や理由を示しながら論理的に自分の意見を述べる」「専門的、時事的なテーマの発表後、自身の考えを適切にまとめ、質疑応答できる」等、アカデミックな場面での総合的な会話能力を育成する。
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、クイズ、発表
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50960	A 1	日本語上級	藤井 明子	日本語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックライティング（1） ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く Academic Writing and Japanese literature 1: Writing Essays
授業の目標概要	This course is designed for students at the advanced level of Japanese. This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in thinking reflectively and self-regulated learning. Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following: 1）read a Japanese short story critically 2) make an outline of an academic essay 3) write an academic essay in appropriate structure, format and style 4) cite other studies within reports/papers 5) reflect on their own learning process and assess the progress.
成績評価方法	Your overall grade in the class will be decided based on the following: 1) Participation in class activities: 5% 2) Assignments : 40% 3) Reflection papers : 15% 4) Term-end paper : 40% Further details will be provided on the first day.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51093	A 1	日本語上級	串田 紀代美	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語で語る民俗学・大衆文化 / Discussing Folklore and Popular Culture in Japanese Contexts
授業の目標概要	目標 (1)基本用語を正しく理解し、適切な説明ができるようになる。 (2)研究対象を明確にしたうえで、文化事象を国際的な視点から考察することができるようになる。 (3)特定の文化事象について批判的かつジャンル横断的に考え、専門用語を交え他者に伝えられるようになる。 概要 日本文化の歴史的文脈と現在までの継承システムを国際的な視点に立って読み解き、理解し、新たな日本研究に繋げることが本授業の目的である。とりわけ、民俗学、宗教学、大衆文化などのテーマを扱いながら、学術的な場面で使用する日本語の運用力向上を図る。授業では、日本語で書かれた評論、論文等の読解とディスカッションを行いつつ、批判的思考を深化させる。さらに「タテ割り」の学問分野を相互に繋ぎ、領域横断的な文化研究の手法と新たな視点を構築することに注力する。考察を深めるため自身の専門分野のみならず、対立軸となるような他領域や日本以外の文化事象についても視野に入れながら、関連付けて学ぶ場を提供する。
成績評価方法	授業への取り組み（読解準備 20%、ディスカッション 20%、ショートスピーチ 20%）、成果物等の課題達成度 20%、口頭発表 20%、これらを総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60005	A 2	日本語上級	大久保 雅子	日本語	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation
授業の目標概要	授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1）ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2）自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3）自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4）日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5）聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。
成績評価方法	録音課題 30% スピーチ・プレゼンテーション 30% 授業中の課題 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60006	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	読解を通じ，日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。 なお，A1 タームではアカデミックな記事のついての読解を行う一方で，A2 タームでは，歴史を題材とした文学作品を読んでいきます。異なる内容の授業になりますので，連続履修は可能です。
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60074	A 2	日本語上級	木村 政樹	日本語	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代日本の童話を読む： その 1
授業の目標概要	授業の目標：近代日本の童話を読むことで、文章を理解する力、語彙力、思考力を身につける。 授業の概要：童話は平易な文章で書かれていて読みやすく、日本語表現の基礎を学ぶのに適している。また、深くテクストを読み込むことによって、初読のときには思いもよらなかった新たな解釈を生み出すことができる。この授業では、童話を通して日本語の豊かさを学びながら、文学的想像力のもつ意義と創造的な読解の可能性について考えていく。最終回では、作品ひとつを選んで、その魅力について発表する。また、選んだ作品についてのレポートを提出する。
成績評価方法	授業への参加度・レポートをもとに総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60075	A 2	日本語上級	串田 紀代美	日本語	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語で語る美術・芸術 / Discussing Visual Arts and Art Culture in Japanese Contexts
授業の目標概要	目標 (1)基本用語を正しく理解し、適切な説明ができるようになる。 (2)研究対象を明確にしたうえで、文化事象を国際的な視点から考察することができるようになる。 (3)特定の文化事象について批判的かつジャンル横断的に考え、専門用語を交え他者に伝えられるようになる。 概要 日本文化の歴史的文脈と現在までの継承システムを国際的な視点に立って読み解き、理解し、新たな日本研究に繋げることが本授業の目的である。とりわけ、日本を中心とした美術・芸術に関するテーマを扱いながら、学術的な場面で使用する日本語の運用力向上を図る。授業では、日本語で書かれた評論、論文等の読解とディスカッションを行いつつ、批判的思考を深化させる。さらに「タテ割り」の学問分野を相互に繋ぎ、領域横断的な文化研究の手法と新たな視点を構築することに注力する。考察を深めるため自身の専門分野のみならず、対立軸となるような他領域や日本以外の文化事象についても視野に入れながら、関連づけて学ぶ場を提供する。
成績評価方法	授業への取り組み（読解準備 20%、ディスカッション 20%、ショートスピーチ 20%）、成果物等の課題達成度 20%、口頭発表 20%、これらを総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60080	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	日本語	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	読解を通じ，日本の歴史を考える Advanced readings in Japanese history
授業の目標概要	※この授業は「留学生」向けの授業です。日本語を母語とする 4 月入学の学生，および一般入試により入学した外国人学生の履修はできません。 この授業では日本の歴史を題材にして書かれた小説等の読解を通じ，日本史における特定の事象や，その事象に関係する文化的背景についての理解を深めるとともに，歴史的事象と現代との関わりについて批判的に検討できるようになることを目指します。事象の背景にある文化的背景などについては学生自身に調査してきてもらい，互いに共有し，議論していきます。こうした作業を通じ，自分が調査し考察したことを，他者に効果的に表現していくためのトレーニングを行うとともに，他の学生との議論により，自己の考察をより深めていきます。 なお，A1 タームではアカデミックな記事のついての読解を行う一方で，A2 タームでは，歴史を題材とした文学作品を読んでいきます。異なる内容の授業になりますので，連続履修は可能です。
成績評価方法	授業中随時実施するクイズ 最終プレゼンテーション・最終レポート
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60081	A 2	日本語上級	奥川 育子	日本語	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックプレゼンテーションとレポート執筆
授業の目標概要	この授業では、日本語を母語としない上級学習者を対象に、様々なアカデミックな場面での日本語によるコミュニケーション（ディスカッション、プレゼンテーション等）の能力を身に着ける。日本語を使って自身の考えを的確に伝えることができるよう、日本の社会や文化に関するテーマを取り上げ、調査、分析、発表の仕方を学ぶ。その後、各自テーマを選び、アクティブラーニングのプレゼンテーション、ディスカッションとレポート執筆を行う。
成績評価方法	出席、授業参加度、課題、発表、レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60082	A 2	日本語上級	藤井 明子	日本語	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	アカデミックライティング（2） ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる Academic Writing and Japanese literature 2: Critical Reading and Book Review
授業の目標概要	This course introduces academic writing, citation style in Japanese and critical thinking to students taking this course. It also enhances the development of students' skill in researching. Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to do the following: 1) read short stories 2) write an academic essay in appropriate structure, format and style 3) cite other studies within reports/papers 4) reflect on their own learning process and assess the progress.
成績評価方法	Your overall grade in the class will be decided based on the following: 1) Participation in class activities: 5% 2) Assignments : 40% 3) Reflection papers : 15% 4) Term-end paper : 40% Further details will be provided on the first day.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60087	A 2	日本語上級	串田 紀代美	日本語	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本語で語る民俗学・大衆文化 / Discussing Folklore and Popular Culture in Japanese Contexts
授業の目標概要	目標 (1)基本用語を正しく理解し、適切な説明ができるようになる。 (2)研究対象を明確にしたうえで、文化事象を国際的な視点から考察することができるようになる。 (3)特定の文化事象について批判的かつジャンル横断的に考え、専門用語を交え他者に伝えられるようになる。 概要 日本文化の歴史的文脈と現在までの継承システムを国際的な視点に立って読み解き、理解し、新たな日本研究に繋げることが本授業の目的である。とりわけ、民俗学、宗教学、大衆文化などのテーマを扱いながら、学術的な場面で使用する日本語の運用力向上を図る。授業では、日本語で書かれた評論、論文等の読解とディスカッションを行いつつ、批判的思考を深化させる。さらに「タテ割り」の学問分野を相互に繋ぎ、領域横断的な文化研究の手法と新たな視点を構築することに注力する。考察を深めるため自身の専門分野のみならず、対立軸となるような他領域や日本以外の文化事象についても視野に入れながら、関連付けて学ぶ場を提供する。
成績評価方法	授業への取り組み（読解準備 20%、ディスカッション 20%、ショートスピーチ 20%）、成果物等の課題達成度 20%、口頭発表 20%、これらを総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 A（思想・芸術）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50667	A	言語比較論	遠藤 智子	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	言語構造と語用論の日英中対照
授業の目標概要	この授業では、主に日本語と英語および中国語の比較対照を主軸とし、言語の構造と使用（語用論）における普遍性と個別性についての理解を深める。個別の言語についてのみならず、一般言語学の基礎と考え方を身につけることも目標とする。
成績評価方法	授業への参加（リアクションペーパーを含む）、中間試験、期末試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51385	A	言語文化論	齋藤 希史、上原 究一、谷口 洋、田口 一郎、大西 克也、鈴木 将久	文学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	中国を読む──古代文字から現代文学まで
授業の目標概要	漢字誕生以来、どれほどの文字が中国で書かれてきただろうか。王言を留め、歴史を記し、論を立て、詩を詠じる。講釈師の声が小説となり、批評家たちが舌鋒を闘わせる。古代の漢語漢文から近世の白話小説、そして現代中国文学まで、中国のことばと文学を総覧して、その読みどころを示し、中国語中国文学の世界を広く深く理解する。
成績評価方法	担当者ごとに、小レポートなどの課題によって評価し、集計する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 参考書は授業計画を参照
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60221	A 2	言語文化論	渡邉 明	文学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	構造と意味
授業の目標概要	日英語の比較を中心として、言語間の違いと自然言語にみられる普遍的性格の両方を無理なく捉える研究プログラムについて論じる。構造というと大きなものを想像しがちだが、微細な構造というものも存在する。この授業では、類似した言語表現の差異を捉えるための微細な構成要素（素性）の理論を紹介する。人称や数について通常考えられている概念が、より基本的なもの（すなわち素性）の組合せによって定義されることを論じる。
成績評価方法	試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50274	A	文化横断論	逆井 聡人	言語情報科学専攻	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	都市と文学 / The City and Literature
授業の目標概要	この授業では、近代以降の都市が描かれた詩や小説を読んでいきます。都市は単に物語の舞台ではなく、その都市が抱える歴史や記憶は展開される物語の細部に浸透し、意味を生成していきます。ではその物語は今を生きる私たちに何を訴えかけるのか、私たちはどうそれに応答していくのか、それを考えていきます。 In this course, we will read poems and novels that depict cities from the modern era onward. The city is not merely a setting for the narrative; rather, its history and memories permeate the details of the story and generate meaning. We will consider what these stories convey to us—those who live in the present—and how we might respond to them.
成績評価方法	平常点（授業毎のコメントシートを含む）： 40% 中間エッセイ： 30% 期末エッセイ： 30% ［エッセイの評価基準］ 授業で得た近代都市空間の知識を基に、作品を空間論的に分析できているかがポイントとなります。 Class Participation (including comment sheets submitted after each class): 40% Midterm Essay: 30% Final Essay: 30% [Essay Evaluation Criteria] Essays will be evaluated based on how well students are able to analyze the literary works from a spatial perspective, drawing on the knowledge of modern urban space gained through the course.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50668	A	テクスト文化論	吉国 浩哉	言語情報科学専攻	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文学入門：本屋さんで売っている文庫本で古今東西の文学を実際に読んでみる
授業の目標概要	そろそろ大学の授業にも慣れてきた（＝こんな程度かと失望したり、飽きてきたりしきた）人々に、オースティン、バルザック、フロベール、ドストエフスキーなど（それなりに有名な）文学作品を実際に読む機会を提供することがこの授業を開講する目的です。様々な言語で書かれた様々な作品を日本語訳でできるだけ多く読みます。古今東西これまでの人類の歴史の中で世界中のさまざまな場所で書かれたとても有名な文学作品をできるだけたくさん読むことによって世界標準の教養を身につける・・・ということを最終的な目標として掲げはするがそれは大変すぎるのでとりあえず入手しやすい文庫本でお手軽に読むことでまずは受験勉強で破壊された脳細胞のリハビリを行いつつ「文学」なるものにちょっとだけ入門してみるような授業です。 授業で扱う予定の長編小説は以下の通りです。 オースティン『高慢と偏見』 フローベール『ボヴァリー夫人』 バルザック『ゴリオ爺さん』 ドストエフスキー『白痴』 以上四編の小説をおおむね一ヶ月に一作品のペースで読みます。それに加えて、ソフォクレス、ゲーテ、シェークスピアによる戯曲、メルヴィル、ジェームズ、漱石、魯迅、カフカによる中短篇も読む予定です。 授業の形式は、教員が詳細な作品解説をするような講義ではなく（最低限の情報提供は行いますが)、学生による発表とディスカッションを中心とします。そのことによって、ただひたすらに本を読むことに加えて、文学作品について自分の言葉で語る（そして書く）方法も学びます。 何はともあれ、これらの「有名な」作品は、普通の意味で面白いです（だから今まで読み継がれてきました)。古い作品なので敬遠されがちですが、だまされたと思って読んでみてください。映画、ドラマ、マンガ、ゲームよりもさらに一歩、人間と人間社会の暗部（＝リアル）に踏み込んだ物語を読んでみたいと思う人にはお勧めです。 文学「入門」の授業ではありますが、人文学の学問を専門とする大学院進学を考えている学生の履修も歓迎します。というよりも、高校までの日本の学校では人文学の教育はあまり行われていないので、今から入門しても人文学のエキスパートとなることは日本では十分に可能です。人文学に関しては、入門は同時に専門家養成でもあります。 ※初回（１０月８日 対面）の授業に必ず出席すること。やむをえず欠席する場合は、第 2 回の前に必ず担当教員にメールで連絡すること。課題があるので第 2 回の授業に突然来ても参加は認められない。参加型の授業なので傍観者はご勘弁。
成績評価方法	発表、小レポート、ディスカッション、期末レポートなどを総合的に評価する。欠席 4 回以上で期末レポートを提出する権利を失う。発表をしないことについても同様である。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50703	A	現代哲学	齋藤 幸平	哲学・科学史	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	２１世紀のマルクス主義
授業の目標概要	近年再評価が進んでいるマルクスやマルクス主義の思想について、多角的な観点から、その内容を検討していく。合わせて、資本主義についての理解を深めることを目指す。
成績評価方法	リアクションペーパー（３０％）、期末試験（７０％）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook マルチェロ・ムスト（編） 『マルクス・リヴァイバル』 地平社
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50965	A	科学哲学	鈴木 貴之	哲学・科学史	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	科学哲学入門
授業の目標概要	いわゆる科学革命以降、近代科学はめざましい発展を遂げてきました。近代科学が短期間でこれだけの発展を遂げることができたのは、なぜでしょうか。科学的説明は、他の説明とどのように異なるのでしょうか。人文科学や社会科学も広義の科学の一部と言えるのでしょうか。科学に関するこのような理論的問題を考察するのが科学哲学です。この授業では、現代の科学哲学の主要問題を概観します。
成績評価方法	学期末に実施する筆記試験によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50275	A	現代思想	星野 太	哲学・科学史	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	現代思想（2001-2025）
授業の目標概要	この授業では、およそ 2001 年から 2025 年（現在）までの現代思想の概説を行なう。 21 世紀に入ってすでに四半世紀が経とうとしているが、この間の「現代思想」のひとつの特徴は実在論への強いコミットメントだった。これは、思想的には「思弁的転回」、人類学的には「存在論的転回」などと呼ばれたりもするが、これらはいずれも 20 世紀の哲学・思想が「言語論的転回（linguistic turn）」を経たことへに対する、ある種のカウンターであるという点で共通している。 この授業の目的は、以上の（およそ 25 年間の）現代思想の特徴について、基本的な理解を獲得することである。そうした目的のもと、本授業では（1）思弁的実在論、新しい唯物論、オブジェクト指向存在論といった近年の思想潮流について概説を行ない、あわせて（2）それぞれの潮流を代表するとされる論者のテクストを講読・解説する。 詳細は「授業計画」を参照のこと。 教養科目であることに鑑みて、基本的には教員が解説をするかたちで進めるが、実際にその代表的な文献を読んでみる場面では、受講者に積極的な参加を求めることがある。
成績評価方法	平常点：20% 期末試験：80% それぞれの詳細については初回の授業で説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51098	A	記号論理学I（文科生）	小関 健太郎	哲学・科学史	金 5	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	現代論理学入門
授業の目標概要	この授業では、現代論理学の基本的な考え方を学びます。学習を通じて、「論理」とは何かを考えるとともに、言葉や物事を形式的に扱うテクニックを知ることを目的とします。到達目標は、古典論理と呼ばれる枠組みで扱える範囲の推論について、意味論と証明論（自然演繹）の考え方に基づき、妥当性や証明の論証を自分で組み立てられるようになることです。
成績評価方法	主に学期末試験で評価します。状況に応じて小課題を課し、一部を評価に加える可能性があります（事前に告知します）。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50184	A	記号論理学II	秋吉 亮太	哲学・科学史	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ゲーデルの不完全性定理の数学的内容と哲学的含意
授業の目標概要	ゲーデルが 1931 年に証明した不完全性定理の数学的内容と哲学的含意を説明する。まず、不完全性定理の背景となっていたヒルベルトの形式主義（無矛盾性プログラム）を三回ほどかけて概観して、算術の不完全性定理の証明を丁寧に解説する（七、八回）。より具体的には、まず算術の公理系や帰納関数論の基本的な性質を確認して、証明にとってキーとなるコーディングや対角線補題、最後に第一不完全性定理と第二不完全性定理を証明する。残りの回ではこの数学的定理がヒルベルトのプログラムに与えた影響と、これにまつわる周辺的な話題を紹介したい。
成績評価方法	学期末テストによって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50449	A	精神分析学	原 和之	仏語・伊語	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	思想史のなかの「精神分析」
授業の目標概要	十九世紀の終わりに神経症の治療法として登場した精神分析は、二十世紀以降人文諸学のさまざまな分野において参照されるようになり、その発想や概念の理解は、現代思想の展開を理解する鍵の一つとなっています。この授業では、精神分析学がそうした位置を占めるようになった歴史的な経緯を、特に創始者フロイトからそのフランスにおける展開に注目して辿りつつ、その基本的な発想や概念を、精神分析学内外のさまざまな文献に即して紹介します。さらに講義では、このアプローチが一般に現代の「こころ」をめぐる議論において提起するさまざまな問題や、隣接領域との歴史的あるいは今日的な関連についてもお話ししたいと思います。
成績評価方法	平常点（出席およびコメントペーパー等） 20% 持ち込み不可の期末試験（筆記） 80%
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50669	A	表象文化論	清水 晶子	表象文化論コース	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	セクシュアリティ論（クィアスタディーズ）
授業の目標概要	セクシュアリティ論、とりわけ 1990 年代から 25 年にわたるクィア・スタディーズの議論の基礎を学び、セクシュアリティをめぐる現代日本の様々な文化的・政治的事象を分析しながら、性、欲望、身体の構成が文化や法や政治とどうかかわってきた／いるのかを考えます。 授業修了時に、セクシュアリティに関する処分権を読む際に必要となることの多い基本的な用語や概念、現在セクシュアリティをめぐって交わされている多方面における議論の概観を理解していること、セクシュアリティについての議論に参加するために欠くことのできない基本姿勢を身につけていることを、目的とします。 ジェンダー論、セクシュアリティ論についての基礎的な知識は求めません。 初回授業はオンラインになります。そのあとは対面ですが、グループワークの実施と報告にはおそらく Google Classroom を使います。
成績評価方法	授業への参加貢献度、提出課題、期末課題を総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50276	A	美術論	加治屋 健司	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代美術史
授業の目標概要	第二次世界大戦後に世界各地で作られた主な美術を学びます。多様な展開を見せる戦後美術・現代美術を、集団的な運動や動向としてよりも、個別の作家が行った選択の軌跡として理解することを目指します。その上で、美術表現が歴史や社会とどのように関係しているのかについても考察します。
成績評価方法	現代美術史に関して書いた期末レポートに基づいて成績評価を行います。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50277	A	映画論	竹峰 義和	表象文化論コース	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	映画史講義
授業の目標概要	19 世紀末から現代にかけての映画の歴史をたどるなかで、複製テクノロジーに基づく表象メディアとしての映画がもつ社会的機能について多面的に考察する。とりわけ、映画黎明期から 1910 年代までのあいだに製作された初期映画、および 1920～30 年代のヨーロッパ映画とハリウッド映画を主な素材として、映画を見るという視覚経験の制度性と政治性に迫る。
成績評価方法	平常点（出席＋リアクションペーパー）と期末レポートに基づき、総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50966	A	演劇論	河合 祥一郎	表象文化論コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	『ハムレット』論
授業の目標概要	ローレンス・オリヴィエ、メル・ギブソン、ケネス・ブラナーらの映画『ハムレット』を比較して、ハムレット表象の問題を視野に入れつつ、『ハムレット』という作品の核心に迫る。
成績評価方法	最終試験（持ち込み可）。但し、他の人のノートのコピーの持ち込みは不可。（カンニングとみなし、厳しい処置があるので注意）。試験時にノートパソコン等電子機器は持ち込めない。持ち込んでよいのは、書籍、自筆のノート、自筆の書き込みのあるデータのプリントアウト。作成者が特定できないワープロ作成のみの文書のプリントアウトは不可。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51315	A	社会正義論	岡 真理	教養教育高度化機構	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	思想としてのパレスチナ
授業の目標概要	「かくも深く募ってやまない痛みを、あたかも単なる政治的問題のひとつであるかのように、二者間の「紛争」などと、そして双方が「競合する」と称される物語を抱えているなどとよくも言えたものだ。ジェノサイドは物語なのか？ 自由を追い求めることは紛争なのか？」――これはパレスチナ系アメリカ人のジャーナリスト、ラムズィ・バールードが 2024 年 5 月、76 回目のナクバ記念日に X にツイートした言葉です。反語疑問の形で、「パレスチナ問題」の今日的かつ歴史的な本質を端的に言い表しています。 2025 年 10 月 7 日以来、イスラエル占領下のガザ地区で起きている事態は、ジェノサイド条約が定義するジェノサイドにほかなりません。しかし、日本の主流メディアにおける報道は、その破局的事態の規模や内実に見合った質でもなければ量でもありません。問題の歴史的根源を問うことなく、「ナクバ」以来続くパレスチナの民族浄化を維持する「文化的暴力」として機能しています。 合衆国をはじめ自由や人権や民主主義を掲げる西側諸国においては、紛うことなきジェノサイドと化した民族浄化に見舞われるパレスチナ人に連帯し、イスラエル国家やそのナショナル・イデオロギーであるシオニズムを批判する者たちが「反ユダヤ主義」のレッテルを貼られて弾圧されるという事態となっています。問題を歴史的に文脈化する営為自体が犯罪化され、学知の扼殺、認識の扼殺が進行しています。 パレスチナにおいて、そしてパレスチナをめぐって行使される歴史的かつ今日的な直接的暴力と構造的暴力、そして文化的暴力に抗う一歩として、パレスチナ問題の本質、歴史的根源と、パレスチナをめぐる問題の諸相を学びます。
成績評価方法	平常点（適宜、課題を出します）および期末レポート ・正当な理由なき 5 回以上の欠席は不合格とします。 ・生成 AI の回答を流用して作成したレポートは、不正行為と見なします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50200	A	比較文化論	前島 志保	比較文学比較文化コース	火 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代日本における出版・読書文化の大衆化
授業の目標概要	近代日本における出版・読書文化の大衆化の諸相を、定期刊行物（特に雑誌）の展開に焦点を当て、比較出版史的な観点から概観する。定期刊行物に書かれた（描かれた）言説・表象を分析する前に、まず、「言説・表象を盛る器」（メディア）としての定期刊行物自体に注目し、他メディアとの関連にも目配りしつつ、その文章表現・視覚表現の変容が、記事表象と読者、読者・編集部・専門寄稿家の関係性をどのように変えたのか考えていく。様々な研究の資料として扱われることが多い新聞・雑誌を、文化的産物としてとらえなおすことを目指す。
成績評価方法	授業参加度、コメントシート、学期末レポートによって、総合的に判断する。 コメントシート、学期末レポートは英語で書いても構わない。 （The final grade for the course will be determined by evaluation in the following areas: class attendance and participation; weekly reaction papers; final paper. While the lecture will be delivered in Japanese, students can submit their comment sheets/reaction papers and final papers in either Japanese or English.)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50967	A	比較文化論	松井 裕美	比較文学比較文化コース	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	フランス美術史講義（近現代前衛美術におけるジャンルの越境）
授業の目標概要	この授業では、1880 年代から 1970 年代までの 100 年間の近現代西洋の前衛美術の諸相を紹介します。主な地域としてはフランス、ジャンルとしては前衛的な視覚芸術を中心としながら、他地域の芸術関係性や、音楽・文学といった他ジャンルとの関係性についても考察の対象とします。 近現代の前衛美術は、それ以前の芸術との断絶という切り口から理解される傾向にありますが、実のところ、個々の作品にはそれぞれに異なる歴史的背景や同時代背景があり、単一の「歴史」や「意図」で語ることが困難な側面があります。 さらにこの時代は、視覚だけでなく、様々な感覚を刺激するような芸術的実践が、前衛芸術において展開されました。ここでは、次の３つの角度から近現代美術を語る基本的な手法を学ぶことを目的とします。 ① 個々の作品や作者の実践はどのような様式や運動と関わっているのか ② 個別的あるいは集合的な芸術実践は、どのような理論や制度と関わっているのか ③ 個別的あるいは集合的な芸術実践と歴史や社会との関連性はどのようなものか とりわけ③に関連して、消費社会やグローバリズム、戦争や植民地主義と芸術的諸動向の関係性についても検討します。
成績評価方法	期末レポート（70%）と平常点（30%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50185	A	比較思想	斉藤 渉	比較文学比較文化コース	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	近代ヨーロッパの平和思想
授業の目標概要	ヨーロッパには、戦争と平和をめぐる議論の長い伝統があります。この授業では、イマヌエル・カントの『永遠平和のために』（第 1 版：1795、第 2 版：1796）をひとまずの到達点とする近代ヨーロッパの平和思想の流れを概観します。特に、カントの議論がどのような文脈で成立したのかをさまざまなテクストと比較しつつ分析し、その特徴と意義を考察します。
成績評価方法	授業参加（ディスカッション／コメントシート）＋ 発表またはレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook カント 永遠平和のために 岩波書店 978-4003362594
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50670	A	西洋思想史	石原 孝二	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	狂気と「精神疾患」をめぐる西洋思想史
授業の目標概要	西洋古代から近世にかけて、狂気は現代とは異なり、社会のなかでより曖昧な位置づけを与えられていた。狂気が「精神疾患」として捉えられ、治療対象となるとともに、社会的な監視の対象として社会のなかに位置づけられるようになっていくのは、啓蒙期における精神医学の誕生以降のことである。狂気や精神疾患の捉え方は、社会の体制や自由、人格、人権に関する思想と密接に関連している。この授業では、疾病や障害、人権の概念との関係を考慮しながら、狂気と精神疾患が西洋で現代にいたるまでどのように捉えられてきたのか、また、その捉え方にどのような課題があるのかを考察していく。
成績評価方法	原則として期末テストの成績による。課題等を課した場合には、課題等の提出状況も考慮に入れる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50858	A	社会思想史	犬塚 元	社会・社会思想史	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	17-18 世紀を中心とする近代ヨーロッパの社会思想史・政治思想史を学ぶ
授業の目標概要	近代ヨーロッパの社会思想史、政治思想史を学ぶ。社会思想、政治思想の過去をたどり、トマス・ホッブズ、ジェイムズ・ハリントン、ジョン・ロック、ジャン-ジャック・ルソー、デイヴィッド・ヒュームらの思想について学ぶことを通じて、社会や政治について、社会や政治にかかる思想・学問・理論について、ならびに、ヨーロッパの思想や哲学について、理解を深める科目である。この時代のヨーロッパの社会思想史、政治思想史は、かつては社会契約論にフォーカスして、民主国家たる日本が模範として学ぶべき思想史として論じられてきたが、受講者は、最新の研究知見をふまえた新しい思想史理解を学ぶことができる。
成績評価方法	各回の小テストと、定期試験の合計点による。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50704	A	科学史	三村 太郎	哲学・科学史	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ギリシャ科学から近代科学まで
授業の目標概要	科学は不変の真理を扱った学問というイメージを抱くが、その一方で、科学は古代からの長い歴史を持っており、地域や時代によって様々な「科学」が営まれ、今日の科学が形成された。本講義を通じて、科学という営みを世界の歴史の視点から見るきっかけを与える。具体的には、古代から近代科学成立にいたるまで、科学が各地域各時代で、どういった人々によって、どういった目的で、どのような形ではぐくまれてきたのかをたどる。
成績評価方法	期末テストを予定している。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

総合科目 B（国際・地域）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50278	A	国際関係論	湯川 拓	国際関係	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際関係について理論的に考える
授業の目標概要	国際関係論（国際政治学）の入門的な講義であり、国際政治現象を分析的に理解するための「レンズ」あるいは「ものの見方」を得ることを目的とする。そのために国際関係論という学問における重要概念とその基本的操作について理解する。 入門的講義ということもあり、国際関係における様々な問題を広範に取り上げる予定である。 なお、講義期間中に一度、全員に授業内容についての質問の提出を求める。 これが成績の 10%を占める。
成績評価方法	期末試験：90% 課題提出：10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50548	A	国際関係論	玉置 敦彦	国際関係	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際政治学
授業の目標概要	本講義は国際政治学の入門講義である。国際政治学は多様な学問分野から刺激を受けて形成されてきたために、全体像を把握することは容易ではない。本講義では、「同盟」と「帝国」という二つの概念を中心に、国際政治に対して異なる理解を提示してきた代表的な考え方を、その起源に遡って検討することで、国際政治学を理論的かつ歴史的に概観する。「国際政治」という現象が誕生した近代ヨーロッパから現代までを対象に、国際政治を理解するための基礎的な概念と考え方を理解し、時事問題に関しても専門的な見地を踏まえて考えることができるようになることが本講義の目標である。
成績評価方法	期末試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50969	A	国際関係史	濵砂 孝弘	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	国際政局と日本外交
授業の目標概要	この授業では、世界恐慌の発生から第二次世界大戦の敗戦を経て、1972 年の沖縄返還及び日中国交正常化に至る戦前～戦後の日本外交を検討します。国際連盟や、これを補完するヴェルサイユ＝ワシントン体制から構成された戦間期国際秩序の崩壊、第二次世界大戦ないしアジア・太平洋戦争、戦後における東西冷戦の展開といった激動の国際政局のなかで、日本はどのように外交に取り組み、対外関係を構築したのでしょうか。 この講義では、戦前・戦後の日本外交について事実関係や論点を理解することを目指します。世界のなかの日本を俯瞰しながら、現在の日本外交が抱える諸問題の歴史的背景を理解する素養の習得が、本講義の目標です。
成績評価方法	平常点（４０%）と定期試験（６０%）で評価する。平常点はリアクションペーパーの提出状況で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 毎回の授業では教員がレジュメを配布し、スライド資料を用意する。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50186	A	現代国際社会論	酒井 啓子	国際関係	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代の中東政治を国際政治の枠組みで概説する。特に米国を中心としたグローバルパワーとの関係、域内のトランスナショナルなネットワークのありように着目し、国家主体のみならず非国家主体が紡ぐ政治のダイナミズムを読み解く。
授業の目標概要	複雑に見える中東地域における政治実態を、グローバルパワーとの関係、域内における覇権抗争の枠組み、トランスナショナルな政治思想運動の展開に着目して、解明する。中東地域の政治を国際政治、比較政治の一般論からの逸脱事例とみるのではなく、中東政治のさまざまな特徴をむしろ国際政治の矛盾を表象する事象として捉え、中東から「世界」を読み解く視座を獲得する。加えて、中東政治の土台にある近現代史に対する理解を「オリエンタリズム」批判を踏まえて、再考する。
成績評価方法	試験と、映画などの感想文の提出による。出席は問わない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 酒井啓子 9.11 後の現代史 講談社新書
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50885	A	現代国際社会論	佐藤 仁	国際関係	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	開発協力のジレンマ
授業の目標概要	「SDG s の問題点は何か」。この授業が終わったら、この問いに答えられるようになっていてほしいと思います。国際開発、国際協力は、その響きの美しさとは裏腹に、それが見えにくくする側面があります。この授業では、知らず知らず見えにくくなっている側面を取り上げ、それを自分なりに考えるために、いくつかの「ジレンマ」を取り上げていきます。 国際開発に関する授業は、通常は、貧困や気候変動といった課題を解説し、それに対する援助などの取り組みの制度や効果を論じるものが多いと思います。この授業では、一つのセクター、一つの専門的視点にこだわらず、国際開発協力から、「あちらが立てば、こちらが立たず」という悩ましい現象を取り上げて、自分で答えを探す訓練をします。またこの授業では、現在の途上国の事例だけでなく、かつて途上国であった日本の被援助経験、開発経験に伴うジレンマについても扱います。
成績評価方法	講義と参考文献に基づく試験を成績全体の 8 割、出席とコメントシート、質問などによる議論喚起を合わせて 2 割の比重で成績評価を行う。 成績は 8 割を最終試験でつけ、残りの 2 割を出席と授業中の参加点として加算する。なお、人数が少ない場合は、試験を行わず、レポートに変える。授業中の参加は、教室での質問やコメント（オンライン含む）、毎授業ごとに任意で提出を求めるリフレクションペーパーの質と量で評価する。また出席（成績の 5 %）は、ITC-LMS の出席管理機能を使うこととし、3 回以上欠席した人に「優」はつかない。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤仁 争わない社会ー「開かれた依存関係」をつくる NHK ブックス
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50970	A	現代国際社会論	阪本 拓人	国際関係	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代アフリカの政治と国際関係
授業の目標概要	【概要】 現代のサハラ以南アフリカの政治や国際関係について多角的に学ぶ概説的授業である。アフリカの歴史や風土に関する導入ののち、各回の講義で、国家、紛争、開発、民主主義、グローバル化、人間の安全保障といった政治学や国際関係論の基本的な概念やテーマを取り上げ、これらを軸に、独立から今日に至るアフリカの国家と国際関係の特徴や変容を、アフリカ内の多様性にも留意しながら、コンパクトに解説していく。 【目標】 アフリカは、近年世界の中で急速に重要性を増す地域のひとつである。この講義では、アフリカが直面してきた多様な課題や問題を取り上げることで、学生がこの地域を多角的に理解するための見取り図を構築していくきっかけを提供したい。また、国家や民主主義、グロー バル化といった政治学や国際関係論の基礎的な概念をアフリカの文脈において具体化・操作化することで、アフリカのみならず、政治や国際関係全般に対する見方も豊かにしてもらいたい。
成績評価方法	主に期末試験の成績に基づき評価する。映画等視聴の際に提出する小レポートも考慮する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 遠藤貢・阪本拓人編 ようこそアフリカ世界へ（シリーズ地域研究のすすめ 2） 昭和堂 978-4812221280
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51099	A	平和構築論	谷垣 真理子	地域文化研究専攻	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	平和構築の実践
授業の目標概要	平和構築論の理論的な話に触れ、現場からの声を聞く。 前半のテキスト輪読で知識の平準化を図る。その後、ウクライナ、カンボジア PKO,インドネシア国家警察の改革プロジェクト、東ティモールについて現場で活動した経験を持つ人々から話を聞く。 ＡＳＥＡＮ内ではインドネシアは 2 億 6000 万人の人口を抱え、資源大国である。インドネシアの国内の治安維持において、分離運動、共産党、テロ活動の抑止は大きな比重が置かれていた。本授業では分離運動のひとつである東ティモールをとりあげる。 また、日本警察はインドネシア国家警察改革の「お手伝い」を 20 年以上にわたって実施してきた。国軍から「独立」したインドネシア国家警察がどのように変化したのか／変化しなかったのかを、長期にわたって現地に赴いた専門家やプログラムマネージャー、さらにはインドネシア国家警察関係者の話を聞く。
成績評価方法	参加者人数によって調整はあるが、コメントペーパーと報告（20~30%）、期末レポート（50~60%）、出席(20%)による総合評価。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50063	A	地域文化論II	藤崎 衛	地域文化研究専攻	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	教皇と教皇選定の歴史
授業の目標概要	地域文化論としてヨーロッパの歴史的理解を試みる。ヨーロッパの社会と文化を理解するうえでローマ教皇の存在は無視できない。中世においては世俗君主と肩を並べるほどの政治的影響力を行使したと言ってよく、現代の国際政治においても教皇の果たす役割は無視することはできない。ヨーロッパの歴史における宗教と政治を読みとくための鍵である教皇はどのように選ばれるのか。また、教皇の死はどのような意味を持つのか。選出や死に際してどのような儀礼や象徴物が用いられ、それらはどのような意味を帯びるのか。これらを解明するために古代から現代にいたるまでの時代を対象として、「教皇と教皇選定の歴史」をひもとく。
成績評価方法	学期末のレポートによる
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50187	A	地域文化論II	森井 裕一、速水 淑子、川喜田 敦子、平松 英人	地域文化研究専攻	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　ドイツ研究入門

授業の目標概要　日本にとって、ドイツという国は特別の意味をもちます。日独関係が始まった 19 世紀後半以来、日本の近代化の過程において、学術的な思考とそれを支える概念が形作られるにあたり、ドイツの学術の影響は決定的な意味をもちました。

ドイツが歴史的に果たしてきた役割、また今日の国際社会において現実に果たしている役割に鑑みて、日本の人文社会科学の諸学問にとって、ドイツは今日なお重要な関心の対象でありつづけています。ドイツを知らずしてヨーロッパを理解すること、近現代の世界の動きを理解することはできないでしょう。また、世界でも屈指の研究環境をもつ大学、研究所等を多く有するドイツは、人文社会科学のみならず、自然科学、工学、医学などありとあらゆる領域の研究者が研鑽を積む研究の場としての意味をもっていることにも注意を払う必要があります。

研究対象としてのドイツに関心がある人も、研究の場としてドイツを選択肢に入れられるかもしれないと考えている人も、大学生の一般常識としてドイツについて最低限のことを語れるようになりたいと思っている人も含めて、今日のドイツについて分かっておきたいと考えるあらゆる人のために、この授業では、後期課程地域文化研究分科「ドイツ研究コース」およびドイツ・ヨーロッパ研究センター（DESK）の教員 4 名が、それぞれの専門（歴史学、政治学、文学・思想）を生かして、近現代ドイツのよりすぐりのトピックを解説します。

成績評価方法　学期末試験の成績により評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50859	A	地域文化論II	キャサリン ボンド、加藤 紗織、橋川 健竜	地域文化研究専攻	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　Introducing Australia

授業の目標概要　Few nations have as unusual history as Australia, where First Nations peoples have lived for 60,000 years, or when the Prime Minister went missing after going for a swim at the beach. It is a country of immense natural wonders, from Uluru to the Great Barrier Reef, koalas to kangaroos. But it is also a country with a challenging, difficult history: claimed for the British Empire in 1770, established as a penal colony for convicts in 1788, and entering the First World War only fourteen years after Federation. In ‘Introducing Australia’, students will gain an understanding of the history and development of Australia, from the times of its First Peoples through to today. By the completion of the course, students will have been able to appreciate but also critique Australia’s history, culture and politics.

The first half of the course will examine the land that became Australia prior to its Federation: it will consider the lives of the land’s original Aboriginal and Torres Strait Island people; visitors prior to British arrival; Captain Cook claiming the land for the British Empire in 1770; the arrival of the First Fleet in 1788 and the establishment of the New South Wales penal colony for convicts; the move from convict settlement to free colonies; and relationship between the land, its inhabitants and the Asia-Pacific.

The second half of the course will then explore the decision to federate and become the Commonwealth of Australia; Australia’s role in the First and the Second World Wars and the origin myth of the ‘Anzac legend’ in the First World War; increased rights and recognition of Indigenous Australians, including the 1967 constitutional referendum; the 1988 Bicentenary and Australia’s continued relationship with Britain, with the British Crown as its Head of State; and Australia and its role in the Asia-Pacific today. The last topic will include a consideration of the relationship between Australia and Japan, ahead of the 50th anniversary of the Nara Treaty between the two nations in 2026.

The course will not be purely historical, however, as each class will also explore a modern issue relevant to that topic, through class presentations by students. This will provide students with both a deeper understanding of course content and an application of historical concepts to modern outcomes.

成績評価方法　Presentation – 25%

Students will prepare a presentation to be delivered in class, either by themselves or in pairs/trios, on a modern topic related to the course content. For example, for Class 4 ‘Convicts & the Colonies’, the presentation will be on Australia’s continued interest in true crime; for Class 11, ‘Australia’s natural wonders’, the presentation will explore the impact of climate change. Class presentations will commence in Class 3 and further information will be provided online and in Class 1.

Research Paper – 75%

Students will prepare a research paper in response to one of a series of topics provided early in the semester. The topics will encourage research and reflection on issues considered in the course. Further information will be provided online and in Class 1.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

There is no set textbook for the course. Students will be expected to complete either a reading (for example, a short article); viewing (for example, a video); or audio preparation (for example, a podcast) prior to attending class. A full preparation guide with links to course materials will be made available on UTOL at the start of the semester.

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50188	A	比較地域史	杉本 浄	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	鉱物資源開発の過程における比較地域史ー19 世紀から 20 世紀前半のインド、南アフリカ、オーストラリア、カナダ
授業の目標概要	本授業では、19 世紀から 20 世紀前半までのイギリス帝国各地における鉱物資源開発の過程に注目する。石炭・石油といったエネルギー資源とともに、鉱物資源は帝国の拡大と各地の工業化を支え、その全体の採掘量は年々増加の一途をたどった。1924 年にロンドンで初めて開催されたイギリス帝国鉱山・冶金学会議では、南アフリカ、オーストラリア、カナダといった自治領だけでなく、帝国の植民地や保護領からの代表が集い、資源情報だけでなく、各種技術について議論がなされた。この会議は、その後、第 2 回カナダ（1927 年）、第 3 回南アフリカ（1930 年）と続いた。帝国各地で資源調査を実施した研究機関や、実際に鉱山開発を行った鉱山会社の人的なつながりについて理解してもらうのが本授業の目的である。
成績評価方法	授業内課題と試験により、総合的に評価
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50671	A	比較地域史	齋藤 久美子	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	オスマン史とクルド史の交わるところ
授業の目標概要	【授業の目標】アナトリア南東部の地政学的特性と 16 世紀以降の同地域の権力・社会構造の変容を検証することで、一政治体内における中心と周辺の関係について理解するとともに、現代トルコが抱える民族や宗派といった諸問題の背景についても理解を深めることを目標とします。 【授業の概要】本講義ではアラブ・イラン・トルコ世界の結節地域であるアナトリア南東部の歴史と社会に焦点をあてます。まず同地域の地理・歴史・社会構造を通して地域としての独自性や近隣地域との関係性を見ていきます。次にオスマン朝治下のアナトリア南東部についてオスマン朝の支配方法を様々な角度から考察し、オスマン支配によりアナトリア南東部の伝統的な政治・社会システムがどのように変容したのかを見ていきます。講義はパワーポイントを用いて進行しそれに対応したプリントを配布します。視聴覚教材も利用します。
成績評価方法	出席・毎回の課題・試験により総合的に評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50971	A	日本文化論I	出口 智之	国文・漢文学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	樋口一葉を読む
授業の目標概要	近代を代表する作家の一人でありながら、現代とは異なる風俗習慣のうえに立って作品を執筆したため、注釈や解説などなしでは独力で読むことが難しい樋口一葉の小説を取上げ、解釈する。それを通じて明治 20 年代の文学・社会への理解を深めるとともに、文語で書かれた作品に親しみ、その後の近代文学を捉えなおす視座を身につけることを目標とする。
成績評価方法	学期末のレポートをもって評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 樋口一葉 にごりえ・たけくらべ 新潮文庫 978-4101016016
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50649	A	日本文化論II	島田 英明	国文・漢文学	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	日本の近代文学を読む
授業の目標概要	優れた文学作品は言語芸術として美しいだけでなく、その時々の社会や思想を映す鏡であり、有限な一個人の生涯では体験できない境遇や心理について学べる教科書でもあります。むかし丸山眞男という政治学者も「人間と人間の行動を把握しようという目的意識につらぬかれている限り、映画を見ても、小説をよんでも、隣のおばさんと話をしても、そこに広くは学問一般の、せまくは歴史の生きた素材を発見出来る」と語っていましたから、きっと勉強になるのでしょう。本授業では近代日本の名作を濫読します。
成績評価方法	コメントペーパー（40%）＋出欠（30%）＋平常点（30%） 参加者の人数に応じてレポートを課す場合もある
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50279	A 1	日本語日本文学I（理科生）	出口 智之	国文・漢文学	火 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	なぜ日本人は古典を読めなくなったか
授業の目標概要	このシラバスを読んでいるジュニアのみなさんは、個々の得意不得意はあるにしても、平均すればおそらく同世代のなかで最も古典文学（古文）の読解に長けた層だろうと思います。なかには、所属は理科生であっても、古文を得意科目とし、自由自在に読みこなしてきた方もいるかもしれません。しかし、そういう方でも、古文を現代文と同等のスピードや容易さで読むことは難しいでしょうし、現実にはある程度（かなり？）苦労しつつ、受験でなんとか点が取れる程度に読んできた方が大部分だろうと思います。 そんなみなさんは、こういう疑問を持ったことはないでしょうか。なぜ古文は読みにくいのだろうか。なぜ私たちは古文を読めなくなっているのだろうか、と。 この問いは、次のように言い換えてもよいかもしれません。「古文」と「現代文」は、いつ、どのようにして入れ替わったのか、その時には何が起きたのか。 具体例を一つお示しましょう。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言へり。されば天より人を生ずるには、万人は万人みな同じ位にして…」とは、福沢諭吉が明治 5（1872）年に公にした文章です。そのわずか 33 年後の明治 38（1905）年、夏目漱石は「吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生れたかとんと見当がつかぬ。」という文章ではじまる小説を発表しました。この間には、いったい何があったのでしょうか。 この二つの文章は、まさに「古文」と「現代文」の断絶を端的に示しているようですが、実はその背後には、単なるテキスト上の問題にとどまらない、きわめて幅広い懸隔が横たわっています。いくら古文が得意だった方でも、いまからわずか 160 年前に出版された本を渡されて、そのまますらすら読める人はまずいないでしょう。文章の意味がわかるわからない以前に、くずし字で書かれた文字を判読する時点でつまづくはずですし、旧字・異体字など文字の種類やパンクチュエーション（句読法）も大きく異なるため、文字をすべて判読してもなお読めるとはかぎりません。みなさんが読んできた「古文」とは、そうした障害をすべて除き、現代人が読みやすいように整えられたテキストにすぎないのです。 では、このわずか 160 年程度の間に、いったい何が起ったのでしょうか。なぜ現代の日本人*は、わずか 160 年前に自国で刊行された本も読めなくなっているのでしょうか。 この講義では、幕末から明治にかけて「古文」が「現代文」になってゆく過程を紹介します。学術的なテーマとしては「言文一致」ですが、単に文体にとどまらず、文字・表記・文体まで含めて、明治から昭和に書けての近代に起こった大変革の状況を、わかりやすく概説してゆきます。そこからは、みなさんがいかにも自然だと感じておられるだろう「現代文」が、いかに新しく、また特に口語文小説の文体がいかに不自然なものであるかが見えてくるはずです。そのようにして、「現代文」と現代の日本語および日本語小説を異化し、相対化する視点を身につけることが、この授業の目標です。 *なお、ここで言う「現代の日本人」は、人種・民族・国籍などを含意しません。現代日本語を第一言語または準第一言語とし、ある程度のレベルの文章を文字によって読解することができる日本語話者、およびそれに準ずる力を学習によって身につけた、日本語を第二言語以下とする話者といった程度のニュアンスです。本授業ではこうした層を指す際、便宜上「現代の日本人」と称しているにすぎず、「日本人」とは何かという問題に踏み込むものではありません。
成績評価方法	期末レポート 100%。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50126	A	日本語日本文学II	神作 研一	国文・漢文学	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	江戸の出版と雅俗
授業の目標概要	文学とは何か。また、ソレを研究するとはどういうことなのかー。 本講義では、江戸時代の文学（日本近世文学）の全容と特質を視野に収めながら、江戸に即して実証的に解析する〈研究方法〉を学ぶ。古典籍（モノ）、翻字や注釈などの基礎的な手続き、出版史の概況、雅俗、諸ジャンルの関係性など、基礎と応用を自在に往還することで江戸の楽しさと面白さ、文学の豊かさを深く認識し、文学とは何か／古典とは何かということを皆さんと一緒に考えるとともに、現代に生きる私たちにとってどんな意味があるのかをも探りたい。
成績評価方法	学期中に課す 2 回のレポート（20%と 50%）、および折々に課す課題（15%）とリアクションペーパー（15%）に基づいて、総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50761	A	東洋古典学	宋 晗	国文・漢文学	木 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	古代日本漢文学概論
授業の目標概要	日本文学は、漢字漢文による書記を土台にして出発した。『古事記』『日本書紀』が漢文体で記されていること、『万葉集』に収録されている和歌が全て漢字で表記され、漢詩文も載録されていることは、端的な表れである。この授業では、日本文学の一部としての漢文に焦点を絞り、いわゆる日本古典文学が成立する古代における漢文学の展開を考えてみたい。そして日本古典文学と言うと、恋以外に題材はないとさえ言われることがあるが、それは仮名文に限った話である。なぜ仮名文は恋に偏重してしまったのか、という古代日本文学史の変遷を理解する上でも、実は漢文に目を向ける必要がある。日本文学に対する総合的理解を深めることもこの授業の目標に含まれている。
成績評価方法	平常点 4 割 期末レポート 6 割 初回ガイダンス時に詳しく説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50189	A	歴史社会論	後藤 はる美	歴史学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	複合国家ブリテンと近世ヨーロッパ
授業の目標概要	現在のイギリスは、イングランド、ウェールズ、スコットランド、(北) アイルランドから成る立憲君主制の連合王国である。近年、王国を構成する各地域で自治の機運が高まり、その動きは EU 脱退を受けてさらに複雑化している。歴史的にみても、王権と議会、教会、そして「三王国」との関係性の調整は、イギリスの国制問題の基幹を成してきた。この背景には、ヨーロッパ規模での宗教改革や諸革命を通じた新秩序の形成過程がある。 本講義では、イギリスをヨーロッパ史／大西洋史／世界史のなかで位置づけながら、近代世界の形成を考察する。具体的には、18 世紀を中心に名誉革命からフランス革命までのイギリスとヨーロッパを扱う。これらを通して歴史学的思考法を学び、過去と現在の政治・文化・社会のありかたへの関心をもつことを目標とする。
成績評価方法	平常点と期末試験によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50672	A	歴史社会論	杉山 清彦	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	「帝国」と「武人」のユーラシア史
授業の目標概要	近代以前の世界史の主な舞台であったユーラシア大陸では、内陸域の広大な草原地帯とオアシス地帯からなる中央ユーラシアの勢力が、周囲の各地域を結びつけるとともに、地域を超えて世界史を動かしてきた。その担い手となったのは、政治・軍事面の遊牧民と経済・文化面のオアシス民であり、それらの力が結びついたときに成立する広域・多様な領域を束ねる巨大政体は、しばしば「帝国」とよばれた。 本講義では、中国史・インド史などといった一国史的枠組みや、「中国やヨーロッパの周辺の異民族」といった見方からではなく、中央ユーラシアに視座を置いたユーラシア世界史の観点に立って、「帝国」という政体と、その中核をなした「武人」とに注目して、ユーラシア史の展開を巨視的にたどる。とりわけ、その最高潮期であるモンゴル帝国とそれに続くティムール帝国～大清帝国などの諸国家について概観し、それを通して世界史理解の刷新をはかる。
成績評価方法	期末の論述試験を主として判断する。講義中随時課す小テストなどを加味することがある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51386	A	歴史社会論	守川 知子	文学部	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	歴史の中のイスラーム社会
授業の目標概要	本講義では、イスラーム社会の歴史的かつ地域的な多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム社会」とは何かについて考える。現在、世界人口の 2～3 割を占める 18-19 億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であることがわかる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっており、自然環境や文化伝統が各地によって異なることは言うまでもない。とりわけ、乾燥地帯が多くを占める西アジアの場合、イスラーム教が入ってくるよりも先に、サーサーン朝やビザンツ帝国といった強大な帝国および文化圏が存在しており、発祥まもない「イスラーム社会」もまた、これらの既存社会や国家体制に大きく依拠していた。このようなイスラーム社会の歴史的・地域的多様性を理解することを本講義の目標とする。
成績評価方法	期末テスト（もしくは期末レポート）にて評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50705	A	近現代史	岡田 泰平	歴史学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	政治学史と東南アジア研究
授業の目標概要	本講義では、政治学という学術が、冷戦期の学知の中心を占めるようになり、どのように東南アジア研究を形作っていったのかを追っていきます。一方では、東南アジアのイメージを創り出すのに貢献し、他方では東南アジア地域の問題を浮き彫りにしてきました。しかしまた、そのようなイメージと問題の形成のされ方により、アメリカ社会を民主主義のモデルとし、そこに至らない社会として東南アジア諸国が位置づけられてきました。また、このような学知形成に日本の東南アジア研究がどのように関わってきたのかも考察の対象となります。いわば、A 面が 20 世紀後半の東南アジア研究だとすると、B 面は日本を含めた幅広い政治学知の形成史となります＊。そして、学期の最後には、21 世紀のポピュリズムや権威主義、民主主義の後退などを取り上げ、政治学が作り出してきた各国間の序列が終わりつつあることを確認します。 ＊もっとも政治学本流から見れば、音程が外れた講義ですので、B 面に関心のある方は他の教員の充実した政治学の諸講義も取られることを推奨します。
成績評価方法	期末試験が成績の大部を占めますが、リアクションペーパーも考慮します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50972	A	近現代史	鰐淵 秀一	歴史学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	環境史から見るアメリカ史
授業の目標概要	本講義は、植民地時代から現代に至るアメリカ（北米／アメリカ合衆国）の歴史を環境史のアプローチから再構成しようとする試みである。気候危機が世界全体の課題となっている今日、現在の状況がいかなる歴史的背景から生じているのかを理解するためには、人間と自然環境との関係を組み込んだ歴史像を構築することが必要である。北米における人間と自然の関係史を通して、それを世界史のマクロな展開に位置づけつつ、近現代史の理解における環境アプローチの重要性を認識することが目標となる。
成績評価方法	平常点と期末試験によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50280	A	歴史と文化	山口 輝臣	歴史学	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	連続講義：日本近現代史研究はいまどうなっているのか？ ―『日本史の現在⑥近現代II』の執筆者に訊いてみよう！
授業の目標概要	「教科書にはこう書いてあるけど、最近の研究だとそうではなくて・・・」 もしかするとこんな話を、高校の歴史の授業で、聞いたことがあるかもしれない。このように、教科書の背後には研究というものの蓄積がある。その最前線はどうなっているのか？ それは教科書とどれぐらいの距離があるのか？ そうしたことを考えながら、授業担当者は、多くの友人たちと『日本史の現在』という6巻のシリーズを刊行した。この授業では、その第6巻である『日本史の現在⑥近現代II』の著者を毎回お招きし、著者に質疑をすることを通じて、日本近現代史研究の最前線を体感してもらうことにした。同書の執筆陣は、現在の学界を先導する第一線の個性的な歴史家たちであり、そうした研究者に直に質問できるまたとない機会である。もちろん質疑の時間をたっぷりとる予定である。日本近現代史に関心を有する学生も、そうでない学生も、是非ともこの授業を活用して、日本近現代史について土地勘を得るとともに、研究という営為のおもしろさを味わってもらいたい。
成績評価方法	授業への参加状況と期末の小論文によって評価する。詳細は授業内で告知する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鈴木淳・山口輝臣・沼尻晃伸編 『日本史の現在⑥近現代II』 山川出版社 978-4-634-59144-8 https://www.yamakawa.co.jp/product/59144
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51387	A	歴史と文化	佐川 英治	文学部	月 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	中国古代史論
授業の目標概要	文明の誕生から大唐帝国にいたるまでの中華文明の多元性、多様性を東部ユーラシアの枠組みの中で体系的に理解できるよう講義を中心に学ぶ。中華文明の歴史に対する基礎知識を習得するとともに、それを東アジアや東部ユーラシアとの関わりにおいて理解し、近年の発見や研究による新しい見方について知る。
成績評価方法	授業の出席と最終回の筆記試験（持ち込み不可）による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50673	A	世界史論	中野 耕太郎	歴史学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	世界史のなかの「人種」―アメリカ合衆国の事例を中心に
授業の目標概要	本講義は、アメリカ合衆国の事例を中心に、世界史の中で「人種」という概念が生成し、変容していく過程を通観する。ひいては、今日のアメリカに顕著な人種問題を軸とする政治的分極化の意味を問い直すものである。具体的には、近世大西洋を舞台にした奴隷貿易から北米大陸での奴隷制の展開、奴隷制廃止後に広がる人種隔離制度（ジムクロー）や植民地主義の問題、そして、遺伝学や人類学から派生した「科学的人種主義」、さらには、現代の貧困や暴力と結びついた「新しい人種主義」などをトピックとして取り上げる。上記のように、多様な形態で現れるアメリカの人種問題は、各時代の政治や社会、対外関係と密接な関係がある。「人種」の歴史を学ぶことで、今日にいたる世界とアメリカの歴史の大きな流れを理解してほしい。
成績評価方法	学期中、数回課するコメントシートと学期末試験で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50973	A	世界史論	田中 創	歴史学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	裏の世界史――西洋・古代中世篇
授業の目標概要	古代史や中世史のような古い時代については、史料も出尽くし、読み尽くされていて、教科書に書かれていることは基本的に揺らぎのない事実だと思われがちである。しかし、この授業では、そのような教科書に書かれている記述がいかに歴史的に形成されてきたか、そしてトピックによっては、史実といかに乖離したものであるかについて、様々な観点から有名な事例を紹介していく。加えて、それらの教科書記述とは全く異なる歴史叙述も取り上げることで、歴史記述の難しさや、何が本当で何が嘘かを確定することが必ずしも歴史学の役割ではないことを理解してもらいたい。 実際、史実に全く立脚しておらず、一見すると荒唐無稽であるにもかかわらず、長期にわたって信じられ、また人々の想像力を喚起してきた歴史の方が、むしろその後の権力関係や歴史認識を支配するということも起きている。このことは、デマと真実の間に揺れ動く、分断された社会において、どのような対話の在り方や意思決定の判断方法を築きあげるかについて、何かしらの示唆を与えてくれるものでもあろう。同時に、西洋古代史、中世史における重要な歴史的人物・出来事・古典についての基礎的な知識を獲得することも目標としている。
成績評価方法	授業内で随時提出を求めるコメントシートと学期末試験をもとに評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50009	A	文化人類学I	関谷 雄一	文化人類学	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	文化人類学入門 （Introduction to Cultural Anthropology）
授業の目標概要	本講座は文化人類学に関心のある学生向けに、同学問の特色、史的経緯から現代の展開そして残されている課題や今後の可能性に至るまでを、基礎的な説明を中心に講義を行ってゆく。初学者向けの内容となるが、既に関心があり、自己学習をしている者にとってもコースワーク（毎回のリフレクションペーパー等）を通してさらに理解を深められるような工夫もしていきたい。
成績評価方法	授業への出席や議論への貢献度（25%）、リフレクションペーパーの内容（25%）そして期末試験（50%）を鑑み総合的に評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50190	A	文化人類学II	箭内 匡	文化人類学	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	現代文化人類学を展望するー映像／イメージによるアプローチー
授業の目標概要	文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージからかなり遠いものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。
成績評価方法	・学期末試験を行う予定。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 C（社会・制度）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50974	A	法と社会	笹倉 宏紀	法・政治	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目
「刑事法」からアプローチする法学入門（専門性やや強め）

授業の目標概要
本科目は、「犯罪と刑罰」に関する法、つまり、「刑事法」を切り口とした法学入門です。
※ 今年度 S セメスターに私の講義を履修した人は、（専門性の度合いが異なるものの）内容が重複するので、本科目の履修は認められません。
※ 今年度 S セメスターの講義と本科目とでは想定する履修者が異なります（「専門性やや強め」と付記したのはそのためです）。そのことについては、下記（2）以下で説明しています。なお、法学部進学を「予定しない」学生を主たる履修者として想定する科目は、来年度 S セメスターに再度開講する予定です。
（1）法というシステムは、社会を動かしていくための様々な仕組みの一つに過ぎません。他にも、政治システム、経済システム、学術システム等々、分化した多くの社会システムの分業（と協業）によって、私たちの社会の秩序が維持され、そのお蔭で、私たちは日々暮らしていくことができています。
これらの分業システムには、それぞれに固有の発想や考え方、そして言葉遣いがあります。とりわけ、「法」は、権力でも腕力でも財力でもなく、「言葉の力」で人々の意思決定に働きかけるという方法によって社会を動かしていく仕組みです。そのため、「法」は、日本語で語られます。そこで、一見したところ、とっつきやすく、すぐにわかると思ってしまいがちですが、実際には、法システムに固有のものの見方や考え方があります。そして、それは、時に、世間一般の人々の「常識」とはズレていることがあります。
そのズレは、「世間知らず」として批判されるべきものである場合もないではありません。しかし、多くの場合は、ちゃんとした理由があってあえて「ズレ」ているのです。そもそも、世間的「常識」ですべてを処理できるのであれば、法システム、政治システム、経済システム、学術システム等々を分化させて、それぞれを存立させる意味がありません。その場合は、プラトンが思い描いた「哲人」や、中華圏で理想とされた「聖人君子」が、その兼ね備えた卓抜な能力に基づいて、世の中の森羅万象をすべて適切に操るほかありません。しかし、あらゆる問題を適切に解決できる「哲人」「聖人君子」など実際には存在せず、能力の限られた人間が分担してなんとかやっていかなければ仕方がない、というのが、各種のシステムが分化して存在している理由なのです。（以上について、村上淳一『〈法〉の歴史〔新装版〕』〔東京大学出版会、2013 年〕参照。村上〔1933 年生・2017 年没〕はかつて東大法学部でドイツ法を講じ、ポストモダン思想にも通じた碩学です）
（2）本科目は、そのような分業システムの一つとしての「法」の世界に、「刑事法」を切り口として履修者を誘うことを目的とします。履修者としては、主に「文 I 生のうち法学部進学を予定している人、および、他科類所属で法学部進学を考えている人」を想定しています。つまり、法学に関する知識がゼロである人の履修は想定しておらず、かえって、法学部専門科目への橋渡しをすることを目的としています。しかし、本科目は、あくまでも一般教養科目です。
そのような「法学部進学を予定する人を主たる対象とした一般教養科目」という性格に照らして、本科目では、「刑事法」を素材としつつ、法律家に固有の思考の意義を世間一般の「常識」と対比しつつ考えていくことにします。履修者が次第に染まりつつある専門性の枠の外にあえて出て、専門的に学び始めていることの意味を問い直してみることが本科目の主眼です。それを通じて、法学に難しさを感じている人たちには法学固有の思考の特徴や癖をうまく掴んでもらうこと、逆に、法学が得意な人には「専門バカ」に陥らないために専門知を相対化する視点を獲得してもらうことが狙いです。
（3）犯罪と刑罰、そして刑罰の実現過程を扱う刑事法は、逮捕・勾留、捜索・差押えや死刑・拘禁刑を想起すれば直ちに明らかなとおり、国家権力が個人の権利・利益をあからさまに侵害したり剝奪したりする場面を扱います。このことから、刑事法は、国家によるあからさまな権力行使を正当化しつつ厳格に制御するために（いわば「猛獣使い」です）、ギリギリのところを言葉の力で詰めていくという法的な思考やその作法――しかも、世間的な「常識」とはしばしば相容れない思考――が最も強く現れる分野だという特徴を持っています。したがって、刑事法は、法の世界におけるものの見方や考え方の特徴や意義を確認する上で格好の素材です。本科目を「刑事法」からアプローチする法学入門」と銘打った所以です。（「専門性やや強め」の意味は、上記（2）および下記（4）参照）
（4）履修者が比較的少数にとどまることを前提に（S セメスターの履修者は 31 名でした）、講義科目ではありますが、ゼミに近い運用をします。積極的な発言を求めたり、グループディスカッションを用いたり、授業内外で自らリサーチをしたりすることを求めるほか、毎回、文書または口頭で提示される課題について、その場で短い分量の回答（リアクションペーパー）を書いてもらったりするということです。
「刑事法」を素材としつつ、「専門バカ」にならないための素養を身につけるという本科目の目的に照らし、授業でのやりとりで、もし学生が覚えたばかりの専門用語を用いた回答をしたとすると、「それって、要するにどういうこと？高校生にもわかるように説明して」と問うたりします。専門知の吸収よりも「なぜそうなっているのかを考える」ことに力点があることを理解した上で、授業に積極的に参加する意欲のある学生の履修を希望します。
（5）以上が本科目の目標・概要ですが、講義ではあまり肩肘張らずに、雑談・余談もするつもりです。私は、約 30 年前に駒場で学び、その後本郷の法学部に進学し、司法試験を受験し、卒業後、法学部研究室で修行をし、今は法科大学院（ただし東大ではありません）で教員を務めています。そのような立場から、東大法学部で学ぼうとする後輩の皆さんの学習や将来設計に多少なりとも役に立つ話ができればいいなと思っています。
（6）9 月 15 日頃以後に、UTOL のこの授業の欄を見てください。第 1 回のアクセス情報を含め、この授業の詳細情報は UTOL でお知らせします。

成績評価方法
平常点で評価します。具体的には、2 回目以降のリアクションペーパーの「提出回数」に基づく基礎点と、授業における発言やリアクションに基づく加算点の合計で成績を決定します。
基礎点：「提出回数」は、授業に出席して、真面目に勉強して理解・考察したことが確認された回数のことです（したがって、受講態度やリアクションの内容に照らして、各回において当然到達すべき水準に達していないと評価される場合には、不提出と同視しますが、普通に授業に臨んでいればクリアできるものと考えてください）。そして、提出 1 回あたり 3 点を付与します。例えば、2 回目以降のすべての回に出席し、かつ、受講態度に問題がなく、前記の水準以上の内容のリアクションがあれば、3 点／回×12 回＝36 点を獲得することができます。これが欠席ゼロの場合の「基礎点」

です。
加算点：加算点は、基礎点を得た学生のうちの 3 割ないし半数程度を対象として、発言やリアクションペーパーの内容等に応じて、回ごとに 1 点から 5 点の範囲で付与します（学生には回ごとの評価はお知らせしません）。例えば、毎回コンスタントに 3 点を得た学生は、3 点／回×12 回＝計 36 点の加算点を得ることになります。
以上のようにして得られた基礎点と加算点を総合して暫定合計点を算出します。その上で、90 点以上の学生数と 80 点以上の学生数について、それぞれ、教養学部のルールで許容される範囲内で、適切な分布となるよう、最終的な合計点を調整します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50706	A	日本国憲法	山元 一	法・政治	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　日本国憲法
授業の目標概要　日本国憲法について，その歴史的意義とグローバル化時代における課題に留意しつつ，その概要について講義を行う。
成績評価方法　学期末試験によって評価を行う。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
山元 一
グローバル化時代の日本国憲法
放送大学教育振興会
9784595319426
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51314	A	ダイバーシティと法	谷口 洋幸	教養教育高度化機構	木 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目　LGBTQ+と人権
授業の目標概要　この講義のテーマは「LGBTQ+と人権」です。2013 年に国連が「自由と平等キャンペーン」を立ち上げ、LGBTQ+に関する人権保障に向けた国際的な取り組みが本格化して 20 年以上が経過しました。世界では同性同士で結婚して家庭を築いたり、自らの望む性別のあり方で平穏に生活でき国や地域が飛躍的に増えています。一方、同性を好きになることが死刑を含む刑罰の対象となったり、性別のあり方があいまいなだけで暴力や殺害の危険にさらされる国や地域もあります。また、LGBTQ+に関する人権保障を推進してきた国や地域の一部では、激しい揺り戻し（バックラッシュ）も生じています。
この講義では、日本における LGBTQ+関連の法政策の現状について、諸外国との比較や国際人権法の視点を取り入れながら学びます。主に LGBTQ+に関連する判例や法律、政策などを読み解きながら、ジェンダーやセクシュアリティに敏感な人権保障のあり方を考えます。なお、時事問題等により授業計画には若干の変更が予想されます。ご了承の上、履修してください。
成績評価方法　・平常点 60%（ミニッツペーパー（授業のまとめ、感想、課題への回答など)、講義への積極的な参加姿勢（講義中の質問や発言など))
・期末レポート 40%（形式・分量・締切等の詳細は講義内で指示します）
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50886	A	比較社会論	傅 凱儀	社会・社会思想史	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	This course introduces students to the issues, methods, and concepts of economic anthropology. Economic anthropologists try to ask questions about human nature, power and social life in all cultures. The material for the course will consider issues of production, distribution, and consumption in non-Western societies as well as Western societies. We will be thinking about the purpose of work and material goods, the comparison of gifts and commodities, why poverty exists, the evolution of regional and global economies, and the way contemporary capitalist economies shape other aspects of society and culture.
授業の目標概要	1.To expose students to the basic arguments and literature of economic anthropology, so as to encourage students to think about cross-cultural economic phenomena. 2.To train students to be more effective readers of academic literature. 3.To train students to be more effective at oral argumentation, by encouraging them to discuss their ideas and interpretations in class.
成績評価方法	Participation in class activities and discussion 40% Assignment (presentation and report) 60%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Richard R Wilk and Lisa C. Cliggett Economies and Cultures: Foundations of Economic Anthropology (2nd edition) Westview Press 978-0813343655
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50674	A	日本の政治	鹿毛 利枝子	法・政治	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	日本の政治を分析する上での基本的な概念や考え方を紹介する。詳細は初回の授業時に説明する。
成績評価方法	初回授業時に提示する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50161	A	ジェンダー論【社会科学】	野田 潤	社会・社会思想史	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会学的視点で考えるジェンダー問題
授業の目標概要	性別とは、最も「自然」「常識」と思われがちなテーマのひとつである。本講義では、性別に関する私たちの「当たり前」が、いかに当たり前ではなく「不思議なこと」なのかについて、身近なトピックを用いながら、社会学の視点で考えてゆく。 受講者には本講義を通じて、(1)性別そのものがいかに社会的に規定されているか、(2)性別に関する身の回りのさまざまな問題がいかに社会的な問題とつながっているのかを理解してもらいたい。 またその上で、(3)現代の日本社会において、どのような背景のもとでどういったジェンダー問題があるのかを具体的に知り、(4)現代日本社会のさまざまなジェンダー問題への対応策について考察するための基礎力を養ってもらいたい。 さらには上記のプロセスを通じて、社会学的な物の見方や、「社会」に対する感受性を深めてもらうことも期待する。
成績評価方法	定期試験によって評価する。評価の基準は、講義で学んだ基礎的な知識を習得しているかどうか（60%）、与えられたテーマについて根拠を示しながら説得的に論ずることができるかどうか（40%）の２つの観点から行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51332	A	現代と政治	谷口 将紀	法学部	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　現代と政治

授業の目標概要　政治学を学ぶと、どのような興味深い課題に出会い、かかわることができるのか。そのことの一端がわかるよう、大学院法学政治学研究科・法学部／公共政策大学院の教員のうち 13 名が、1 人 1 コマずつ、いま関心を持って取り組んでいる具体的課題を紹介します。質疑応答の時間を多めに取ります。
政治学を学んだ経験が全くなくとも構いません。文科か理科かも問いません。2 年生も歓迎しますが 1 年生を念頭に置いて進めます。

成績評価方法　毎回の授業において出題するお題について学生が短い分量で回答するリアクションペーパーによって成績評価をします。期末試験や期末レポート出題は、実施しません。
リアクションペーパーの「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」に照らして成績評価を行います。
「提出回数」とは、リアクションペーパーの内容を通じて授業に出席のうえ理解・考察をしたことを授業担当者が「確認できた」回数のことであり、これが 13 回あれば多くの学生は 65 点となります。
「回ごとの A 評価」は、毎回の講義担当者が、リアクションペーパー提出者数の 3 割程度の数の学生に付けます。学生には回ごとの評価は知らせません。
「提出回数」と「回ごとの A 評価の数」を総合して、最終成績を決定します。90 点以上と 80 点以上については、それぞれ教養学部のルールで許容される範囲内で、なるべく多めとします。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

授業資料がある場合は、オンラインまたは授業時に配布します。どちらの方法によるかは教員によります。

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51316	A	性の政治II	本山 央子	教養教育高度化機構	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　フェミニスト国際政治経済学

授業の目標概要　冷戦後グローバル・ガバナンスの中で、ジェンダー平等は多様なアクターに共有される共通の規範として確立されてきました。他方で、新自由主義グローバリゼーションは、フェミニズムの目標にとって深刻なジレンマをもたらしています。この講義では、市場と国家を中心とする国際経済・政治の見方に対するフェミニスト批判をたどり、グローバル資本主義と国家システムの変容とジェンダー関係がどのように相互に関連してきたのかを見ていきます。そして、日本におけるわたしたちの日常と繋ぎながら、フェミニズムを組み込みつつ展開するグローバルな権力関係に対してどのような抵抗が可能かについても議論したいと思います。

成績評価方法　各回レスポンスおよびレポート（4 回以上の欠席の場合は単位は認められません）

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50975	A	政治経済学	丸川 知雄	経済・統計	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　歴史観（マクロ・ヒストリー）の探求

授業の目標概要　人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。
マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。
マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。
また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。
こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介するだけでなく、批判的に考察し、データで検証します。
皆さんの多くは大学受験のために世界史あるいは日本史の勉強をしたと思いますが、この講義では歴史観という軸によって学んだ知識を再活性化します。また、受験のために歴史を勉強したことがない人でも授業を理解し、興味が持てるように努めます。

成績評価方法	第 1 回～第 6 回の確認テスト 20% 期末試験 40% レポート 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50675	A	計量社会科学	石田 賢示	経済・統計	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会調査研究の考え方と実際
授業の目標概要	こんにち，さまざまな場で「データ」にもとづく議論，意思決定の重要性が認識されるようになっている。社会調査データはそのうちの主要なものの一つである。グラフや表などできれいに整理された数値や図を見ると単純で簡単であるように見えるが，その背後にはさまざまな手続きや作業が存在する。この授業では，（1）「社会調査」がどのようなものか，（2）社会調査を実施するためには何をしなければ（しては）ならないか，（3）社会調査に類する各種調査にはどのようなものがあるか，（4）得られたデータをどのように整理するか，（5）社会調査を実践する上での倫理的問題，などを取り上げる。以上の点について理解し，自ら調査を企画・実践するための基礎的素養を身につけることが，本授業の目的である。
成績評価方法	（1）第 2 回以降、毎回 Google Forms 等を用いておこなう課題の評価（30%） （2）一部の回における課題の提出内容の評価（30%） （3）学期末近くに実施するオンライン上でのテストの得点（40%） ※授業の進捗状況によって、（2）の内容を（3）と統合する場合がある。必要な説明は授業中におこなう。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50192	A	現代経済理論	中西 徹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	グローバル化の光と影：貧困緩和と格差拡大をめぐって この授業は，現代経済理論を精緻に展開するのではなく，現代社会において経済理論がどのように変容し，どのように現実社会の問題に対応してきたのかを，発展途上国の開発問題を事例として考察することを目的としている。 グローバル化は，貧困緩和を実現する一方，国際的にも，また多くの国の国内においても，それまでの歴史では想定できなかったほどの格差拡大をもたらしたと論じられている。この授業では，第二次大戦後の発展途上国の開発を対象に，経済学の変容を追いつつ，この現象の原因と解決策について検討したい。
授業の目標概要	この授業では現代経済理論の初歩を用い，発展途上国における貧困，格差，あるいは構造的問題を考察します。理論的背景を身につけた上で，現実の課題に応用する方法を学びます。数学は可能な限り使わないようにします。
成績評価方法	期末試験による
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50676	A	経済政策	安部 竜一郎	経済・統計	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	経済政策を問い直す
授業の目標概要	経済政策が常に論争の的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実は逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間-社会との相互作用という視点から経済政策を考える。
成績評価方法	期末試験 90% 出欠 10%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50677	A	現代教育論	佐々木 英和	心理・教育学	水 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	教育・学校心理学
授業の目標概要	誰もが経験し、かつ言葉としても認知している「教育」。意識的であれ無自覚的であれ、この「教育なるもの」の定義を「教え育てること」として初期設定したり、「学校の中に教育が存在する」と思い込んでしまったりする人が多くないか。もし「学校で教師が子どもたちに教え込むことこそが教育だ」という固定観念にとらわれているのみだとすれば、そこに根源的な間違いが潜んでおり、それにより教育実践の可能性が大きく制約されてしまうし、それどころか難題の発生源となることもある。実際、不登校問題など、学校教育の現場で「教師－児童・生徒・学生」関係がうまくいかない背景として、教育者なりの「善意」に基づいた「べき論」が被教育者に一方的に押しつけられるために生じる心理的抑圧の問題が存在しているケースも少なくなく、ときに「はず論」と化して現実認識と混濁してしまうことすらある。いずれにせよ、教育に対する「思い入れ」の強さがそのまま「思い込み」の強化に転じてしまう愚から脱する必要がある。 上記のような立場を基本とする本講義は、教育的営為に関して、視野を拡大して把握し直せるとともに、柔軟かつ根本的な発想の転換が図れるような力量を涵養しながら、受講者なりの見識を醸成し創造的に論じられる力を育成することを主目的とする。そのための学習支援戦略は、主に以下の三つである。 第一に、大前提として、授業構成を「一般教養の一分野としての教育を学ぶ」という発想と「教育を切り口として教養概念を問い直す」という発想との二本柱で成り立たせ、両者を交差させながら展開する。これにより、表層的には学校に焦点化されがちな教育問題の背景には、家族・地域社会・組織等における人間関係や各種メディアの影響などが複雑に絡みあっており、深みと広がりのある心理社会的問題が存在していることを確認する。 第二に、「教育現場において生じる問題及びその背景」に効果的に迫っていくための手法として、教育問題を「教育の論じられ方の問題」として扱うことを出発点にして、教育学的知識や実践事例などを参照しながら、教育について多角的に検討することにより、受講者が抱えがちな諸々の固定観念を流動化させていく。特に、教育イメージを子どもや学校だけに限定しないとともに、それを「教える－教わる」関係から解放することにより開かれてくる様々な可能性および課題について考察していく。 第三に、「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」を考える際に、「教えこみ」から「学びあい」への転換こそが、教育実践として有効であることを、単なる知的理解としてだけでなく、体験的に味わってもらう。具体的には、受講者どうしでペアやグループを組み、お互いの話を傾聴しあう実習を行うことなどにより、親や子ども達、悩みを抱えた教師などに対する接し方を実感してもらい、コミュニケーション問題の解決に不可欠なスキルの基本を経験できるように配慮する。
成績評価方法	学期途中と学期末とで２回程度レポートを実施し、それらを基本として成績評価する。この際、単に「こなす学び」の域にとどまらずに、「創り出す学び」の域に達しているかどうかが、評価ポイントの一つになる。なお、授業出席等の日常的要素は、原則的に加点要素として扱う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 佐藤晴雄・佐々木英和 社会教育経営実践論 放送大学教育振興会 978-4-595-32315-7 講義内容に沿う形のプリントやパワーポイント等も配布する。
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50976	A	教育臨床心理学	石垣 琢麿	心理・教育学	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	臨床心理学概論
授業の目標概要	臨床心理学は、多様な個々のクライエントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」についての理解を目的とする。 今回の講義では、学生諸君自身の身近な問題を題材に検討していきたいと考えている。
成績評価方法	期末試験を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 齋藤憲司・石垣琢麿・高野明 大学生のストレスマネジメント－自助の力と援助の力 有斐閣 978-4-641-17456-6
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51100	A	教育臨床心理学	前田 基成	心理・教育学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目		臨床心理学概論				
授業の目標概要		近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学もしくは異常心理学の基礎知識に基づいて学習する。				
成績評価方法		定期試験（期末試験）による。				
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51416	A	教育実践・政策学入門	宮田 玲、橋野 晶寛、河村 俊太郎、影浦 峡、北村 友人、勝野 正章、髙橋 和子、李 正連、村上 祐介、藤江 康彦、浅井 幸子、新藤 浩伸	教育学部	月 4	1 年 文科 理科
講義題目		教育実践・政策学入門				
授業の目標概要		この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 教育の実践や政策が関わる領域は多岐にわたる。この授業では教育学部教育実践・政策学コースの教員 12 名が各回を担当し、学校教育学、教育行政学、社会教育学・生涯学習論、図書館情報学の研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。				
成績評価方法		出席および授業内提出課題によって総合的に評価する。なお、課題未提出が 4 回以上の場合、単位は認められない。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51415	A	教育学のフロンティア	山名 淳、平石 晃樹、小国 喜弘、片山 勝茂、大塚 類、隠岐 さや香	教育学部	金 5	1 年 文科 理科
講義題目		教育基礎科学で読み解く現代社会と教育				
授業の目標概要		「教育とは何か」「善き人・善き市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いについて、哲学、歴史学、人間学、臨床哲学といった様々なアプローチから考察し、教育についてさらに深く学ぶための足場を提供する。教育学部の基礎教育学コースの教員がオムニバス形式で授業を構成する。各教員の専門分野における最新の研究成果を踏まえて考察する機会を提供することにより、教育学の豊かな可能性や研究の魅力を伝える。 本授業の履修によって、(1)教育のアクチュアルな問題に接近することができる、(2)哲学、歴史学、人間学、臨床哲学におけるそのための方法や知識を学ぶことができる、(3) 教育と人間形成の問題領域に対して学問に基づいた幅広い視野と関心を獲得することができる。				
成績評価方法		各担当教員によるレポート試験と、授業での平常点を総合する形で評価する。レポート試験については、詳しくは授業時に説明する。				
教科書		教科書は使用しない。／Will not use textbook				
ガイダンス		第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time				

総合科目 D（人間・環境）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50977	A	環境物質科学	角野 浩史	化学	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	物質循環と環境化学
授業の目標概要	環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、ＣＯ２による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。
成績評価方法	定期試験と平常点
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50887	A	生態学	池田 啓	生物	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生態学
授業の目標概要	生物と環境との関わりや生物同士の相互作用を学ぶことで，自然界における人間を含めた生物のつながりを理解できるようになることを目標とする。 生物の生活史や環境適応といった個体レベルの現象から個体間・種間における相互作用，生物を中心に形成される自然システム（生態系）の仕組みに至る多段階の階層を網羅するように解説する。
成績評価方法	期末試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50162	A	社会環境論	梶田 真	人文地理学	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地域開発と地域の動態
授業の目標概要	地域的不均等発展という言葉があるように，経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく，成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で，中央政府は”均衡ある国土の発展”といった観点から，経済成長から取り残された地域の開発を推進し，後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし，こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また，経済面以外の部分を含め，地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から，個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって，これらの点について考えていきたいと思います。
成績評価方法	成績はレポートによって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50281	A	気候変動と社会	江守 正多	学際科学科	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	気候変動と社会
授業の目標概要	本講義では、現代社会の最重要課題の一つである気候変動問題について、受講生が最新の研究知見を含めて俯瞰的に学び、自ら考える契機を得ることを目標とする。 地球の気候システムはさまざまな時間スケールで変動しており、それにかかわる海洋環境の変化や極端気象の発生などの自然現象は、生態系はもちろん農林水産業といった人間社会の営みに影響してきた。20 世紀後半以降、気候の温暖化が顕著となり、科学的な評価にもとづき、産業革命以降の文明社会が排出してきた温室効果ガスがその主な原因であることが明らかになっている。温暖化による社会への負の影響を最小限に抑えるため、2050 年までに二酸化炭素の正味排出をゼロにするカーボンニュートラルが国際的な流れとなってきた。 気候変動あるいは地球温暖化の問題は、もはや自然科学の枠を超えている。気候変動を理解し予測する理学的なアプローチ、気候変動の影響を明らかにする水文学・農学・水産学・生物学・医学等のアプローチ、カーボンニュートラルを実現する工学的なアプローチに加えて、将来の社会の在り方に依存する温室効果ガスの排出経路推定、気候正義に代表される社会の格差解消に対する公共政策、個人から組織、国家までのさまざまな階層でカーボンニュートラルを達成するための行動変容、制度構築など、人文社会科学的なアプローチを組み合わせたトランスフォーマティブサイエンスの実施が必要である。 そこで本講義では、変わりゆく気候のもとで持続可能な社会を実現するための分野横断的な自然科学・社会科学・人文学研究を俯瞰する。
成績評価方法	出席点および試験を予定している。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学 気候と社会連携研究機構 気候変動と社会：基礎から学ぶ地球温暖化問題 東京大学出版会 978-4-13-062732-0
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51080	A	社会生態学	田中 雅大	人文地理学	金 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地理学からみる都市と社会
授業の目標概要	本講義では，都市をめぐる様々な問題を地理学的視点で理解するための方法を学ぶことを目標とする．まず，都市を生態系のように捉える社会生態学を取り上げ，その歴史的展開と方法論的限界を検討する．その上で，その先に登場した都市社会地理学という分野について概説する．
成績評価方法	授業中の課題と期末レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50127	A	地域生態学	鎌倉 夏来	人文地理学	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	産業立地と都市空間の変化
授業の目標概要	・この授業では、（1）産業立地や産業立地政策に関する基礎理論や考え方、（2）産業立地政策の歴史的展開、（3）産業立地と都市空間の変化について講義形式で学びます。
成績評価方法	授業内で実施する小レポート（3 回）の提出と、最終試験による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51102	A	地域生態学	丹羽 雄一	人文地理学	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地球環境・自然災害の地理学的解析
授業の目標概要	現代社会では，地球温暖化などの地球環境問題や巨大地震などの大規模自然災害が注目を集めている。こうした地球環境問題や自然災害と適切に向き合い，持続可能な社会を実現するための基礎として，地球規模から地域規模まで様々な空間スケールで生じる自然現象を、人間活動の影響の見られる現在(最近数 10 年～数 100 年)から人間活動の影響の見られない長期(数千年～数 100 万年)といった多様な時間スケールで捉える，自然地理学の視点が重要である。 本講義では，地球環境・自然災害の地理学的解析について扱う。前半は，長期スケール(最近数千年～数 100 万年間)の気候変動や海水準変動に関する話題を取り上げる。前半の内容を通じて，近年の地球温暖化などの地球環境問題を長期的な環境変動に位置付けて捉える考え方を養うことを到達目標とする。後半は，地震に関する話題を取り上げる。後半の内容では，最近数千年～数 100 万年間といった時間軸の中で地震を捉えることが，防災・減災においてどのような意味を持つのか，理解することを到達目標とする。
成績評価方法	平常点とレポートで成績評価をします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50762	A	人間行動基礎論（理科生）	大久保 街亜	心理・教育学	木 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	「心理学の成り立ち」並びに「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できることを目標とする。現生人類は Homo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。この授業では心理学の立場から人間の知性ついて講義する。それにあたり、はじめに学問としての心理学の成り立ちを関連諸科学との比較や歴史的展開を通じて紹介する。また、実証的な科学である心理学の測定について検討する、それらを踏まえ、知性ついて、知覚、記憶、思考、感情といった側面を検討しつつ、基本的な心の仕組みや働きについて学習する。それらを通して人間の知性について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。
成績評価方法	レポート（30%、学期中に何回か提出を求める)、小テスト（30%、授業後に実施)、期末テスち（40%）の 3 つから総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50888	A	人間行動基礎論（理科生）	今井 久登	心理・教育学	木 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	心理学概論
授業の目標概要	心とは何か、そして心を探究する学問としての心理学とは何なのかを解説する講義である。 本講義では、出発点として「コミュニケーションの機能不全（うまくいかなくなった)」事態を想定し「どのような対応がありうるのか」という問題を経由しつつ、最終的に「心」が何なのかということについて各自がなんらかの答えにたどり着くことを目指して、人の心の理解のために現在までに蓄積されてきた心理学の知見をたどるという方略をとる。 具体的には、「人の心の基本的な仕組み及び働き」について、「自己と他者」「生得と環境」「生涯発達」「社会性」「身体論」などの視点を持ちながら、現在までに蓄積されてきた心理学の数々の知見を概観する。これに加えて、心の不全や心の働きの基礎としての知覚や認知、そして学問としての心理学・臨床心理学の成り立ちにも触れる予定である。 解説の立ち位置としては、計算論的・生理学的なメカニズムの解説というよりは、機能的な側面からの解説が主である。半期の講義が終わった後に、受講者が人間理解の各自の地平をそれぞれのやり方で拓いてみようとした時、その方法のひとつとして心理学的な視点を用いたり、心理学の知見を援用してみたりといったことができるようになることが最終目標である。 心との付き合い方を考えながら、人間の心の働きの複雑さと華麗さ、あるいは単純さと愚かさについて知ることで、人間の心についての各自の理解を構築し、深化させてほしい。
成績評価方法	期末試験によって評価する（持ち込みは許可しない)。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50707	A	情報認知科学	岡田 浩之	心理・教育学	木 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	知覚・認知心理学
授業の目標概要	記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。 人の感覚・知覚等の機序及びその障害や人の認知・思考等の機序及びその障害について考え、これらを通して、人工知能（機械の知性）との対比において、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。
成績評価方法	学期末試験（100%）による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50064	A	認知脳科学	石金 浩史	心理・教育学	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	神経・生理心理学
授業の目標概要	＜目標＞ ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に応用できる。 ＜概要＞ 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。
成績評価方法	学期末試験により評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50549	A	認知脳科学	香田 啓貴	心理・教育学	水 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	神経・生理心理学
授業の目標概要	ヒトの行動発現を支える神経基盤としての脳の構造と機能，情報処理の流れなど，これまでに得られている重要な知見についての概略を学び，高次な認知機能の仕組みについて学習する．また，ヒト以外の動物での神経行動学的知見や比較生理学的，比較解剖学的な知見を合わせてその概略を掴むことで，ヒトの認知機能の固有性を認識し，その進化の過程について考察する．
成績評価方法	筆記試験
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50423	A	適応行動論	齋藤 慈子	心理・教育学	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ヒトの心と行動を進化から考える
授業の目標概要	【目標】 ・一般的な心理学とは異なる側面から、人間の心や行動を理解・解釈する視点を獲得する。 ・進化論について正しく理解し、それを人間行動の解釈に適用できるようになる。 【概要】 ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の影響を受けたものと考えることが可能である。本講義では、そのような視点から、ヒトと他の動物の心の連続性を前提に、ヒトの心理や行動を理解する学問である進化心理学について紹介する。前半で進化とは何か、進化と心がどのように関連しているかを理解してもらうために、進化生物学の基本的概念について説明する。次に、ヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを産んだ系統である霊長類の特徴と人類の進化史について説明する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。
成績評価方法	以下の通り予定している。 授業への参加 15% 期末試験 85%
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 長谷川寿一・長谷川真理子・大槻久 進化と人間行動 第 2 版 東京大学出版会 978-4-13-062230-1
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50978	A	社会行動論	藤島 喜嗣	心理・教育学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	社会・集団・家族心理学
授業の目標概要	この科目では、社会行動を導く諸要因に関して、社会心理学の視点に基づく研究知見を概説する。社会心理学とは、 他者存在が人々の思考、感情、行動に与える影響についての科学である。社会心理学は、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を検討すると同時に、心が社会環境に関わる情報を適応的に処理していると考え、この情報処理過程について検討している。この授業では、社会環境が人の態度及び行動に影響する過程とその情報処理過程について古典的な理論、基礎的な内容を中心に概説する。社会環境の影響過程については、二者間の対人関係だけでなく、複数メンバーからなる家族、集団および文化が個人に及ぼす影響まで視野に入れて概説する。 社会心理学をはじめとして心理学は、科学的実証アプローチを重視した学問である。そのため、授業では適宜、実験や調査データについて言及をする。これらの研究手法についての理解も同時に深めることを目的とする。
成績評価方法	平常点（リアクションペーパー、小レポートなど）30 点、期末試験によって 70 点とする。リアクションペーパーは各回 2 点相当とする。100 点満点中 60 点以上を収めないと単位取得できないので注意をしてほしい。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

スポーツ・身体運動実習

スポーツ・身体運動実習	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する） 第 2 回から第 13 回 選択した種目での対面授業 天候等により授業実施場所が変更となることもあるので、9 号館前の掲示板や UTOL のお知らせをよく確認すること。 以上の授業計画が変更となる場合は UTOL を使って連絡する。
授業の方法	第 1 回目の授業で種目選択を行う。各曜限の開講種目とその内容は種目選択の際に説明するが、身体運動科学研究室ホームページ（URL は後述）にも掲示する。希望者多数の場合は抽選となり、履修できない場合があるので注意すること。 基本的には選択した種目の実技を中心に授業が展開されるが、ルールの説明、技術の解説、研究内容の紹介など、講義の要素もある。実技と講義のバランスは種目や授業回により様々である。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3 回分の出席となる（詳しくは種目選択時に説明がある）。
成績評価方法	出席：スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
履修上の注意	実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。 種目選択後のキャンセルや種目変更は特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 同一セメスターに 2 コマ登録することは可能であるが、希望者多数の場合は 1 コマ目の登録者が優先的に履修できる。また、2 年生は 1 年生よりも優先的に履修できる。 同一セメスターに 3 コマ以上登録することは認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。 種目担当教員のメールアドレスは UTOL のお知らせに掲載予定である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50128	月 3	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50282	火 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50550	水 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50979	金 2	スポーツ・身体運動実習	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）	開講区分	A

授業の目標・概要	週 1 回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。
授業計画	第 1 回 種目選択（対面で実施予定：集合場所は教務課 Web サイトや UTOL で連絡する） 月 3、火 2、水 2、金 2 のいずれかでスポーツ・身体運動実習の種目選択に参加し、希望するメディカルケアコースの登録をする。出席できない（できなかった）場合は担当教員にメールで連絡する。 第 2 回以降 各自の選択した曜限での授業（原則として対面授業）
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回日誌をつけて、自己の状況を確認する。
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 書名 著者（訳者） 出版社 ISBN
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 実習形式であり、また選択科目であることから、原則として授業は全て対面式で行う。したがって、対面で授業を受けられることが履修の条件である。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを閲覧するには ECCS クラウドメールへのログインが必要である。
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50193	月 5	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 1）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50488	水 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 2）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50010	月 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50225	火 1	スポーツ・身体運動実習（ﾒﾃﾞｨｶﾙｹｱ 3）	実技担当	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51148	A	スポーツ・身体運動実習II	吉岡 伸輔	スポーツ・身体運動	集中	1 年 文科 理科

講義題目	スキー・スノーボード実習
授業の目標概要	スキー・スノーボードは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、生涯スポーツとしての知識・技能の獲得を目指す。 実習のための交通、宿泊、傷害保険、リフト代等の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。 受講要件もあるため、受講を検討する者は下記リンク先の「オンラインガイダンスおよび受講要件」を必ず読むこと。詳細は 10/9 開催のオンラインガイダンスで説明する。 https://docs.google.com/document/d/1N3zpkCWjExD0WXoI9hI7chyjgQ8I7QA5/edit?usp=sharing&ouid=117436257426015575532&rtpof=true&sd=true 1 年生のみ履修可能。 募集定員（予定）：スキー35 名、スノーボード 15 名 （希望者多数の場合は抽選、 スキーはスキーの未経験者～中級者（目安：生涯滑走日数 30 日程度）を、 スノーボードはスノーボードの経験 1 日以上～初級者を優先） ※A セメスター第 2 週目にオンラインガイダンスを開催する。 内容：授業概要、費用、受講手続き等について 日時：10/9(木) ①12：30～12：50 ②18:40～19:00 （①と②は同内容。いずれか一方に参加すること）
成績評価方法	実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50226	A	身体運動科学	久保 啓太郎	スポーツ・身体運動	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学
授業の目標概要	運動（トレーニング）を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動（トレーニング）に伴う身体諸機能（筋機能、骨強度、呼吸循環など）の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。
成績評価方法	レポート 2 回（中間、学期末）を 80%、平常点（出欠確認を兼ねた複数回の小レポート）を 20%として、総合的に評価する
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50065	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	スポーツ・身体運動	月 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	健康スポーツ医学
授業の目標概要	現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまに障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、脂質異常症、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを過度に行ったことでかえって健康を害する人もいる。運動のしすぎによって病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも少なくない。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では内科、整形外科、精神科、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。
成績評価方法	筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する） 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50930	A	身体生命科学	佐々木 一茂	スポーツ・身体運動	金 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	身体づくりの科学
授業の目標概要	身体の形状や機能は生涯を通じて変化を続けるが、こうした変化は全て遺伝的に決定されているわけではなく、相当に環境の影響を受けている。生活習慣を少し変えただけで、身体に大きな変化が生じることもある。現代社会においては、身体を適切に管理する術を身につけること、あるいは適切に管理された身体それ自体がひとつの教養と言える。 そこで本講では、前半は筋（骨格筋）、後半は脂肪（体脂肪）に焦点を当てながら、身体づくりに関する生命科学的な知見の紹介および考察を行う。授業の到達目標は、常に自らの存在とともにある身体との上手な付き合い方について本質から理解し、他者に説明できること、また身につけた知識を日々の生活に役立てられるようになることである。
成績評価方法	授業内レポートを 60%、授業外（学期末）レポートを 40%として評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50678	A	情報メディア伝達論	酒井 麻千子	情報メディア委員会	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Law and Images：「イメージ」の/を取り巻く技術の発展と法の対応
授業の目標概要	デジタル化の進展やインターネットの普及によって、絵画、イラスト、写真といった「イメージ」の制作・流通・消費は身近で日常的なものとなった一方、著作権・肖像権侵害等をはじめとするトラブルも頻繁に生じている。さらに近年の画像生成 AI の発展により、新たな法的問題も提示されている。この講義では、「イメージ」と法をめぐり生じた・現在進行形で生じている様々な問題について、関連する法律等の基礎的な知識を獲得し、履修者自身の研究分野・興味関心とも紐付けながら、多角的に検討する能力を培うことを目標とする。 法学を専門としない履修者も、興味のある問題についてアンテナを張り、考えるきっかけを作る一助として授業を活用できるように、身近な事例や、話題となった事例を積極的に取り上げて授業を進める予定である。
成績評価方法	①授業への出席・各回終了後の課題（コメントシート）の提出・ディスカッションへの参加：50% ②最終レポートの提出：50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50679	A	情報メディア表現論	佐藤 宏樹	情報メディア委員会	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	※詳細は UTAS をご確認ください。
授業の目標概要	
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50680	A	科学技術基礎論I	工藤 怜之	哲学・科学史	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	科学の持つ社会的側面は、科学の客観性を脅かしたり、相対主義を含意したりするのだろうか
授業の目標概要	科学というものを十全に理解したければその社会的側面もよく分析する必要があるということは、現代の科学論においては常識と言ってよいだろう。科学者個人は様々な関心や利害関係を持った人間であり、科学者の集団は一定の価値規範・慣習・制度などを共有する共同体を形成し、この共同体はより大きな社会との間で契約や交渉などの相互作用を行っている。しかし、科学者たちが特定の価値や文化のもとで活動しているという側面を強調することは、科学に対する古典的な（？）イメージ、つまり、普遍的真理を探究すべく、価値中立的で客観的に正しいと言える方法論で営まれる科学というイメージを壊してしまうようにも思われる。実際、科学者は真理を発見しているのではなく、構築しているのだ、といったことを述べる論者もいる。果たしてこのような主張はどのような意味で正しいと言いうるのだろうか、という問題をこの授業では考えてみたい。 科学技術社会論の分野でもおなじみの話題であるが、担当教員の専門は哲学であり、哲学っぽい授業を提供することを意図している。具体的な文献の読解を通じて、哲学における議論がどのように進められるのかを学び、議論を行うのに必要な姿勢を身に着けることを目標とする。より具体的には、言葉の使い方や議論の論証構造に注意深くなることなどを目指す。
成績評価方法	学期末の論述式レポートで評価する。題目は講義内容に関連するものを自由に設定してよい。 UTOL を利用して、リアクションペーパーに相当するものも回収できるようにするつもりだが、提出は任意とする。提出しなくても成績評価にネガティブな影響はないが、提出すればポジティブに考慮する可能性がある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50283	A	科学技術社会論	福本 江利子	情報・図形	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	科学技術社会論入門
授業の目標概要	【授業の目標】 科学技術社会論（Science, Technology, & Society）の学術的な基礎や事例に触れ、科学技術と社会の間で生じる諸課題について、自身で考えてみる。 【授業の概要】 現代社会には科学技術を抜きには考えられない課題群がある一方で、科学や技術の知だけでも解決できない社会の諸側面の課題が多くある。そうした課題は、環境問題、医療、災害、人工知能関連技術の発展、新型コロナウィルスの流行、格差や差別、デュアルユースなど、さまざまな場面で立ち現れる。 科学技術社会論は、科学や技術と社会との界面において生じる事象や問題を、社会学、文化人類学、歴史学、哲学、政治学、経済学および科学計量学、科学技術政策論などのアプローチを用いて探求する分野である。科学技術社会論の扱う課題群には、必ずしも答えがないけれども現実的に対処しなければならないものが多くある。なかには、時間やコストの制約によって課題解決や意思決定のために適切な専門知を得ることが難しい場合や、専門知が存在しても社会的判断に論争がある場合もある。議論や対話を続けること自体に意義があるもの、さらには問いの枠組みや前提自体を問う必要のあるものもある。また、近年では、ソーシャルメディアの普及のように過去にはなかった要素も出現している。 本科目では、科学技術社会論におけるさまざまな事例を通して、科学的合理性と社会的合理性、「固い」科学観や作動中の科学、科学者の社会的責任、科学的助言、科学と社会、信頼、科学コミュニケーション、法と科学、事前警戒原則、人工物の政治性などのテーマを扱う。授業の中で、科学技術社会論のものの見方に触れ、物事を所与のものとせずに健全な懐疑や多角的視点をもって自身で考えてみることが期待される。
成績評価方法	レポート 70%、平常点 30%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51377	A	現代工学概論	川中 孝章、植村　卓史、葛岡　英明、池田　靖史、中村　泰信、横田　知之、川畑　友弥	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	工学概論
授業の目標概要	工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅広い。一方で、現代社会が直面する課題は、差別、貧困、気候変動、社会の超高齢化、ウイルス感染症など、複雑さと困難さを増している。工学が真に人類の福祉へ貢献し、未来社会を切り拓いていくためには、これらの課題を克服するための解決策を世に提示しなければならない。 本講義では、現代社会における工学分野の複数の課題に対して、それぞれ 2 回ずつ講義を行い、初回は専任教員による学術面からの講義、2 回目はそれに関連する産業界の方の講義に加えて、後半に専任教員と学生を含めた比較的長めの質疑時間を設け、教室全体でその分野を深掘りしていくことを目指す。全 13 回の講義の中で、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解する。
成績評価方法	・6 つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと、出席により総合的に評価する。 ・ただし、レポート提出 3 回未満の学生には、出席回数に関係なく単位を付与しないので、注意すること。 ・レポートの締め切り：各サブテーマの 2 回目講義の 1 週間後。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51363	A	現代工学基礎I	泉 聡志、伊藤 太久磨、Venture Gentiane、趙 漠居、吉﨑 れいな、渡村 友昭、大宮司 啓文、柳澤 秀吉、杵淵 郁也、長藤 圭介	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	四力学とデザイン入門〜デザイン×キカイ
授業の目標概要	機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は，機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠です。そしてその発想をかたちあるものにする設計する技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この２つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出します。 講義は「デザイン」の観点から機械工学科で教育・研究されている様々なトピックスを、四力学の材料力学（ザイリキ）・熱力学（ネツリキ）・流体力学（リュウリキ）・機械力学（キリキ）、ロボティクス、モビリティ、レーザ、ヒト、カンセイ、プロセスをキーワードに学びます。また、スタートアップや新規事業において重要なテーマとチームの作り方を学びます。自分のテーマを考えて疑似的にチームを作る、ソニー東大藝大社会連携講座 IGNITE YOUR AMBITION の体験版です。
成績評価方法	出席及びレポートによる
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51369	A	現代工学基礎I	天野 薫、宮嵜 哲郎、篠田 裕之、牧野 泰才	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物理情報システム工学 -あらゆる工学を計測・制御・認識で斬る-
授業の目標概要	物理的，人工的，社会的，どんな対象であれ，そこに望みの機能を工学的に実現する際， 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析， 2) 計測による物理現象の本質の情報化， 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識と実世界の理解， が重要となる．本講義は，駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする．具体的には，以下の各項目に関し，最先端の事例を交えつつ講義する． 1)「非侵襲脳機能イメージングの基礎」 脳情報の解読と制御の手法とその応用 ヒトを対象とした非侵襲脳機能計測および非侵襲脳機能制御の手法を概説し、それらの手法を用いた代表的な研究を紹介する。視覚情報のデコーディングやブレインマシンインターフェイス（BMI）関連の最新研究についても概説する．また，専用の計測装置を使わずにスマホのアプリだけでアルファ波を計測する技術とその応用についても紹介する。 2) 「物理情報学を支える波動現象」 波動現象は物理情報学の根幹を支える物理現象である。人間や動物が知覚する外界の情報は、波動の一種である光や音として伝達される。20 世紀には粒子を波動として捉える量子力学によって電子デバイスの技術が大きく進展し、電磁波による無線通信や光ファイバで伝送される情報が人々の生活を一変させた。現代においても先端的なコンピュータ開発や通信技術、生体現象のセンシングと制御、など、物理情報学の主要分野において欠くことのできない存在であり続けている。本講義では、そのような波動現象を理解し活用するための数理と物理を整理しながら、最先端の研究事例をまとめる。特に情報学の中でこれまで未開拓であった触覚の活用が、空中を伝搬する超音波によって大きく進展しつつある現状を紹介し、その可能性を議論する。 3)「ロボットシステム」 物理世界へ働きかけるシステムの構築 物理世界と情報世界をつなぐシステムの例としてロボットシステムがある．ロボットの設計プロセスは自由な発想と物理世界の制約条件とをすり合わせる作業であり，簡単な設計事例を用いて各工程を説明する．また，システム医工学研究室での具体的な開発事例を紹介し，ロボットシステム開発の勘所・肌感を説明する．
成績評価方法	レポート課題 3 つで評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51368	A	現代工学基礎II	関 真一郎、森本 高裕、香取 秀俊、塚崎 敦	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物理をエンジニアリング
授業の目標概要	物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展してきました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を紹介するところから初めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の 4 つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 １、未来材料 ー サステイナブルな社会へ ２、量子技術 ー 量子をつくる、はかる、つかう ３、光の物理学 ー 光と原子の物理学：レーザーで原子を冷やす ４、理論物理学の挑戦 ー 基礎方程式の力
成績評価方法	成績評価は出席とレポートで行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60219	A 2	現代工学基礎II	梅田 靖、太田 順、原 辰徳	工学部	火 2, 金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	デザイン思考によるイノベーション入門
授業の目標概要	イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている 4 つの思考法（本講義では、「イノベーションのための 4 つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。4 つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この 4 つの道具は、2 つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この 4 つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの 4 つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベーティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2015 年度は「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016 年度は「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017 年度は「超スマート社会における精神的 well-being を実現するための製品やサービスの提案」、2018 年度は「一人暮らしの大学生の時間を有効に使う製品/サービス」、2019 年度は「卒業後のキャリア形成に向けたスキルアップに役立つ製品/サービス」、2020 年度は「コロナ禍の中で、寂しい一人暮らしの学生が救われる方法」、2021 年度は「ポストコロナにおける私の明るい生活を実現するための方法」、2022 年度は「大学生の健康を増進する製品/サービスの提案」、2023 年度は「学生生活のモチベーション維持」であった。2024 年度は「スマホ依存対策とモチベーション向上を支援する製品/サービス を考える」であった。今年は何が出てくるか？
成績評価方法	出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51362	A	社会システム工学基礎II	小泉 秀樹、中島 直人	工学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	TOKYO: 東京の都市計画
授業の目標概要	さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市 TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？ 本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。
成績評価方法	出席点およびレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51378	A	社会システム工学基礎II	羽藤 英二、中須賀 真一、柴崎 隆一	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	人間社会と交通システム
授業の目標概要	交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。
成績評価方法	1)課題内容：各講義で出されるレポート課題に対して、全 13 回から 2 課題を選んで提出してください。(各 50 点) 2)提出方法：1/28 24:00 までに UTOL 上で教員ごとに作成されたフォルダに提出。採点期限が近いので少しでも遅れたものは受け付けない。 3)レポートの体裁：表紙は不要。1 課題ずつ別ファイルとして提出のこと。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。ワードまたは pdf ファイルのみ受け付ける。自分のレポートが正しくアップロードされたことをよく確認
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51365	A	総合工学基礎II	寺本 進	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学—
授業の目標概要	"重力に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には 無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた""統合""が要求されます。 ライト兄弟が 1903 年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる""再利用型スペースプレーン""や""小型衛星""、""惑星探査機""、""超安全航空機""、""高信頼性ロケット""など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。
成績評価方法	出席および期末レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51376	A	総合工学基礎II	石川 顕一、高田 孝、藤井 康正	工学部	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	原子力概論
授業の目標概要	原子力技術の誕生と発展は、X 線や放射能、核分裂の発見、相対性理論や量子力学といった、ノーベル賞級の発見や研究と歩みを共にしてきました。原子力発電や核融合のように原子核エネルギーの解放を平和利用する技術はもちろん、放射線やレーザーをものづくり、医療、生命分野へ応用するなど、原子力は現代社会を支えています。 本講義では、これらの物理現象の基礎を説明したのち、これらを応用した技術の代表例である原子力、核融合、放射線医療について解説します。 人工知能（AI）の拡大で増え続ける電力需要と脱炭素の両立、2050 年カーボンニュートラル実現やグリーントランスフォーメーションの推進、エネルギー安全保障、そして生活の質向上の観点から、原子力・核融合技術が世界的に注目され投資が加速しています。 さらに、気候変動への関心が高まる中、それを取り巻くエネルギー問題について科学技術の観点から掘り下げていきます。
成績評価方法	出席状況およびレポートにより評価します。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51366	A	生体医工学基礎II	小谷 潔、高木 周、 小林 英津子、小穴 英廣	工学部	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－
授業の目標概要	周囲の環境に適応しながら生命を維持し，伝えていくのが生体現象の本質であり，その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です．最先端の医療では，工学技術が重要な役割を果たしています．本講義では，生体現象を情報，物質，エネルギーの流れの視点から説明し，工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します．生物を学んだことのない学生も，また文系理系を問わず，ぜひ参加してください．
成績評価方法	レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51379	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮、藤田 壮、馬場 旬平	工学部	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering
授業の目標概要	本講義は工学部全体として、環境･エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境･エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システム的双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること
成績評価方法	レポート（3 パートからそれぞれ 1 課題ずつ、各 A4 で 2 から 3 枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第 1 回目の講義でのオリエンテーションで説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51374	A	環境・エネルギー工学基礎II	松島 潤、高谷 雄太郎、 辻 健、宮本 英昭	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	エネルギー資源論
授業の目標概要	本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。 エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。
成績評価方法	出席状況とレポートにて成績評価する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51375	A	環境・エネルギー 工学基礎II	多部田 茂、今野 義浩、小平 翼、和田 良太、 横田 裕輔、鈴木 克幸、佐藤 徹、早稲田 卓爾、 林 昌奎、平林 紳一郎、巻 俊宏	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地球環境を守る海の工学～海のエネルギー・資源・環境～
授業の目標概要	人類は地球に負担をかけながら生活している。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の 7 割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国の EEZ（排他的経済水域）内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によって CO2 の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術ついて包括的に学び、その方向性を論じる。
成績評価方法	授業への参加状況 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51334	A	看護学概論II	山本 則子、森崎 真由美、松本 博成、米澤 かおり、森田 光治良、沼田 華子、浅岡 紘季、友滝 愛、國光真生、飯山 智史、野口 麻衣子	医学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	看護学概論II－社会で活躍する看護プロフェッショナル－
授業の目標概要	高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。
成績評価方法	出席および毎回のレポート得点で評価を行う。出席した回のレポートのみを受け付ける。 最終レポートはない。出席回数およびレポート提出回数が全授業回のうち 2/3 以下の場合（全 13 回の場合、8 回以下の場合）は、単位取得できない。15 分以上の遅刻は原則として出席と認めないので注意すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60233	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	農業生産学概論
授業の目標概要	人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、畜産の環境負荷、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では、１）世界の農業システムはいかなる座標軸（生産方法や営農形態）の上で多様化してきたか、２）そこで展開してきた技術発展の生態学的・社会的必然性とは何か、３）食料供給網（フードサプライチェーン）の複雑化とグローバル化は農業をどのように変えてきたか、といった切り口から、これらの諸問題を概観する。その上で、あらためてアジア稲作の持つ意味やアフリカ農業の発展方向について考えてみたい。
成績評価方法	・小レポート（毎回実施）と授業への参加姿勢により、総合的に評価する。期末試験は行わない。原則として、小レポートの提出回数が半分に達しない場合には、単位は与えない。 ・小レポートは、ITC-LMS から提出すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51406	A	放射線環境科学	田野井 慶太朗、小林 奈通子	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ
授業の目標概要	2011 年 3 月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。加えて、当該問題を市民とどのように解決してきたのか、科学者、行政、市民といったさまざまな人たち間でのコミュニケーションやその結果としてどのような解決がなされてきたのかについて、ゲストスピーカーを招いてともに学んでいきます。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。
成績評価方法	試験および課題等により総合評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51417	A	教育心理学の世界	清河 幸子、一柳 智紀、稲吉 玲美、大瀧 玲子、藤村 宣之、岡田 謙介、針生 悦子、滝沢 龍、遠藤 利彦、植阪 友理、宇佐美 慧	教育学部	木 5	1 年 文科 理科

講義題目	教育心理学の世界
授業の目標概要	教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることも目的としている。
成績評価方法	最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 E(物質・生命)

振動・波動論	開講区分	A

授業の目標・概要

音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い，音楽，美しい景色，絵画，写真と生活に喜びを与えてくれる．
音と光は共に波動現象の典型例であるが，我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する．
たとえば，ブランコはどうして漕げるのだろうかとか，海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど．また，建造物や製品の設計においても，振動・波動の影響は欠かせない．
このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を，物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である．
その内容は古典的な場の理論の初歩を含み，引き続き量子力学，場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある．
主な項目は以下の通りであるが，実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある．

1. 序論
2. 1 自由度系の振動
  ・単振動
  ・減衰振動
  ・強制振動，共鳴，Q 値
  ＊パラメーター励振
  ＊簡単な非線形振動
3. 連成振動
  ・2 自由度系
  ・基準振動，うなり
  ・N 自由度系
4. 1 次元の波動
  ・弦，弾性体，気柱
  ・縦波と横波
  ・波動方程式
  ・反射と透過
  ＊波のエネルギー
  ＊インピーダンス
5. フーリエ級数，変換の方法
  ・考え方，基本事項，線形性
  ・波束
  ・位相速度と群速度
  ＊不確定性関係
＊6. 2，3 次元の波
  ＊波動方程式
  ＊平面波
  ＊球面波
  ＊水の表面波
  ＊反射と屈折
  ＊干渉，回折

成績評価方法　主として定期試験によるが担当教員の UTAS シラバスを参照すること
教科書　その他。／Other
※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50011	月 1	國場 敦夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50284	火 2	鈴木 康夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50681	水 5	澤井 哲	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
51481	木 5	菊川 芳夫	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
50981	金 2	山口 哲生	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50708	A	解析力学	菊川 芳夫	物理	木 1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目　解析力学

授業の目標概要　解析力学の基本を学ぶ。
解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。

1．Newton 力学の復習
 1－1．運動の法則
 1－2．運動量と角運動量
 1－3．仕事とエネルギー
 1－4．拘束力
2．Lagrangian と一般化座標
 2－1．仮想仕事の原理
 2－2．D'Alembert の原理
 2－3．一般化座標
 2－4．Hamilton の原理
 2－5．Lagrange の未定乗数法
 2－6．簡単な応用
3．対称性と保存則
 3－1．cyclic 座標
 3－2．力学的エネルギー保存
 3－3．連続対称性
4．Hamiltonian と位相空間
 4－1．Hamiltonian
 4－2．変分原理からの導出
 4－3．位相空間
 4－4．cyclic 座標
5．正準変換と括弧式
 5－1．正準変換
 5－2．正準変換の母関数
 5－3．いくつかの例
 5－4．積分不変量
 5－5．括弧式
6．重要な正準変換
 6－1．Hamilton-Jacobi 方程式
 6－2．作用変数と角変数
7．古典力学から量子力学へ
 7－1．前期量子論
 7－2．量子力学と解析力学の概念の対応

成績評価方法　主に定期試験による。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50982	A	相対論	風間 洋一	物理	金 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	アインシュタインの原論文の精神に即した特殊相対性理論の基礎
授業の目標概要	相対論には特殊相対論と一般相対論があるが、それらの概要を説明した後、特殊相対論に特化して、 アインシュタイン自身の原論文の精神に基づいて説明する。基本となる時間及び空間座標のローレンツ変換を詳しく導出し、そこからいかに時間と空間が融合した「時空」の概念が生ずるかを説明する。次に相対論の記述の要となる「テンソル」の概念を詳しく説明し、それを用いて相対論的な運動学を構築する。そして実際に相対論が威力を発揮する具体例を学び、それらの計算ができるようになることを一つの目標とする。また最後に、電磁気学の基本理論であるマックスウェル理論の相対論がいかにうまく具現化されているかを見る。また時間があれば、一般相対論の考え方と構造への入門的説明を行う。
成績評価方法	期末試験
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 風間洋一 相対性理論入門講義 培風館 ISBN978-4-563-02321-8 C3342
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50285	A	量子論	高木 隆司	物理	火 2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	量子力学入門
授業の目標概要	量子力学は古典力学が破綻するミクロスケールの物理を記述する枠組みで、素粒子物理、物性物理、量子情報科学を含む多くの学問分野の基礎となっている。本講義では、量子論を初めて本格的に学ぼうとする方を対象に、量子力学の基本的な枠組みを議論し、今後の発展的な学習・研究の下地を作ることを目指す。必要な数学は適宜補いつつ進める予定。
成績評価方法	レポートによる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50194	A	統計物理学	福島 孝治	物理	月 5	1年 文科 理科 2年 文科 理科

講義題目	統計物理学
授業の目標概要	多数の気体分子を考えたとき，初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると，少なくとも古典力学の意味で，ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう．しかしながら，その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に，運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない．一方で，熱力学は，温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している．このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である．講義では，統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し，いくつかの適用例を通じて、ミクロとマクロをつなぐ方法論とその意義を解説する．特に、相転移の統計力学では、ミクロには同じ構成要素でありながら、マクロには全く異なる熱力学的性質を示す相転移現象の捉え方を楽しみたい。
成績評価方法	定期試験と数回のレポートによる総合評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50286	A	物理科学II（文科生）	鳥井 寿夫	物理	火 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	実験して学ぶ物理科学
授業の目標概要	物理学とは、実験によって確立された一般法則や概念からなる、統一的な知識の体系である。しかしながら、文系、理系にかかわらず、多くの人々にとっては、物理学とはバラバラな知識の集合体で、入試問題のように非常に特殊な状況設定においては適用できても、現実の世界とは無関係であると思われている。このような誤解を解消したい。 この授業では、現代の物理学の体系を俯瞰的に紹介していくような一方的な講義は行わない。その代わりに、物理学上の、特に基本的な概念、法則、および手法を、実際に手を動かして実験し、体感することによって学んでいく。多くは教室や自宅でできる手軽な実験だが、放射線に関するものは物理実験室（KOMCEE East 地下 1 階）で実施する。
成績評価方法	毎回の授業後に提出されたレポート課題に基づいて成績を評価する。期末試験は行わない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50287	A	化学平衡と反応速度	奥野 将成	化学	火 2	1 年 文科 理科

講義題目	化学平衡と反応速度／Chemical Equilibrium and Kinetics
授業の目標概要	化学平衡と反応速度は、さまざまな化学反応を理解するうえで必要不可欠な概念である。本講義では、熱力学の基礎を踏まえ、物質間の平衡である化学平衡を導出する。特に化学ポテンシャルについて、深い理解を得ることを目指す。さらに、化学反応が平衡状態にいたるまでの反応速度について講義する。化学平衡および反応の基礎となる気相中での反応を、いくつかの反応メカニズムの例を通して解説したのち、現実の化学反応で問題とある溶液中の化学反応について講義する。触媒反応・光化学反応・ラジカル反応・酵素反応・爆発反応など、具体的な事例を学習する中で化学反応の基礎の理解を目指す。
成績評価方法	定期試験。必要に応じて演習（クイズ）や出席状況を勘案する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50983	A	化学平衡と反応速度	永田 利明	化学	金 2	1 年 文科 理科

講義題目	化学平衡と反応速度
授業の目標概要	化学反応を理解するうえで、化学平衡と反応速度は重要な概念である。本講義ではまず、熱力学の基礎知識を踏まえ、化学反応が進行するか否か、十分な時間が経過した後にどのような平衡状態になるかといったことに関わる、化学平衡の理論を理解する。その後、平衡状態に達していない反応系の変化について、反応速度論の考え方を導入し、反応速度、反応次数、反応機構といった概念を学ぶ。化学平衡や反応速度が実際の化学変化でどのように関わっているか、具体的な例も交えつつ、理解する。
成績評価方法	期末試験を重視する。授業の出席や授業内で行う演習の状況を加味する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50984	A	分子システムの化学	豊田 太郎	統合自然科学科	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス
授業の目標概要	身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。
成績評価方法	各回での復習問題の解答を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51380	A	物質・生命工学概論	吉田 英弘、齊藤 英治、鈴木 勉、 高井 まどか、柴田 直哉、 川原 圭博、酒井 雄也	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物質・生命工学概論
授業の目標概要	本講義は，工学部が提供する工学概論 4 講義の一つである。物質・材料の探究と開発は，新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。本講義では，ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、材料、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。
成績評価方法	出席およびレポート。 第 2 回〜第 13 回の講義に関連して出題される課題（全 6 課題）のうち，3 つを選択してレポートを提出。 最終提出期限：2026 年 1 月 27 日（火）（予定、詳細は第一回ガイダンスおよび UTOL にて告知）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51371	A	物質・生命工学基礎II	長汐 晃輔	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	物質・生命工学概論 ナノ・機能マテリアル入門
授業の目標概要	「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで，ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である．大学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く，専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい．しかしながら，厳密性を重視した数学による表現が多用されると，高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う．間違って捉えてはいけないのは，数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である．高校物理で出てきた電子の質量は，真空中に存在する“自由な“電子の質量である．この講義では，高校までの講義内容をもとに，学部 1 年生から理解できるように構成している．”固体中の“電子は，真空中とは異なる質量をもち，動き回っていることを学ぶ．さらに固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式の物理的意味を正しく理解し，どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する．この講義を構造化学と相補的に使ってもらえると良いと思います． （履修上の注意のところに学生さんからのコメント掲載，参考にしてください） 以下の項目を具体的な題材として議論したい． 光ファイバー，電子顕微鏡，走査トンネル顕微鏡，半導体レーザ，高速トランジスタ等
成績評価方法	できる限り毎回の簡単なレポート(6 割)＋最終レポート(4 割)での評価 （出席は取りますが，あまりにレポートの出来が悪いときに救済措置用に参考にする程度です）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51372	A	物質・生命工学基礎II	野地 博行、西増 弘志、津本 浩平、 酒井 康行、竹内 昌治、石北 央	工学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	つくるバイオ
授業の目標概要	工学的視点からみたとき、バイオは自然による分子工学・分子システム工学の粋とみなすことができる。現在の工学では、生体分子に基づく機能性分子や分子システムが創出されている。また、細胞自体も機能性材料と見なすことができ、様々なデバイス・材料の開発が提案されている。本講義は、このようなバイオに対する工学的アプローチを解説することで、従来の分子生物学的視点からは学ぶことができない「モノづくりとしての生命科学」に触れることを目的とする。
成績評価方法	発言及びレポートを重視する（予定）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50195	A	進化学	青木 誠志郎	生物	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	進化学
授業の目標概要	[授業概要] 生物学には、生物を物質として還元的に解析する分野と、生物間あるいは生物と環境の関係性に注目する分野が知られています。進化学は主に後者を担う学問とされ、本講義では進化的側面から見た生物の様々な疑問に取り組みます。具体的には、生物多様性はどのように生まれてきたのか、協力はどのようにして進化しうるのか、なぜ性や性差が存在するのか、生物の形質は本当に適応的な観点だけで説明しうるのかなど、進化学の幅広いトピックを扱います。 [授業の進め方と特徴] 進化学の基礎とされる「進化機構の解明」と「進化史の推定」という 2 つの柱を軸に、系統学・生態学・行動学・集団遺伝学・分子進化学・ゲーム理論など、関連分野の知見や手法を紹介しながら講義を進めます。各項目には独立性を持たせ、途中からの参加でも理解できる構成とします。また、具体的な生物の例を多数取り上げつつ、進化学の面白さと奥深さに触れていきます。 [授業方針] 本授業では以下の方針を重視します： 1. 過去の授業で特に学生の皆様の関心が高かった話題から講義を始め、後半ではそれらを俯瞰的に捉え直し、進化学の総合的な見方を紹介します。 2. 授業内で取り上げる研究や用語について、教科書・論文・辞典などの出典を明示し、授業後にも参考にできるよう配慮します。 3. 高校で生物を履修していない方々への配慮のため、早い段階で最低限の分子生物学の資料と解説を提供します。 4. 国際的な紛争や HIV や COVID-19 感染の流行など、現代社会の問題を進化学の視点から捉える試みも行います。 5. 学術論文を紹介することで、教科書的には解決済みとされる現象にも、未解明の謎が多く存在することを説明し、将来的に生物学の研究に進む学生にとっての道しるべとなることを目指します。 [到達目標] この授業を通じて、遺伝子・個体・集団といった異なるレベルから生物を進化の視点で考える面白さを実感してもらうとともに、将来にわたって進化学的思考を活かせる基盤を築いてもらうことを目指します。「面白い・わかる・未来につながる・あたたかい」授業を心がけて進めます。
成績評価方法	期末試験を実施する予定です。成績評価はリアクションペーパー、宿題、試験の提出状況や点数、出席状況を総合的に考慮します。また、授業への積極的な取り組みの姿勢も重視します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50288	A 1	現代生命科学I（文科生、理一生）	坪井 貴司	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

講義題目	人体の不思議をめぐる旅
授業の目標概要	生命科学は、どこまで進んでいるかという点について、私たちヒトを題材にして、講義を行います。遺伝子は何故必要なのか、 精神異常は何が原因なのか、ホルモンは何故分泌されるのか、など、私たちに身近にある問題を例をにとり、最先端の生命科学がその問題に対して、どこまで理解出来ているのかについて、解説します。
成績評価方法	期末テスト（対面試験）によって評価します。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 坪井貴司 そうだったのか！ヒトの生物学 丸善出版 9784621304518
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60012	A 2	現代生命科学II（文科生、理一生）	晝間 敬	生物	火 2	1 年 文科 理一 2 年 文科 理一

講義題目	生物は周囲の生物及び環境とどのように作用して適応しているのか？
授業の目標概要	生命たらしめている要因について学び考察する。 植物（宿主）と微生物と環境の相互作用やそれが植物の成長や生存にどのような影響を与えるのかを紹介するとともに、ヒト、植物という一見異なる生物間を様々な切り口（特に周囲の環境との相互作用の視点）で比較し、その共通性・独自性の一端を学び考察する。 それにより、生物の持つ普遍性と多様性を理解する。
成績評価方法	出席、授業中の質疑応答、授業後の小課題と学期末の大課題によって評価する予定です。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 東京大学生命科学教科書編集委員会 現代生命科学 3 版 羊土社 ISBN978-4-7581-2103-3
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51388	A	分子生命科学	濡木 理、竹内 春樹、反町 典子、 上村 想太郎、眞田 佳門、塩見 美喜子	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	分子から見た生命現象
授業の目標概要	生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子 DNA にコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である「細胞の分子生物学 第 5 版」に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテーストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員 6 名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNA による制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。
成績評価方法	毎回の授業の最後に実施する小テストにて評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER（翻訳：中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子） 細胞の分子生物学（第 6 版） ニュートンプレス 4315520624
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50889	A	惑星地球科学I(理科生)	小久保 英一郎、中本 泰史	宇宙地球	木 5	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	惑星地球科学 I(惑星系天文学概論)
授業の目標概要	太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。
成績評価方法	課題レポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50709	A	惑星地球科学II(理科生)	黒川 宏之	宇宙地球	木 1	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	地球惑星科学入門II：惑星地球の起源と進化／Earth and Planetary Science II: the Origin and Evolution of Planet Earth
授業の目標概要	惑星地球科学I・IIを通じて，我々が暮らす惑星地球の姿およびその起源・進化を理解する．惑星地球科学IIでは，地球の大気圏・水圏・固体圏・生命圏の進化とその起源について解説する．地球をその他の惑星と比較しながら理解するため，太陽系や太陽系外の惑星についても紹介する．／Through Earth and Planetary Science I and II, we aim to understand the planet Earth on which we live, as well as its origin and evolution. Earth and Planetary Science II focuses on the evolution of Earth's atmosphere, hydrosphere, lithosphere, and biosphere, as well as the origin of Earth. In order to understand Earth in terms of comparative planetology, other planets in the solar and extrasolar systems will also be introduced.
成績評価方法	毎週の小課題レポートと期末レポートによって評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51390	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫、池田 昌之、遠藤 一佳	理学部	木 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	地球惑星環境学入門：地球の誕生と進化／Introduction to Earth, Planetary, and Environmental Science: Birth and Evolution of the Earth
授業の目標概要	本講義では、太陽系の誕生、生命と地球の共進化、固体地球の構造、プレートテクトニクスと表層環境の関係、現在の地球環境と資源などの地球惑星科学の基礎知識を専門が異なる 4 人の講師で解説する。
成績評価方法	出席，レポート，テスト
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50289	A	宇宙科学I（理科生）	諏訪 雄大	宇宙地球	火 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	宇宙物理入門 / Introduction to Astrophysics
授業の目標概要	宇宙で起こる様々な現象は、物理を用いた観測や理論に基づいて理解が進んでいる。本講義では、こうした宇宙物理という体系の一端を体感するとともに、現在の宇宙観について学ぶことが目標である。/ Various phenomena occurring in the universe are being understood through observations and theories based on physics. The goal of this lecture is to experience a part of this system known as astrophysics, and to learn about the current view of the universe.
成績評価方法	中間レポートおよび期末試験。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50985	A	宇宙科学II（理科生）	松原 隆彦	宇宙地球	金 2	1 年 理科 2 年 理科

講義題目	宇宙論の基礎と概要
授業の目標概要	宇宙は全体としてどのようなものなのか、どのようにして今の姿になり、どのような成り立ちをしているのかを明らかにしようとする宇宙論について、入門的な基礎と概要を講義する。私たちは宇宙の中でどのような場所にいるのか、現在までに明らかになっている科学的知識の範囲を学ぶ。
成績評価方法	各回の出席確認を兼ねた感想提出および期末試験を元に評価する
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50986	A	惑星地球科学II（文科生）	小宮 剛	宇宙地球	金 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	地球惑星科学概論 II／ Introduction to Earth and Planetary Sciences 2
授業の目標概要	地球惑星科学 I に引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史)、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素)、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル)、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題）
成績評価方法	レポートにする。 出席をとり、成績に反映させる。 出席は授業中に UTOL を用いて行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50012	A	宇宙科学I（文科生）	鈴木 建	宇宙地球	月 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	天文学・宇宙物理学の基礎的内容 Introductory Astronomy and Astrophysics
授業の目標概要	宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。
成績評価方法	期末試験 + 中間レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51407	A	微生物の科学	大西 康夫、原 啓文、加藤 創一郎、丸山 潤一、妹尾 啓史、西山 真、野田 陽一、伏信 進矢、山次 康幸、五十嵐 圭日子、野尻 秀昭、古園 さおり	農学部	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	微生物の世界
授業の目標概要	微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。
成績評価方法	講義の出席点（比重 3 分の 1）と定期テスト（比重 3 分の 2）により成績を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51455	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅、森田 隆太郎、 矢守 航、山次 康幸、伊藤 純一、 有村 慎一、樋口 洋平	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	植物の機能とその利用
授業の目標概要	前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。 本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。
成績評価方法	授業への参加姿勢、出席点、筆記試験の成績によって総合的に評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51408	A	応用動物科学II	村上 晋、富安 博隆、平山 和宏、内田 和幸、 望月 学、山内 啓太郎、伊藤 公一、村田 幸久、 関澤 信一、角田 茂、中川 貴之、 松田 二子、平松 竜司	農学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	高等動物の比較生物学：獣医学へのいざない
授業の目標概要	高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、農学生命科学研究科獣医学専攻の教員が講義する。
成績評価方法	・レポートによる（UTOL で提出）。 ・レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見を A4 で 2 枚以内にまとめ、次回の講義時までに提出（英文可、表紙不要、1 枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 ・間に合わない場合は後で提出しても良いが、減点対象となる場合がある。 ・レポートの提出がない回は 0 点として判定し、全回のレポートの平均点を最終成績とする。 ・最終回の講義のレポートは令和 8 年 1 月 26 日までに提出すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51409	A	海の生命科学	岡田 茂、大久保 範聡、 浅川 修一、潮 秀樹	農学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	海の生命科学（Marine Life Science）
授業の目標概要	水温、塩分、水圧等が大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトン等の微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型ほ乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、（1）海洋生物の有機化学、（2）海洋生物の生理、（3）海洋生物のゲノム科学、（4）海洋生物の食への利用と生理調節作用について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。
成績評価方法	授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、50%）およびレポート（50%）を基に評価する。ただし、4 名の教員から課される 4 題のレポートを全て提出することが単位取得には必須である、未提出分のレポートがある場合は、出席点も含めて成績評価を行わない（未受験扱いとする）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50196	A	生物物理学	若本 祐一、市橋 伯一、 澤井 哲、矢島 潤一郎	統合自然科学科	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	生物物理学 ー実験から理論までー いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきている。生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことにより、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域であり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学
授業の目標概要	生物は物質で構成されているので、物理学的な立場から生命現象を理解できるはずである。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。
成績評価方法	平常点及び小テスト 各教員が出すレポート課題 詳細は各教員の指示による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

総合科目 F（数理・情報）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50710	A	数理科学概論I(文科生)	小林 俊行	数学	木 1	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数理科学概論I
授業の目標概要	文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて，二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である．社会科学に関連する題材を織り交ぜ，数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが，担当教員によって順序は異なることがある．この科目を履修した後に，より進んだ内容を理科生向け総合科目「微分積分学続論」で学ぶことができるが，そのためには「数学 II」「数理科学概論 II」もあわせて履修しておくことが望ましい．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time 小林俊行 地力をつける微分と積分 岩波書店 978-4000058896
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50290	A	数理科学概論II(文科生)	今野 北斗	数学	火 2	1 年 文科 2 年 文科

講義題目	数理科学概論 II（文科生）
授業の目標概要	文科生向けの，行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法と その応用を扱う科目である．講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが， 担当教員によって順序は異なることがある．この科目では「数学 II 」で扱う内容を前提とするが， 基礎科目「数学 I 」で扱う内容は前提としない． ただし，項目 3 においては「数学 I 」の関連する 内容を理解しておくことが望ましい．
成績評価方法	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある．
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51370	A	数理工学入門	鈴木 大慈、松田 孟留	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	数理工学入門
授業の目標概要	人工知能やデータ科学は，機械学習と統計学という数理基盤によって支えられている．これらの方法論は，いかにして有限個のデータからその背後にある構造の情報を獲得するかという目的のために構築されており，数学的には確率論・幾何学・関数近似理論といった学問と繋がっている．これらの方法論は情報に関わる工学的応用だけでなく科学的な知識発見においても重要である．本講義では，機械学習と統計学について，基本的な定式化から始め，その数理基盤について説明する．
成績評価方法	2 回のレポート課題（前半・後半各 1 回）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50291	A	統計データ解析I	小池 祐太	数学	火 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4 2025 年 8 月 27 日に発売予定
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50682	A	統計データ解析I	増田 弘毅	数学	水 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太，村田昇，吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50987	A	統計データ解析I	鎌谷 研吾	数学	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	統計データ解析I
授業の目標概要	統計データ解析 I では，受講者が統計ソフトウエアを用いた実験によって確率的現象に慣れ，統計推測法の意味を理解し，データ解析の方法を実習する．統計ソフトウエア R の使い方を学んだあと，シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する．後で必要になる確率分布を学び，基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する．推測統計における基礎的な推定・検定法，および分散分析，回帰分析の方法を，データ処理を通じて実習する．統計データ解析 I は A セメスターに開講し，基礎的な数学を習得した学生は本講義の内容をより深く理解することができる．
成績評価方法	レポートによる．
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 小池祐太,村田昇,吉田朋広 R による統計データ解析 東京大学出版会 978-4-13-062932-4 2025 年 8 月 27 日に発売予定
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

図形科学A	開講区分	A

授業の目標・概要
3 次元立体形状の図的表現および形状処理について、CAD（計算機援用設計）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う.主な学習項目は以下のとおり.
1. 2D モデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線）
2. 3D モデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法）
3. アセンブリ・正投影図面
4. リンク機構とモーションの表現
5. レンダリング（透視投影、色彩、テクスチャー、陰影）

成績評価方法
出席、レポート（実習課題）、期末試験によって評価する。

教科書
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　3D-CAD で学ぶ図形科学入門
著者(訳者)　横山ゆりか，金井崇，舘知宏，三木優彰 共著
出版社　サイエンス社
ISBN　978-4-7819-1555-5

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50044	月 2	奈尾 信英	1 年 文科 理一(7,16-17,30,39) 2 年 文科 理科
50074	月 3	三木 優彰	1 年 文科 理一(6,12,19,37) 2 年 文科 理科
50234	火 2	金井 崇	1 年 文科 理二三(1-13) 2 年 文科 理科
50345	火 3	柏原 賢二	1 年 文科 理一(10,15,21,26) 2 年 文科 理科
50586	水 3	吉岡 陽介	1 年 文科 理一(5,11,14,23,35) 2 年 文科 理科
50625	水 4	加戸 啓太	1 年 文科 理一(4,27-29,33) 2 年 文科 理科
50686	木 1	天童 智也	1 年 文科 理二三(14-24) 2 年 文科 理科
50748	木 2	豊岡 龍弥	1 年 文科 理一(13,32,34,36,38) 2 年 文科 理科
51016	金 3	早川 大地	1 年 文科 理一(18,20,22,25) 2 年 文科 理科
51058	金 4	田中 一郎	1 年 文科 理一(1-3,8-9,24,31) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50197	A	基礎統計	佐藤 俊樹	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	基礎統計
授業の目標概要	統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。
成績評価方法	考え方の理解を中心にして授業を進めるため、向いている人と向いていない人とにある程度わかれる。初回の授業などを聞いて、その点もふくめて履修するかどうかを判断してほしい。 成績評価は理系と文系別々で行い、成績区分の比率もほぼ同じくらいにする。「A」の比率は教務課のガイドラインに基本的に準拠するが、履修者が多いか少ないかによって、２割近くになる場合もあれば４割近くになる場合もある。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50988	A	基礎統計	宮田 敏	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	基礎統計
授業の目標概要	統計学とは、調査や実験で得られたデータを基に、そのデータを生み出した背景因子の関係を推測する方法を提供する学問である。本講義は、統計学に初めて触れる初学者を対象に、統計学とデータ解析の基本的な概念と手法を紹介する。
成績評価方法	宿題 (50%) 中間試験 (20%) 期末試験 (30%) の結果により、総合的に評価する。括弧内は目安。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 9784595319426
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50198	A	統計分析	倉田 博史	経済・統計	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	さまざまな確率・統計モデル
授業の目標概要	本講義では基礎統計で学んだ統計手法の発展形として、「確率過程」と「回帰分析」の２つのトピックを扱う。 １．確率過程は、客の来店や車の往来など時間とともに変化する偶然現象の記述に用いられる確率モデルであり、自然科学・社会科学で広く応用されている。本講義では、その中でも最も基本的な「ポアソン過程」「再生過程」について学ぶ。 ２．回帰分析は、興味ある変数の変動を他の変数で説明することによって予測に役立てようとする統計手法であり、どの分野に進むにせよ、これに通じておくことが必要である。本講義では、標準的な回帰モデルについて説明した後、「系列相関モデル」「不均一分散モデル」「ポアソン回帰モデル」などのより進んだモデルについて解説する。
成績評価方法	期末試験を予定している
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50989	A	統計分析	松浦 峻	経済・統計	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	多変量解析の基礎
授業の目標概要	本科目では、「基礎統計」を履修済みの学生あるいは同等の内容を修得済みの学生（例えば、「入門統計解析」（倉田博史・星野崇宏 著、新世社）の第 8 章までの内容をひと通り理解しているなど）を対象に、多変量データに対する統計解析手法の基礎的な内容について講義を行う。具体的には、回帰分析、判別分析、主成分分析、数量化III類、因子分析、正準相関分析、多次元尺度構成法などの基本的な多変量解析法を取り上げる。
成績評価方法	期末レポート課題によって評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

アルゴリズム入門	開講区分	A

授業の目標・概要　コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。
本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python 言語によるプログラミングをを通して習得することです。

成績評価方法　試験および演習課題の成績によって評価します。
試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。

教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
書名　Python によるプログラミング入門 東京大学教養学部テキスト アルゴリズムと情報科学の基礎を学ぶ
著者(訳者)　森畑明昌
出版社　東京大学出版会
ISBN　978-4-13-062458-9

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50046	月 2	森畑 明昌	1 年 文科 理一(18,27-28,38) 2 年 文科 理科
50138	月 4	田中 哲朗	1 年 文科 理一(6,8,10,15) 2 年 文科 理科
50168	月 5	杉山 麿人	1 年 文科 理二三(5-6,8,12-13,15,17) 2 年 文科 理科
50233	火 2	千葉 滋	1 年 文科 理一(12,17,19,32) 2 年 文科 理科
50292	火 2	森 純一郎、山肩 洋子	1 年 文科 2 年 文科 理科
50526	水 2	山本 直輝	1 年 文科 理一(9,25-26,29) 2 年 文科 理科
50624	水 4	高野 保真	1 年 文科 理一(1-3,5,7,35-36) 2 年 文科 理科
50683	木 1	植田 一博	1 年 文科 2 年 文科 理科
50747	木 2	地引 昌弘	1 年 文科 理一(11,16,37,39) 2 年 文科 理科
50863	木 5	塩谷 亮太	1 年 文科 理二三(1-3,7,9-10,14,16,24) 2 年 文科 理科
50916	金 1	加藤 弘之	1 年 文科 理一(20-22,30) 2 年 文科 理科
50931	金 2	塚田 学	1 年 文科 理二三(4,11,18-23) 2 年 文科 理科
51015	金 3	金子 知適	1 年 文科 理一(13,24,31,33) 2 年 文科 理科
51059	金 4	馬場 雪乃	1 年 文科 理一(4,14,23,34) 2 年 文科 理科

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51381	A	情報・システム工学概論	長谷川 禎彦、鶴岡 慶雅、高木 剛、駒木 文保、二瓶 美里、矢谷 浩司	工学部	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	情報・システム工学概論
授業の目標概要	近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。
成績評価方法	出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51364	A	情報システム基礎II	國吉 康夫、葛岡 英明、雨宮 智浩、深尾 隆則、椋田 悠介、鄭 銀強、大黒 達也、NIE MINGHAO、小島 邦生、白松 知世、河原塚 健人、中嶋 浩平、岡田 慧、高橋 宏知、二瓶 美里、原田 達也、竹内 昌治、鳴海 拓志、山本 江	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	ロボット・AI・VR と人間 / Robots, AI, VR and Human
授業の目標概要	人間の特性やメカニズムの理解に基づいて人工システムを構築することで，人間の機能や能力を部分的に再現・代替・拡張する，あるいは人間に対して効果的に働きかけたり支援する．ロボット，ＡＩ，ＶＲの研究開発はいずれもこの方法論を共有し，相互に関連し，様々に融合しつつ発展している．これらの基本原理，人間との関係，最新の研究や応用，今後の方向性について，各分野の最先端研究を担う教員が解説する．
成績評価方法	講義への出席とミニレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51367	A	情報システム基礎II	三田 吉郎	工学部	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	わかる電子回路
授業の目標概要	電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。。
成績評価方法	出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題）によって総合的に判断する。 2025 年度の最終課題発表の機会は 3 回用意する。希望者によっては最終日(2026/1/20)はキャンセルする。 2025 年 1 月 5 日 2026 年 1 月 19 日 2026 年 1 月 20 日(補講日)1 限
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51361	A	モデリングとシミュレーション基礎II	下園 武範、渡邉 健治、長山 智則、高橋 佑弥	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	力学で解く自然災害
授業の目標概要	地震，津波，洪水，台風，高潮など，我が国は世界的に見て自然災害の多い国である．多くの被害を出す大規模災害にも頻繁に見舞われてきたが，一方で自然現象の力学を理解・制御する工学を発展させることで，被害を食い止めようとしてきた． 本講義では，圧倒的な力を持つ自然現象とそれに伴う被害を人類がどのように理解・解釈し，工学モデルを築き上げてきたか，また依然未解明な問題にどのように取り組んでいるか，工学部社会基盤学科の教員が解説する．構造被害，地盤災害，沿岸災害に関連する力学数理モデリングならびにシミュレーション技術の発展について講義し，実社会の防災への適用の現状を解説する．
成績評価方法	3 回のレポート提出および出席をもとに評価する．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51373	A	モデリングとシミュレーション基礎II	中山 哲、菊池 康紀	工学部	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	化学情報とシミュレーション
授業の目標概要	社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。また、計算化学・理論化学の基礎を学び、演習を通して、課題解決に向けての具体的なアプローチの仕方について学ぶ。
成績評価方法	出席、および、演習結果とレポート。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
60220	A 2	モデリングとシミュレーション基礎II	鳥海 不二夫、和泉 潔、陳 昱	工学部	集中	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	経済物理・金融情報学・計算社会科学
授業の目標概要	現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し，新古典経済理論や金融工学，社会学では説明の付かない現象が数多く観察される．それに対して理工系の知見を適用して，社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する．この講義では，そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに，社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える． ※履修人数制限 20 人 ※講義は集中講義にて行う．（2026 年 1 月 20，21 日を予定） ※受講希望者は 10 月 3 日(金)までに 100 字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2
成績評価方法	講義後に行われる試験によって評価． 試験は持ち込み可
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50684	A	Introduction to Japan in East Asia	前島 志保、KUHN Felix	PEAK 前期	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This course is a lecture series offered by faculty members of the University, and designed to showcase the wide range of research in Japan and/or East Asia. The purpose is to illustrate how fundamental concepts as well as knowledge learned in the junior division can lead to interesting intellectual explorations in the senior division of the PEAK Japan in East Asia Program. The scheduled twelve lectures are on cultures, societies and histories of Japan and/or East Asia. The lecturers of these classes are involved in three disciplines in the College of Arts and Sciences: Interdisciplinary Cultural Studies, Area Studies, and Interdisciplinary Social Sciences. The first class includes some guidance with a short lecture. 教養学部教養学科の三分科（超域文化科学分科、地域文化研究分科、総合社会科学分科）の教員が交代で英語による講義を行うレクチャー・シリーズです。教養学部英語コース（Programs in English at Komaba/PEAK）の文系後期課程コースである国際日本研究コース（International Program on Japan in East Asia）の紹介も兼ねた授業ですが、PEAK 前期課程以外の学生も受講可能です。初回授業にガイダンスと詳細なスケジュールの説明を行います。
成績評価方法	50 % Class participation (reaction papers) 50% Final paper
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51310	A	教養学部生のためのキャリア教室	山上 揚平、堀 まゆみ、高橋 史子、山岡 あゆち、定松 淳	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	国内外で活躍している各界の社会人をお迎えし、自身の進路選択、仕事の内容、人生の転機や悩み、生き方をお話いただくオムニバス形式の授業です。多様な価値観や進路選択を知ることで、グローバル化や超高齢化、高度情報化などの変化にさらされる現代で柔軟に自らのキャリアを形成するための基礎、考え方を学びます。 ゲストスピーカーは企業、官公庁、大学・研究機関、国際機関などから多様な幅広い年代の方を予定しています。講義を聞く時間だけでなく、ゲストへ質問する時間や、受講生同士で議論する時間、主体的に自分のキャリアや生き方について考えるためのワークショップもありますので、積極的に参加することが期待されます。 すでに具体的に進路を定めている人はもちろん、「社会人ってキツくて大変そうだけど実際どうなのだろう」と仕事と生活について話を聞いてみたい人、「何をやりたいかわからないけれど進学選択の際に困らないようにとりあえず高い点数を取っておこう」と考えるのを先延ばしにしている人も歓迎します。専門課程に進む前に自分のこれからについて考えてみましょう。 過去の授業概要や本年度の講義予定のゲストスピーカーと略歴は、授業ホームページ（http://www.sr.komex.c.u-tokyo.ac.jp/career/omnibus/）で確認することができます。 授業関連図書：標葉靖子、岡本佳子、中村優希編『東大キャリア教室で１年生に伝えている大切なこと：変化を生きる１３の流儀』東京大学出版会, 2019 年
成績評価方法	各回のミニッツレポート（50%）＋期末課題（50%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51323	A	流れ	原 和之、 白 佐立	教養教育高度化機構	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義は、文系・理系あわせて 13 名の教員によるオムニバス形式で行われます。年度ごとに一つのテーマを設定し、それぞれの専門領域から多角的にアプローチします。 この「学術フロンティア講義」では、以下の点を重視しています。 ① 学生が多様な視点や考え方に触れ、物事を多角的に捉える力を身につけること ② 出講教員が研究を進めるうえでの問いの立て方や思考のプロセスを提示し、それを通じて履修者自身の問題意識や知的な姿勢を育むこと 複数の分野が交差するこの講義は、専門を越えた新たな視点を触れる貴重な機会となるでしょう。 25 年度は下記のテーマおよび趣旨で開講します。 ■ テーマ：流れ ■ 講義趣旨： 古代の哲学者に「万物は流転する」と言われるまでもなく、われわれは「流れ」のなかに生きている。風の流れや水の流れ、あるいは人や車の流れといったものを、われわれは具体的に経験するし、「会話の流れ」や「時の流れ」といった言い回しをわれわれはごく自然なものとして用いている。 とはいえ、それを捉え、表現することは必ずしも容易ではない。流れを「読み」、「見極める」ことは、したがって一つの重要な能力となる。ただそうして掴みえた流れにどう対応するのかにも、決まった処方があるわけではない。 その中に安んじて身を置く場合もあれば、それに掉さし、あえて乗るという場合もある。あるいはまたそれを自ら作り出し、変え、場合によっては堰き止めることが必要になることもあるだろう。 流れはわれわれにとって、労せずして進むことを可能にする推進力となることもあれば、われわれをなすすべもなく翻弄することもある。それは新しいかたちを生み出すこともあれば、すべてを押し流す破壊的な力をふるうこともある。 「流水腐らず」と言われることもあれば、「流れ水に大魚なし」という諺もある。本講義では、そうした「流れ」がせめぎ合うなかで生きるわれわれが、その固有の力、固有のロジックを自覚し、独自の観点から再考するための手がかりを、文理双方の教員による多様な分野からの講義を通して提供することを目指す。
成績評価方法	出席状況や毎回の講義内容に対するコメントの提出などの平常点と、期末の小論文を総合的に評価して成績を決定する。 ただし、期末の小論文を締切までに提出することは、単位取得のための必須条件である。 その他の評価基準については、ガイダンス時に説明する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51340	A	UT-ONE2 -2026 年度 S セメ講義を共に創る-	長藤 圭介、 杉上 雄紀	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	UT-ONE の 2025S は、東大入学直後の 1 年生を対象としたアントレプレナーシップ教育の入門編として「仲間と出会い、社会を知り、自分を知る」をコンセプトに企業訪問と企業提案を実施、完走者は 4000 人を超え、約 20 社に訪問や提案を行いました。2026S の UT-ONE もこのコンセプトは継承しつつ、より多くの 1 年生・多くの企業が参画してもわかりやすく円滑に運営できるようさらにブラッシュアップをしていくため、S セメに参加してくれた 1 年生と共に来年度の S セメに向けたアイデア出しや目的別プロジェクトを行います。 おおまかな講義の流れ 0）オンライン説明会 講義概要・進め方の共有・質疑応答 1）S セメのアンケート結果を踏まえたレビュー、課題・タスクの洗い出し・グルーピング 2）タスクグループ毎にやりたい 1 年生が集まってプロジェクト化 3）プロジェクトごとに活動、1，2 回は教員とのレビュー 4）成果物の発表 ※12 月上旬予定 それ以降は講義ではなく学生スタッフ（TA)として活動 想定しているプロジェクト ・告知・広告系 3 月の諸手続きイベント企画運営、SNS 運営、チラシ・ポスター制作 ・技術・プログラミング系 希望マッチングの Python スクリプト、その入力元となるフォーム ・企業連携系 企業からの参加情報のやり取り・集約法、企業集め --- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	12 月の最終発表におけるプロジェクトごとの検討結果
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51341	A	スタートアップ・トレーニング_2025A （駒場）	長藤 圭介、 杉上 雄紀	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義は S 攻めからプロジェクト活動を続けている学生向けの講義です A セメからの新規受講はできません ---------- テクノロジー×デザイン×ビジネスのスタートアップ手法を社会実装を通じて身に着けるソニー社会連携講座のトレーニング・パートです。自分の頭で考え、手を動かして作り、足を運んで使ってもらう事を繰り返すことで、圧倒的な体験と野心的な未来構想を生み出す新規事業開発の次世代リーダーになります。 本郷近隣の東京芸術大学・デジハリの学生や現役の社内起業家と共に活動。人生を賭けて挑みたいことを本気で見つけたい人を、文理・学年問わず歓迎します。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	DemoDay への発表と修了レポートの内容を加味して評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51353	A	社会を先導する化学システム工学	伊與木 健太、 秋月 信、 西川 昌輝、 中山 哲、 SARA SAMIR REYAD BADR、 北田 敦	工学部	月 2	2	1 年 理科

授業の目標概要	化学システム工学科の教員が、持続可能社会を創るための化学と工学を、基礎から分かりやすく説明します。以下のテーマを学びます。 【環境・エネルギー分野】 ・計算化学から見た触媒と環境問題 ・環境問題を解決するナノ空間材料 ・電気化学、材料科学、そして社会 ・超臨界からグリーンケミストリーへ 【医療分野】 ・分子から見たバイオと未来医療 ・Simulation for chemical/drug manufacturing 「化学と社会のつながり」を考えたい学生諸君の参加を歓迎します。教員や大学院生と交流する機会も設けます。希望者には化学システム工学科研究室見学会も企画します（参加は自由です）。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	主に出席・レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51355	A	宇宙資源：サイエンス x テクノロジー x ビジネスの最前線	宮本 英昭	工学部	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	宇宙には、地球とはまったく違うチャンスが眠っています。たとえば小惑星。地球から宇宙に出るには大量のエネルギーが必要ですが、小惑星ならジャンプするくらいの勢いで脱出できるほど重力が小さいのです。そして、その中には鉄、レアメタル、水といった、将来の宇宙産業を支える資源が大量に含まれています。 こうした宇宙資源の活用は、「次の産業革命」とも言われるほど注目されています。すでに各国で研究やビジネスが動き出しており、月面探査の ispace 社、小惑星開発の Karman+社といった企業が世界の先頭を走っています。NASA や ESA、JAXA のミッションに関わる専門家たちも、実践の最前線で活躍しています。 この講義では、そうした最前線の研究者や企業のリーダーが実際に登壇します。宇宙を舞台に、資源・産業・法律・国際協力などが交差する、まったく新しい世界を一緒にのぞいてみましょう。海外からの講師も登場しますが、必要に応じて日本語でのサポートも行います。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席を兼ねたアンケートに毎回回答してもらいます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51356	A	海研究のフロンティアII	早稲田 卓爾	工学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義は、理学・工学・農学・法学・総合文化・新領域創成科学研究科、大気海洋・地震・気候システム・東洋文化・生産技術研究所、史料編纂所・アジア生物資源環境研究センターなどで海洋に関する研究・教育活動に関わっている教員が、最先端の研究成果を紹介する。 講義に関する追加情報は、以下に記載されます。 http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/ ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席および授業内レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51359	A	UT チャレンジャーズ・ギルド B	廣瀬 明、 永綱 浩二	工学部	火 6	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

IT の普及と発展により、我々の身の回りには新しい製品やサービスが登場し、時として生活スタイルを大きく変えたり、ビジネスの枠組み自体に大きな影響を与えたりすることがある。購買者や利用者として製品やサービスが提供するメリットを享受することはたやすいが、逆に購買者や利用者を興奮させたり、目を見開かせたりする製品やサービスを創造することは容易ではない。では、購買者や利用者を「これはすごい！」、「これは便利だ」、「これは心地よい」、「これは楽しい」と言わせるモノやサービスを創ってみようではないかというのが本講義の狙いである。

まずは、「作ってみた」「やってみた」というレベルから開始して、最終的には製品やサービスが果たす「社会的なゴール」を意識したレベルのモノづくりに取り組んで欲しいと考えている。従って、講義に参加するにあたっては何にチャレンジしたいのか、具体的な目標を持って臨んでもらいたい。個々の学生諸君の目標に基づき、専門家による指導を受けたり、製造現場を見学に出向いたりしたいと考えている。また、構築したモノやサービスは、完成後、想定される利用者に試用してもらい、利用者の評価を受ける予定である。さらに、本ゼミでは起業を支援した実績があり、起業にチャレンジしたい学生諸君の参加を大いに歓迎する。

※受講人数：10 名

※開講場所： 駒場 KOMCEE 3 階 K301 号室

受講を希望する学生は、永綱（t-ngtna@g.ecc.u-tokyo.ac.jp） までメールで申し込みこむこと。（希望者多数の場合には抽選

ガイダンス/ Guidance：

合同ガイダンスが設定される場合（別途周知される予定）にはこれに参加する。

個別ガイダンスは第一回講義の 10 月 7 日 18：45 からオンラインで行う。

Zoom のリンクは UTOL を参照のこと

※このゼミは 10 月 2 日（火）6 限（18：45～）Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。

Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　ガイダンス、講義、実習、システム構築、事業計画書、プレゼンテーション、発表会への参加。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51389	A	惑星科学のフロンティア	瀧川 晶、 諸田 智克、 庄田 宗人、 宮本 英昭、 吉岡 和夫、 田近 英一、 三河内 岳、 杉田 精司、 橘 省吾、 笠原 慧、 関 華奈子、 今村 剛	理学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

我々は，太陽を周回する天体の一つである「地球」という惑星に住んでいる．それは，太陽系では地球だけが海や温暖な気候を有するからだろう．そのような生命にとって快適な環境はどのようにもたらされたのか？また，太陽系外には第二の地球と呼ぶにふさわしい惑星は存在するのか？近年では，理論・室内実験に加えて，太陽系探査や系外惑星観測など様々なアプローチで研究がなされている．本講義では，この分野の世界をリードしている科学者が最先端のサイエンスを講義する．

成績評価方法　出席のみ．ガイダンスはありませんので，12 回の講義に参加してください．
出席に関する問い合わせは，授業当日の講義時間内に各担当教員におこなってください．

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51392	A	「現代の数学 ー その源泉とフロンティア ー」	小木曽 啓示、今野 北斗、加藤 晃史、權業 善範、関口 英子	数理科学研究科	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	高等学校で学んだ数学、大学の前期課程で学ぶ数学が、どのように現代の数学につながっているか、現代の数学の研究の源泉はどこにあり、どのようなことがわかっていて、何を求めて研究が行われているかということを、最前線で活躍する数学者がいくつかのトピックについて数回ずつ解説する。
成績評価方法	出席とレポートによる合否判定で行う。レポートは 4 名の先生の中から一人選んでその先生の講義に対するレポートを出してください。(提出方法の詳細は初回ガイダンス時に指示します。)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51432	A	医科学研究最前線	武川 睦寛、石井 健、COBAN ISHII CEVAYIR、西村 栄美、尾山 大明、井元 清哉、谷水 直樹	医科学研究所	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	がん・免疫/アレルギー疾患・感染症をはじめとする難治性疾患の病因・病態の解明と、これらの疾患に対する治療・予防法の開発を目指す医科学研究所の研究活動の実際を紹介する。さらに、関連する分野（ゲノム・エピゲノム解析、ワクチン開発、難治性感染症、分子病態解析、再生医療、内視鏡治療など）の動向について、集中講義形式で分かりやすく解説する。 <12月13日> 9:15～9:30 医科研紹介 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) <12月14日> 9:30～16:40 講義(1 コマ 90 分、12:40～13:30 昼休み) ※ガイダンスは本年度は行わない。
成績評価方法	レポート ＜レポートについて＞ ・レポート内容 ：8 講義全てについて、自分が興味を持った内容をまとめる。 ・形式 ：一つの PDF ファイルで提出（講師 1人につき A4用紙 1 ページ、計 8 ページ（表紙含まず））・・・ファイル名は、学籍番号＋氏名とすること ・提出先 ：以下の URL の受取フォルダにアップロードしてください。 （※URL は UTAS からご確認ください。） ・提出期間：令和 7 年 1 2 月 1 5 日（月）～ 1 2 月 19 日（金）（厳守） ・その他：A4 用紙 1 ページごとに、氏名、所属科類もしくは学部・学科、学年、学生証番号を必ず明記すること。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51438	A	リベラルアーツとしての工学：工学の歴史・現在・未来を俯瞰するオムニバス講義	戸矢 理衣奈	生産技術研究所	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本講義では、教養学部 1-2 年生が文系理系を問わず、人間・社会との関係性のなかで総合的に科学技術の概念を学ぶことを目的とする。 我々は、AI、半導体、情報工学、有機 EL 等の先端科学技術に日々接しながら過ごしている。現代では先端科学技術が社会そして人間をも大きく規定しており、それは、エンジニアだけではなく社会全体で共有して考えるべきテーマであり、人類に共通する課題ともなっている。これまでも科学技術にまつわる意思決定にはエンジニアのみならず様々な社会的立場の者が関与してきたが、いまや文系理系に拘らず、現代人に必須の教養としての「リベラルアーツとしての工学」が求められている。 本講義では、工学の主要領域にて先端研究に携わる研究者がオムニバス式に講義を担当する。専門領域の過去、現在、未来を踏まえつつ、人間や社会との関係性を考えるうえで焦点をなす研究や事例に着目し、数式を基本的に使わずに講義を実施する。 教養学部生が社会を構成している先端科学技術の起点及びその発展に接することで、未来を拓くための基盤となる知見を得るとともに、俯瞰的な視点を涵養する機会となることを期待している。
成績評価方法	前半（A1 相当期間）4 回、後半（A2 相当期間）4 回の出席を最終レポート提出の必須要件とする。 ・毎回の出席 「講義で学んだことを 500 字以内にまとめよ」 ※ UTOL で講義終了 10 分前から講義終了後 30 分までに提出すること ・レポート 「興味をもった講義を複数選び、その内容に関して独自に調査したうえで、未来の工学のあり方を提案せよ。分量は A4 用紙 2 枚程度とする」 ※ UTOL で指定する期日までに提出すること
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51444	A	多様な視点からジェンダーを見る	小川 真理子	多様性包摂共創センター	月 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	社会が大きく変動する中で、「ジェンダー研究」そのものが問い直しの対象となっている。このような問いに応えるべく、本講義では、ジェンダー、男性性／女性性が、文化、階級、人種、エスニシティ、ナショナリズム等との間でどのように相互作用を起こしているのか、さらに、それが国や社会によってどのように異なるのかについて考えていく。本講義では、政策、メディア、教育、健康、災害、歴史、暴力、社会問題に関するテーマ、国内外の事例などのジェンダーにかかわるトピックを各講師の専門分野の視点から取り上げる。 本講義は、ジェンダー、セクシュアリティに関する基礎的な概念を確認したうえで、ジェンダーをめぐる多様な問題について自ら考える機会を持つことを目的としている。ジェンダーの多様性を批判的に理解し、自らの立場や社会構造との関係を分析できる力を養うことを目指している。初回はイントロダクション、2 回目から 11 回目までは各講師の専門領域の切り口からジェンダーに関連したトピックについて講義を行う。第 12 回、第 13 回は講義を踏まえグループに分かれて発表を行い、最後にまとめを行う。
成績評価方法	ディスカッションへの参加度、毎回の授業後のコメントカード（300 字～400 字）、期末レポート（1,000 字）を総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51445	A	ジェンダード・イノベーション入門	小川 真理子	多様性包摂共創センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意 2】この授業は、履修者 15 名を上限とする。15 名を超える履修希望があった場合については、以下の「授業の方法」の項を参照。 本講義では、ジェンダード・イノベーションの基礎から応用までを、お茶の水女子大学、東京大学、東北大学の教員によるリレー講義で学際的に学ぶ。 学生は、三大学（お茶の水女子大学、東京大学、東北大学）の混成チームによるグループワークで議論をすることで理解を深め、新しいアイデアについて考察する。 本講義を通して、学生は多様な領域の研究・開発を自分自身の関心領域と関連付けて、未来のジェンダード・イノベーション展開について創造的に考察する。
成績評価方法	発表=40%、グループでの活動=40%。三大学の混成グループで活動する。積極的な意見交換や議論を期待する。授業への参加態度=20%。出席確認フォームで出席確認をとる。８割以上の出席率を求める。 最終日に自己評価シートを提出する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60218	A 2	経営工学のすすめ	川中 孝章	工学部	金 4	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	皆さんの中には、理系に進んだけれど文系分野にも興味がある。文系に進んだけれど理系分野にも興味があるといった人がいるのではないでしょうか？私も高校時代、数学と社会が好きでした。経営工学は文理融合の分野です。経営学、経済学を中心とした社会科学の諸問題を、科学的視点から数理的あるいは工学的アプローチにより解決することを目指しています。 本講義では、経営工学のベーシックな理論を中心に解説します。さらに、最新の研究論文にも触れながら経営工学の応用事例を紹介します。取り上げるテーマは以下を予定しています。 ・生産管理 ・ファイナンス ・品質管理 ・人的資源管理、行動科学 ・ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント（SCM） ・マーケティング、需要予測 ・プロジェクトマネジメント 学際的分野のため、文科、理科を問わず受講することができます。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	出席およびレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

学術フロンティア講義

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60222	A 2	医学・生命科学への量子計算の応用（医学系・理学系・新領域創成科学による合同講義） Applications of Quantum Computation in Medicine and Life Sciences (Joint lecture by Schools of Medicine, Science, and Frontier Sciences)	角田 達彦	理学部	木 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	この講義シリーズでは、将来、医学・生命科学へ量子計算を応用する事を目的に、量子計算機の計算原理、プログラミング、などを学ぶ。また、医学・生命科学における計算についても、医学・生命科学を研究している研究者からの問題提示をして貰うことにより、量子計算によってどのような課題の解決が期待されているかを学ぶことができる。 In this lecture series, students will learn about the principles of quantum computation, programming, and other aspects of quantum computers, with the aim of applying quantum computation to medical and life sciences in the future. In addition, by having researchers working in the medical and life sciences present problems about computation in the medical and life sciences, students can learn what kind of problems are expected to be solved by quantum computation.
成績評価方法	期末試験を基本とするが、状況により、小テストやレポートなどに変更する可能性もある。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50066	A	Fundamentals of Physical Sciences (PEAK)	ウッドワード ジョナサン ロジャー	PEAK 前期	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	In this course, we cover some key topics across the physical sciences to help ensure students who have studied differing amounts of chemistry and physics in high school have a solid foundation of key principles.						
成績評価方法	Grades for the course will be awarded based on attendance and participation in the group work activities (30%), performance in live online quizzes (10%), short written assignments (10% and a final exam (50%).						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50551	A	Introduction to Biology	小見 美央	PEAK 前期	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	This course is designed to provide students with the essentials of biology. Biology = Science of Life. What are we? What is Life? What do living things have in common? What makes us, us? Non-native English speakers are welcome. Consider taking this course if you want to learn Biology in English and interact with English speakers.						
成績評価方法	Two presentation reports (60%), participation (20%), and Exams (20%). Students give presentations in class twice. The participation score includes the score of short quizzes given at the beginning of each session. In addition, students are asked to submit a short reaction paper after each session. This will be counted as part of the participation score.						
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50615	A	Introductory course in linear algebra	松尾 厚	PEAK 前期	水 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	Phenomena in natural and social sciences are usually complicated, and seldom described by linear equations. However, Linear Algebra is still powerful and effective in describing essential parts of the phenomena by linear approximation. Thus Linear Algebra has vast applications. Linear Algebra will further provide basics for considering linear spaces that appear in quantum mechanics or Fourier analysis. The ideas in Linear Algebra are broadly utilized in sciences and engineering, including agriculture, medicine, and economy, as well as in mathematics and physics. Although Linear Algebra is simple and clear in theory, one needs to be familiar with abstract concepts in mathematics to properly deal with it in practice. It is important for students to keep on deepening their understanding by working with exercise and related problems.						
成績評価方法	Final examination, attendance, and class participation.						
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50819	A	Single variable calculus	長谷川 立	PEAK 前期	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	In this course, we study the differentiation and integration of a function of one-variable (which is also called one-variable function or single-variable function). Intuitively, differential means the slope of the tangent line of a function at a given point, and integral measures the area bounded by the graph of the function and x-axis over a given interval. Both concepts need the concept “limit”, so the first part of this course will contain the definition of a function, limit of a sequence, continuous function and related topics. In the second part of this course, we study the differential of a function, the definition, calculation techniques, properties and applications. In the third part, we define the definite and indefinite integral of a function, study the fundamental theorem of calculus: the connection between differentiation and integration, and introduce the calculation techniques. Power series will also be introduced. In the end, we discuss how to solve some simple differential equations.
成績評価方法	Quizzes (50%) + a final (50%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50890	A	「障害者のリアルに迫る」ゼミ	御代田 太一	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	様々な「障害」ゆえに生きづらさを抱える当事者や、「障害」問題に関わる実践者や専門家など、多彩なゲストを招き、彼らの語りを聞きタブーなき対話を重ねる中で、「障害」および人間に対する深い理解を獲得することを目指す。 なお、身体障害や精神障害、知的障害といった一般的によく知られる「障害」に限らず、依存症や性的マイノリティなど、広い意味での様々な生きづらさも射程に捉える。 そして障害を巡って、自身のうちに湧き上がる様々な問いについて、立ち止まって考え話し合うことのできる場を作る。
成績評価方法	毎回授業後に提出するリアクションペーパーの内容を踏まえて成績を判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook 「障害者のリアルに迫る」東大ゼミ 障害者のリアル×東大生のリアル ぶどう社 978-4892402272
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50891	A	History of Japanese feminism and their discourses	川坂 和義	PEAK 前期	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This course aims to cover a history of feminism in modern Japan. Through reading and discussing feminist politics and history in Japan, this course offers a basic knowledge about feminism and their politics in Japan and beyond. This course’s goals are: 1.To understand history and social contexts of Japanese feminism 2.To understand gender and feminist perspectives 3.To gain a critical skill to analyse Japanese society in terms of gender and sexuality
成績評価方法	Class attendance and participation: 20% Class Presentation: 30% Term’s essay: 50%
教科書	その他。／Other
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
50892	A	韓国ポップカルチャー論	鄭 孝俊	学生による全学自由研究ゼミナール	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	近年、韓国のエンターテインメントコンテンツが世界的な人気を集めています。BTS、BLACKPINK、TWICE、aespa、NewJeans などの K-POP や映画『パラサイト 半地下の家族』、Netflix ドラマ『愛の不時着』『梨泰院クラス』が日本でも受け入れられ様々な解釈が行われています。本講座では、それらの諸問題について学問的にアプローチすることを試みます。韓国エンタメの表象分析として社会学、文化人類学、言語学などを援用しより深い議論と多角的な分析を目指すことによって韓国エンタメの研究方法について視座と展望を提示していきたいと思います。その一方で講師は新聞社の文化部記者として長年、取材活動を続けてきたため、受講者の興味、関心を高められるようジャーナリスティックな視点も取り入れて日韓の制作現場の違いなどをできる限り分かりやすい言葉で解説していきます。本講義が将来の就職や進路選択の参考になれば幸いです。 【講師プロフィール】 サンケイスポーツ新聞文化報道部記者、デスク、編集委員を歴任。退社後、フリーのコラムニスト、ジャーナリスト。韓国での現地取材多数。 東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻言語社会分野博士課程単位取得満期退学 首都圏の国立大、私立大の講義にゲスト講師として多数参加し、K-POP や韓国ドラマについて解説
成績評価方法	出席とリアクションペーパー、期末試験による総合評価となります。なお期末試験は特段の準備を必要としません。自由な発想と柔軟な思考力があればまったくもって心配ないような問題です。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51104	A	法と社会と人権 －社会の実態を知り，人権を学び考える－	中川 素充	学生による全学自由研究ゼミナール	金 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	当ゼミは，１９９２年度から川人博弁護士が中心になり担当してきた。今学期も川人弁護士の協力を得て，当ゼミの出身者である中川素充弁護士が担当する。矢野領弁護士、笠置裕亮弁護士及び石原詩織弁護士（当ゼミＯＢ・ＯＧ）も協力する。 Ａセメスターのテーマとしては，国際，地域社会、科学技術、司法、格差、医療福祉を予定している。 文Iは勿論，文II・文III・理I・理II・理IIIの学生も歓迎する（例年，文I以外の学生も多く参加している)。 人権問題を考えるにあたって大切なことは，社会の実態をよく知ることである。このゼミでは，従前より，普段の授業時間での講義以外にフィールドワークを実施している。事件現場，ＮＧＯ，法律事務所，官公庁，企業，労働組合，裁判所，少年院，刑務所，テレビ局，新聞社，病院などに出向き，様々な当事者，専門家，弁護士，医師，公務員などから話を聞く。様々な職に就いている当ゼミ卒業生との交流も随時行う。 これらのフィールドワーク（主として平日午後６時４０分以降，土日祝日に実施）は，今学期を通じて１５回以上実施予定である。いずれかを選択して，１回以上は参加すること。 金曜５限の授業では，１０月～１２月上旬は講義形式（各分野の最前線で活躍している人たちをゲストとして）を中心にし，１２月はテーマ班ごとに，授業やフィールドワークで学んだことをまとめて，論考を作成してもらうとともに，学生発表を実施する。 ※ ガイダンスは１０月３日５限（第１回授業時）におこなう。
成績評価方法	日常の講義（講義への出席と感想文提出)，フィールドワーク参加、学生発表（論考作成）及び学期末レポートにもとづく合否判定 ［講義及びフィールドワークで学んだことを基礎にして，上記発表を行い，かつ学期末レポートを作成すること］
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 川人 博 編著 『テキストブック現代の人権第４版』 日本評論社 978-4-535-51725-7
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51299	A	企画の研究所 ― こころと社会を動かすコミュニケーション ―	桑田 光平	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	この講座は、人の気持ちの動かし方を考える研究を行います。 人の気持ちが動くとき、社会は動く。そのスイッチを探していきたい。 こころを動かすコミュニケーションを実践してきた電通のクリエーティブと 東京大学が手を組んで、あたらしい企画の研究所を立ち上げます。 さて。 みなさんが、将来やりたいことは何でしょうか。 社会のためになることをやりたい。 あたらしい体験を生み出したい。 研究で多くの人を救いたい。サービスを立ち上げたい。 人の数だけやりたいことはあるのかもしれません。 これらには共通項があります。 それは、「人のこころを動かす」ということ。 気持ちが動かないと、人は動きません。 サービスを受ける人は何に喜ぶのか。 社会のための行動は、どんな気持ちを動かすべきなのか (説教くさいと動かなかったりしますよね)。 AI が発達し、人間性への回帰が重視される中、 人の気持ちへの向き合いは、より重要になっていくはず。 私たちは、長年にわたって人の気持ちをさまざまな表現手法で動かしてきました。 映像、言葉、体験、空間、ビジュアルなどジャンルは多岐にわたります。 その中心にあるのが「企画」です。 人の気持ちを考えて、動かすためのアイデアと手段。 それが、「企画」という技能。 たとえば、ゴミ拾いをしようと言っても動かない人でも 「ルールがあるゴミ拾いの競争という企画」にしたら動くかもしれません。 これからの世界において、「企画」はより重要になっていくと考えています。 それは、ビジネスでも表現でも生活でも活きる力になります。 しかし、人の気持ちを動かす「企画」は属人的であまり体系化されていません。 そこで、このプロジェクトでは「企画」にもう一度向き合います。 人の気持ちとは何なのか。どういう時に動くのか。 動かすための表現にはどんな技術があるのか。 映画、漫画、音楽、ファッション、落語、短歌。 人の気持ちを動かすものは何を内包しているのか。 目指すのは、誰もが「企画」を力にする社会。 この無謀なプロジェクトの１期生となるあなたとの出会いを、楽しみにしています。 ■進め方について 各回テーマを持ちながらも、大きく４つの力を鍛えていきたいと考えております。 見る力：課題を見つける。表現を見る。世界を見る目の解像度を上げる。 分析する力：伝え方を収集する。人の気持ちが動く瞬間を収集する。類型化して一般的な手法にしていく。 表現する力：人の心を動かす企画をする。それに伴う表現方法を学ぶ。 実践する力：実際のクライアント（予定）を巻き込んで、上記の研究を実践する。 このどれもが、社会人、表現者の基礎体力となるような力となるのは間違いありません。 研究のみならず表現・実践まで落とし込んでいくことが、本授業の醍醐味となるはずです。
成績評価方法	全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、プレゼンテーションの内容により評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51300	A	塀の向こうには誰がいるのか：犯罪と刑事司法の多角的理解	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の概要】
あなたの思う「犯罪者」はどんな人でしょうか。そして犯罪の原因は一体何なのでしょうか。
この授業では、日本の非行・犯罪の実情や課題について、架空事例やデータを解釈しながら犯罪学、犯罪心理学及び司法福祉の観点から実情を体感し、学びます。専門書などの文献を読んで学ぶ刑事司法の実際には、生々しいほどの「人」の存在や「人生」があります。また、刑事司法を学ぶことからは、同時に非行・犯罪の背景にある貧困、虐待、障害、社会的孤立、依存症など社会の抱える様々な課題が浮き上がってきます。この授業ではこれらの社会の問題についても扱います。
授業の多くの回では、実際に、刑事司法に携わる司法・犯罪領域の対人援助職（主に犯罪心理学)、弁護士などの法曹、民間団体の支援者、そして当事者の方などをゲスト講師としてお招きし、実情についての講義をしていただくオムニバス形式で行います。講義では、GW などを取り入れながら、刑事司法が抱える課題やその背景にある課題について、議論をしながら考えます。
正解のない問いを一緒に考えてみませんか。
【授業の目標】
・非行少年・犯罪者の再犯防止の課題を中心に刑事司法の様々な問題について犯罪学、犯罪心理学や司法福祉の観点から知る。
・非行・犯罪の背景にある社会課題について考える。
・犯罪被害者支援の課題について学ぶ。
・刑事司法に携わる法曹や司法犯罪領域の対人援助職、NPO 職員などの実務家、当事者など様々な立場の人の話や考えを聞き、刑事司法について多面的な視点を持ち、キャリアについて考える。
・犯罪学に関する諸理論を学び、実情を踏まえてその理論について考える。

成績評価方法

・授業への参加状況 ：55%
授業への出席 22（1 回 3 点×全 13 回）
ミニッツレポート 33（1 回 3 点×全 13 回）
・授業中の参加態度 ：26%
・レポートの評価 ：19%

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51301	A	刑務所×（架ける）：障害を持つ出所者の社会復帰を考える	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
授業の概要：現在，刑務所出所者の社会復帰が大きな社会課題になっている。現在の刑務所の実情と課題を学んだうえで，特に障害を持つ出所者の実情と課題について学び，様々な立場の人とどのような社会復帰の在り方があるかを考える。受刑者における障害を有している者の割合の高さについても重要な課題の一つである。社会復帰の際，社会がどのように関わっていくかということを地域住民の視点、コミュニティにできることという観点から考え，政策立案の形のワークショップを実施する。本講義は集中講義であり，千葉県内，東京都 23 区外の矯正施設の見学も含めた複数日にわたる集中講義である。
授業の目的：障害を有する受刑者の社会復帰というテーマを中心にとりあげる。受刑者の一定数に障害を有する者がいるという実情について社会構造の観点からも考察し，今後の社会復帰に向けた働きかけに社会が何ができるかを考える。刑事司法制度の課題について実際に支援に携わるゲスト講師の講話や対話をもとに考える。ゲスト講師として刑事司法，司法福祉などに携わる実践家を中心に，問題を知り，考える。実際に福祉的取り組みを拡充させている府中市の府中刑務所，市原市の市原青年矯正センターについて施設参観も行う。その上で，ゲスト講師と共に政策立案ワークショップを行う。政策立案ワークショップではロジックモデルの考え方を軸として，課題を整理して，自分たちの考える解決策を立案していくことを体験する。

成績評価方法

・授業への出席・議論への参加（すべてへの回への参加が必須条件です）
・見学前課題
・リアクションペーパー

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51302	A	スタートアップを考える：社会課題を解決するビジネスエコシステムの視点	山岡 あゆち	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	授業の目標概要： スタートアップを、技術・アイデア勝負という視点だけでない、より俯瞰的かつ実践的な視点で現役のコンサルタントと共に考えてみませんか。日本経済の抱える課題解決の観点から、スタートアップを取り巻くビジネスエコシステムとその課題を取り扱います。 近年スタートアップは急成長を遂げており､日本のスタートアップ企業はおよそ 2 万社を超えていると言われています。学生のみなさんにとっては大企業よりもむしろ身近な存在になりうるほどかと思います。一方でスタートアップ自体は失敗するケースも少なくないというのも事実です。成功に届かなかった要因は技術・アイデアが評価されなかった、それだけでしょうか。数多くのスタートアップが生まれる中において、本来であれば社会に還元されるべき多くの技術・アイデアが埋もれてしまっていれば、それは看過できない社会課題の一つです。その課題について、スタートアップを取り巻く「ビジネスエコシステム」を主題として、「ステークホルダー」･「ファイナンス」･「M&A」などといった観点も用いつつ紐解いていきます。本授業の計画やファシリテーションは、現役コンサルタントが行います。
成績評価方法	・出席数とリアクションペーパーを総合的に勘案して評価 ※具体的な評価方法についてはガイダンスにて説明します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51305	A	AI 社会を生き抜くための教育・学習を考える	中澤 明子	教養教育高度化機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	ChatGPT 等の生成 AI が登場してから、人と AI との関わりがより日常的になり、AI を適切に、効果的に使うことが求められています。すなわち、AI 社会を生き抜くため、求められる能力・スキルが変化しつつあると考えられます。これから社会に出ていく大学生自身が AI について理解し、どのような能力・スキルを身につけるべきかを考え、認識することも重要です。 本授業の目的は、授業での文献・資料の読解や体験・議論を通じて、AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方を自分なりに考えて示すことです。 授業の目標 ・AI や教育・学習に関する資料を読み内容を説明できる。 ・AI や教育・学習に関するトピック、キーワードについて定義や内容を自分の言葉で説明できる。 ・文献・資料、ゲスト講義の内容について疑問・質問を考え、口頭もしくはテキストで示せる。 ・問いに対する考えや教育・学習の在り方についての自分の考えをテキストもしくは口頭で他者に説明できる。 ・AI 社会を生き抜くために求められる教育・学習の在り方をレポートもしくは口頭発表で示せる。
成績評価方法	最終成果物（40%)、毎回のふり返りシートの提出（40%)、グループワーク/ディスカッションへの参加・貢献（20%）により総合的に評価します。 最終成果物は、AI 社会を生き抜くための教育・学習に関するパンフレット（教育・学習のコンセプトやプログラム、方法などを記したもの）をグループで作成してもらう予定です。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51306	A	SDGs を学べる授業をつくろう	中澤 明子	教養教育高度化機構	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	持続可能な開発目標（SDGs）は、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継として 2015 年の国連総会で採択され、17 の目標が定められている。MDGs が途上国の貧困削減や社会開発に焦点を当てていたのに対し、SDGs は世界中の国々の経済・社会・環境といったより広い問題を扱うものである。その広さゆえ総花的であるという批判もある一方、多くのアクターを巻き込めるという利点も指摘されている。 この授業では、このような SDGs について高校生が効果的に学べる授業を設計してみることで、SDGs についての自分自身の学びを深めることを目指す。他者に教えることそのものや、授業を設計する過程での調査や議論は、本人にとって最も身につく学びとなる。また、この授業では「効果的に学べる」ためにアクティブラーニングという手法を用いた授業を設計することを目指す。 具体的な到達目標は、以下の通りである。 ①SDGs が作成された背景について説明することができる ②SDGs の意義について説明することができる ③SDGs の課題について説明することができる ④SDGs の 17 の目標について説明することができる ⑤学習者の学びを深める授業の方法について説明できる ⑥SDGs について学習者の学びを深める 50 分間の授業を設計することができる
成績評価方法	最終成果物＝授業案（50%）、平常点＝議論への貢献（50%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51307	A	Road to 2050 : グリーンビジネス概論	瀬川 浩司、 吉高 まり、 小林 光	教養教育高度化機構	木 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	2050 年脱炭素の世界共通目標の下で、環境負荷を減らしつつ収益するグリーンビジネスが、ビジネススタイルの世界標準となった。このビジネスを実践するための基礎技法や発想などを身に着け、グリーンビジネス具体化の人材的な基礎を作る。
成績評価方法	出席状況（２５%）、授業への参画（２５%）、グリーンビジネス案の内容と発表技量（５０%）
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 吉高まり、小林光 GreenBusiness－環境をよくして稼ぐ。その発想とスキル 木楽舎 978-4-86324-153-4
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51308	A	企画を創る～実践から学ぶ教養としてのアートマネジメント	山上 揚平	教養教育高度化機構	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	芸術と社会をつなぐ役割を担うアートマネジメントには、多岐にわたる能力が求められます。中でも企画力は、コロナ禍を経て新たな社会的フェーズを迎えた現在、イベント実施の意義そのものをより一層明確に提示する必要がある為、今後さらに重要となっていく能力であると考えられます。 そして、企画を考えるプロセスとは、社会と芸術との関係のみならず、それらと自分自身との繋がりをも俯瞰しつつ、興味と関心を掘り下げていく必要のある、まさに「教養」の問われる知的営為とも言えるでしょう。 本授業は、社会の一線で企画づくりに携わって来たプロフェッショナルを講師に迎え、実体験に基づくレクチャーの他、グループワークを通じて企画立案に必要な資質、構成力、発信力を学びます。最終成果発表では、グループ毎に企画を立案し、企画書の作成・ブラッシュアップからプレゼンテーションまでを行います。以上の様な実践を通して「企画を創る」ことを共に考え学び、これからの時代の「教養」としての企画力を身に付けることが、本授業の目標となります。 ●ゲスト講師紹介 鐘ケ江織代 （アートマネジャー、コーディネーター、リサーチャー） 株式会社しろばら百藝社代表取締役。パレイドリアン代表。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、京都コンサートホールの各事業課を経て、トーキョーワンダーサイト（現トーキョーアーツアンドスペース）では「若手のための現代音楽企画ゼミ」を企画するなど、コンサートやワークショップの企画・制作、若手クリエーターの育成・支援事業等に携わる。 山本和智（作曲家・プロデューサー） 独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範にわたり、2006 年モリナーリ国際作曲賞第 1 位(カナダ)、2007 年 AIC / Mostly Modern 国際作曲コンクール第 1 位(アイルランド)、2009 年度武満徹作曲賞第 2 位、2010 年第 5 回 JFC 作曲賞、2011 年 TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL- SOUND, ART & PERFORMANCE vol.7 奨励賞受賞など。2020 年にはサントリーサマーフェスティバルにてオーケストラ作品の新作を初演。2009 年より『特殊音樂祭』をプロデュースする。 和光大学表現学部総合文化学科非常勤講師、音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバー。 眞崎光司（学習環境デザイン研究家） 青山学院大学大学院社会情報学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。大学卒業後、大学図書館に勤務し、大学生がワークショップや展示の形で自らの学習機会を創出することができる空間（ラーニング・コモンズ）のデザインと運営を担当。現在は音楽実験ユニット「パレイドリアン」メンバーとして現代音楽の普及活動や作曲家の創造性に関する研究を行う。
成績評価方法	出席状況、授業への貢献度、最終プレゼンテーションによって合否判定をおこなう。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51309	A	ブランドデザインスタジオ 32 「友情」をブランドデザインする	真船 文隆、 宮澤 正憲、 山上 揚平	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

●プログラムについて
※参加者同士で交流・対話しながら進めるワークショップ形式の授業となります。
『正解のない問いに、共に挑む』特別教育プログラムです。参加者の皆さんが今後、広く社会一般で活用し得る「共創」の手法を、「21 KOMCEE （理想の教育棟）」を舞台に、東京大学×博報堂研究デザインセンターのコラボレーションにより学んでいただきます。現役の広告会社社員、ブランド・コンサルタントがプログラム・デザインおよびファシリテーションを担当します。参加者でプロジェクトチームを結成し、チームでテーマに関するリサーチや分析、アイデア発想、プレゼンテーション制作を行ってもらうことを予定しています。
【URL】http://www.bdstudio.komex.c.u-tokyo.ac.jp/
●テーマについて
今期のテーマは、「『友情』をブランドデザインする」です。
「友情」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか？ 幼少期からともに過ごしてきた幼馴染、たわいのない会話を続けられるクラスメイト、部活動で時に競い合ってきた仲間たちなど、多様な関係性があるでしょう。映画や漫画などのコンテンツでも、固い「友情」は胸を熱くさせ、心をふるわせる大きな力を持っています。楽しいときや苦しいとき、ふとした瞬間に、私たちには「友情」があることで救われることがあります。
また友情は、物理的に近くにいる相手とのみ育まれるわけではありません。SNS の流行は「顔は知らないけれど確かにつながっている」と感じるような新たな友情を生み出しました。遠く離れた友人の近況を得ることが当たり前になり、同窓会で会っても離れていた気がしない、なんてことも起こります。ネットワークの発達は、私たちの「友情」の在り方に確かな変化をもたらしました。
さらには、「人外」の友人を持っている人もいるかもしれません。近年の生成 AI の発達により、チャットボットに名前を付け、誰よりも長く会話している AI に「友情」を感じている人もいるのではないでしょうか。
もちろん、「友情」にまつわることはポジティブなことばかりではありません。友情の終わりがもたらす深い悲しみ、裏切り、あるいは嫉妬や競争といったネガティブな感情も存在します。また、SNS でつながっているだけ、といった見せかけの「友情」が氾濫し、真のつながりが見えにくくなる中で、孤独を感じる人もいるでしょう。
「友情」とはいったい何なのでしょうか？ これからの社会において、「友情」はどのように変化していく、あるいは変化しないのでしょうか。この授業では、明らかなようでいて不明瞭な「友情」という概念について、深く考えていきたいと思います。そして、その探求をもとに「友情」をテーマにした製品やサービスを具体的に構想いただき、人々を豊かにし、真のつながりを育む新しい「ブランド」として提案していただきます。
詳しくは 10 月 2 日（木）17：30～開催されるガイダンス兼体験ワークショップで説明します。関心を持っていただける方は、ぜひご参加ください。
【授業日程】
第 1 回: 10/2（ガイダンス）
第 2 回: 10/9（チームビルディング/調査テーマ探索）
第 3 回: 10/16（「生活者発想」概論/生活者リサーチ設）
第 4 回: 10/23（生活者リサーチ実施）
第 5 回: 10/30（生活者リサーチの分析）
第 6 回: 11/13（リサーチ成果の深堀）
第 7 回: 11/20（リサーチ成果の統合）
第 8 回: 12/4（コンセプト・メイキング）
第 9 回: 12/11（アイデア発想）
第 10 回: 12/18（リハーサル・プレゼンテーション）
第 11 回: 12/25（ブラッシュアップ※チーム作業）
第 12 回: 1/8（ブラッシュアップ※チーム作業）
第 13 回: 1/15（最終プレゼンテーション）

成績評価方法　全ての授業への参加を前提に、個人ワークの提出内容、グループワークへの貢献、最終プレゼンテーション内容により評価します。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51311	A	ミューオンを知ろう	松本 悠	教養教育高度化機構	月 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	ミューオン、あるいは素粒子と聞くと何やら難しい感じがするかもしれません。確かに、きちんと理論を勉強するには、基礎知識が必要です。しかし“素粒子”は、非常に身近な存在です。そこで、この授業では、理論的な背景はある程度割愛して（希望があれば説明します)、素粒子の種類や性質、相互作用といった観測事実を基に、どのように分類できるのかを自ら考えながら理解してもらいます。 そして簡単な実験装置を使い、宇宙から飛来する素粒子、ミューオンを観測し、その実験結果から何が分かるか、考えてもらいます。ただ装置を使ってデータを解析するだけではなく、実験装置自体に改良を加えて、独自の観点から実験計画・実施し、検証をするという素粒子物理実験の、簡単な体験をしてもらいたいと思います。
成績評価方法	出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51312	A	STEAM 教育の実践～物理とアートの実験教室～	松本 悠	教養教育高度化機構	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	皆さんは、教える側に立ったことがあるでしょうか？友達に授業でわからないところを教えた、弟や妹の勉強を見てあげた、あるいは親にパソコンの使い方を教えてあげた、など色々あると思います。これらは知識や技術をピンポイントに効率よく伝えられますね。家庭教師や塾講師で授業した場合は？じっくり時間をかけて問題の解き方や考え方を教えられますね。ではさらに、最近増えてきた「実験教室」では、何を教えられる（伝えられる）でしょうか？「実験教室」ならではの、伝える内容・深さ・効率（効果）があります。それを議論し、目的を達成できそうな教材開発・授業計画を行い、実践し、検証するのがこの授業の目標です。 「実験教室」の内容は、科学は基本的に物理系で進めたいと思いますが、話し合って生物・化学系でも良いかと思います。一方で STEAM の”アート”は、根底にはリベラルアーツという意味の教養ですが、何を教養としてフォーカスするかはその都度目的を設定していかなくてはなりません。非認知能力の強化や、まさに芸術としての自己表現を取り入れた STEAM 教育になればと考えています。 実践の場は、埼玉県のとある地域の一般市民向け実験教室で、対象は小学生、日時は１０月、１２月、１月の日曜です。必須ではありませんが、極力１回は参加するようにしてください。詳細は授業でお話します。 サークルでも「実験教室」活動を精力的に行っているところもあり、実験教室で教える側に立った方もいるかと思います。それぞれの活動場所で、それぞれの目的があると思いますが、皆さんの知見を合わせ、さまざまな視点から実験教室を組み立てていきたいと思います。
成績評価方法	出席点を基本とします。その上に、題材への取組姿勢や、グループワークへの積極性、プレゼンテーションおよびレポートの内容を評価に加えます。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51313	A	茶わんの湯からホリスティックに科学を考える 科学・文化・感覚をつなぐ眼差しのトレーニング Lessons from a Tea Cup: Toward a Holistic View — Connecting Science, Culture, and the Senses	鹿島 勲、 堀 まゆみ	教養教育高度化機構	木 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

茶碗という小さな世界から、私たちは時空を超えた包括的な旅路へと歩み出す――普遍的真理を求め、多様性を受け入れ、あらゆる知識分野の洞察を織り合わせながら。
From the small world of a tea cup, we embark on a holistic journey beyond time and space — seeking universal truths, embracing diversity, and weaving together insights across all fields of knowledge.
==========
普段は特別に意識しない、何の変哲もない茶わんと湯。物理学者・寺田寅彦の名随筆「茶碗の湯」を起点として、素朴な疑問を大切にし、身近なものごとに潜む本質を、授業内の作業や実験を通じて科学的・多面的に考察します。本ゼミでは、こうした多様な要素を相互につなぎ合わせ、全体としての理解を試みる**「ホリスティック（全体的・統合的）な視点」**を重視します。ここでいう「ホリスティック」とは、学際的に知をつなぎながら、知性と感性のバランスを意識し、多面的な気づきを育む視点を指します。
本ゼミは、観察・実験・交流などの体験を通して、寺田寅彦的思考（身近な事象の本質を見抜く眼差し）を養うことを主目的として開講します。
【到達目標】
・科学的・批判的・創造的思考力の向上
・多角的な問題解決力の育成
・文化的・歴史的背景を踏まえた理解の深化
・生成 AI の自由な活用による探究・表現力の向上
【授業構成】
本授業は**オブジェクト・ベース・ラーニング（Object-Based Learning）**のスタイルで進行します。身近な「もの（object）」から始まるストーリーを通じて多面的な観察・分析・探究を行い、セメスター前半から後半にかけて対象を変えながら学びを深め、参加者それぞれが自分の問いを探します。
前半： 身近な対象（特に水・湯・茶）をテーマに、交流や体験、観察を通して多角的な視点を広げます。
中盤： 茶碗をテーマに、科学と技術・文化・歴史・経済・芸術の視点から探究します。異分野要素も交えながら進行し、ゲスト講師による講義や交流を予定しています。
後半： 前半・中盤の体験を基に、参加者は身近な「もの（object）」から始まるストーリーを考え、エッセイおよびルーブリックを執筆・作成します。生成 AI の自由な活用を推奨します。特にここ数年は、ホリスティック（全体的・統合的）な視点を創発し、読み手それぞれに響く文学的表現を可能とするプロンプトセットに関心を持つ参加者が多くいます。
【備考】
・エッセイやルーブリック執筆・作成も授業時間を活用して取り組みます。宿題はありません。授業時間外の作業は基本的にありません。
・授業にはテキスト入力が可能で、インターネットに接続できる端末をご持参ください。
【特別ゲスト回】
12 月 11 日（木）
「茶碗と科学」 片岡弘樹 （ノリタケ株式会社）
＊2015 年から今シーズンで 11 回目の人気回！
【ガイダンス】
初回授業は Zoom で実施します。
Zoom セッション情報は下記 URL から確認してください。
https://forms.gle/1SPqbo5xvyyX9g4m9
【問い合わせ先】
kashima+Lesson_from_Teacup@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
===[EN]===
An ordinary teacup and hot water that we usually take for granted. Starting from physicist Torahiko Terada's famous essay "Hot Water in a Teacup," we will cherish simple questions and examine scientifically and from multiple perspectives the essence hidden in familiar phenomena through classroom activities and experiments. This seminar emphasizes a "holistic (comprehensive and integrative) perspective" that interconnects these diverse elements and attempts to understand them as a whole. Here, "holistic" refers to a perspective that connects knowledge inter-disciplinarily while being conscious of the balance between intellect and sensitivity, fostering multifaceted awareness.
This seminar is offered to cultivate Terada Torahiko-style thinking (the ability to perceive the essence of familiar phenomena) through experiences such as observation, experimentation, and interaction.
[Learning Objectives]
Enhancement of scientific, critical, and creative thinking skills
Development of multifaceted problem-solving abilities
Deepening understanding based on cultural and historical contexts
Improvement of inquiry and expression skills through free use of generative AI
[Course Structure]
This course proceeds in an Object-Based Learning style. Through stories beginning with familiar "objects," we conduct multifaceted

observation, analysis, and inquiry, deepening learning by changing subjects from the first to second half of the semester, with each participant exploring their own questions.
First Half: Using familiar subjects (especially water and hot water) as themes, we expand multifaceted perspectives through interaction, experience, and observation.
Middle Phase: Using teacups as a theme, we explore from the perspectives of science, technology, culture, history, economics, and art. We will proceed by incorporating interdisciplinary elements, with lectures and interactions by guest speakers planned.
Second Half: Based on experiences from the first half and middle phase, participants consider stories beginning with familiar "objects" and write/create essays and rubrics. Free use of generative AI is encouraged. Particularly in recent years, many participants have shown interest in prompt sets that can create holistic (comprehensive and integrative) perspectives and enable literary expressions that resonate with each reader.

成績評価方法　80 点以上で合格

評価項目（配点）

・講師から出題された課題の回答・提出（25 点）
・講師から出題された課題のグループワークディスカッションへの参加（25 点）
・ルーブリック・キューブの活動記録の提出（30 点）
・ルーブリック・キューブのクラス内フィードバックへの参加（20 点）

===[EN]===
Pass grade: 80 points or above

Assessment Items (Points)

Response and submission of assignments given by instructors (25 points)
Participation in group work discussions for assignments given by instructors (25 points)
Submission of Rubric Cube activity records (30 points)
Participation in in-class feedback for Rubric Cube (20 points)

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51317	A	フェミニスト／クィア障害学	清水 晶子、井芹 真紀子	教養教育高度化機構	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　本授業では、性の政治とディスアビリティの政治を、両者の並列的な類似性においてではなく、重なり合いや交錯、衝突、交渉に焦点をあて検討する。フェミニスト障害学やクィア障害学の重要文献の講読を通じて、ジェンダー、セクシュアリティ、ディスアビリティに関する議論を適切に理解するための学問的基礎を身につけるとともに、これらの学問領域の間でなされてきた議論のどのような「接続」の仕方が、誰を／どの身体を見えなくするのか、あるいは誰を／どの身体の存在を可能にするのか、批判的に考察するための視座を養う。

成績評価方法　授業への参加・貢献度：30%
文献発表・構想発表：30%
期末レポート：40%
※全授業の 3 分の 2 以上の出席がない場合、単位を与えない。
※履修者の人数や理解度に応じて、授業内容および成績評価の割合が多少変更される可能性がある。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51318	A	サイバーフェミニズム	飯田 麻結	教養教育高度化機構	火 3	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　サイバーフェミニズムの歴史的な隆盛とその代表的な作品・プラットフォームを参照した上で、https://cyberfeminismindex.com/に掲載された文献を中心に、デジタル・テクノロジーとジェンダー、セクシュアリティに関する多角的な視点を獲得することを目的とする。その上で、同時代的な科学技術が身体に関する理解をどのように変容させているのか、具体的な事例とともに批判的に考察する力を身に着けることが望ましい。

成績評価方法　出席、ディスカッションへの貢献、授業内での発表(15 分程度)、期末レポートに基づき総合的に判断する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51319	A	脱植民地的フェミニズム／クィア研究	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 4	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	本講義では、「脱植民地的フェミニズム／クィア研究」をテーマに、主に東アジア地域に焦点を当てた学術論文を講読し、脱植民地化プロジェクトへの批判的参与を促すことを目的とする。 東アジアにおいては、19 世紀から 20 世紀にかけて、伝統的な華夷秩序が崩れ、「大東亜共栄圏」へと国際秩序が再編された。その中で、日本は帝国化を進め、北海道や沖縄、朝鮮半島、台湾といった地域に対する植民地支配をとおして、これらの地を近代化のプロセスへと巻き込んだ。この過程において、「性の政治」は日本の帝国主義および植民地主義のプロジェクトにおいて極めて重要な位置を占めていた。 1990 年代、グローバル冷戦の終焉以降、かつて植民地支配を受けた諸地域では、脱植民地化をめぐる議論が活発化した。一方で、敗戦後の日本は、脱帝国化を十分に果たすことなく、こうした議論に応答する言説や運動を欠いたまま、歴史修正主義の台頭を許してきた。 本講義では、(脱) 植民地主義および (脱) 植民地化の諸相を、ジェンダーやセクシュアリティの観点から批判的に検討する。受講生は、これらの議論を通して、脱植民地化のプロジェクトに自らの立場から参与するための視座を獲得することを目指す。
成績評価方法	授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51320	A	「ダイバーシティ/ Diversity & Inclusion」再考	福永 玄弥	教養教育高度化機構	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	近年、「Diversity & Inclusion（以下、D&I)」は、経済、政治、文化など多様な領域において注目を集めている。日本においても、2010 年代以降、「ダイバーシティ」への取り組みが広がり、企業では女性や性的マイノリティ、外国人といった多様な人材の「活用」が、「ダイバーシティ・マネジメント」というスローガンのもと推進されてきた。行政や自治体においても、いわゆる「同性パートナーシップ条例」の制定や、防災・減災活動にマイノリティの視点を取り入れる施策が、「ダイバーシティ」言説の下で展開されている。東京大学においても、2022 年に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を発表し、2023 年 4 月には教養学部において D&I 関連授業とセーファースペース（KOSS）を提供する「Diversity & Inclusion 部門」が設置された。 こうした D&I の実践は、国連が掲げる SDGs（持続可能な開発目標）や、近年注目を集めるフェミニズムや性的マイノリティの人権課題とも深い親和性を持つように見える。しかし、そもそも「多様性の包摂（Diversity & Inclusion)」とは、国家や組織に対していかなる変化をもたらし、あるいはどのような前提のもとに推進されるプロジェクトなのだろうか。「包摂（inclusion)」という概念は、「排除（exclusion)」と対をなすものであり、常にメンバーシップの境界をめぐるポリティクスを内包している。その意味で、誰が包摂の対象となるかには原理的に限界が存在する。したがって、特定の主体が「歓迎すべき構成員」として包摂される一方で、他の主体が「歓迎されない者」として排除されるとすれば、そこにはいかなる政治的力学が働いているのか。D&I の取り組みは、こうした構造的困難や政治的課題にいかに向き合ってきたのか。 この授業では、「ダイバーシティ/ Diversity & Inclusion」に関する理論・実証研究を学んだうえで、国連や特定の国家、自治体、大学、企業の関連施策を調査し、批判的に分析してもらう。これらを通して「ダイバーシティ/ Diversity & Inclusion」をめぐる近年の国内外の動向や問題を把握し、その課題を乗り越えるための批判的な視座の獲得を目指す。
成績評価方法	授業に対する貢献度（発表やディスカッションへの参加）を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51321	A	University of Tokyo – Accenture, “Hack the Future: Vision, Design, Action”	高橋 史子	教養教育高度化機構	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

＜Overview＞

Today’s world is marked by growing uncertainty—shaped by increasingly volatile macroeconomic conditions, rapidly evolving societal trends and consumer preferences, shifting geopolitical dynamics, intensifying impacts of climate change, and the accelerating advancement of disruptive technologies. In fact, between 2017 and 2022, business environment uncertainty has tripled. We now live in an era where “there are no clear right answers.”

Among these factors, the impact of disruptive technology is particularly striking. Services that were unknown yesterday can suddenly emerge and transform our lives. A prime example is the launch of ChatGPT in 2022, which has since sparked a wave of generative AI–powered services. By the time you start working, such tools will likely be so integrated into everyday life that it will be hard to imagine a world without them.

In a world without clear answers, even industry leading companies cannot guarantee the success of new products or services. According to Accenture research, when it comes to launching new businesses—especially those whose outcomes are uncertain until tried—only 6% of executives say they feel confident calling them a success.

So, what does it take to create successful new products and services? One key lies in identifying user-centric issues and insights—unmet or latent needs—and in building the capability to rapidly bring new offerings to market.

Accenture, one of the world’s leading consulting firms, has been helping companies across industries and around the globe bring new services to life. Drawing on this experience, this course is designed for beginners and aims to equip students with the fundamental techniques of creating new products and services—together with Accenture consultants.

Through the use of frameworks such as logical thinking and design thinking, students will identify and explore key challenges and insights, and generate ideas for the “future” that each wants. In the final presentation, students will use storytelling techniques—conveying business ideas as compelling narratives—to communicate their concepts.

＜Expected outcomes＞

- From the lectures on various themes, understand the situations of the “companies” that you may interact daily. Learn new techniques to investigate the situation.
- Deepen your thinking through discussion with your teammates.
- Get trained to define your own “guiding questions” and find answers for each.

  Examples of the “guiding questions”:

  ・How can I reduce the waiting time at a store I frequently visit?
  ・How can I encourage people who don’t usually go to the movies to want to visit theaters regularly?
  ・How can I make makeup more enjoyable and accessible for men?
  ・How can I express our reactions in Zoom meetings in a way that feels as natural as face-to-face conversations?
  ・How can I make crowded train commutes more enjoyable?
  ・How can I make the experience of waiting for trains at Komaba-Todaimae Station more comfortable, without reducing the number of users?

- Learn techniques to tell a convincing story to gain understanding from the audience.
- Understand skills and approaches required to accomplish the task when working as a team with diversity.

成績評価方法

Self-reflection form (80%)

- It is required to submit a filled form after the end of each lesson.
- You should reflect on what you learned each week. You may also share your questions or thoughts.
- Attendance of the lesson is only recognized if the form is submitted.

Final presentation (20%)

- Each student will make presentations on either Week 12 or 13.
- Each will identify a problem related to themselves that they wish to resolve.
- Lecturer (10%) and Accenture (10%) will determine the points.

  Evaluation points

  ・Is the presentation following the standard format and including all the topics to be covered?
  ・Was the story logical and convincing?
  ・Is the time managed well?
  ・Were all the questions answered clearly?

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51322	A	駒場で「食」を考える	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	この授業は身近な野菜の問題からスマート農業、そして海外の食品市場のことまで、「食」をキーワードとして文系・理系の枠を超えて学び合い、議論しあう授業である。最終的に、学んだ内容を活かし、グループで政策提言をまとめて発表してもらう。農業政策に関わる実務家をゲストに迎え、コメ、野菜、農村振興など多岐にわたるイシューについて、多角的な視点から検討する。
成績評価方法	授業へのコミットメントと課題によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51324	A	生活誌聞き書きフィールドワーク実習@南京	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 本研修は、中国・南京という都市に暮らす“今”の人びとの声を、現地で実際に聞き取り、それを書き留めることを目的としたフィールドワークです。 南京大学の学生たちとチームを組み、屋台のおじさん、団地に暮らす家族、個性豊かな雑貨屋を営むお姉さん、市場で働くおばちゃんたち――そんな「ふつう」の人びとの日常に触れ、その暮らしを観察し、対話を通してリアルな人生の断片に近づくことを目指します。そして、そこで出会った人びとの暮らしの声を、自分自身の言葉で書き起こし、「生活誌の聞き書き」というかたちで記録していきます。 本研修では、調査の問いを立てる段階から、実際の計画づくりに至るまで、履修生自身の企画力と行動力が求められます。テーマ設定からフィールドでのふるまい、取材手法、記録の方法に至るまで、担当教員とのチュートリアルを通して、一から自分たちで構想し、形にしていく力を養います。 現地での活動は、2026 年 3 月中旬から下旬にかけての約 1 週間を予定しています。それに先立ち、南京大学の学生とオンラインで打ち合わせを行い、どのようなフィールドに入り、誰に会い、どのような話を聞くかを共に計画していきます。なお、本研修は南京大学国際処・教務処の協力のもと実施されます。 【ガイダンス】 - 日時：：2025 年 10 月 14 日（火）17：30～18：00 - 場所：国際教育研究棟（KIBER）314 教室 ＊受講人数：10～15 名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。 ＊授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。 ＊駒場キャンパスから南京現地までの往復交通費、現地での活動費の一部は大学により負担する。参加費用に関してはガイダンスで説明する。 ＊講義に関する最新情報は LAP ウェブサイトを参照すること。問い合わせも、LAP ウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。 http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/ ＊開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。 【実施スケジュール】 - ガイダンス：2025 年 10 月 14 日（火） - 事前講義（対面）：2026 年 1 月下旬 - 南京大生との合同ミーティング、南京大学とのオンライン討論：2026 年 2 月から 3 月上旬 - 現地研修期間：2026 年 3 月 15 日（日）～3 月 22 日（日）（予定） - 作品提出：2026 年 4 月中旬
成績評価方法	以下のすべてに参加・提出することが単位認定の条件です。 - 事前講義・オンライン討論への参加 - 南京現地での全日程への参加 - フィールドワーク成果物（聞き書き作品）の提出
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51325	A	生活誌聞き書きフィールドワーク実習@高知	白 佐立	教養教育高度化機構	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
高知の職人や日曜市の経営者たちのライフストーリー、ものづくりや商いに込められた思考を聞き取るとともに、彼らの暮らしに密着するフィールドワークを通して、ミニマガジン（ZINE）の制作とルポルタージュの執筆に取り組んでもらいます。
高知は、とても不思議な場所です。経済的な統計上では、決して上位に位置する地域ではありません。人によっては「なにもない田舎」と思うかもしれません。
けれど、実際に足を運ぶと、「なにもない田舎」にしかないこと・もの・人に、たくさん出会うことになります。
毎週日曜日に300年以上続く定期市では、約300の店舗が並び、前日に収穫された農産物や手づくりの加工食品が、訪れる人々でにぎわう通りにずらりと並びます。
港近くの海産物加工場の直売所には、数時間前に水揚げされたばかりのどろめ（イワシの稚魚）が並び、山の上の小さな工房では、炭とかまどを使った昔ながらの方法で、1日70丁だけの豆腐が丁寧に作られ続けています。
県外には展開していない地元の飲食店の多くは、それぞれ独自のコンセプトをもち、個性的な空間づくりとともに、ゆったりとした時間のなかで美味しい料理を提供しています。
そして、海辺に並ぶビニールハウスでは、真夏の日中には80度にもなる過酷な環境の中、鋭くも優しいまなざしで塩と向き合う「塩杜氏（しおとうじ）」が、塩なのに甘い不思議な塩を生み出しています。
高知でしか出会えないものには、たしかな「エネルギー」が宿っています。
このエネルギーの正体は何なのか。
それを生み出している人びとは、どのような人生を歩み、どんなふうに今の暮らしを築いてきたのでしょうか。
この研修では、高知の「ふつうの暮らし」に流れる特別なエネルギーを体感し、そこで生きる人びとの声に耳を傾けながら、ただ話を聞くだけではなく、彼らと時間をともにし、その生活のリズムの中に入り込んでいきます。
その経験をもとに、2つのアウトプットに取り組んでもらいます。

———

① チームでミニマガジン（ZINE）を企画・制作する
② 個人でルポルタージュを執筆する

———

フィールドワークを通して出会った人々の声を、あなた自身の視点とことばで形にする。
「観光」ではなく、「記録」と「対話」を通して、高知のリアルを掘り起こしていく。
【ガイダンス】
・日時：2025年10月14日（火）12：20〜12：50
・場所：国際教育研究棟（KIBER）314教室
＊受講人数：10〜15名程度。履修希望者が多い場合はレポートによる選抜を実施する。
＊授業計画・方法：ガイダンス時に説明する。
＊駒場キャンパスから現地までの往復交通費、現地での宿泊費の一部は大学により負担することがある。参加費用に関してはガイダンスで説明する。
＊講義に関する最新情報はLAPウェブサイトを参照すること。問い合わせも、LAPウェブサイトの問い合わせ欄から行うこと。
http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/)]([http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/](http://www.lap.c.u-tokyo.ac.jp/ja/
【開講・作業期間】
・履修者はガイダンス、事前講義（対面講義）、フィールドワーク（2回）に参加することおよびフィールドワークの内容を作品化するものの提出が単位取得の必須条件となる。
・開講期間は①2025年11月下旬に4日間と②2025年2月下旬に5日間、2回にわたり計9日間のフィールドワークを行う。
・1回目にフィールドワークには南京大学からの短期留学生も参加し、本学の履修生と共に活動することとなる。
・事前講義、フィールドワークなどの詳細日程はガイダンスで説明する。

成績評価方法

・履修者はガイダンス、事前講義（日時未定）、フィールドワーク（2回）に参加することが単位取得の必須条件となる
・フィールドワーク、ディスカッションへの参加態度
・フィールドワークの内容を作品化するものの提出

教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51326	A	災害復興と法・社会	米村 滋人、 清水 亮	法学部	木 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	日本は世界有数の災害大国であり、地震・津波・火山噴火・台風・集中豪雨等による被害が頻繁に発生している。災害の発生後に問題となるのが、被災者・被災地域の復興である。復興支援は行政（政府や関係自治体）によっても担われるが、近年は、ボランティア活動や各種非営利活動等の民間の支援活動が重要な役割を担っている。この授業では、東日本大震災や能登半島地震などの実例を素材として、災害復興の現状と課題を知り、復興に向けた活動の意義やそのあり方を考えることを目的とする。同時に、われわれ自身が有意義な復興支援に従事するためにはどうすれば良いかについても、議論を交わしたい。
成績評価方法	平常点とレポートによる。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51327	A	社会科学のためのデータ分析入門	福元 健太郎	法学部	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	今日の社会科学においてデータを分析することは重要であり、需要も大きくなってきている。この演習では、後掲の教科書に準拠して授業を進め、政治を中心とした実際の社会データを素材としながら、データ分析を初歩から学んでいく。分析にあたっては R という統計分析フリーソフトを（RStudio というインターフェイスを通して）用いる。楽しみながらデータ分析の有用性を学び、初歩的なデータ分析ができるようになることが目標である。
成績評価方法	平常点 50 点、レポート 50 点。平常点は、出席回数、予習をきちんとしてきたか、授業中における発言の回数と内容、によって評価する。レポートは、自分でデータを分析したものを学期末に提出する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook エレーナ・ローデ、今井耕介（原田勝孝訳） 新・社会科学のためのデータ分析入門 導入編 岩波書店
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51333	A	Molecular Biology of the Cell 輪読ゼミ	菅谷 佑樹、 石川 俊平	医学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	主に駒場の 2 年生を対象とし、Molecular Biology of the Cell を英語で読むことで、生命科学を英語で学ぶ習慣を身につけ、さらにその基礎となっている原著論文を読む事が出来るようになる事を目標とする。本郷キャンパスで行う。1 年生も本郷キャンパスまで来られる方は参加可能とする。
成績評価方法	出席と上記のプレゼンテーションに基づいて評価を行う。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook Bruce Alberts, Rebecca Heald, Alexander Johnson, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, John Wilson Molecular Biology of the Cell 7th edition W W Norton & Co Inc;
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51335	A	『世界開発報告』を読む 2025A	森川 想	工学部	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	最新版の『世界開発報告』を会読します。講師は開発の専門家ではありませんが、開発を学ぶことは、先進国・途上国を問わず現代社会の課題を見つめることに直結すると考えています。報告そのものや、その根拠となっている文献をクリティカルに読み、議論することで、社会課題解決のために世界各国で行われているプラクティスの可能性や限界、科学技術（社会科学・自然科学）と公共政策の関係等について考え、見直す機会としていただければ幸いです。 ガイダンスは第一週に Zoom にて実施します。この日時に出席できない方は別途相談もできますのでその場合はメールでご連絡ください。
成績評価方法	議論への貢献
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51344	A	カーボンフリー社会のための燃焼の科学	鈴木 雄二、LEE MIN HYEOK、秋葉 貴輝	工学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	炎を使った料理が人類を人類たらしめたという説がある一方、最近では「モノを燃やすのは悪」という風潮が広まっています。「燃やす」という行為は必然的に環境に悪影響を与えるのでしょうか？本ゼミナールでは、カーボンフリー社会のための燃焼について講義と実験を通じて学びます。 近年、カーボンニュートラルの達成は緊急の課題となっていますが、国土が狭く平野の少ない日本では再生可能エネルギーで需要を全て賄うことは困難です。そのため、自然エネルギー由来の水素、あるいは水素の運び手としてのアンモニアをカーボンフリー燃料として海外から輸入し、火力発電所、工業プロセス、船舶などで燃焼させて用いるための取組みが精力的に行われています。 本ゼミナールでは、国内外のエネルギー事情、カーボンフリー燃料の燃焼、宇宙における燃焼についての講義と、燃焼の先端計測の実験を通じて、将来のエネルギー変換でさらに重要性が増す水素、アンモニア燃料について学習します。 --- ※このゼミは10月2日（木）6限（18：45～）にZoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	出席（全3回の出席が必須です）および発表会での評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51347	A	製品を分解してわかる環境問題	梅田 靖、三竹 祐矢、木下 裕介	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	製品を開発する際に、環境への影響を配慮して製品を設計することは今や当たり前のことになりつつある。この講義では、製品使用後にリサイクルを容易にするための「リサイクル性設計」に焦点を当て、実際の製品（液晶テレビを予定）を分解しながら、どのような設計上の工夫がされているのかを観察するとともに、「リサイクル」の仕組みについて学ぶ。 ※コロナウイルス感染症の情勢により、予定を変更する可能性があります。 --- ※このゼミは10月2日（木）6限（18：45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	講義中の積極性、レポートから総合的に判断する
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51350	A	化学・生命系 3 学科 全学自由研究ゼミナール 化学生命工学科「分子の世界に飛び込もう：化学と生命の最前線に触れる」	正井 宏、 大澤 毅、 川口 大輔、 津本 浩平、 鈴木 勉、 酒井 崇匡、 工藤 一秋、 野崎 京子、 岡本 晃充、 山東 信介	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学・生命系三学科(化学生命工学、応用化学、化学システム工学)の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。各研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間)。研究現場、討論などを体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。 【注意】本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。工学部合同説明会にて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 ※開講日・具体的内容は、授業計画欄参照。 ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）にオンラインで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。
成績評価方法	実験等への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51351	A	化学システム工学の研究を体験しよう！	小畑 圭亮、高鍋 和広、岸本 史直、HU PEIDONG、林 勇佑、SIMANCAS COLOMA RAQUEL、竹本 晶紀、山崎 友香理、杉山 弘和、脇原 徹	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	「環境・エネルギー・医療」を柱とする化学システム工学。本郷キャンパスの研究室に実際に入って、研究体験します。触媒化学とエネルギーの研究室（高鍋・小畑・岸本研）、環境浄化作用を持つ多孔性材料の研究室（脇原研）、そして医薬品の製造プロセス設計の研究室（杉山・Badr 研）が参加します。化学を基盤に、様々な知識をネットワーク状に組み合わせて、社会の実課題を解決し、あるべき姿を示す化学システム工学の真髄に触れます。 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	実習への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51352	A	生体を化学システムとして捉えてみよう！	太田 誠一、西川 昌輝	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	本ゼミナールは工学部の化学システム工学科の研究室の協力により実施する全学自由研究ゼミナールです。研究室において最先端の研究を体験し、化学・生命系分野に関する理解を深めてもらうことを目的としています。 原則教養学部の講義と重ならない日程、時間帯に各研究室に数人のグループで参加し、研究室の教員や大学院生の指導のもとに、ショートコースの研究プログラムにしたがって実験・研究を行います。実際にゼミを行う日程、時間帯は受講決定後、受講生と受け入れ研究室との相談により決定します（3~4 日間）。研究を体験できる貴重な機会ですので、多くの方の参加をお待ちしております。なお、この本ゼミは入門編ですので、高度な専門知識は必要ありません。対象クラスは 1 年 理科です。本講義を受講するためには、履修届提出のみではなく、別途申込が必要です。ガイダンスにて申込方法をアナウンスするので、必ずそれに従い申し込んで下さい。 【ガイダンス】 ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	実習への参加により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51357	A	生成 AI 活用講座	吉田 塁	工学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【概要】
本授業は、知識 0 の人でも生成 AI を使いこなして、自分の学習・研究・創作活動を飛躍的に効率化できるようになることを目指します。ChatGPT、Claude、Gemini などの最新の生成 AI ツールの特徴を理解しつつ、自分の専門分野や興味関心に合わせてどのように活用していくのかを実践的に学びます。最終的には、最も効果的だと思われる生成 AI の活用例を各自に検討してもらい、発表してもらう予定です。
具体的には、第 1 回では授業の概要と生成 AI の概要について学びます。第 2 回から第 7 回では、プロンプトエンジニアリングから各種コンテンツ生成まで、生成 AI の多様な活用方法を学びます。第 8 回と第 9 回では、生成 AI の仕組みや倫理・リスクを学びます。第 10 回からは各自での活用例の検討に入り、中間発表を行い、それをふまえた発表の改善、そして最終発表を行います。
生成 AI は単なるツールではなく、皆さんの知的生産性を何倍にも高めるパートナーです。プログラミング、文章生成、デザイン制作、データ分析など、あらゆる分野で活用可能な生成 AI のスキルを学生の間に身に付ければ、みなさんの強力な武器になると信じています。是非、この技術を使いこなして、最強の生成 AI 活用術を見つけましょう！
【教員】吉田塁
東京大学大学院工学系研究科准教授。文部科学省 学校戦略 DX アドバイザー。博士（科学）。専門は教育工学（アクティブラーニング、生成 AI、オンライン学習、ファカルティ・ディベロップメント）。2022 年 11 月に ChatGPT が登場して以来、生成 AI が教育に与える影響の大きさを鑑みて、独自オンライン講座の公開、各所での講演・研修 60 件以上を行う。また、令和 6 年度には「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関する検討会議」の委員として、「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン（Ver 2.0）」の改訂に携わった。他にも生成 AI に関する研究業績、ポータルサイトとコミュニティの運営など「教育における適切な生成 AI 利活用に向けた多面的な取り組み」が認められ、日本工学教育協会 第 29 回（2024 年度）工学教育賞（業績部門）受賞。
【補足】
・この授業では、受講生が互いに学べることが多いと考えるため、ペアワークやグループワークを行う機会を多くつくります。
・各自 PC（Windows, Mac, Linux）またはタブレット端末を用意してください。

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　授業への参加率、中間発表、最終発表をもとに総合的に評価する
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51382	A	江戸時代の史料を「読む」	村 和明	文学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

①史料の書き手の意図を把握した上で、さらに背後にある意図や構図を想定できるようになること。
歴史学では、過去の人間が残した痕跡を元に、過去の復元を試みる。こうした痕跡を、歴史の材料という意味で「史料」と呼ぶが、この史料を「読む」ことが、まず研究の第一のステップとなる。
「読む」とは、書かれている文章が何を述べているかを把握することを第一段階とするが、さらにそれに加えて、書き手が暗に主張していることや、当時の通念など、読み取ることができる情報は奥深く、果てしがない。
こうした感覚と技量（しばしば「行間を読む」などと表現することがある）は、必ずしも歴史学を修めるつもりがない者にとっても有用であると思われる。
②江戸時代の日本で、標準的な文体で書かれた文章が読めるようになること。
①の前提として、まずは過去の言語で書かれたテキストを、辞書などを利用しながら解読し、書かれている内容をひとまず翻訳できるようになることが求められる。
本ゼミナールでは、江戸時代の各種の文体のうち、手続・契約・訴訟など、広く公式な文書に用いられた文体（「候文」という）で書かれた史料を用いる。典拠としては、オンラインで利用できる、もしくは駒場の図書館に所蔵されている、活字の史料集を適宜用いる。

成績評価方法　平常点（発表および討論への参加）による。
人数によってはレポートを課す可能性もある。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51393	A	パターン形成と分岐理論	三竹 大寿	理学部	月 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	常微分方程式の定性的理論について学ぶ．特に常微分方程式の平衡点や周期点の安定性や分岐理論の入門的な内容を学ぶ．生物のパターン形成を説明する重要な体系的理論の一つでるチューリング理論を学ぶための準備にあたる．授業形式は学生主体のゼミ形式で教科書「パターン形成と分岐理論，桑村雅隆著」を輪読する．
成績評価方法	通常の授業に対する取り組み方，発表内容に応じて評価します.
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 桑村雅隆 パターン形成と分岐理論 --自発的パターン発生の力学系入門-- 共立出版
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51394	A	可換環論入門	高木 俊輔	理学部	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	可換環とは，加法（足し算・引き算）と可換な乗法（掛け算）が定義された集合のことである．整数全体のなす集合や複素数係数の n 変数多項式全体のなす集合がその典型例である．可換環論の起源は，18 世紀後半から 19 世紀初頭の代数的整数論並びに代数幾何学にあるといわれている．現代的な可換環論の始まりは，Emmy Noether が 1921 年に発表した論文の中で，所謂ネーター環に相当する概念を定義したときであろう．その後，Wolfgang Krull は 1928 年に発表した論文の中で Krull 次元を定義し，Krull の標高定理を証明した．さらに Krull は，正則局所環，局所化，完備化などの概念を導入するなど, 可換環論の礎を築いた. Krull によって予想された完備局所環に関する一連の予想は, 1946 年 Irvin Cohen によって完備局所環の構造定理として結実した. この講義では, 20 世紀前半の可換環論のハイライトである, この Cohen の構造定理を紹介することを目標とする.
成績評価方法	出席およびレポートによる.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51395	A	数論講義の輪読	今井 直毅	数理科学研究科	水 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	Jean-Pierre Serre の数論講義の輪読を通して、関連する数学や、セミナーの行い方を学ぶ。
成績評価方法	セミナーにおける発表や参加により評価する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook J.-P.セール（ 彌永健一） 数論講義 岩波書店
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51396	A	Agric. Scientists Studio Interview	潮 秀樹、 小南 友里、 田中 智、 五十嵐 圭日子、 渡邊 壮一	農学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	皆さん、それぞれの科学者あるいは科学に関連する仕事に就いている方々は、どのような経緯で、どのような仕事をすることになったのでしょうか？また、それで何を実現し、どのような未来を描いているのでしょうか？本講義は、そんな疑問に応えるために、科学者あるいは科学に関係する仕事に就いている方々にインタビューを試み、皆さんに、インタビュー記事を書いてもらい、science communicators としての新しい経験を積んでもらうことを目標としています。 本講義は、One Earth Guardians（OEGs）育成プログラムのメンバーが中心となって企画する講義です。本年度は、農学関係する領域で活躍している科学者や関連分野のしごとに就いている方々に、インタビューを受けていただきます。それぞれの方々のインタビューや仕事の内容の調査を通じて、それぞれの方の過去、現在、未来をシェアし、これらをまとめて科学者としての 5W1H を記事にすることによって確認する、そして、これらを自分のこれからの道に生かしてもらうことを最終ゴールとしています。
成績評価方法	出席とインタビュー記事の執筆、発表
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51398	A	伊豆に学ぶプラス A 上級編 「感じる・考える・行動する」サイクルの発動	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この自由研究ゼミは対面で実施します この講義の最大の目標は、伊豆ゼミ運営に関わる学生スタッフの育成と組織化である。学生スタッフとは一ゼミ生でありながら、伊豆ゼミをよく理解するファシリテータとしてゼミにおいて自律的に活躍してゼミの目指すべき方向性を示す、伊豆ゼミの中核となる存在である。大役であればこそ、大きく成長する機会となるであろう。大役と聞いてちょっと尻込みする貴方・貴女へは、「それができる様に育てるのがプラスの講義です」「案ずるより産むが易しです」と励ましたい。 この講義のもっと具体的な目標は、全学体験ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」の事前講義と事後講義を企画・運営することである。その背景には、伊豆に学ぶへのより深い理解が重要であることは言うまでもない。 本講義「伊豆に学ぶプラス上級編」は、伊豆ゼミの果実を確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論することを大切にする。最近の若者を支配する「空気を読む」ことを強要するような雰囲気には、異を唱えたい。同じるばかりに気が行っては、自由にとことん議論して真に和するということがないのではないかと心配になる。和して同ぜず。色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知ることを実現する「場」を本ゼミに具現することを目指す。受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として環境保全に取り組むべきと強く意識できることを期待する。学生が主体となり、自由に学ぶ「場」を実現すること、それが全ての伊豆に学ぶシリーズに共通する理念であり、伊豆に学ぶプラス生（上級編）が果たす役割である。総合大学ならではの面白さを追求したいと考えている。 ---------- ※このゼミは１０月６日（月曜日）18：45～19：45 に Zoom で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日周知いたします。 ----------
成績評価方法	授業態度、取組姿勢を重視し、プレゼンテーションとファシリテーションの質を評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51399	A	獣害問題とは何の問題か A （自由自主の企画系ゼミ） ～獣だけの話ではない。見えにくい防災問題や国土荒廃の連環～	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	このゼミの目的は受講生の皆さんの自由自主によって、課題を自分事として捉える力・何をなすべきかを考える力・実際に企画して行動する力を涵養することです。 そのために、学園祭に企画を立ち上げてもらいます。 有意義な企画を学園祭に立ち上げ、実施するまでを本ゼミの括りとします。 これを本ゼミ生となる大前提とします。 学園祭で他の企画で忙しい人は、残念ですがこのゼミを受講することはできません。 講義タイトルにはあえて「獣害問題」と書きました。 なぜ近年野生動物と人との軋轢が増しているのでしょうか。 「オオカミを絶滅させてしまったからシカやイノシシが増えている。他所から捕食者オオカミを再導入すればこの問題は解決する」 という話を耳にすることがあります。 オオカミの再導入で問題は簡単に解決するのでしょうか？ 問題はそれほど単純ではないと思われます。 オオカミを再導入する前に、なぜ日本人はニホンオオカミを絶滅させてしまったのかということにはしっかりと向き合う必要があるはずです。 ニホンオオカミと日本人との間に軋轢があり、その結果としてニホンオオカミを絶滅させることになったのであれば、他所から再導入するオオカミと私たちとの間に軋轢が生じないことを前提に話を進めることは合理的ではありません。 現代社会は複雑であるがために、私たちを取り巻く様々な関係が希薄になっています。それがために、諸処において自分と対象物・対象事象との繋がりに実感が伴いません。その結果として当事者意識を持てないことになってしまい、それが問題をさらに深刻化させているという、負のスパイラルの見本の様な状態と言えます。体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」ではこれらの気付きを得た学生さんが多数います。 ゼミ中に得たその「感覚」も、そのまま放置すると、あっという間に風化してしまいます。それは実にもったいないことです。 本自由研究ゼミナールは、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」「森に学ぶ」とは少し違う角度から本件について考察を深めていきたいと考えています。違う角度とは何か？このゼミナールでは自律的に企画することにより、体験ゼミとは違った視点得て、発信することを通して深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 講義タイトルにはあえて「獣害問題とは何の問題か」と書きました。 もちろん獣が悪いという単純な話ではないと、皆さんも思っているはずです。 では、どういう問題なのか？ 正解を導き出すことよりも（そもそも正解というものが存在するのでしょうか？）、どういうこととリンクしているか紐解く姿勢が重要なのではないか。 オオカミを再導入して、シカの頭数が減れば、大団円ということになるのでしょうか。 オオカミによる新たな獣害が生まれる危惧はないのでしょうか。 このゼミナールでは自律的に企画することが重要になります。自分から社会に発信することを通して、深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。 この自由研究ゼミの目標は「獣害問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目標としてしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることが目的になってしまうからです。 複雑な問題に対して何とか「解（のようなもの）」を捻り出して政策提案することではなく、複雑な問題とじっくりと向き合い、向き合ったことを社会に向けて発信することを目的とします。 このゼミでは五月祭・駒場祭に「日本は林業を放棄してよいのか」と発信する企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。 学園祭企画を創作していきましょう。 ※少し気になった方は、ガイダンス（初回講義）だけでもどうぞ。 ※学園祭に自分たちの企画を出展することが本ゼミの最終課題です。そこに参加する積りが無い方は受講できません。 --- ※このゼミは１０月６日（月曜日）18：45～19：45 に Zoom で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日周知いたします。 ---
成績評価方法	授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51400	A	日本は林業を放棄してよいのかA （自由自主の企画系ゼミ） __日本国民は国土面積の２５％に及ぶ人工林をどうするつもり？	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

このゼミの目的は受講生の皆さんの自由自主によって、課題を自分事として捉える力・何をなすべきかを考える力・実際に企画して行動する力を涵養することです。
そのために、学園祭に企画を立ち上げてもらいます。
有意義な企画を学園祭に立ち上げ、実施するまでを本ゼミの括りとします。
これを本ゼミ生となる大前提とします。
学園祭で他の企画で忙しい人は、残念ですがこのゼミを受講することはできません。
冒頭に漠然とした話をしましたが、「課題・切り口」として本ゼミでは「日本は林業を放棄してよいのか」という設定にしてあります。
日本は国土面積の 7 割近くが森林で覆われています。その４０％に当たる１，０００万 ha が人工林です。人工林は管理をし続けないと、健全性を保つことができず、また、収穫し、再造林しなければ若返り（更新）が担保されません。それらを担うのが林業です。
その林業を日本は放棄して良いのでしょうか？
林業を取り巻く環境は非常に厳しいものです。現在の日本において、林業には全方位に解決しなくてはならない問題があると言っても過言ではありません。林業従事者が少ない問題、森林所有者の問題（５００万ｈａにおよぶ森林が私有地であり、所有者の３／４は５ｈａ以下の小面積所有、そして所在不明案件が１０万件に及ぶなどの問題)、獣害の問題、コストの問題（大型草本の問題や獣害の問題とも関係する）など、枚挙すれば切りがありません。

そういった状況にある「林業」について考えてみたい、考える必要を感じる、重要なんだろうけどどこか他人ごとになってしまう、という普通の東大生に「皆で考える」場を提供するゼミにしたいと思っています。
それらについて、ただ考えるだけでなく、考えたことを交流させる「場」を本ゼミに実現させて、それを拡大して学園祭にも「場」を作り広げることを一つの具体的な目標とします。
そういった問題一つ一つへの理解と、社会全体に理解を広めることが、日本が林業を手放すという選択肢を選択しないために不可欠なことなのでしょう。
企画系自由研究ゼミはこれまで、学園祭においてイノシシピザやイノシシソーセージの燻製を来訪者に提供する取り組みを通して、体験ゼミ「伊豆に学ぶ」で扱ったイノシシ被害の問題が南伊豆地域に存在していることを伝えてきました。
その活動を発展する形で、垣根を低く設定して林業についてじっくり考えて発信するゼミを立ち上げることにしました。
講義タイトルにはあえて「日本は林業を放棄してよいのか」と書きました。もちろん放棄してよいとは考えていません。
このゼミナールでは自律的に企画することが重要になります。自分から社会に発信することを通して、深く考える力や行動する力を涵養してもらいたい。
この自由研究ゼミの目標は「林業問題」の解決に向け政策提案することではありません。政策提案することを目標としてしまうと、あたかもその提案によって解決できるかの如く話をまとめることが目的になってしまうからです。
複雑な問題に対して何とか「解（のようなもの)」を捻り出して政策提案することではなく、複雑な問題とじっくりと向き合い、向き合ったことを社会に向けて発信することを目的とします。
このゼミでは五月祭・駒場祭に「日本は林業を放棄してよいのか」と発信する企画を打ち出します。問題の本質が何であるのかを一緒に考えるきっかけを提供するのがこの企画の狙いです。
学園祭企画を創作していきましょう。
※少し気になった方は、ガイダンス（初回講義）だけでもどうぞ。
※学園祭に自分たちの企画を出展することを本ゼミの最終目標とする

※このゼミは１０月６日（月曜日）18：45～19：45 に Zoom で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日周知いたします。

成績評価方法　授業中の取り組み姿勢、企画立案および企画実行の取り組み姿勢、責任ある行動を重視する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51410	A	現代中東基礎講座 II	鈴木 啓之	スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座	金 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【授業の目的】
この講義では、現代中東の諸相を横断的に学び、現代社会を理解するための基礎教養を身につけていきます。
【到達目標】
目標① 中東地域で起きた出来事について、具体例を 3 つ以上挙げて説明することができる。
目標② 中東地域での事象を事例として、自らの意見を述べることができる。
目標③ 関連する 3 点以上の言葉を、因果関係で結びつけて整理し、示すことができる。
目標④ 任意のテーマについて、関連するキーワードを 3 点以上用いて論述することができる。
目標⑤ 自らの関心に引きつけて、中東地域の具体的な事象を論じることができる。
目標⑥ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる。

成績評価方法

・以下の 3 点の項目から評価します
1．エントリー得点（受講者得点です）（5 点：達成目標の①、②に対応）
2．ボーナス課題 （各 10 点を加点：達成目標の③に対応）
3．学期末プレゼン （45 点：達成目標の④、⑤、⑥に対応）
・上記を総合して以下の基準で評価します
（合：50 以上、否：49 以下、#：評価なし）
・100 点満点ではないので、奇妙に見えるかもしれませんが、得点が 50 点を超えれば「合」、下回れば「不合」とします

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51411	A	生命の普遍原理に迫る研究体験ゼミ	石原 秀至	生物普遍性連携研究機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 東京大学生物普遍性連携研究機構（Universal Biology Institute, UBI）に関連する研究室で研究体験型のゼミをおこなう。生命科学の進展により、我々は生体内で起こる分子レベルの反応の詳細や、それに関わる分子種についての膨大な知識を集積してきた。一方で、それら分子が総体として織りなす「生きている状態」とは、そもそもどういう状態なのか？そして、そのような状態を特徴付ける法則や原理は何か？このような基本的な問題について、我々人類はまだほとんど理解できていない。この問いは生物学のみに閉じた課題ではなく、現象の記述と理解に必要な数理科学の発展や、新たな実験・計測技術の開発を必須とする。この意味で現代生命科学は科学諸分野のフロンティアを押し広げるとともに、これらを再統合する現場ともなっている。UBI では、生物に共通する普遍的な法則とメカニズムの解明を目指し、従来の生物学の枠を越えて、数理科学、理論物理、分子生物学、生物物理学、進化生物学、有機化学、ナノバイオテクノロジー、細胞イメージングなど、広範な分野の研究者が共同で研究に取り組んでいる。 本ゼミでは、通常の学生実験や授業とは異なる、最先端の科学研究の現場を体験する機会を提供する。履修者は下記のいずれかの研究室に配属し、学問分野の垣根を越えた、分野横断的な科学研究に触れながら、基本的な実験技術やデータ解析手法を学習したり、数理演習や計算機実習を通じて理論研究の基礎を学んだりする。未知の分野にチャレンジし、将来的に自ら新しい分野を開拓していこうと思う意欲的かつ野心的な学生を歓迎する。 担当教員と研究テーマ 【駒場キャンパス】 澤井 哲: 細胞性粘菌の 3 次元形態と細胞アセンブリーの解析 若本 祐一: 細胞表現型ゆらぎと適応・進化の関係を探る実験研究 道上 達男: カエルの胚発生への力の関与を調べる 豊田 太郎: 人工細胞観察デバイスを微細加工技術で創って，人工細胞を実際に観察する 市橋 伯一・金井 雄樹: 最小の進化する DNA 複製系を作ってみよう 石原 秀至: 生命現象を数理モデルで調べてみる 大泉 匡史: 脳活動の動的モード分解 晝間 敬: 根圏糸状菌により誘導される植物成長促進効果に関する実験的研究 小林 徹也: 生体情報処理を数理とデータから考える(駒場 II キャンパス) 【本郷キャンパス】 古澤 力: 進化過程の計算機シミュレーションによって何が解るか? 岡田 康志: 顕微鏡を作って生きた細胞を計測する 竹内 一将: バクテリア集団現象に潜む物理原理を抽出しよう！ 伊藤 創祐:(広義の)生体システムに関する理論物理の研究 杉村 薫: 生き物の形とパターンの力学 豊島 有: 線虫の神経活動と行動の解析 最新の情報は以下を参照。 https://rcis.c.u-tokyo.ac.jp/education/ ガイダンス：2025 年 10 月 8 日(水) 12:10 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/87498467706?pwd=wWl0uKOsf4nUyzYgZMa7YFxwhLAIwF.1 ミーティング ID: 874 9846 7706 パスコード: 969815
成績評価方法	研究への取り組み方、研究の達成度、報告会での発表等から総合的に判断する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51412	A	※詳細は UTAS をご確認ください	吉本 敬太郎、 加納 純子、 晝間 敬、 末次 憲之、 北西 卓磨、 野本 貴大、 谷崎 祐太、 長谷部 政治、 佐藤 守俊、 道上 達男	教養学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	※詳細は UTAS をご確認ください						
成績評価方法							
教科書							
ガイダンス							

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51413	A	異文化間能力・葛藤解決能力養成実践講座ーケーススタディと AS トレーニングを通して学ぶ―	園田 智子	教養学部	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
授業の目標概要	現代社会において、人々は国境や文化的背景を越えて日常的に接触し、協働する機会が急速に増加しています。こうした多文化的環境では、価値観や行動様式の違いに起因する摩擦や誤解、対立（＝異文化間コンフリクト）が生じることは避けられません。しかし、それらの衝突は「トラブル」ではなく、互いの文化理解を深め、共生への道を切り開く契機ともなり得ます。 本講義では、異文化間における対立の構造や原因、そしてその対処法について、異文化間コミュニケーション学の視点から、理論的知見と実践的スキルの両面を学びます。ケーススタディ、ロールプレイ、アサーション・トレーニング、さらには異文化の現場で活動するゲストスピーカーの講話などを通じて、異文化的状況下での対話力と問題解決力を高めることを目指します。 将来、国際的なフィールドでの活躍を目指す学生はもちろん、多様性に富む現代日本社会で他者と協働して生きていくすべての学生にとって、必須の素養となる「異文化間能力」を養う実践型の授業です。 本講義の具体的な目標は以下の通りです。 １．異文化間の価値観やコミュニケーション様式の違いを理論と実例を通じて理解する ２．異文化間で生じるコンフリクトの背景・構造・心理的要因を分析する力を身につける ３．異文化状況において、自他を尊重しながら自己表現できるアサーティブな態度を育てる ４．ロールプレイ・実践演習・ゲスト講義などを通じ、現実世界の対立に対処する実践力を高める ５．自分自身の文化的価値観を内省し、多様な立場を理解・尊重する姿勢を身につける					
成績評価方法	１．講義ごとの小課題（40%） ２．個別・グループ発表及び提出レポート（40%） ３．授業やグループワークへの参加度・貢献度（20%）					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts 久米昭元他 ケースで学ぶ異文化コミュニケーション 有斐閣選書 97846412811 ※毎時資料を配布しますので、本を購入する必要はありません。					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51414	A	地球社会におけるリアリズムの探求 II	馬路 智仁	教養学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	この授業では、グローバル化した地球社会における今日的問題を論じた英文記事を分析し、議論を重ねることで、どのような分野に進もうともその基礎的体力となる、知識と情報分析能力、そして「自立した思考」の獲得を目指します。誰かの受け売りではなく、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の言葉で表現する能力（仮に「思考のリアリズム」と呼びます）を培うことが、本授業の最大の目的です。同時にこの授業では、 ● 現代的課題をめぐる英文記事の分析を通じて、この世界で何が起こっているか、この世界はどのような方向に向かおうとしているかを知り、日本の位置を相対的に捉える視点を獲得すること、 ● 思考のリアリズムを培い、独立した個、そしてその表裏として、他者を正面から理解し協働する能力を養うこと、 ● 今後それぞれの進路においてリーダーシップを発揮する人材となるための知的体力を身に着けること、を目標とします。 なお本ゼミは、履修人数を 18 名前後に制限します。そのため選考を行いますので、「履修上の注意」を読んでください。
成績評価方法	授業での報告・ディスカッション、論考を基に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51419	A	※詳細は UTAS をご確認ください	伊東 乾	情報学環	火 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	※詳細は UTAS をご確認ください
成績評価方法	
教科書	
ガイダンス	

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51420	A	研究入門：現代社会を深堀りする （情報学環・開沼博ゼミ）	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

◆本ゼミの概要
このゼミでは社会学・社会心理学・メディア論やその周辺領域の知見をベースに、政治・経済・文化・科学技術・医療福祉・教育等多様な領域を越境しながら現代社会の流行や課題、あるいは普段は意識されていないが多くの人が目撃しているはずのテーマをとりあげます。
◆そもそもゼミって？
この「研究入門」の受講者には情報学環・開沼研究室が主催するゼミに参加していただきます。
（ゼミといっても色々ありますが）ここでいうゼミとは、担当者のプレゼンテーションと、それを元にした参加者同士でのディスカッションで構成される形式の授業を指します。講義を聞く、書籍を読む、それによって知識を補完したり体系的に理解したりするという勉強方法ではなく、参加者が調査や実験を自らの手で進めて得られた知見と、それについての質問やコメントとで成立します。
◆どんなテーマを扱う？
具体的に 2025 年度 A セメスターでとりあげるテーマは以下を想定しています。
・アニメは現代人を救うのか：聖地巡礼・ボーカロイド・Vtuber・生成 AI・災害復興等に注目して
・海外マスメディアは日本をいかに描いているのか
・ももクロファンとウェルビーイング
・日本の新宗教の信者とコミュニティの現場
・東京の最先端はいまどこにある：クラフトカルチャーの現在地
・訪日外国人から見える日本社会の特異性
・「風評」が生まれるメカニズムとは
・富裕層はどんな人とつながり、何を楽しみに生きているのか
といったことを時間の限り扱っていきます。
◆何を学べる？どんな力がつく？
上記のテーマを見て何を感じるでしょうか。
全てではないにしても、どれかは面白そうだなと思ってくれる人もいるでしょう。
一見軽薄に見えるかもしれないし、「そんなの学問の対象としてよいの？」と思うかもしれません。
ですが、これらは立派な学問であり、現代社会を論じる上で避けては通れないといっても過言ではない、価値ある研究対象です。
まず、上記のテーマを見て、これは面白そうだなと思えるならば、それぞれのテーマについて深く学ぶことができます。ただそれ以上に学べることは「研究とはなんぞや」ということです。
このゼミでは「学術的な研究とは何か？どういう方法や観点で進めていけばよいのか？」ということに触れ、論理的思考はじめ未知のことにどう向き合うかという点で必要なスキルを学ぶことができます。
人によっては、普段学んでいること、3 年生から学ぼうとしている専門領域とは離れていると思う人もいるかもしれませんが、それでも「学術的に研究をする」ということの根本は同じです。
現代社会を深堀りするということは、身近で具体的なことを扱うということにつながります。それ故、「研究」にふれる機会がまだ少ない学部生に、「研究」とはいかなる営みなのか、学んでもらいやすい内容でもあります。
※ガイダンスは担当教員の他の A セメ開講科目の内容とあわせてオンラインにて実施します。日程・URL は改めてお知らせします。

成績評価方法

以下の割合で評価します。
▼ゼミでのコメントシート記入＆グループディスカッション参加 １００％
毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。
ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51421	A	AI と社会――科学技術から読み解く社会と文化	久野 愛、LEE MINJOO、OH SUNJIN	情報学環	水 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　AI をはじめとする高度なデジタル技術の進展は、民主主義や資本主義、ジェンダー規範など、社会制度の変容をもたらすだけでなく、死生観や身体性、感覚、親密性といった根源的な生のあり方にも深い影響を及ぼしている。こうした技術的変容を前に、私たちはそれに単に受動的に反応するのではなく、思想的かつ実践的な応答の可能性を模索することが求められている。
本ゼミナールでは、「科学技術と政治経済」「デジタル疎外と死後産業」「身体・感覚と AI」「AI とジェンダー」などのトピックを通して、現代の科学技術と社会の関係を多角的に検討する。さらに、複数回にわたってゲスト講師を招き、トピカルな専門的知見との対話を重ねることで、理論と実践を往復する。技術が不可避的に組み込まれていく現代社会において、望ましい技術と人間の関係とはいかなるものか、その可能性を共に考え、描いていく場を提供する。
成績評価方法　議論への参加度（50%）＋レスポンスペーパー（50%）
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51428	A	ボーカロイド音楽論	稲見 昌彦	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要　「ボーカロイド音楽論」を、稲見を代表教員とし鮎川ぱて氏によるリードで開講します。
本講義は、現代日本の音楽状況の中でもっとも重要な存在感を示す「ボーカロイド（ボカロ）」を用いた音楽群の分析を通して、音楽自体の本質に迫ろうというものです。「アンチ・セクシュアル」というキーワードが、講義のひとつの軸になっていきます。
最初に「ボーカロイド音楽シーンの中で人気を博したのが、ラブソング群ではなかった」という事実に注目します。かつて音楽評論家の湯川れい子さんは「人間は、思春期を迎えるとラブソングを求めるようになる生き物なんです」と語りました。果たしてそうでしょうか。ボカロシーンでは、恋愛などの通念を自明とはしない感性を持った曲ーーアンチ・ラブソングが人気を集めました（ex.「ラブという得体の知れないもの」）。人によっては厨二病的とも言うその感性の内と外を、フランスの人文学者ミシェル・フーコーの議論を参照しながら考えていくところから講義はスタートします。
講義全体の 1/3 以上を、ジェンダー／セクシュアリティの議論が占めることになります。フェミニズム、LGBTQ をはじめとする性の多様性理解、クィア理論など、ジェンダー論の基礎を知ることはもちろん、それらが先端工学と関わった先にある、新しい身体論（身体情報学）を考えることにも、本講義は役立つはずです。
主なアプローチ手法は、記号論、ジェンダー論、精神分析ですが、駒場と言えば、リベラルアーツ。前記の人文科学的手法に留まらない領域横断的な分析を試みます。
ボカロは老若男女、すべての人を受け入れるシーンですが、その上で、やはり主役は、若いみなさんだと思っています。みなさんが当事者として立ち会い、そしていまだ深度のある議論が少ないボカロカルチャーこそは、そのような批評の対象とするに最適です。
ボカロ、表現、科学、ジェンダー。これらのうちどれかひとつにでも高い関心を持っていれば、どの立場の人も主役です。ボーカロイド音楽についての前提知識は必要ありません。科類も問いません。「感覚を思考の俎上に載せること」を恐れないあなたの参加をお待ちしています。
＜鮎川ぱてプロフィール＞
ボカロ P／音楽評論家
／東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程（身体情報学分野 稲見・門内研究室）
／東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 非常勤講師
／16～23 年度 東京大学教養学部非常勤講師として「ボーカロイド音楽論」を開講
／25 年 ロンドン・バービカンセンターにて国際共同作品 TRANS VOICES, ILĀ & MONOM, with contribution from Patty Ayukawa「UN/BOUND」を発表。受講生も制作に参加。
https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/news/report/page_00389.html
成績評価方法　出席および、中間提出物と学期末レポートなどで評価する。
教科書　次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
鮎川ぱて
東京大学「ボーカロイド音楽論」講義
文藝春秋
4163913629
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51429	A	読み紡ぐ政治学・読み破る政治学 －多読・乱読・精読そして議論を楽しむゼミ－	牧原 出	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	このゼミは対面で行います。説明会もまた第一週に対面で開催します。もっとも体調など個々の学生の状況に応じて、オンラインでの参加を認めてハイブリッドで開催することもあります。なお、授業前にオンラインでの講義や打ち合わせがある学生については、東大先端研の牧原研究室でオンラインで視聴するスペースを用意しますので、事前に申し出た上でオンラインの打ち合わせなどに参加した上で、対面のゼミに参加して下さい。 牧原研の YouTube チャンネルに、ゼミの概要を配信していますので、そちらをご覧ください。 URL は https://www.youtube.com/channel/UCjmHAPyMqKTnE1NKAK_k6hg など、過去のものも含めて適宜参照してみてください。どうしても説明会に参加できないが（できなかったが）受講を希望する学生については、個別に contact@pha.rcast.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。 また事前に質問などがあれば、個別ないしはグループでのオンラインのプレゼミを開始します。上記アドレス宛にご質問など投げてください。 今年で１３年目となるこのゼミでは、多読、乱読、ときに精読を心がけ、古今東西の政治学に関する本を「読み紡ぐ」そして「読み破る」ことを目標にします。「読み紡ぐ」は歴史をひもとき、互いの議論をつないでいくという意味をこめ、「読み破る」はこれまでの自分の読みを乗り越えていくことを目標としています。毎週１冊本を読んで短いペーパーを書いて全員が事前にそれを読んだ後、ゼミが始まります。ゼミでは、いくつかのペーパーを取り上げて、全学生が意見を言う、質問をする、応答する、質問を重ねる、といった議論を繰り返します。もちろん人の意見をじっくり聞くことも大事です。教員はできるだけ議事進行に努めますが、ここぞというときには今学生に必要と判断したコメントを出すようにします。学生同士の議論が基本です。そこから何が得られるのでしょうか。もちろん政治と政治学についてよりよい読みを目指して理解を深めることはとりあえずの目標です。しかしそれだけではありません。まずは自分の考えを構築してみましょう。その上で他の学生からの質問に驚いたり新たに考えたりすることで、一冊の本に対する多様な理解があることを知るでしょう。集合知としての本に対する理解というものがあることに気づいてほしいと思います。そこから初めて自分の読みが広がります。このように自分の読みを深め広げることこそが、これから勉学を深めたり、研究に踏み込んだり、自分の人生を生きぬく力を得ることができるのです。 こうした読書とそれについての思索・議論は、海外の大学の授業では基本的な開講形態です。また文理の学問分野の違いから言えば、このゼミでの読書とそれについての議論とは、理系にとっての実験がそうであるように、文系にとっての「実技」です。理系の人は、もう一つの「実験」の授業と思って参加していただいてかまいません。読書自体は特別なことではないのですが、毎回気心の知れた多くのメンバーと読書して語り合う経験は、皆さんにとって特別貴重な経験となるでしょう。 ゼミでは、そのためにいろいろな仕掛けを用意しています。ゼミ生同士で読書会をしたい人たちは、先端研の牧原研の自習室を自由に利用することができます。著者同席の回や、「私の勧める一冊」という回もあるでしょう。ゼミ終了後恒例のブック・サロン、ブック・トリップ、ラボ・アドヴェンチャーも可能な範囲で行うことを考えています。すでの多くの修了生がいますが、これらは修了生も一部参加することがあり、読書を重ねた先輩からいろいろな話を聞いたり、議論したりすることができるでしょう。また、夏休み・春休みには「合宿」を行います。合をするかは未定ですが、ここ数年、夏合宿は重要と目される本の集中的な講読、後期に継続開講するゼミでの冬合宿は本に関するドキュメンタリーを製作することが課題でした。 ※受講人数：あらかじめ制限はしない。
成績評価方法	平常点による。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51430	A	経済安全保障の最前線	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	水 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	経済安全保障の潮流は、「理科系」諸兄姉の将来に、大きな影響を与えつつある。半導体産業への目を剥くような巨額の資金投入、ワクチンや抗生物質の内製化、量子コンピュータ技術の推進、原子力発電の復権、造船業への投資、蓄電池や船舶の国内産業振興、ドローンやサイバーセキュリティ技術での国際連携といった動きは、経済安全保障抜きには語れない。偽情報対策は、情報系研究者にとっての一大フロンティアである。農業の「6 次産業化」すら、「中国の経済的威圧」の文脈で取り上げられることがある。 同時に、経済安全保障は、国際政治や国際経済の中でのわが国の未来をも左右する、「文科系」的な検討課題である。そのための施策を具体化するため、経済安全保障推進法（2022 年）、いわゆるセキュリティ・クリアランス法（重要経済安保情報保護法、2024 年）、能動的サイバー防御法（重要電子計算機に対する不正な行為による被害の防止に関する法律、2025 年）が次々と制定され、外為法（外国為替及び外国貿易法）など関連法令も大きく改正されてきた。 第 2 次トランプ政権の種々の政策も、経済安全保障の潮流の強化要因と攪乱要因として捉えることができる。経済安全保障は、起業家・ビジネスパーソン・公務員・研究者といった進路を問わず、すべてのキャリアに影響を及ぼしつつある。今後は、誰もが学ぶべき基盤知として位置づけられるであろう。これについて確乎たる視点を持っておくことは、理科系・文科系を問わず、学生諸君が大学生活を充実させるためにも重要である。この演習は、それを達成しようとする。 経済安全保障は極めて新しい分野であるため、大学内に蓄積された学知のみに依存して究明することができない。そのため、政策の最前線に携わる官公庁や政財界の関係者を招いて、最前線で切り結ぶ状況について講演をお願いする。
成績評価方法	全学ゼミの評価は点数によらず、合否のみである。この演習では、対面で行われる各回に出席し、積極的に発言するなどによってクラスに貢献した者は「合」となる。希望者にはレポートを提出する機会がある。 この演習では各種の課外活動を企画するが、その参加不参加は、成績評価や合否判定には一切関係がない。まったくの自由参加である。その内容もまったく自由である。ちなみに、夏学期のゼミでは、5 月 15 日に先端研バーベキュー場において授業参加者の懇親を図る課外活動を実施し、五月祭を機に齋藤健前経済産業大臣の講演会を行い、5 月 26 日には連邦巡回区合衆国控訴裁判所（U.S. Court of Appeals for the Federal Circuit）レーダー元首席判事のセミナーを開催した。また 7 月 24 日に日本サイバーディフェンス（サイバーセキュリティ企業）を訪問して懇親会を実施し、25 日には最高裁判所訪問して安浪亮介最高裁判事の講演を聴いた後、同日夕方以降に同最高裁判事と最高裁調査官 2 名を交えた懇談会を課外で実施した。参加者の希望があれば、先輩との交流会を企画することもできる。（学生起業を行って東大在籍中の先輩もいる。）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51431	A	公共への奉仕者――公務員とルール形成	玉井 克哉	先端科学技術研究センター	木 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

日本と世界は、戦後80年を経て激動期にさしかかった。民間主導の秩序形成が最重要だったグローバル化の30年は、過去のものとなった。いま重要なのは公共の手によるルール形成であり、その担い手としてとりわけ期待されるのは、科学技術リテラシーを有する「理科系」的素養の持ち主である。

たとえば半導体生産をめぐっては、北海道や九州で目を剥くような巨額の投資が行われている。その意義は、半導体に関してわが国が他国に依存する度合を低下させ、戦略的な自律性を保つことである。それと比較すれば目立たないが、世界の半導体産業がわが国抜きでは成り立たないようにする「戦略的不可欠性」も求められている。この両者を追求することは日本政府の公式の方針である。そして、「戦略的不可欠性」を担うのは、半導体製造装置や半導体材料といった「前工程」の技術や製品、また高機能基板材料、パッケージング装置、テスターといった「後工程」を担う技術や製品である。その実情を理解した上で政策を打つには、個々の細分化された分野についての専門的知識よりは、全体を鳥瞰できる科学技術リテラシーが必須である。

シラバス作成時点（2025 年7月）においてリチウムイオン電池の発火や爆発が話題となっているが、担当教員（玉井克哉）は、それに対応しつつ、わが国の国益を増進するためのルール形成について考察している。学期開始時点までに煮詰まっていれば、政策提言のあり方の見本として取り上げたい。

公務員の仕事に対しては様々なイメージが持たれ、昨今その意味が問われている。労働条件の厳しさや、「政治・官邸主導」への転換に伴う役割の低下を耳にすることが多いかもしれない。しかし他方、公共への奉仕者である公務員が政策立案やその実施の過程で担う役割は、民間セクターでも政治でも代替できない、独自のものである。激動期の今日、職業としての公務員から得られる生き甲斐はますます高くなりつつある。また、公務員の世界がどのように動いているのかを知ることは、「中の人」になる場合はもちろん、ならない場合にも、大いに参考になるだろう。

この演習は、上記のような意味で、行政の仕組みや政策立案の実情に関心を持つ学生諸君を広く対象とする。今学期は、いくつかのテーマを予め決めておき、①その政策課題に関する基礎知識の習得、②それに基づく政策の立案、③政策担当者や民間の関係者との間でのフィードバックを通じて、「公共の世界」がわが国でどのように機能しているのかを理解する方法を採用したい。

テーマの1つは、半導体産業である。半導体といっても様々な種類があるが、その製造が「前工程」と「後工程」に大きく分かれ、そのそれぞれについて戦略的不可欠性を担う部分（チョークポイント）が存在することは共通している。10月30日の授業に大手化学メーカーの最高幹部を招いた講演を予定しており、その前の段階で、上記①②を踏まえたディスカッションを行う。また（シラバス作成時点で期日は未定であるが）経済産業省で具体的な政策立案を担う公務員による出講を期待される。

他のテーマは学生諸君と相談して決めるが、たとえば、農業の「6次産業化」が挙げられる。「6次産業化」というのは、製造業で培われた品質管理のノウハウを活かし、ブランド化によって高付加価値化することをいう。日本農業の将来像を探究するという意味でも、各地域を独自の方法で振興するという意味でも、農業の6次産業化には大きな意味がある。

予備知識は特に必要としない。理科系・文科系を問わず、幅広く日本の政策立案過程及び職業としての公務員への理解を深める演習となることを企図している。

成績評価方法

全学ゼミの評価は点数によらず、合否のみである。この演習では、対面で行われる各回に出席し、積極的に発言するなどによってクラスに貢献した者は「合」となる。希望者にはレポートを提出する機会がある。

この演習では各種の課外活動を企画するが、その参加不参加は、成績評価や合否判定には一切関係がない。ちなみに、夏学期のゼミでは、5月15日に先端研バーベキュー場での課外活動、五月祭時に齋藤健前経済産業大臣の講演、5月26日に連邦巡回区合衆国控訴裁判所（U.S. Court of Appeals for the Federal Circuit）レーダー元首席判事のセミナー、また7月24日にサイバーセキュリティ企業を訪問して見学後に懇親会を開催し、同25日には最高裁判所を訪問し、夕方以降に安浪最高裁判事と最高裁調査官2名との懇談会を課外で実施した。その種の企画は参加学生諸君の希望を聴いてから具体化するが、財務省や経済産業省の中堅・若手官僚や大阪万博担当官との交流会などが考えられる。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51433	A	日本の中世史料を読む	西田 友広	史料編纂所	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

過去の人々や社会のあり方を明らかにしようとする歴史学においては、その手がかりとなり、根拠となる素材（史料）が重要な役割を果たします。史料には文献史料・絵画史料・考古史料などさまざまなものがあります。この授業では日本中世、その中でも特に鎌倉時代の文献史料を中心にさまざまな史料に触れるとともに、史料をどのように読み解き、利用するかについて学習します。

成績評価方法

受講者数にもよりますが、出席とディスカッションでの発言、レポートによる評価を考えています。

教科書

プリントを配布する。／Will distribute handouts

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51434	A	地震火山史料を読む	加納 靖之	地震研究所	金 2	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立された地震火山史料連携研究機構では、地震学者と歴史学者が協力して史料の収集・編纂と分析と、地震活動や火山活動の長期的な情報を提供するデータベースの構築を行っている。 この連携研究機構が提供するゼミナールでは、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく。入門的な素材からスタートし、講義の後半では受講生の興味に応じて選択した史料を読みとく。デジタルアーカイブで公開されている史料を活用し、必要に応じて既刊の地震史料集や刊本も利用する。歴史史料を読みとく作業を通じて、必要な情報を抽出し解釈する方法を学び、また、異分野融合研究の意義や在り方に触れる。 授業は、加納靖之・大邑潤三（地震研究所）が担当する。 【目標】 ・歴史学や地震学を背景として、地震や火山噴火に関する歴史史料を読みとく ・複数の研究分野からのアプローチでより深く現象を理解できることを知る ・これらの研究のおもしろさや解決すべき課題について考える 【こんな人に来てほしい】 文系理系を問わず、歴史、地球、防災などに関心のある人。また、本や資料を読むのが好きな人、観察や観測をもとに推理するのが好きな人など。 （参考）地震火山史料連携研究機構の概要 地震火山史料連携研究機構は、東京大学の地震研究所と史料編纂所が連携して設立されました。この学際的な研究機構では、歴史学者と地震学者が協力して史料の収集・編纂と分析を実施し、日本における地震活動や火山活動の長期的な情報を提供できる科学的なデータベースを構築しています。このような歴史時代のデータは、地震や火山の危険性の長期的な予測には不可欠です。
成績評価方法	授業での報告や討論への参加。課題（毎回のゼミナールに関する簡単なメモ）の提出。期末レポート。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51436	A	生命科学の最前線	中戸 隆一郎	定量生命科学研究所	水 5	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	定量生命科学研究所では生命科学に関する世界最先端の研究がさまざま展開されています。 本ゼミナールでは定量研で行われている研究を実地体験することを目的とし、定量研にて様々な生物材料を使用した生命科学実験や実験設備の見学を実施します。 これまで教科書を通して知識として学んできた生命科学が、実際にはどのような実験によりどのように見出されたきたのかを、研究の現場に足を運ぶという生きた体験を通じて実感してほしいと思います。 また、「研究者を目指したいが、研究室とはどのような雰囲気なのだろうか？」と考える学生に対して、その疑問や悩みを解消し、将来の進路などについて実際に研究者に相談できる機会を提供します。
成績評価方法	成績は講義の出席回数によって評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51437	A	学部学生のための研究入門コース-UROP2 (Undergraduate Research Opportunity Program 2)	川越 至桜	生産技術研究所	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 駒場リサーチキャンパスにある生産技術研究所（生研）では、ＩＴ、ナノテクノロジー、バイオや環境の分野を始めとした、工学全般における様々な最先端の研究を行っている。このような先端研究について、従来の受動的な授業とは異なり、自分自身の手を動かしながら研究を進め、実験や実習を通して実践的に学んでいくのが、本ゼミナールの特徴である。 研究テーマに関しては、生研で行われている数々の研究から興味のあるテーマを選択する。授業の形態としては、選択したテーマを研究している研究室の一員として、設定した目的や計画のもと研究を進め、最後に研究成果の発表を行う。具体的な方法、内容や日時などの研究の進め方については、研究室の教員 と相談しながら決めること。 このような実際の研究プロセスを体験することにより、研究のノウハウを学んでいく入門コースである。 授業内容や研究テーマの詳細については、ホームページ (http://www.oshimalab.iis.u-tokyo.ac.jp/UROP/) を参照のこと。 ※履修人数を20名に制限する。 ※開講場所：生産技術研究所 ※ガイダンスは、10月2日（木）および10月6日（月）の2日間、12時20分より オンラインにて行う。2回とも同一内容で実施。
成績評価方法	日頃の研究への取り組み、報告書、および研究発表により、成績を評価する。
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51439	A	Transformational Learning: Developing Autonomy in Language and Beyond 変容的学習：言語学習と、その先にある自律性を育む	ディーエル グレゴリー	グローバル教育センター	火 2	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	Transformational Learning: Developing Autonomy in Language and Beyond This specialized seminar (全学自由研究ゼミナール) introduces first and second-year students to the principles of autonomous learning, directly supporting SDG 4 (Quality Education) by developing lifelong learning capabilities essential for sustainable development. Based on 『学習意識改革ノート』(Transformational Learning Notebook) by Kato Satoko and Yoshinaga Mioko, the course draws on research in learner autonomy, agency, and positive psychology to help students take ownership of their learning journey. Short lectures will be in English, however course materials will be bilingual (Japanese/English). Discussions will be in English and Japanese. The course recognizes that quality education extends beyond knowledge transmission to developing meta-learning skills—learning how to learn effectively throughout life. The theoretical framework combines learner autonomy (the ability to take charge of one's own learning), learner agency (the capacity to act and make choices), and positive psychology principles (focusing on strengths, well-being, and optimal functioning). While using language learning as our primary lens, students will develop transferable strategies for any learning domain. Through interactive workshops, reflective practices, and project-based learning, participants will engage with eight core principles from the textbook, including strategic planning, self-awareness, motivation management, and reflective practice. The course emphasizes experiential learning through interviews with successful language users and analysis of role models, demonstrating how autonomous learning supports career development and global citizenship. This seminar offers a supportive community where students can experiment with new approaches and develop personalized learning systems. By fostering these capabilities early in their university careers, students will be better prepared for senior division courses, including Global Liberal Arts (GLA) courses, and for lifelong learning beyond university. 変容的学習：言語学習と、その先にある自律性を育む 本専門ゼミ（全学自由研究ゼミナール）は、学部 1、2 年生を対象に、自律学習の原則を紹介します。持続可能な開発に不可欠な生涯学習能力を育成することで、SDG 4（質の高い教育をみんなに）の達成に直接的に貢献します。本科目は、加藤佐都子氏と吉永美奈子氏による『学習意識改革ノート』を基に、学習者の自律性、エージェンシー（主体性）、ポジティブ心理学の研究に基づき、学生が自らの学びの旅路の主導権を握れるよう支援します。ショートレクチャーは英語で行いますが、教材は日英バイリンガルです。ディスカッションは日本語と英語で行います。 本科目では、質の高い教育とは、単なる知識の伝達に留まらず、生涯にわたって効果的に学び続けるためのメタ学習スキル（＝学び方を学ぶスキル）を育成することだと捉えます。理論的枠組みは、学習者の自律性（自らの学習を管理する能力）、学習者エージェンシー（主体的に行動し、選択する能力）、そしてポジティブ心理学の諸原則（強み、ウェルビーイング、最適機能に着目）を組み合わせたものです。言語学習を主なレンズとして用いながら、あらゆる学習領域に応用可能な戦略を身につけます。 受講生は、対話型のワークショップ、リフレクション（省察的実践）、プロジェクト型学習を通じて、テキストで示される 8 つの基本原則（戦略的計画、自己認識、モチベーション管理、省察的実践など）に取り組みます。また、成功した言語使用者へのインタビューやロールモデルの分析といった経験学習を重視し、自律学習がキャリア形成やグローバル・シチズンシップをいかに支えるかを具体的に示します。 本ゼミは、学生が新しいアプローチを試み、自分に合った学習システムを構築できる、支援的なコミュニティを提供します。大学でのキャリアの早い段階でこれらの能力を育むことで、学生は上級課程の科目（グローバル教養（GLA）科目など）や、大学卒業後の生涯学習に向けて、より良い準備を整えることができます。
成績評価方法	Pass/fail based on (1) Class Contribution 授業への貢献度 ; (2) Worksheet & Journal Submissions ワークシート・ジャーナルの提出; (3) Final Project 最終課題
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 加藤聡子，義永美央子 著 学習意識改革ノート： 外国語を自律的に学ぶための 3 か月プログラム 大阪大学出版会 978-4-87259-789-9 C0080
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51440	A	スポーツ自主分析科学研究入門	佐々木 一茂、 秋山 英文	スポーツ先端科学 連携研究機構 （UTSSI）	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構＝UTSSI にて、「スポーツ自主分析科学研究入門」（1 単位）の全学ゼミを開講します。前期 S セメスターと後期 A セメスターに、同じ講義題目で開講します。複数回、履修することも可能です。 担当教員は、総合文化研究科の佐々木一茂、工藤和俊、中澤公孝、教育学研究科の野崎大地、物性研究所の秋山英文です。 この全学ゼミは、スポーツを題材に、データ計測・解析・統計処理など科学的ツールを含めた分析を行い、自主的な研究を実践し体得する企画です。運動部などで選手としてスポーツをやっている学生、アナリストとしてデータ分析を行っている学生、その他、同好会・地域クラブ・趣味などでスポーツの上達や分析に興味をもつ一般の学生に、研究を試行してもらうためものです。UTSSI の教員がガイダンスやアドバイスを行います。 大学は、学問の中心たる場所です。「学問」は、人類がこれまでに得てきた知識や方法を、体系的に整理しつて積み上げたものです。「研究」は、先人がまだ答えを得ていない未解決の問題を解き明かす活動です。研究の積み上げにより、学問領域は常に発展しています。現在までに積み上げられた学問を「勉強」「学習」することは重要ですが、単にそれを続けているだけでは、研究にはなりません。研究は、もっと能動的で創造的な活動です。未解明の問題に着目し、深く興味を持ち、解決の手段を自分で見つけ、あるいは新たに創り出し、正解にたどり着く活動が、研究です。 論語の中に、「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し（くらし）、思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）」という一節があります。学習と研究の両者の重要性を説いています。勉強が中心の高校生とは異なり、大学生には研究とその魅力を是非知って欲しいです。 社会人の多くも広義には研究をしています。新しい味を生み出そうとする料理人、新しい販路を開拓しようとする営業職、新製品や新サービスを開発したい技術者など、いくらでも例示できます。東京大学の学生は、既にかなりの勉強や学習を経験し、それらに長けている人も多いです。一方で、研究は殆ど未経験でしょう。大学生が、早く研究に接してその面白さを感じ、学部卒業時には社会や大学院で本格的な研究を開始できるようになって欲しいと、大学教員たちは強く願っています。 スポーツに真剣に取り組む選手たちは、殆ど皆、日々強い意欲を持って、自分の技量向上の糸口を探し、課題克服の試行錯誤を重ね、上達に努めています。いわば、自分自身の技量能力向上をテーマにした研究をしているわけです。研究は、一見、難しいもののようにも感じますが、実は、スポーツ選手にとっては身近な活動です。指導者・先輩・教本などに習うのが勉強や学習であり、自分で考えて試行錯誤を繰り返して上達の道を切り拓くのが研究でしょう。 研究においては、対象となるテーマに強い興味・好奇心など動機を持つことが重要なポイントです。「三度の飯より××が好き」という表現がありますが、××は野球、サッカー、ゴルフなどかもしれません。スポーツ選手やスポーツ好きな人は、既に、研究テーマに恵まれているのです。あとは、研究のスキルを身に着ければ、面白い有意義な研究ができ、自分の上達も達成できるのではないかと思います。 大学で学問として行う研究では、論理性や客観性が重要で、「科学」のアプローチを用います。この全学ゼミでも、各人が興味をもつスポーツのテーマに対して、計測、データ、統計、分析、計算、シミュレーション、数学、物理など、様々な学問の科学的な知識や方法を活用して、研究を試みたいと思います。 例えば、 •新しい計測技術を使って自分や友人のデータを取る。 •取得したデータに対して、自分の視点からの分析・統計処理を加え、考察する •ボールや用具や体の動きをモデル化し、シミュレーションし、機構を理解する •自分で練習法や練習器具をつくり、データを取り、効果を検証する •他者が出しているデータ・動画・解説・論文などを調査し、自分なりに整理・体系化する •上記の組合せ などが想定されます。より具体的な例は、ゼミの中で議論したいと思います。 以上のような趣旨で、このゼミの標題を「スポーツ自主分析科学研究入門」、前期 S セメスターと後期 A セメスターにそれぞれ 1 単位で開講する予定です。 始めて履修する学生に対しては、まず、担当教員が、スポーツの自主分析を科学的に行う研究の例や手法の紹介・指導などを行います。それらを参考にして、学生自身に、研究テーマや進め方を立案してもらいます。個人単位でもグループ単位でも構いません。自分（たち）の興味あるスポーツ関連の課題についてどんな研究を行いたいか、さらに、どんなデータの収集や分析、シミュレーション、調査など、科学的なアプローチを使って研究を進めるかなどの具体的な計画を考案してもらいます。最後に発表の場を設け、研究テーマの立案ができた学生やグループにはそれを発表してもらい、皆で討論をしたいと思います。期間中、質問や相談に応えるための機会をオンラインで設けます。 2 回目以上の履修になる学生さんには、自分で決めたスポーツ科学のテーマで、学生自身に研究を実施してもらうことを考えています。期間中、質問や相談に応えるための機会を対面あるいはオンラインで設けます。もし、面白い研究が進んだ場合には、スライドを用いた発表のみではなく、成果をレポート、公表記事、論文などにまとめることも目指します。一方、中間時点で上手く研究が進まない学生には、適宜、担当教員が状況を聞きアドバイスを行います。研究は、必ずうまくゆくとは限りません。むしろ、順調に進まないことの方が多いです。順調に進まないときでも、その記録を残し、その状況を発表したりレポートにまとめることは極めて重要です。皆で、その発表を聞き、レポートに目を通し、議論することで、新展開が生まれ膠着状態を脱出できることが良くあります。このようにして、学生に身近なスポーツのテーマで「研究」というものを体験してもらうことがゼミの目標です。
成績評価方法	発表会での発表、レポート提出により、評価する。授業を聞くのみでは、単位は出ない。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51441	A	日本の経済戦略と政策が果たす役割 ～政策の最前線で奮闘する現役官僚が語る～	星野 岳穂	公共政策大学院	金 3	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	世界では、「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「経済暗線保障（サプライチェーン強靭化）等の大きな課題に直面し、まさに激変の時代に直面しています。 日本では、さらに、超少子高齢化、生産年齢人口の減少（人手不足）や財政赤字、物価上昇、若年層の格差拡大、国内市場の需要飽和、消費者ニーズの多様化・個別化といった新たな構造変化の局面を迎え、国内生産の促進や技術保護、国際的な協力などさまざまな政策を大規模に展開しています。天然資源確保、食糧確保等の枠組みについても再検討する必要があることも強く示唆されます。ロシア・中国・イスラエルをめぐる国際情勢の変化、中東などにおける民族や宗教の対立をはじめとする世界の不安定化等、日本を取り巻く環境のめまぐるしく変化がみられます。このようなグローバルな大変化や出来事1つ1つが、直ちに我々の生活や経済などに大きな影響を与え、これらが様々なリスクを含んでいることに気づかされます。これまで日本が享受してきた「秩序」や「安心」を確保する枠組みは、決して自明なものではなく、持続可能なものではないことを実感する時代に突入しました。 他方、生成型 AI に象徴される人工知能（AI）と機械学習、量子コンピュータ、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、ドローン技術などの新技術は、私たちの社会や生活を大きく変える可能性を秘めています。「豊かさ」や「安心」を持続可能にしながら、「今までなかった価値」を生み出していくためには、社会と経済の「仕組み」を不断に見直し、世界の目まぐるしい変化の最先端に適応し続けることが求められます。 本講義では、このような激動する社会において、政策立案の最前線で日々奮闘している経済産業省、財務省及び金融庁の現役官僚をゲストスピーカーとして招きます。それぞれが担当する政策分野について、 ①激動する国際社会の動向、 ②その変化が私たちの社会・経済に与える影響やその変化の意義、 ③これらを踏まえた日本経済の再生に向けた戦略、 ④政策が果たす役割を語るとともに質問に答え、また学生の皆さんとディスカッションしていただきます。産業政策、財政政策、金融政策、通商政策、資源エネルギー政策、環境政策など私たちの社会・経済のあり方に深く関わる政策をテーマとしてとりあげる予定です。 本講義を通じ、以下の3点を身につけていただくことができると考えています。 1）メディアでは時として報道されない、世界規模の構造変化の真の姿 2）学際的な視点から、社会・経済の諸問題を分析すること 3）日本経済の再生戦略と、それを実現するために政策が果たす役割 文系・理系を問わず、次代の日本を担う学生の皆さんの幅広い参加を期待しています。
成績評価方法	出席点及びレポートにより評価。レポートは、各回の終わりにゲストスピーカーが出題する課題について、2テーマを選択し、それぞれ数枚（A4で2－3ページ）にまとめたものを、所定の時期（各回の講義の中でお知らせします。）までに提出して下さい。 詳細はガイダンス時に説明いたします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51442	A	海のアジア 2025 東南アジアと付き合う	木村 伸吾	公共政策大学院	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	☆受講希望者はガイダンス（オンラインにて実施予定）へご参加ください。(詳しくは下記「履修上の注意」項を参照) 近年アメリカによる保護主義的な関税政策や、中国の力による現状変更の試みが国際秩序を揺るがす中で、日本と東南アジアは、共に自由で安定した地域秩序を守る立場にあります。こうした環境のもと、東南アジアとの連携を強化することは、日本の国家安全保障や経済戦略上、極めて重要な意味を持ちます。 東南アジアは、日本にとって地理的に近く、日本のシーレーン上に位置する戦略的要衝であり、今後の経済成長も期待される地域です。今後日本が国際社会でプレゼンスを維持し、東アジアの秩序を安定させていくために、今こそ東南アジアとの関係を再考するべきです。 ところで、みなさんは、東南アジアと聞くと、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。 AI は「ご飯がおいしい」「発展途上」などの印象を抱いているそうです。 しかし、これらの印象は本当に正しいのでしょうか。「機械」的な理解に過ぎないのではないか。本ゼミは「機械」的な理解を乗り越え「人間」的な視点から東南アジアを捉え直していきます。 東南アジアは、国ごとに利害や価値観が異なるにもかかわらず ASEAN という地域共同体を形成し、また国内においても民族・言語・宗教の多様性を抱えながら国民国家を築いてきました。その過程では、国内の少数民族問題や国家間の領土問題など「多様性」と「まとまり」のジレンマが立ちはだかってきました。 このゼミでは、そうした東南アジアの近現代史を紐解いていく中で「東南アジアとはどのような地域か」を理解し、その上で「日本は東南アジアとどのように向き合うべきか」を考えていきます。 講義はアジアの現場経験豊富な経済産業省の現役官僚によって行われ、さらに実務家を招いたセミナーや、春休みには現地を訪問するエクスカーションも予定しています（希望者多数の場合、成績によって選抜します)。いずれも、日本と東南アジアの関係を実践的に考える貴重な機会となっています。 みなさんのご参加をお待ちしております。 ※昨年度のセミナーでは、東南アジア諸国関係の現役官僚をはじめ、ASEAN 地域に深く関与されている方をお呼びしました(下記参照)。 【昨年度開催したセミナー】 ・中村亮氏 （外務省 南部アジア部長） ・今村英章氏 (世界銀行グループ 日本代表理事) ・河合正男氏（元駐ノルウェー・ブルネイ大使） 【今年度予定しているセミナー】 ・石井正文氏 (元駐インドネシア特命全権大使) ・山田滝雄氏 (AZEC 担当大使) ・高度外国人材や防衛装備品輸出等(その他受講生と要相談)を考えています。
成績評価方法	1）授業への出席（エクスカーションやセミナー参加は任意です。)、2）グループによる最終発表、3）希望者は個別レポート提出を認めます。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 岩崎育夫 入門 東南アジア近現代史 講談社
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51443	A	Conflict and Justice: An Introduction to its Social Psychology and Behavioral Economics	FACIUS Michael	国際高等研究所東京カレッジ	金 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	How do individuals and societies perceive fairness? How do they resolve disputes and respond to injustice? This course offers a foundational introduction to the social psychology and behavioral economics of conflict, justice, and decision-making. With an emphasis on the psychological and behavioral roots of these processes. Students will analyze global case studies of conflict and justice and develop skills in consensus-building, negotiation, and non-violent communication. Our sense of justice and willingness to act is not purely rational, but often shaped by unconscious biases, framing effects, prevailing social norms, and other psychological factors. These hidden forces subtly guide our decisions and behaviors, influencing both interpersonal and societal approaches to conflict resolution. The course is structured in three parts. In Part I, students will be introduced to core theories and concepts in social psychology and behavioral economics, such as heuristics, decision-making under uncertainty, procedural justice, and social influence. Part II centers on text-based discussions of selected readings, encouraging students to critically engage with key ideas and reflect on diverse perspectives. Part III focuses on practical applications, where students will participate in presentations and hands-on activities that apply course knowledge to real-world scenarios. Learning Goals Critical understanding of the sources of conflict around the world Critical understanding of justice and fairness and their application to real-world systems and projects Development of strategies to overcome and identify bias in negotiations Development of negotiation and consensus-building skills
成績評価方法	Practical Application Activity: 50% Individual or Group Presentation: 50%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51449	A 1	平和のために東大生ができること I	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	冷戦の終焉から 30 年経過した今、世界は再び核の脅威にさらされている。また、エネルギーや食料の価格高騰をはじめ、遠い国での戦争が我々の生活に大きく影響することを学生のみなさんも実感していることであろう。このゼミでは軍縮と平和について、感情論に陥らず、イデオロギー色をできるだけ排して、学び合い、語り合うことを目的とする。今学期は SDGs（持続可能な開発目標）の Goal16「平和と公正をすべての人に」を主なテーマにかかげ、中央アジア諸国を事例として、ソ連からの政治・経済・社会の移行期に生じた（あるいは生じている）さまざまな問題に加え、ウクライナ戦争の影響等の現在進行中の問題についても探求する。関連する文献を多数読むほか、映像資料なども利用する。なお、本授業は A2 ターム（集中）に実施予定の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」（渡航先はカザフスタンを予定）の準備授業を兼ねる。国際研修の履修希望者が定員を上回る場合はこの全学ゼミの平常点とレポートによってセレクションを行う。同国際研修を履修希望の学生はこの全学ゼミを必ず履修すること。国際研修に参加しない学生の全学ゼミ参加ももちろん歓迎する。
成績評価方法	授業へのコミットメント（60%）とレポート（40%）によって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51451	A 1	中国社会文化研修～深思北京 2025	原 和之、 朱 芸綺	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	北京という都市を、私たちはどのように見るのでしょうか。 悠久の歴史や世界の力学が交錯する舞台として？ 巨大な制度や経済の仕組みが稼働する中枢として？ それとも、中国全土、さらには世界各地から集まる生身の人びとの息づかいに耳を澄ませる場として？ 本プログラムは、そんな北京を通じて、日中の学生がともに「他者を知ること」と「自己を問い直すこと」に挑む実践型研修です。学生自身が「何を、どのように見るか」を主体的に探求し、共同観察や対話を重ねることで、多層的な都市の姿と文化の輪郭に迫ります。 今年度は従来の社会・組織訪問に加え、家庭訪問を復活。日中混成チームによる自由研究を軸に据え、思考と行動の両面で自立性を育みます。 【注意】この授業は開講日程の都合上、参加申し込みが通常と異なるため、必ず「関連ホームページ」を確認してください。 【注意】使用言語として中国語・英語・日本語を想定していますが、3 言語すべてを使うことが求められるわけではありません。自分と相手の言語能力に応じて、柔軟にいずれかの言語で意思疎通・交流を行ってください。
成績評価方法	研修中のパーフォーマンスと研修後提出課題を総合して評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51452	A 1	The Value of Language - From Multilingualism to Technology (言語の価値 - 多言語主義から技術まで)	HAUTASAARI ARI MARKKU JUHANI	工学部	月 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	This seminar explores how language and language use creates and enables the exchange of value in the global society from the historical perspective to the 21st century digital era. We begin with an introduction to the history and philosophy of language, discuss how language shapes the way we think and interact, and how verbal and non-verbal communication influence how we perceive ourselves and other actors in our daily lives. We will then look at the role of language in the creation of economic and societal value, as well as explore the role of technological innovations, including machine translation, automated speech recognition and the Internet in general, that enable and enhance value creation through mediating and transforming language use. This seminar will also introduce guest speakers from the field of language training and linguistics. ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。
成績評価方法	Active participation / 出席・授業への積極的な参加 Final report / ファイナルレポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51453	A 1	遊んで学ぶ！ゲノム育種ゲームでひもとく遺伝学とデータ科学	師田 郷太、櫻井 建吾、岩田 洋佳	農学部	火 2	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	本授業では、シミュレーションゲームを通じて、ゲノム情報を活用した育種戦略や遺伝学・データサイエンスの応用を体験的に学ぶ。育種とは、優れた形質をもつ作物や家畜を選び出し、交配や選抜を通じて次世代へと受け継がせる営みであり、農業の根幹を支える重要な技術である。育種はこれまで、育種家の経験と観察によって大きく進められてきた。近年では、ゲノム情報という新たなデータを活用し、より効率的かつ高精度に選抜を行うゲノム育種が注目されている。新しい品種を開発するには、選抜個体、選抜強度、交配様式、交配組合せ、各形質に対する選抜の重みなど複雑な要因が絡み合う。本来、これらの要因の効果を定量化するには長期間の栽培試験が必要であるが、コンピュータシミュレーションを活用することで、効率的に育種戦略を探索でき、どの程度遺伝的に改良できるのかが予測できる。授業では、ゲノム情報を活用しながら選抜を行うゲノミック選抜を中心に、優れた品種改良戦略とは何かについて議論し、実際に設計・検討する。また、育種設計における最適化手法の有無がシミュレーション結果に及ぼす影響についても検討し、理論と実践の両面から理解を深める。 さらに、本授業を通して学生は以下のスキルを身につける。 1) ゲノム情報を利用した選抜戦略の立案力 2) 育種過程をモデル化し、最適化を考える力 3) シミュレーションデータの解析および結果解釈の力 4) データサイエンス的視点から農業課題を解決する応用力
成績評価方法	本授業の成績は、出席、小レポート、最終レポートを総合的に評価して決定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51456	A 1	新書で考える教育と社会	中村 高康	教育学研究科	月 1, 木 1	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	授業担当者の専門分野である教育社会学では、研究者たちによって学問的見識に基づく様々な社会発信が行なわれている。そうした社会発信の一つの手段である「新書」は初学者には格好のテキストとなる。そこでこのゼミナールでは、こうしたテキストを多数取り上げ、それに入門的な解説を加えつつ講読する。受講者全員で自由に議論を行うことで、学生諸君の教育と社会に関する知的好奇心喚起の一助となることを目指す。
成績評価方法	成績は、授業参加度（報告＋出席）が中心となるが、簡単なレポートを提出してもらうこともある。それらを総合的に評価する。
教科書	その他。／Other
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60092	A 2	Let's try cell culture! 細胞を培養しよう！	ウッドワード ジョナサンロジャー、松田 良一	PEAK 前期	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	An adult human body consists of about 30 trillion cells. If cells are separated from the body and isolated into single cells, can cells survive even outside of the body? Attempts to break apart cells and keep them alive in vitro were conducted in Germany and the United States between 1880 and 1919 using frogs and chickens. Cells separated from the body could cultured under appropriate conditions. This cell culture technology became a fundamental technology in biological research, but today it is indispensable for producing vaccines, antibodies, artificial skin, and “cultured meat.” 成人一人の身体はおよそ３０兆個の細胞から成り立っている。では細胞を身体から分離し、バラバラにすると細胞は生きていられるだろうか？実際に細胞をバラバラにして生体外で生かそうという試みはカエルやニワトリを用いて１８８０年から１９１９年代にドイツやアメリカで行われ、身体から分離した細胞は適切な環境下で培養できることが分かった。この細胞培養技術は生物学研究の基本技術であるのみならず、今日ではワクチンや抗体、さらに人工皮膚や培養肉の作成において、欠くことができない技術になっている。
成績評価方法	Course evaluation will be performed based on attendance, commitment to and completion of the experimental work. コースの評価は、実験作業への出席、取り組み、完了に基づいて行われます。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60217	A 2	平和のために東大生ができること II	岡田 晃枝	教養教育高度化機構	木 5	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	この授業は A2 ターム集中の国際研修「平和のために東大生ができること：中央アジア研修」の準備授業である。 渡航先であるカザフスタン共和国の政治・経済・文化について知識を深めるとともに、カザフスタンで現地学生に向けて行うプレゼンテーションの土台作りのために、関連する日本の事情についても探求する。 授業内容に関心があれば、国際研修に参加しない学生の履修も歓迎する。
成績評価方法	授業へのコミットメントによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60223	A 2	ワンパクなタンパク質を科学する： 実習編	片岡 直行、 岩間 亮、 奥田 傑、 小南 友里、 宮永 顕正、 ブランパン 騰真、 正木 聡、 堤 研太、 田中 智、 伯野 史彦、 伏信 進矢、 福田 良一、 五十嵐 圭日子、 渡邊 壮一、 後藤 康之、 永田 宏次、 潮 秀樹	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】この授業は、農学部の実験室において対面で実験を行うため、履修者を対面授業に参加する学生に限定します。なお、COVID-19 禍により、対面実習が難しい場合には、開講できない可能性があることを了承願います。 私たちの初年次ゼミナール理科「私たちの身近にあるワンパクなタンパク質を科学する」では、身近にある興味あるタンパク質を選び、性質を調べると同時に、その重要性を体験し、この経験をもとに、一般の人達にそのタンパク質の重要性を納得してもらうツールを作ってきました。本講義は、その続編として、タンパク質やこれをコードする遺伝子を実際に扱ってみて、タンパク質とは何かを実体験することを目標としています。もちろん、私たちの担当した初年次ゼミナール理科の講義を履修していない学生さんの参加も歓迎します。
成績評価方法	出席と実習での活動で評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60234	Ａ２	核融合 -地上の太陽をめざして-	篠原 孝司、 藤堂 泰、 田辺 博士、 梶田 信、 齋藤 晴彦	新領域創成科学研究科	月 5	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	持続可能な社会の重要な基盤の一つが、持続可能なエネルギー源である。人類社会が数千年単位で持続することを考えた時、既存のエネルギー源は、その燃料や供給源の観点から十分とは言えない。水素を燃料とする核融合はこの問題を克服できる。核融合は太陽で起きている反応で、まさに地上に太陽のエッセンスを実現しようというプロジェクトとも言える。本講義では、この核融合がどういうものであるのか、そして、その課題がどのようなもので、どのように研究が進められているのかを多角的に理解する。
成績評価方法	レポート
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60239	A 2	持続可能な社会とグローバル・シチズン Global citizens and the sustainability	宮崎 彩	教養教育高度化機構	火 4	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	What is it that we can do as "global citizens" to tackle the universal issues to build a more sustainable future?? 国際社会情勢は大きく変化しており、冷戦後の国際政治の構造は近年変わりつつあります。 冷戦終了後、希望に満ちていた 90 年代、2000 年代には多くの国際協調の兆しが見られました。SDGs（持続可能な開発目標）もそのような国際社会における協調の結果策定・採択され、2030 年に向けて各国政府が進むべきベクトルを示したと言えます。 残念ながら SDGs の達成度合いは依然として低く、2030 年後の国際社会が進むべき目標がどのようなものであるべきかについてはまだ議論が始まっていません。しかしながら、国際社会や日本国内において、私たちは無視できない問題に直面しています。 たとえば： ・有限である地球資源をどう維持・管理するべきか ・国内外における貧富の差や生活水準の格差とどう向き合うべきか ・内戦や複数国間での戦争をどうコントロールしていくのか ・社会・経済面での国境を越えた問題をどう処理するのか ・文化の多様性が抑制される政治とどう市民は向き合うのか 東京大学ではグローバル・リーダーを養成すべく、グローバル教育を推進してきました。たとえば、2010～2014 年度にかけては、教養学部付属教養教育高度化機構により、『グローバル時代をどう生きるか：プロフェッショナルが語る新たな可能性』というオムニバス講義が実施され、世界で活躍する先輩方をお迎えしてきました。また、東大憲章のうたう「世界的視野を持った市民的エリート」や、アドミッションポリシーでいうような「自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野をもち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靭な開拓者精神を発揮して、自ら考え、行動できる人材」を輩出すべく、東大の仕組みの中に留学やインターンシップ、ボランティアなど多様な海外経験を積む機会が増えています。 しかしながら、このアプローチはとても限定的とも言えます。昨年は国際社会で活躍する 30 代から 40 代のグローバル・シチズンをゲストに迎え、学生たちと議論を繰り広げていただきました。その先輩方から得たことを踏まえ、学生たちは「グローバル・シチズンを生み出すために必要なこと」を提言にまとめ、東京大学グローバル教育センターに提出しました。 今年度の本全学自由研究ゼミナールでは、2030 年以後の国際社会に何が求められているのか、そのために学生たちがどう羽ばたいていくべきか、に焦点をあて、国際的に活躍されている様々なゲストにお話を伺います。変わり続ける国際政治の中で、21 世紀に求められるグローバル・シチズンとはどのような人であるのか、その姿を考え、学生による新たなグローバル・シチズン像を打ち出すことを目標としています。 世界で活躍する／してきた先輩方をゲストにお呼びし、持続可能な社会を実現するために、様々な分野で国境を超えてそれぞれの道を切り拓いてきた方たちとのディスカッションを通して、グローバル・シチズンに求められる資質とは何か、2030 年以後の持続可能な社会を構築していくために何が必要なのかについて、正面から向き合います。 到達目的： 国境を越えて道を切り拓いてきた先輩やそのような人々を輩出しようとする既存の施策などから、いわゆる「グローバル・シチズン」として求められるファクター（ツール、マインドセット、スキル、経験など）を学び、構造化することを目的とします。そのうえで、国内外の社会問題・情勢に対応するために必要なファクターを言語化し、2030 年以後の未来を見据えて、「グローバル・シチズン」に求められる資質を学生主体で定義します。 到達目標： 1：グローバル・シチズンに求められている諸要素・条件などを知り、批判的に分析できる。 2：すでに世界で活躍する人々との対話を通じて、グローバル・シチズンに求められるファクターを抽出し、定義を考える。 3：グローバル・シチズンを育成するために求められるファクターと、それを獲得するために必要なツール・場などを考え、定義を作る。
成績評価方法	25% 授業への参加状況 75% 課題の提出状況及び質的評価 内訳： 25% ディスカッション参加 25% グループプレゼンテーション 50% 最終「グローバル・シチズン」定義作成・提出
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学自由研究ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60241	A 2	伊豆に学ぶプラス A 初級編 「感じる・考える・行動する」サイクルを回してみよう！	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは伊豆で対面で実施します。リモート受講はできません。
【注意】本ゼミを単独で受講することはできません。 本自由研究ゼミは体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」に併設して実施するものです。体験ゼミとセットでお申し込みください。
全学自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」は、体験ゼミ「伊豆に学ぶ 自然の恵みを活かす技」の学びを確かなものにするために、真剣に考え・顧みて、議論する時間を一緒に過ごすゼミです。「伊豆に学ぶ」体験を一層充実したものにして、大学で学ぶということの本質について考えるゼミです。なお、体験ゼミの夕食後に、この自由研究ゼミの時間を連日確保しています。体験ゼミと自由研究ゼミ、重複履修をお勧めします。
①大学とは何だろうか、これについて考えたことはありますか。
・学生が学ぶ機関ですという答えは、不正解ではありません。
・専門的な考え方や技術を身に着けるところですという答えも然り。
・友達を作るところですという答えも、もちろん不正解ではありません。
②君たちは大学生になりましたが、日頃、真面目に議論する機会はあるでしょうか。
・議論しようなんて言うと、面倒くさがられるから、とてもそういう話を振れない
・言い争いは避けたいので、クラスメートやサークル仲間とは表面的な話しかしない
・議論の中で自分を曝け出すと、そこへ土足で踏み込まれそうで怖い
全学自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス初級編」では大学における学びとは何であるのかということにしっかりと向き合います。
社会を知り、社会との接点を考えることがとても重要だということは分かっているつもりだけど、ゆっくりと考える余裕がないと言う人も、「伊豆に学ぶプラス初級編」では、忙しない日常生活から離れ、日中のアクティビティを振り返ることを重要なきっかけとして、自分自身の感覚や考え方と向き合うことができます。
大学生同士の議論を通して、自分一人では気づくことができなかったことを、お互いに補填し合う、そういう体験をしてもらうことを一つの目的としています。
「伊豆に学ぶプラス初級編」は、学生の自由な議論を大切にします。まずは、議論するという土俵の上に、ほんの少しの勇気をもって上がってください。議論しやすい雰囲気作りを自由研究ゼミ「伊豆に学ぶプラス上級編」の学生が手伝ってくれるので、初めての方もしっかりと議論に加わることができます。不安や心配は無用です。
伊豆ゼミのコミュニティが肌に合わないとお感じの場合は、その後関わらなければ良いだけです。今回挑戦してみても、失うものは何もありません。
本ゼミの参加条件は２つあります。
一つは真面目に議論する気持ちを持つこと、
もう一つは真面目に議論している人を茶化さないことです。
この二つはとても大切ですので、これらの条件を満たさない方は他の人の学ぶ機会を奪うことになり兼ねないので退場していただくことがあります。
その点だけは、しっかりとお伝えしておきます。
最近の若者にありがちな（この言い回しが耳障りでしたら御免なさい。皆さんがそうだろうと決めつけるつもりはありません）、当たり障りなく済ませておけばいいやという風潮には異を唱えたいと思っています。「同じる」ことばかりに気が行ってしまうと、自由にとことん議論して真に「和する」ということができないのではないかと心配してしまいます。

和して同ぜず。
色々な背景を背負った受講生同士が異なる意見を吐露し合い、むしろ意見が違っても大切に思っている根っこの部分が同じであったり共通性があったりすることに気付くこと、そういう仲間の存在のありがたさを知る「学びの場」を具現したいと考えています。
受講生同士のつながりから、己と社会のつながりをいかに構築していくかを模索し、社会の一員として、どの様に社会と関わりを結ぶのがよいかということについてじっくりと考える機会としていただきたい。それは今後の大学生活をどの様に過ごすべきかを考える上で、とても重要なことになるはずです。
学生が主体となり、自由な「学びの場」を実現すること、それがこれまで伊豆に学ぶシリーズが追求してきた共通理念です。総合大学ならではの学びの面白さを追求したいと考えています。

※このゼミは１０月６日（月曜日）18：45～19：45 に Zoom で行われる農学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日周知いたします。

成績評価方法

活動に取組む姿勢とレポートで評価する
積極的であるか、自主性があるかを重視する
ゼミに集中できているか（暇を見つけてはスマホをいじることは、集中していないと見做す）

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51297	A	囲碁で養う考える力	森畑 明昌	教養教育高度化機構	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 囲碁は，古い歴史を持つ日本の伝統文化であるばかりでなく，国際的にも広く普及し親しまれている頭脳のスポーツである。本ゼミナールでは，囲碁のルールを学び，お互いの実戦を通じて，判断力，分析力，洞察力，集中力などを養う。指導に際しては日本棋院の全面的な協力を得る。 囲碁は初めての人を対象として，基本のルールから教える。 第 1 回にオンラインでガイダンスを行い，履修希望調査（UTOL で提出）をふまえ受講者「40 名」を決定する． ※受講可能人数は 40 名 ※受講者は囲碁の未経験者・初心者に限る ※ガイダンスはオンラインで，受講者決定後の講義は対面で行う．オンラインでの参加はできない．
成績評価方法	講義への参加状況をもとに合否を判定する。
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 石倉昇・梅沢由香里・黒瀧正憲・兵頭俊夫 東大教養囲碁講座 －ゼロからわかりやすく 光文社（新書） 978-4334034108
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51303	A	身近な環境化学実習－身の周りの水を水質調査から科学する－	佐藤 守俊、 堀 まゆみ	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 「水」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？ーー水道水は採取場所や日時によって違いがあるのか、水道水とペットボトルの水はどう違うのか、ミネラルウォーターといっても色々な種類があるがいったいどのような違いがあるのか、水道水と井戸水の水質はどのような違いがあるのか、といった私たちの生活にとても身近な「水」に関するさまざまな疑問を、化学実験を通して多角的な視点で解決していきます。 本実習では、身近な水、例えばキャンパス内の建物や自宅の水道水、市販のペットボトルウォーターなど、各自が調査対象とする水試料を決め、化学分析（試料サンプリング、前処理操作、測定）を実際に行い、構成している成分が何であるか、それらの成分濃度はどれくらいであるか、といった情報を取得し、得られた結果から普段私たちが身近に接している水の状態を環境化学的に解釈し考察します。実習最終日にはショートプレゼンテーションを実施し、得られた結果や考察に対する理解を深めます。 専門知識や事前学習を必要としません。研究プロセスを体験し、実験計画を自由に考えながら実験を遂行し、環境分析化学の面白さに触れてもらうことを重要視しています。そのため、文科・理科を問わず、環境や水に興味がある学生を歓迎します。 【ガイダンス（授業の詳細説明)】 2025 年 10 月 3 日(金)12:15～12:45 Zoom 配信 以降、10 月 22 日までオンデマンド視聴可能（UTOL に掲載）
成績評価方法	出席、取り組み姿勢、ショートプレゼンテーションを総合的に評価。詳細は、ガイダンスおよび初回授業時に説明する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51304	A	福島第一原発事故からの環境回復を放射線の視点で考える	瀬川 浩司、堀 まゆみ、小豆川 勝見	教養教育高度化機構	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

東日本大震災・福島第一原発事故の発生から 14 年の歳月が経過した福島県浜通りの被災地では，除染・帰還・移住・生業など様々な観点から復興が進められています．この災害は地震と津波という視覚的に判断できる被害にとどまらず，環境中に大量の放射性物質が拡散してしまったことが復興の大きな足枷となっています．そのため，他の災害復旧の現場とは大きく様相が異なります．
そこで，本講義では避難指示区域内の現場で，実際に放射線計測を行いながら何世代にもわたるであろうこの課題をどのように捉えればよいのか，実体験を伴う理解を深めてもらうことを目的としています．
受講にあたり専門的な知識は不要ですが，座学で事故の経緯や放射線について基礎的知識を共有(1 コマ)・保護具の取り付け方の講習(1 コマ)を教室内で行ったのちに，現場(福島県双葉郡大熊町)における実地(避難指示区域を含む)での測定・見学会(1 泊 2 日を予定)を行います．
野外実習の安全管理および避難指示区域内への立ち入りに許可を得る必要があるため，受講可能人数は最大 4 名とします．受講希望者がこれを上回る場合には抽選を行います．

成績評価方法　出席、取り組み姿勢を総合的に評価するが，現地での実習の参加が必須.
詳細はガイダンス時に説明する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51336	A	ロボット競技を体験しよう B	國吉 康夫、中嶋 浩平	工学部	水 6	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である．
本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う．
専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい．
本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である．
発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する．
講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）．
※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する.
各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる.

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51337	A	ロボット競技を体験しよう D	國吉 康夫、 中嶋 浩平	工学部	水 6	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ロボット競技とは，決められたルールに従ってオリジナルのロボットを製作して競わせるものである．ルールを徹底的に分析し，討論して最適戦略と最適マシン仕様を策定し，機械工学，電子工学，情報工学，人工知能を学び，身につけ，協力して最強のマシンを設計・製作・改良・検証する．勝つためには，訴求力あるプレゼン資料の作成や，力を発揮する組織運営，あらゆる事象を想定した危機管理など，文系的能力も不可欠である． 本ゼミでは，これらの総合的取り組みの様々な段階を実体験することで，一つの具体的目標に向けて，全員が徹底的に頭脳を振り絞り，創造力を発揮することで，総合的に人間力を高めることを狙う． 専門的な知識は前提としない．文理問わず興味を持った人に来てもらいたい． 本ゼミは 1 年 S セメスターの A から 2 年 A セメスターの D までで構成される．A に参加した学生には，基礎からの講義および実習を行い，基礎的な知識・技能の習得をまず達成する．その後，次学期以後の当ゼミに参加して発展的内容に取り組むことで学習効果が十分に得られるが，どうするかは本人の自由である． 発展的な内容を体験したい学生や，本格的なロボットの企画設計，製作等の活動を通した「ものづくり」を体験したい場合は，「NHK 学生ロボコン」に参加するチーム「東京大学 RoboTech」の活動への参加も歓迎する． 講義はオンラインおよび一部対面で実施予定である．現地での実施が可能な場合，実習は集中講義形式をとり，本郷で行う（土曜，日曜，長期休暇中に行う場合がある）． ※関連 HP：https://tuk.t.u-tokyo.ac.jp/robotech/ ---------- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	講義及び実習への参加度合いにより，合格・不合格を判定する． 各学生の得意分野を積極的に評価する．たとえば，文系の学生で機械加工等が得意でなくとも，論理的分析やプレゼン資料作成で評価するなど，多様性を重んじる．
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51338	A	フォーミュラレーシングカーを作る B	山崎 由大	工学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。 自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める) 授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。 本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A 及び A セメスター開講の B(A を履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」または「同 B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作る B」を受講した学生は「同 C」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。 具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。 ※安全教育を実施します（対面で実施予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。 --- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51339	A	フォーミュラレーシングカーを作る D	山崎 由大	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
本ゼミでは 9 月に開催が予定されている自動車技術会主催の「学生フォーミュラ日本大会」に出場する電気駆動フォーミュラレーシングカーの企画、設計、製作、試験、改良の一連のプロジェクトを体験する。これにより、「ものづくり」の楽しさ、面白さ、難しさを感じ取ると共に、工学の基礎を身に付け、更には自分の進むべき道を見つけることを目標とする。
自動車産業が総合産業であるのと同じく、本プロジェクトに要求される内容も単に工学的知識だけでなく、企業との交渉、広報活動、ドライビングなど多岐にわたる。ゼミ参加メンバー各自がそれぞれに自分の得意とするあるいは興味の有る分野の仕事を見つけ、進める。このため本ゼミでは工学部進学希望者に限らず、文科系、理科系全ての学生を対象とする。水曜日の 5・6 限に駒場で、あるいは土・日等の休日に本郷で行う集中講義形式とする。(詳細日程はゼミ参加者で相談して決める)
授業では電気自動車の基礎、ものづくりの基礎を講義・演習（この部分を必修とする）を通して教える。それらの基礎の上に、希望者に関しては「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動に参加してもらい、フォーミュラレーシングカーの企画から設計、製作、試験、改良などの一連の作業に取り組み、仮想的企業活動を体験する。
本ゼミは 1 学年 S セメスターの「フォーミュラレーシングカーを作る A」に始まり、A セメスターの「同 B」・・・と各セメスターに開講するが、S セメスター開講の A 及び A セメスター開講の B(A を履修しなかった学生向け)で基礎を教える。2 年次以降の学生でも一連のゼミを受講する場合は最初に「フォーミュラレーシングカーを作る A」または「同 B」を受講すること。「フォーミュラレーシングカーを作る A」を受講した学生は「同 B」以後の受講を可能とする。初めて「フォーミュラレーシングカーを作る B」を受講した学生は「同 C」以後の受講を可能とする。「同 B」以後のゼミは、主に輪講形式で実施する。更に専門課程進学後の 3 年から 4 年夏に掛けては工学部共通科目「創造的ものづくりプロジェクト」の 1 テーマとして、修士 1 年に対しては工学系研究科共通科目「創造性工学プロジェクト」の 1 テーマとして設定されており、文科系であっても他学部聴講あるいは他研究科聴講の形で受講できる。
具体的製作活動は「学生フォーミュラ日本大会」出場チームである「東京大学フォーミュラファクトリー」の活動として行う。製作活動は本郷キャンパス工学部 8 号館地下 2 階 0069 号室「メカノデザイン工房」及び「工学部ものづくり実験工房」で行う。
※安全教育を実施します（対面で実施予定)。これは実習受講のために必須なので、受講希望者は必ず出席すること。出席できない場合は、事前に草加まで連絡すること。

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　必修項目への出席およびプロジェクトへの参加度合いにより、合格・不合格を判定する。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51342	A	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプ	杉田 直彦、吉﨑 れいな	工学部	集中	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の 2 名の教員が担当します。
杉田直彦 教授
吉﨑れいな 助教
本プロジェクトでは，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します．学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行います．これにより，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，学生がものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組みます．このワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけを作ります．

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　出席を勘案して決定します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51343	A	小学生にものづくり教育を行う「ものラボ」キャンプ	杉田 直彦、吉﨑 れいな	工学部	集中	2	2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ○工学部・機械工学科が提供するゼミナールです。下記の２名の教員が担当します。 杉田直彦 教授 吉﨑れいな 助教 本プロジェクトでは，小学生を対象とした「創造的なものづくりワークショップ」をプロジェクトに参加する学生で開発・実践します．学生はどのようにしたら小学生に創造的なものづくりを楽しんで学んでもらえるかを検討し，ワークショップの企画・運営を行います．これにより，ものづくりにおける難しさ，楽しさはどこにあるかを小学生の眼を通して改めて考え，学生がものづくりの魅力を再発見し，課題解決に取り組みます．このワークショップに参加する子供が，ものづくりの楽しさを体感し，エンジニアを志すきっかけを作ります． --- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	出席を勘案して決定します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51345	A	最先端テクノロジーを熱く語るゼミ～熱語（あつかた）ゼミ	大宮司 啓文、泉 聡志、杉田 直彦	工学部	金 5	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

最先端で活躍する現役の外部講師を毎週お招きして、成功談・失敗談などを交えて、日進月歩の専門分野の現状を熱く語って頂きます。対談相手は、東大工学部の教授陣。ここで厳しい突っ込みが入るはずです。ここまで約 40 分。次に学生 3 人組でのグループワークを約 5 分してもらい、あとは残りの約 60 分で外部講師と東大の教授陣を質問攻めにして、本音ベースのディスカッションを展開します。ファシリテーターとして東大宇野ゼミの宇野健司先生が参加。楽しく分かりやすくガイドしてくれるでしょう。工学系の大学院生もサポートしてくれます。
基本的に文系でも理系でも参加できるゼミです。つまり素人、大歓迎ということです。でも東大工学部の教授陣が、毎回責任を持ってバックアップしてくれます。
このように、その分野の真のプロフェッショナルの方々と東大生の掛け合いによって、テクノロジーの最先端をテーマに、熱く楽しくディスカッションを毎週繰り広げます。素人目線も取り入れて、分からないことは分からないと、素直に質問をぶつけられる雰囲気を大切にします。
そして心がワクワクする授業にしたいと思います。
それ、何の役に立つのですか？何が凄いのですか？
何が難しいのですか？本当に実現できるのですか？
いつ実現できるのですか？いくら予算がかかるのですか？
ビジネスとして成立するのですか？
この技術が実現すると、世の中はどう変わるのですか？
その時、自分はどう対応すれば良いのですか？
誰が世界のトップランナーなのですか？
勝ち目はあるのですか？最終的な夢は何ですか？
何でも聞いてみて下さい。建前ではなく、本音で熱く語って頂きます。
これからの未来は、最先端テクノロジーで変わる、変える、激変するでしょう。
その熱気をみんなで分かち合いませんか。
文系・理系、学年、性別、バックグラウンドを問わず、全ての東大生を巻き込んだ楽しいコミュニティを目指します。
是非、覗いてみて下さい。
自分の人生が良い意味で変わるキッカケになるかもしれません。
この授業は、テクノロジーが社会を大きく変えつつある現実を、より深く理解すると共に、外部講師と教授陣と受講生が緩やかなコミュニティを形成することを目指します。
また刺激的な雰囲気に身を置くことで、共に成長し合える仲間が増えて、科学技術の目覚ましい発展と向き合える時間をみんなで共有する貴重な機会となるでしょう。
将来の進路に関わらず、誰もが押さえておくべき科学的リテラシーを身に付けて、新しい時代のリーダー育成に寄与することを目的とします。
興味のあるコマだけの聴講を歓迎します。興味のありそうな友人を誘ってみてください。
終了後、講師を交えた簡単な懇親会を予定しています（軽食付き）。

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる
工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　出席・講義への参加
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51346	A	飛行ロボットを作って飛ばす	土屋 武司	工学部	水 5	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

飛行ロボットとは無人航空機（ドローン）である．室内で飛行する大きさ数 10cm～1m 程度，重量数 100g の飛行ロボットを自ら設計，製作し飛行させることを目標とする．小さくても飛行ロボットには航空工学の要素が詰まっており，講義，実習を通じてこれを理解する．

※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。
Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。

成績評価方法　授業への参加，貢献度による．
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51348	A	ナノ・バイオテクノロジー：最先端ラボへようこそ	宮田 完二郎、白岩 隆行、阿部 英司、近藤 高志、澁田 靖、江島 広貴	工学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 最先端の科学技術では，ナノスケールでの物質の構造や特性の制御が欠かせません。これをどうやって実現しているのか，実際に研究室で体験してみませんか？ ・ナノスケールの極小の世界で起こる出来事は、どのようにして知ることができるのでしょう？ ・ナノスケールの材料を操作して組み立てるには、どうすればいいのでしょう？ ・ナノスケールの材料研究において計算科学やシミュレーションはどのように役に立つのでしょう？ ・mRNA ワクチンなどのナノ医薬はどの様にして調製・評価されるのでしょう？ 本体験ゼミナールでは，ナノとバイオに関する最先端研究を実際に体験し，その面白さと奥深さを学んでもらいます。 --- ※このゼミは 10 月 2 日（木）6 限（18：45～）に Zoom で行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ---
成績評価方法	講義や実習への参加による評価
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51349	A	応用化学の最先端研究を体験してみよう B	細野 暢彦	工学部	集中	2	1 年 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本授業では、工学部応用化学科の研究室での化学実験を通して応用化学の最先端研究を体験し、化学に対する理解を深めることを目的とする。 ***** このゼミは 10 月 2 日(木)6 限（18：45～）の工学部合同ガイダンス（オンライン開催）に参加予定です。 Zoom の URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知する予定です。 *****
成績評価方法	実験への参加状況により評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51354	A	鉱物資源はどこでできるのか？～フィールド調査と鉱物採集の旅：海底資源編～	中村 謙太郎、安川 和孝	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 私たちの文明の発展は、多種多様な鉱物資源によって支えられています。特に近年では、持続可能な人類社会を築くためにさまざまな金属（ベースメタル、レアメタル、貴金属）が不可欠となっており、その供給源としての鉱物資源の役割は増大しています。では、これらの「鉱物資源」は一体どこから生まれるのでしょうか？ 水の惑星と呼ばれる地球には、海でできた鉱物資源が数多く存在しています。驚くべきことに、陸地で採掘される資源の中にも、過去に海で形成されたものがたくさん含まれています。そして、東京近郊にも海に由来する鉱物資源が存在し、実際に過去には採掘されていたのです。 そこでこの授業では、東京周辺で野外巡検（日帰り）を行い、過去の海でできた岩石と鉱物資源を実際に観察・分析してもらいます。自ら手を動かし、その実態と魅力に触れてもらうことで、私たちの生活を支える鉱物資源とそれを生み出す海に対する理解を深めてもらうことをを目標とします。 ---------- ※このゼミは10月2日（木）6限（18：45～）にZoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	野外巡検、講義、化学分析の終了後にレポートを作成してもらい，その内容により成績評価を行います. なお，2回の講義と巡検への参加およびレポート提出の全てが単位認定に必須となります.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51358	A	Virtual Exchange for Global Citizens～プリンストン大学日本語学習者とのオンライン国際交流～	秋山 友香	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 プリンストン大学の日本語学習者と協力して、様々なタスクに取り組むプロジェクト型の授業です。授業は講義、国際コミュニケーション演習、そして成果発表の3部構成で展開されます。授業での使用言語は英語ですが、プリンストン大学の学生と交流する時には日本語と英語両方を使用します。国境や学問の枠を超えた交流を通じて、世界で活躍するために必要な語学力と異文化コミュニケーション能力を養います。さらに、国と国の表層的な比較に留まらない、多様性に焦点を当てたプロジェクトを行うことで、真のグローバル市民になるのに必要な資質を育てます。 Virtual Exchange for Global Citizens is a project-based course where students from the University of Tokyo partner with Japanese language learners at Princeton University. Together, they tackle a range of tasks using both Japanese and English. The course is divided into three key segments: lectures, interactive international communication exercises, and final presentations. By engaging in cross-border and interdisciplinary interactions, students are expected to develop linguistic and intercultural competence, both vital for global effectiveness. The course's projects are designed to foster genuine global citizenship, emphasizing the significance of diversity and going beyond superficial comparisons of nation-states. ---------- ※このゼミは10月2日（木）6限（18：45～）にZoomで行われる 工学部合同説明会への参加を予定しています。 Zoomの URL は後日 UTAS 掲示板のお知らせにて周知いたします。 ----------
成績評価方法	講義＆ワークショップへの参加（30%） Zoomセッションへの参加（50%） プロジェクトの成果発表（20%）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51360	A	医工学ってなんだろう？！	太田 誠一	工学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 予防・診断・治療が一体化した未来型医療システムをつくる学問分野として、「医工学(バイオメディカルエンジニアリング)」があります。医工学は物理・電気・機械・化学・材料・生命科学の学問分野を有機的につなぎ、革新的な医用技術を創製することで、人類の健康と福祉の増進に貢献することを目指す分野です。 本講義では、工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻の教員が中心となり、研究室での実習体験という形式で、「医工学ってなんだろう？！」を分かりやすく体験してもらうことを目指します。 https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campussquare.do?_flowExecutionKey=_c03BCADDF-0E09-482D-F159-E73AA416384C_kB105E877-8DF1-A633-9231-809758DD796D#tabs-2 --- ※このゼミは10月2日（木）6限（18:45～）にZoomで行われる工学部合同説明会への参加を予定しています。ZoomのURLは後日UTAS掲示板のお知らせにて周知いたします。 ※ゼミの受講には、履修登録に加えて、班分け等のための別途申込が必要です。受講希望者は締め切りまでに、必ず以下のURLから申込を行ってください。詳細は上記の工学部合同説明会の際に説明いたします。 【申込締め切り】10月16日（木） 【申込用URL】 https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf83ul8Q5lh7IGRFXNYJqUBQD2gILFb4aEode3HqcjXvTZ5LA/viewform?usp=header ---
成績評価方法	出席と理解度による総合的評価
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51391	A	目に見えない素粒子や原子核を見てやろう	山口 英斉、 郡司 卓、 酒見 泰寛	理学系研究科附属原子核科学研究センター	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 サブ゛アトミック粒子、即ち原子以下の大きさを持つ微細粒子を測ることは、原子核・素粒子・宇宙物理学の実験的研究において最も基本的な手法で゛あり、検出器はサブ゛アトミックな世界を研究する上で゛の目や耳ともいうへ゛きもので゛ある。 授業で゛は、目に見えないサブ゛アトミック粒子測定の基本原理を理解することを目標とする。そのため、授業は以下のような構成を取る。 （1）講義により、粒子検出器についての基礎的な検出原理を理解する。（2）実際に、幾つかの検出器を構築する。 （3）構築した検出器を用いてサブ゛アトミック粒子を測定する。（4）測定結果を評価考察する。 ※実習指導の都合から、履修人数は10名以下が望ましい。 ※このゼミナールは、埼玉県和光市理化学研究所キャンパス(東武・東京メトロ和光市駅から徒歩15分程度)内にある東大原子核科学研究センターで開催される。期間中は近隣の宿泊施設(ホテル)に宿泊していただく予定。
成績評価方法	実習へと取り組み姿勢と達成度、及び゛発表会で゛の発表内容に基づ゛いて評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51401	A	房総の森と生業（なりわい）を学ぶ	鎌田 直人、 井上 広喜、 楠本 大	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は長らく人間の生活の一部であり、生業（なりわい）として森林の資源を利用する人々を中心に管理されてきた。しかし、現代ではそれらの生業の多くは衰退し、人間と森林の関わりは希薄になってきており、様々な弊害も生じている。 たとえば、森林における生業が衰退すれば広大な森林への目配りや管理が不十分となる。その上、森林との関わりの希薄化は森林に対する誤解や過剰な期待をもたらし、森林による地球温暖化防止や国土保全といった課題に際して方向性を誤る恐れも大きくなる。 本ゼミは、人間との共存の長い歴史を持つ南房総の暖温帯林において、森林の生態や景観に親しむとともに、炭焼きや林業、工芸、狩猟採集などの生業を体験・学習することで、自分が納得できる「森林との関係」を会得するとともに、今後推進すべき森林産業や、森林と人間のあるべき未来を考えてもらうことが目的である。 将来様々な分野に進む幅広い人材が受講することを期待しています。 【履修希望者への注意事項】 履修希望者は、第 1 回講義終了後から 10 月 18 日（土）17：00 までに下記サイトにアクセスし，所定のフォームで①氏名，②メールアドレス，③希望動機（100 字程度）を入力してください。10 月 18 日の 17 時を過ぎるとアクセスできなくなります。なお、この履修希望申込とは別に、大学の通常の履修登録も所定の手続きで行ってください。欠員が出た場合には、追加で参加を認める場合がありますので、選考にもれた場合でも履修に興味がある場合には履修登録を行うことを推奨します。 参加希望申込サイト： https://forms.gle/HV5VMwHGingKimNu5 参加の可否は 10 月 20 日（月）24：00 までにメールで連絡しますが，連絡がない場合は下記の担当教員にメールで問い合わせて下さい。また履修希望申込をしたあとや、参加可能の連絡を受けたあとにキャンセルする場合も必ず担当教員に連絡して下さい。 連絡先：鎌田直人（千葉演習林 教授） kamatan@uf.a.u-tokyo.ac.jp
成績評価方法	最終日に学習成果を発表し討論を行う。成果発表により合否を判定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51402	A	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作りから考える A1 日本林業に早生樹を加える意味	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。
我が国の一次エネルギー自給率は１１％ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。
洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるＳＤＧｓの取り組みがあります。
それは早生樹植えて、エネルギーの森を作ること。
昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・
このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。
７０年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題（カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど）の原因になっています。
第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、１０００万ｈａに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。１０００万ｈａの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。
伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。
話を変えます。２０１９年に千葉県に上陸した台風１５号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンブスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。
この体験ゼミの背景には、そのサンブスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンブスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。
皆伐した跡地をどうするか？
また、スギを植える？
スギが余っていることは上述した通りです。
同じサンブスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。
あなたなら、もう一度スギを植えますか？
今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。
スギ・ヒノキではなく
ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく
ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。
持続可能なゴールが見えるでしょうか？

成績評価方法　積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51403	A	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_１（低山ゼミＡ１）	鴨田 重裕、平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。
山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりにはしません。
山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという、ちょっと大それた目的を掲げている体験ゼミです。
こんな大目的こそは、楽しみながらしないと達成できないに違いありません。
多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄るコースとしています。温泉で汗を流したり、温まったりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。
本ゼミは「低山ゼミ」と自称してます。
Ａ２タームは厳冬期に当たるため、正真正銘の低山にお連れしますが、Ａ１タームには２０００ｍクラスの山にもお連れします。
そのため、安全装備は必携となります。
Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行では味わいにくい、同宿による山行を振り返りと、各人の意見を交換する機会となるので、どうぞお楽しみにしてください。
【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。
逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。
歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではないからです。
【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しみながら山林の現状を知ってもらうのと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。
日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？
いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。
あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）
森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。
その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。
私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください）。
このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。
感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたなら

	ば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。 本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。 果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？ 実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。
成績評価方法	講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。 ・レポート提出が無い場合は不合格になります。 ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。 ・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。 ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。 ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。 51403「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、 51404「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が２単位になっています。 全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「１ゼミ」「２ゼミ」計３単位を付けます。 ２山行＋レポート合格の場合は「２ゼミ」に２単位を付けます。「１ゼミ」は欠席扱いとします。 １山行＋レポート合格の場合は「１ゼミ」に１単位を付けます。「２ゼミ」は欠席扱いとします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51404	A	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_２（低山ゼミＡ１）	鴨田 重裕、平尾 聡秀	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。
山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりにはしません。
山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという、ちょっと大それた目的を掲げている体験ゼミです。
こんな大目的こそは、楽しみながらしないと達成できないに違いありません。
多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄るコースとしています。温泉で汗を流したり、温まったりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。
本ゼミは「低山ゼミ」と自称してます。
Ａ２タームは厳冬期に当たるため、正真正銘の低山にお連れしますが、Ａ１タームには２０００ｍクラスの山にもお連れします。
そのため、安全装備は必携となります。
Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行では味わいにくい、同宿による山行を振り返りと、各人の意見を交換する機会となるので、どうぞお楽しみにしてください。
【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。
逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。
歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではないからです。
【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しみながら山林の現状を知ってもらうのと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。
日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？
いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。
あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）
森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。
その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。
私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください）。
このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。
感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたなら

	ば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。 本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。 果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？ 実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。
成績評価方法	講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。 ・レポート提出が無い場合は不合格になります。 ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。 ・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。 ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。 ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。 51403「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、 51404「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が２単位になっています。 全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「１ゼミ」「２ゼミ」計３単位を付けます。 ２山行＋レポート合格の場合は「２ゼミ」に２単位を付けます。「１ゼミ」は欠席扱いとします。 １山行＋レポート合格の場合は「１ゼミ」に１単位を付けます。「２ゼミ」は欠席扱いとします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51405	A	鹿の遠音 ”Soundings of Deer”	大黒 俊哉、 大石 岳史、 種子田 春彦	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 本全学体験ゼミナール「鹿の遠音」は、北海道十勝平野南部の大樹町にて、エゾシカを巡る 3 日間のフィールドワークとレクチャーから構成される学際集中講義である。農学（生圏システム）、工学（リモートセンシング）、理学（植物園）、現場（猟師）、それぞれの研究専門性・実践分野が持ち寄る知見と、実際の現場と現物から見えてくる現実の重ねあわせを通した、学術連携の可能性を感じてもらうことを目的としている。また鹿にまつわる文化的な関わり、すなわち人との関係性を音（楽）や、食、実物に触れることを介して思考を深める。この集中講義を通じて、多様な分野の専門性を重ねて目の前の事象を探究することの面白さを感じ、各の研究分野を選択する際の可能性へとつなげてもらうことを想定している。
成績評価方法	フィールドワーク・レクチャーに取り組む姿勢とレポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51418	A	最先端メディカルゲノムサイエンスを体験する	松田 浩一、 合山 進	新領域創成科学研究科	集中	2	1 年 理科 2 年 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が進学選択が可能となる条件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 メディカル情報生命専攻に所属する教員が実施する体験的プログラムに参加することで、現代生物学・基礎医科学研究の最先端の現場を体験することができます。 合わせて、実施キャンパスの見学説明等も行いますので、実際の大学院での研究がどんな雰囲気のところで、どのように行われるのかを直接肌で感じ取り、今後の進路選択にも役立つ貴重な経験が出来るでしょう。 『A セメスター開催予定プログラム』 （1）合山進先生「ゲノム編集をやってみよう！」 ※ 本プログラムは、白金キャンパスで実施されます。また、UTAS への履修登録に加え、別途メールで実習申込を行い採択される必要があります。詳細情報は「授業計画」を参照してください。
成績評価方法	各プログラム責任者からの出席状況を取りまとめこれに基づき評価(合格、不合格、欠席)を決定する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51422	A	フィールドワーク入門：現代社会を歩く	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

◆今学期のこの授業の予定
下記の前提を踏まえて、2025年度Sセメで実施した「都心型クラフト酒造の現場フィールドワーク」をさらに深め、実際にクラフト酒（日本酒、ビール、ワイン、ジン等）を自らつくり、ブランド化する実践型フィールドワークを実施します。

◆この授業の概要
様々な現場に赴き、そこに生きる方々の声に耳を傾け、風景からその奥にあるものを読み取り、あるいは目に見えない歴史的蓄積をさぐります。さらにその内容を研究成果とすべく学会報告や査読論文としてまとめることを目指します。
具体的には以下のプロセスを取ります。
・参加者同士でのフィールドワークプログラムのプランニング
・フィールドについての文献やインタビュー等を活用した事前調査
・プログラムの実施
・リフレクション
この流れを繰り返し、フィールドに入り込み、情報を読み取り、知識を得るトレーニングをします。その上で、学会報告or査読論文投稿を目指します。
具体的なフィールド選定の部分から受講者の関心を踏まえて検討します。
キーワードとしては、都市・地方／政治・行政／災害・有事／メディア・ジャーナリズム／コミュニティ・組織／貧困・格差／グローバリゼーション・エスニシティ。これらに関する問題を捉え直す機会になるようにフィールド選定・プログラム設計を行います。無論、これは大学の授業であり「教育の場」ですので、物理的・非物理的に安全が保たれる範囲でプログラムは実施されることが前提になります。
なお、これまで以下のようなフィールドワークを実施しました。
【2025年度Sセメ】
・都心型クラフト酒造のフィールドワーク
【2024年度Sセメ】
・北海道ホタテ生産加工現場フィールドワーク：中国による日本産水産物禁輸措置の打撃を最も受けた北海道ホタテの現状を知るために自動車でオホーツクと噴火湾とを5日間フィールドワーク
・蔵前クラフトカルチャーフィールドワーク：関東大震災の被災の中心地であり、東工大や東京電力やかつては国技館（いまの両国国技館）があったエリアである蔵前。江戸時代は全国のコメがあつまり札差たちが取引を行う金融エリアでもあった。ここにいま再生し、新たに芽吹き出した「クラフト」の産業と文化の集積とを調査
・福島フィールドワーク：福島第一原発事故で全域が避難指示の対象となりかつては「死の町」とも形容された地域で、夏休み期間中に3回にわけてのべ10日間徹底的に住民の話をきき、課題と可能性を明らかにした

◆そもそもここでいうフィールドワークって？
人文・社会科学的フィールドワークを指します。
文系・理系問わず、フィールドワークは様々な学問で用いられる手法です。部屋に閉じこもって本を読んだり実験したりするのも重要な研究方法ですが、何らかの現場に出るフィールドワークでしか得られないこともあります。フィールドワークという概念は多義的で領域や人によって定義もまちまちです。何らかのフィールドに出ればそれで「フィールドワーク」だというスタンスもあり得るし、もっと厳密に学術的なフィールドワークはかくあるべきでそこから外れるものは認めないというスタンスもありえます。
この授業でいうフィールドワークは、2つの方向性において、他とは区別されると考えています。一つは人文・社会科学的フィールドワークであること。山に入って動植物の生態系をみるような自然科学的なフィールドワークではなく、人や社会を対象とします。人や社会を対象としたフィールドワークは、社会学や人類学・民俗学等で行われてきましたがそのようなものが人文・社会科学的フィールドワークです。もう一つは、単に「現場にいって面白かったです」という話では終わらせない、フィールドスタディとしての要素が必須だということです。フィールドにいくことは、その現場から得られる以上のことを得るための一連の学習のプロセスの一部分であり、また研究でもあるということです。学習であり研究であるフィールドワークを通して、頭と手足との全てを回しながら現代社会を捉え直すトレーニングの機会を提供します。

◆何が学べる？
フィールドワークの技法を学べます。そのための実践的なトレーニングができます。これは研究をしないとしても、ビジネス・政治行政・NPO等々の世界においても、一生役立つ経験とスキルになります。
・必要な事実を把握し、論理的かつ俯瞰的に考え、意図を他者にわかりやすく伝え、何かを教えてもらったり、協力してもらったりする
・だれかと仲良くなり信頼関係をつくり、あるいは交渉や互いを高めるための良い競争をする
・普通の人がアクセスできないところに踏み込み情報・知識を得るルートをつくり、あるいはそのルートを短時間で見つける
・意図せざるコンフリクトやあからさまに悪意ある妨害・嫌がらせ等にあっても目的に向けて淡々とトラブルシューティングしていく
あえて言葉にするならば、そういったスキルが、フィールドワークの中で身につきます。（文科省的に言うと「生きる力」であり「主体的・対話的に深く考える探究力」がつきます。）
なお、フィールドワークの教科書的な書籍や論文は調べればいくらでも出てきます。そういったものを読むことも有意義ではありますが、残念ながら水泳やスキーをしたり自転車に乗ったりするのと同様で、実際にやってみないことには本当に必要な技術は何も身につきません。もちろん、スポーツやなんらかの芸・術と同様に、一定の技術を身に着けた後に理論的に細部を洗練させるのに知識面のインプットをするのは大切です。書籍・論文のみならず動画等も容易にアクセスできる時代ですから、そういうのも活かすべく自主的に研鑽をつむのも良いです。
※ガイダンスは担当教員の他のSセメ開講科目の内容とあわせてオンラインにて実施します。

成績評価方法

以下の割合で評価します。
▼授業参加　１００％
毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。
ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51423	A	東大福島部：福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

◆この授業の概要

講義名の通り「福島を見る・食べる・学ぶ・遊ぶ」ことを通して、福島について主体的・対話的に深く学びます。
扱われるのは、福島の地域史、食や風習、政治・経済・メディア教育等々、3.11後の課題や変化以外も含めたあらゆる角度からの福島です。
具体的には、
・座学（数回）
・フィールドワーク（数回）
・イベント参加を通した実践
というプロセスを通し、地域コミュニティとつながり自分たち自身もコミュニティを形成（「福島部」化していく）の過程に身を置く中で、学際的に一つのエリア・テーマを多角的に見て、そこから新たな知見を得る経験ができます。

◆これまでとこれから

これまでの「東大福島部」の活動内容は以下の通りでした。
▼2025年度Sセメ
ツアー：とみおかワイナリーのオープン日に常磐ものヒラメ等を味わう／インターン：楢葉町に2週間滞在／リサーチプロジェクト：旧帰還困難区域等で再生しつつある産業の現状を追う／座学
この内容を踏まえて2025年度Aセメも現場・地べたに徹底的に密着して学びます

◆この授業の背景と意図

講師はこの20年ほど、福島をフィールドにした人文・社会科学的研究を続けてきました。15年前に3.11（東日本大震災・東京電力福島第一原発事故）がありましたが、それ以前からの福島、近年徐々に鮮明になりつつある災害を乗り越えた新たな福島をも対象に通時的に調査や実践を重ねてきました。
その中で常に重要な要素として存在してきたのは「コミュニティづくり」です。災害復興はもちろん、研究も教育・学びも、もちろん政治・行政も経済も、いかに人のつながり、コミュニティをつくり、持続可能な形にするのかが全てを決める、といっても過言ではない現実を見てきました。
学ぶことで人のつながりができ、飲み食いするなど時間をすごすことで、さらにそこから学びが深まり、その先に研究がうまれ、それ自体が「遊び」のように楽しくもなっていく。例えばそういう循環が生まれる先に、当初は頑として動きそうもない扉がすんなりと開いていくような瞬間を何度も見てきました。
授業の枠内でできることは限られますが、3.11にとどまらない多様な福島の側面について研究を続けてきた講師が、座学と現地訪問とを組み合わせて多角的にガイドする中で、一つの食材（フィールド）をあらゆる角度から切り刻み、知る限りの方法を駆使しながら徹底的に料理する魅力を伝えるよう努力する中で、それを五感で感じ、人にも伝えられる力を養って頂ければと思います。
※ガイダンスは担当教員の他の開講科目の内容とあわせてオンラインにて実施します。

成績評価方法

以下の割合で評価します。
▼授業参加　１００％
毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。
ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

教科書

教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス

特に行わない。／Will not conduct guidance

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51424	A	探究学習論：中高生向け教育プログラムのデザイン・実践	開沼 博	情報学環	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

◆この授業の概要
高校・中学で進む「探究的な学び」の現在について考え・実践します。高等学校で「総合的な探究の時間」が必修科目化したのは2022年度のこと。2025年度からは、大学にいわば「探究学習ネイティブ世代」が入ってくることになります。無論、この必修化以前から探究・総合ははじまり、多様な取り組みがありました。その意義と課題・可能性とを改めて俯瞰するとともに、実際に中高生向け探究教育プログラムのデザインと実践をします。
◆この授業の目的・前提
担当教員は、これまで災害・エネルギー・メディアなどをテーマにした中高年の探究的な学びやそれを促すプログラムに複数関わってきました。
その中で、学校・教員・生徒・支援するNPO関係者等のそれぞれから、探究に取り組むことの価値と同時に、その難しさを聞いてきました。例えば、「小学生の調べ学習の延長にしかなっていないか不安」「どうやって探究の前提となるテーマや問いを定めればよいかわからない」「せっかく深い部分にせまってきたという部分で終ってしまい継続性がもてない」「受験につながるのかいなか不明瞭な中では受験科目優先の空気が強い」「自分の担当教科がある教員がさらに探究も担当すると負荷がおもすぎる」といったことです。
理念としてはわかっていても、実際にどうそれを進めればよいのか正解がわからない。この悩みの中に現場の関係者の困惑はあるようです。
そして、仮に「探究とはかくあるべし」と語れる人がいるとしても、それが5年後、10年後に誤りだったと評価される可能性も十分にあるのが現状といえるでしょう。
そんな流動的・過渡的な「探究学習」をテーマに理論的にも実践的にも捉え直すことがこの授業の目的です。
探究学習は、当然、「教育」の問題ですが、それはより広く「社会」の問題でもあります。つまり、それは教える側と教えられる側の固定的な関係性、あるいは学校等の教育システムの枠を超えてなされる営みだとされています。それ故、探究学習について考えることは、「今後の社会をいかにデザインするのか」という問題、例えば、これからどのような思考法が必要になり、いかに人と人、人と技術の繋がり方が生まれていくのかという、より普遍的な問題に迫るきっかけともなります。この授業では、探究学習をそのような前提で捉えます。
◆より具体的には？
調査と実践、2つのレベルで授業を進めます。
調査としては、
・探究学習の現場の悩み
・探究学習と高大接続
といったテーマについて、様々なデータを集め、実態を把握します。
実践としては、
・調査結果を前提に探究学習について中高の現場との意見交換
・探究学習に関するイベントの企画
といったことを進めます。
※ガイダンスは担当教員の他の開講科目の内容とあわせてオンラインにて実施します。

成績評価方法
以下の割合で評価します。
▼授業参加 １００％
毎回、何らかのアウトプットが求められることになるので、欠席すれば自動的に点数は減ることになります。
ただし、コロナ感染等明確な欠席理由があり、出席の代替措置を希望する場合は、都度事前にメールにてご相談ください。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51435	A	相模トラフの巨大地震を探る	石山 達也、 藏下 英司	地震研究所	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

このゼミナールでは，地球科学の一分野である地震学・地形学・地質学をベースとして、沈み込み帯周辺で発生する巨大地震がどのように理解できるかを，大正関東地震を引き起こした相模トラフを例に学ぶ。11月の2回の事前授業により地震学・テクトニクス研究の概要と相模トラフ・関東平野のテクトニクスの基礎について学ぶ。授業の内容をふまえて、12月に箱根・伊豆半島にて巡検を行い，地震・テクトニクス研究の現場に触れる。講義を通して地震・テクトニクス研究の一端に触れ，科学研究の必要性や人間社会との関わりについても考察する。

成績評価方法
講義及び巡検の出席とレポートにより評価する。

教科書
教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス
特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51446	A	じっくり学ぶ数学 II	伊山 修、牛腸 徹	数学	金 5	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要
■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
数学を学ぶ上で微積分学と線型代数学は最も基本的なものです。そこで、S セメスターの「じっくり学ぶ数学 I」に引き続き、論理的な順番には余りこだわらずに、微積分学や線型代数学における基本的な考え方を順番に取り上げて、何をどう考えているのかとか、何がアイディアなのかということをなるべくはっきりした形で説明してみようと思います。それにより、正規の数学の講義と合わせて、皆さんにより良く微分積分学や線型代数学を身につけていただく助けになればと考えています。
一応、ゼミは講義形式で行おうと考えていますが、時間の余裕のある方には演習問題を解いて頂く時間を取りたいと思っています。また、文系の方でも十分理解していただけるのではないかと思いますので、文系、理系を問わず、興味のある方でしたらどなたでも歓迎します。
※授業登録はできませんが、もう一度、数学をじっくり学び直したいと思われている 2 年生の参加も歓迎します。
成績評価方法　問題を解いたノート提出
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51447	A	電磁気学で使う数学	伊山 修、清野 和彦	数学	金 2	2	1 年 文科 理科

授業の目標概要
■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
理系の 1 年生が A セメスターで学ぶ電磁気学では、物理的な量の関係がスカラー場やベクトル場という場（ば）というものの微積分によって表されます。ところが、場の微積分を数学の授業で学ぶのは 2 年生の S セメスターであり、さらに、その前提となる多変数関数の微積分のうち積分を学ぶのは 1 年生 A セメスターの微分積分学の後半になるのが普通です。そこで、このゼミナールでは多変数関数の積分と場の微積分について学びます。内容がかなり多いので、数学として何を言っているのかを説明するのが主で、証明はあまりしない予定です。必要なことは電磁気学の講義でも説明されるし、少し待てば数学の講義でも学ぶ内容なので、数学が気になって電磁気学の本当の内容に集中できない人や、数学が苦手で見たこともない数学の記号が出てきただけでめまいがして電磁気学どころではなくなってしまう、というような人を念頭において話を進める予定です。
なお、電磁気学の物理学としての内容には一切触れません。電磁気学そのものの理解を深めようというものでないことにくれぐれも注意してください。また、このゼミで扱う数学は電磁気学で使われますが、電磁気学の講義で使われるかどうかはそれぞれの電磁気学の授業の担当教員に依ります。その点も心に留めておいて下さい。
成績評価方法　「授業の方法」に書いた毎回課す問題の答案で評価します。詳しいことは第 1 回の資料を参照して下さい。第 1 回の資料は 9 月 26 日（第 1 回の一週間前）までに UTOL にアップロードする予定です。
教科書　プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス　特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る＆動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要
■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。
ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。
この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。
なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。
成績評価方法　授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51448	A	ささえあいレシピ ～ピアサポートを知る&動く～	高野 明	相談支援研究開発センター	火 4	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 ピアサポートとは、学生生活上で支援(援助)を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で手助けを行う活動です。本学では、学生のみなさんの支え合いと自主的成長を促進するために、学生ボランティアのピアサポーターを組織し、学生による学生を支えるピアサポート活動を全学的に展開しています。 この授業では、ピアサポートの理論と実践方法について体験的に学習し、相互扶助のキャンパスづくりに貢献できる知識とスキルを習得することを目標とします。授業は、ピアサポート活動に関わる教員による講義と実習、学生同士のディスカッションによって構成されます。受講者には、相互扶助のキャンパス作りに関する学習への積極的なコミットメントが求められます。 なお、この授業を受講することで、ピアサポーター認定のための予備研修・総括講義を受けたことになり、登録後すぐに活動ができます。
成績評価方法	授業での発表や毎回授業で実施するレポート作成をもとに評価します。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51454	A 1	都市林を支える知と技：武蔵野編	安村 直樹、 前原 忠、 後藤 晋	農学部	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 森林は木材生産、環境保全、防災など様々な機能をもち、人間の生活を支え、人間との生活の関わりの中で森林が維持されてきた。近年では温暖化やヒートアイランド現象が進行する中において、「都市林」の重要性が増している。これらの森は、放置しておけばよいのではなく適正な管理、すなわちあるべき森の形を設定し、そのために手を加える必要がある。とくに都市林では散策路に枝が張ったり、ナラ枯れなどの危険木の処理などの新しい課題も出てきている。 本講義では、森林の持つ多面的機能のうち、保健・レクリエーション機能、文化機能に重きを置きながら、森林の調査や管理作業を体験し，都市林の望ましい造成方法や管理手法について考える。本年度は，森と人との関係性、特に東京という場所の地域特性に着目し、東京大学の演習林や明治神宮を訪れ，都市林の造成の背景や造成後の管理方法を学ぶ。
成績評価方法	フィールド体験ゼミおよび振り返りへの出席と、レポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
51457	A 1	森と人を紡ぎ直す感性と技術の方法論	中村 和彦、 藤原 章雄	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 今や、世界中のあらゆる情報がインターネット上に存在するようにも思えるが、それは人の生活圏に限ってのことである。人里離れた森の情報は、未だインターネット上に僅かしか存在しない。 森は古来、人間にとって資源獲得や環境保全のために不可欠な存在であった。近代化以前はエネルギー源として生活に直結していたが、現代では二酸化炭素吸収や防災、保健・レクリエーションなど、人間との関係における時空間スケールがより大きくなり、森と人の関係を実感しにくくなっている。 本ゼミナールでは、現代的な森と人の新たな関係を紡ぎ直すための感性と技術の方法論として、実際に森を訪れて撮影とインターネットへの配信（平たくいえば「森の YouTuber」的な活動）を体験する。
成績評価方法	授業への参加態度および映像の制作・配信内容を総合的に評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60216	A 2	🧬🐟🌳🐝身近な生命科学実習 ／ Molecular Biology in our daily lives	鹿島 勲	教養教育高度化機構	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
＊対面授業に参加可能な学生のみに履修を制限
＊実験三昧・研究室体験
＊少人数制・自分のペースで
＊生命科学分子生物学実験入門編
＊体験を通じた“考えるトレーニング”

この授業では、分子生物学の入門編に相当する実験体験を、実質 6 日間の集中講義で開講します。特色は、文理の垣根を越えた少人数制、可能な限り個別最適なプログラムになるような授業デザインになっています。実習は、大きく分けて 2 つのパートに分けることができます。前半の A パートは、共通課題としてマグロ属魚類の魚種類判別実験を通じて、基礎的なスキルと、考え方を身に着けます。後半の B パートでは、前半で学習した内容を活用し、自由課題に取り組みます。最終日は、各自の取り組んだ内容をラボミーティング形式で発表を行います。

A パート
基礎的な実験スキルと考え方の習得

マグロの切り身の味や形状からその種別を判別・評価することは、魚の専門家でない限り極めて難しい。では、どうすれば誰でも正確に再現的にマグロの種別を判別できるであろうか？
本実習では、分子生物学的手法を用いたマグロ属に属する魚の種別判別実験の体験を通じて、1. 基礎的な実験スキル・考察方法習得、2. ニュースなどでもよく出てくる DNA、PCR といった生命科学用語・技術の理解を目的とする。
【実習の流れ】
① 本実習内容の説明
② マグロから DNA 抽出
③ 遺伝子増幅法（PCR 法）による DNA の増幅と DNA 配列特異的切断酵素による切断
④ DNA 断片を電気泳動により分離して検出
⑤ 得られた DNA のパターンからマグロの種別判別
⑥ サンガーシーケンス解析によるマグロの種別判別
⑦ 結果に関する発表および、ディスカッション

B パート
自由課題を通じた“考えるトレーニング”

上記の既定の作業に加え、参加している学生各自の学習到達度・実験の進行度合いに個別に対応し、初心者でも理解可能なシンプルな課題を個人／グループに随時与える。Web 検索、過去のプリント集、生成 AI を利用しても、答えは簡単には見つからない。各自／グループは、実験を自らデザインして各種の検討を行う必要もある。規定の実習の作業内容に追加するこの “考えるトレーニング” 、答えが確定していない課題に挑戦する体験、楽しみながら実習に取り組んで欲しい。

【ガイダンス】
対面でのガイダンスは行わない。必ず下記の録画ガイダンスを視聴し履修を検討、履修希望者はフォーム送信を行うこと（定員に達し次第募集締切）。
https://forms.gle/ACb6KnvLx9pVcDGq5
個別に対応が必要な場合は、メールでその旨ご連絡ください。
【実習実施日】
Day1 2026 年 2 月 04 日（水）13:00～18:00
Day2 2026 年 2 月 05 日（木）13:00～18:00
*Day1 2026 年 2 月 09 日（月）13:00～18:00
*Day2 2026 年 2 月 10 日（火）13:00～18:00
Day3 2026 年 2 月 12 日（木）13:00～18:00
Day4 2026 年 2 月 16 日（月）13:00～18:00
Day5 2026 年 2 月 17 日（火）13:00～18:00
◎Day6 2026 年 2 月 19 日（木）13:00～18:00
上記の実習実施日のスケジュールで原則開講。*は、個別指導のため二度開催するので、どちらかの日程に参加する。◎は発表会、必ず出席する必要がある。定期試験や個別の事情により、実習実施日に参加できない学生は、必ず事前にその旨を連絡すること。相談の上、予備日から振替をすることが可能な場合がある。

＝＝＝En＝＝＝
Contact Information
📧 kashima+MolBioDailyLife@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Course Overview

- Hands-on gateway to life sciences
- Foundational DNA techniques: purification, PCR, sequencing
- Theory-practice integration emphasis
- Develops researcher mindset, not just technical operator skills
- Analytical thinking through productive failure experiences

Course Description

	This six-day intensive program provides comprehensive experimental experience equivalent to introductory molecular biology coursework. The course features small class sizes designed to bridge humanities and sciences, with highly individualized instruction to optimize each student's learning experience. The practical training consists of two main components: Part A (First Half): Students learn fundamental techniques and concepts through experiments identifying fish species within the tuna genus using shared research materials. Part B (Second Half): Students undertake independent projects building upon skills acquired in Part A. Final Day: Students present their findings in a laboratory meeting format. Guidance English-speaking participants will receive individualized scheduling and program customization. Please contact the email address below for inquiries. Resources YouTube: https://youtu.be/9pwgg0QXijU Course Schedule Laboratory sessions will be available Monday, February 4, 2026 through Thursday, February 19, 2026. Students must attend six days during this period to receive credit. All participants will present their work in a laboratory meeting-style presentation on the final course day, Thursday, February 19, 2026. 💡 #DIYbiology
成績評価方法	㋑出席、㋺実験ノートの提出、㋩課題の提出、㋥プレゼンテーションにより評価する。※安全管理上、レクチャーを受講しない学生は実験に参加することはできない。詳細は、ガイダンス時に確認すること。 ＝＝＝En＝＝＝ Grading System Course evaluation is based on the following criteria. Students must achieve 80% or higher to pass and receive credit. For safety reasons, students who miss the introductory lecture cannot participate in experimental work. Grade Distribution: Lecture Attendance: 10% Experimental Session Attendance: 20% Laboratory Notebook Submission: 50% Assignment Completion and Proposals: 10% Final Presentation: 10% Total: 100% Passing Grade: 80% minimum
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 鹿島 勲, KASHIMA Isao Practical Mol. Bio. in our Life Laboratory Manual (10th Edition)／身近な分子生物学実習書（第 10 版） To be distributed free in PDF format／PDF で配布予定
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60224	A 2	雪の森林に学ぶ～北海道演習林	尾張 敏章、 鄧 送求、 田中 延亮	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】第 1 回講義およびガイダンスに出席していない学生の受講は認めない。 北方針広混交林帯に位置する北海道演習林では、森林環境の保全と持続的な木材生産との調和を目指した研究を一貫して行っている。本ゼミナールでは、雪に覆われた北海道の冬の森林をスノーシューを履いて探索し、冬季の樹木、植物、動物などの姿を通じて森林生態系の総合的な理解を深める。また、北海道演習林で行っている天然林施業の実際を学ぶことにより、森林資源の保全と活用の方法について考究する。
成績評価方法	インターネット経由でビデオ配信する第 2 回講義の課題、および、現地講義・実習におけるレポートによる合否判定
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60225	A 2	伊豆に学ぶ自然の恵みを活かす技（冬） Learning at Izu: skills and arts to utilize nature’s gifts (winter)	齋藤 暖生、 仲畑 了、 鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 樹芸研究所は伊豆半島の南端、静岡県南伊豆町に立地する東京大学演習林の一つである。この研究所は、第二次世界大戦中、熱帯・亜熱帯産の特用樹木の研究施設として設立された歴史を持つ。東京大学演習林の中で、樹芸研究所の特徴として以下の 2 点が挙げられる。熱帯・亜熱帯の植物を多く扱っている点、および樹木をはじめとした森林植物の加工過程に重点が置かれている点である。 特に後者の特徴は、本講義の主題に深く関わる。樹木は、私たち人間が価値を見出し、あるいはさらに手を施すことによって「恵み」となる。この研究所が追求する「樹芸」とは、樹木をはじめとした森林の様々な資源を、より有効に人間社会に活かそうとする人間の技や営みである。 本講義は、樹芸研究所および周辺地域における体験を伴う現地集中講義を主体とする。本講義が行われる地域は、伊豆半島の南端であり、どの地域からもアクセスは容易ではない。しかし、こうした地域にも多くの人々が暮らしてきたし、また、その歴史も長い。このことは、この地域にある自然を「恵み」として活かす「眼差し」や「技」が、古くから存在してきたことを意味する。 日本は小資源国である、という定説がある。この定説において、人が自然から「恵み」を創り出す能力は、捨象されていると言ってよい。本講義は、この人が持つ能力の可能性を理解することを目標とする。そして、この能力は、単に机上の知識で十分に理解できるものではない。実際に現地を歩き、自然から恵みを得るための作業に身を投じ、頭と体をフル動員して理解してもらいたい。 ※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 15 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は抽選を行う。 ※ガイダンス：12 月 5 日 2 限に行う。 ※現地集中講義の時期と場所：2 月 24 日（火）から 2 月 27 日（金）までの 3 泊 4 日の日程で、樹芸研究所およびその周辺地域において実施する。
成績評価方法	出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

全学体験ゼミナール

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60226	A 2	猟師に学ぶヒトと自然	齋藤 暖生、 仲畑 了	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 ヒトは雑食動物であり、植物のみならず動物も主要な栄養摂取源としてきた。各種の考古学的史料を見るまでもなく、ヒトが食料を獲得するために行う狩猟の歴史は、ヒトの歴史とともに古い。しかしながら、現代のヒトは動物性の栄養源を獲得するために、狩猟を必須としない。むしろ、狩猟以外の方法、すなわち畜産等に依存している。このような時代においても狩猟が存在するということは、興味深い事象である。 動物性の食料を得るうえで現在私たちが依存しているのは、人類が築き上げた知恵であり、技術であると概括できる。畜肉を取り上げるならば、動物を家畜化し、家畜の特性に改良を重ね、量的・質的に安定した生産システムを構築し、消費者の負担を極度に軽減する形で提供される流通システムが実現されている。現代の私たちが気軽に畜肉を消費できる背景には、こうした大掛かりなシステム（技術の集合）があるが、これはまさに人類の知恵の産物である。 一方、狩猟は技術という点では、銃の使用や GPS の導入など、一定の進展はあるとはいえ、いまだに低位に留まっている。猟師が獲物に接近するには、現地に立ってその目で観察し、獲物の居場所を自分の知力で突き止める必要があるし、突き止めたところで、確実に捕獲できるとは限らない。上記の畜肉と比較したとき、技術水準の低さから資源獲得の確実性は低位に留まっていると特徴づけられる。しかし、低技術であるがゆえに、狩猟には狩猟者自身の高度な知識と技が要求される。その重要な部分が、生身の体をもって自然の状況を知る技である。これは、現代の人類の多くが失いつつある、あるいはすでに失ってしまった能力であり、今となってはヒトの「もうひとつの知性」と言えるものだろう。 樹芸研究所青野研究林では、猟師グループによるイノシシを主要なターゲットとした狩猟活動が行われている。本講義では、この狩猟グループに属する狩猟者とともに、実際の猟場を探索し、狩猟者の活動を可能な限りリアルに体験することで、「もうひとつの知性」を体得する足掛かりとしたい。また、「もうひとつの知性」を得ることで見えてくる自然のあり方、ヒトのあり方を学ぶことを目指す。 ※受講可能人数：野外実習での安全管理のため 10 名までとする。受講希望者がこれを上回る場合は初回講義で提示した課題への提出内容に応じて、選抜を行う。 ※事前講義：12 月 1 日 1 限にガイダンスを兼ねた第 1 回講義、1 月 19 日 1 限に第 2 回講義を行う。 ※現地集中講義の時期と場所：2 月 9 日（月）から 2 月 11 日（水）までの 2 泊 3 日の日程で、樹芸研究所において実施する。
成績評価方法	出席（原則として全参加）および、現地講義終了後のレポートによって評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60227	A 2	続伊豆に学ぶ 林業体験から考える 薪はただのエネルギーではない。 味のあるエネルギーなのだ	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。
私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。(ただし、本当にそういう暇がないのかと言えば、かなり疑わしいところではあります。)
そして、あふれる情報。情報が多いと一つ一つ吟味していては、情報処理が間に合いません。そこで、ステレオタイプが幅を利かせることになります。符号化するステレオタイプは便利です。もともとは考える時間の節約だったのでしょうが、度を過ごして、節約どころか、「根本原理」的なものになっていないでしょうか。

本ゼミの主宰は今年伊豆を離れ、秩父に異動しました。本ゼミは、南伊豆町の林業会社の方々に支えられて成り立つプログラムですので、旧態を踏襲して続けます。
この A セメスタから新体制の「伊豆に学ぶ」が始まります。
それと区別できるように本ゼミは「続」を冠して「続伊豆に学ぶ」というタイトルにしました。
なぜ、林業を考えてもらいたいか。
日本の国土の２／３は森林で覆われている。その森林面積のおよそ４０％が人工林です。
人工林は管理を続けることを前提としたデザインで植えられているため、放置すると荒れ放題となってしまいやすい。
国土面積の４分の１ほどの人工林の管理をどうすることができるのか？
このような話の流れの中で、日本社会は林業を手放してよいのだろうか？
君たちが自分から「日本林業をどうすればよいか？」などと考える機会はない（・なかった）と思う。この授業の目標は、受講生に「日本林業のこと・日本林業再生のことを考えないでは済まないのだ」という理解・合意に達してもらうこと。
それを押し付けるものではないけれど、「考えないで済む」ことを合理的に説明ができるのであれば、是非伺わせてもらいたい。
合理的に説明できないのであれば、是非日本林業の今後のことを考えてみて欲しい。

成績評価方法　積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。
加えて事後レポートの内容で評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60228	A 2	続伊豆に学ぶ イノシシソーセージ 作りから考える	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは対面で実施します。リモート受講はできません。
皆さんは外を歩いている時にイノシシに出会ったことがあるでしょうか？
東京に暮らしていると野生の獣、特に大型の獣に出会う機会はほとんどないと思います。ニュースや新聞で、地方都市にクマやイノシシの出現が報じられても、どこか他人ごとになってしまいがちではないでしょうか。
地方に暮らす人にとって、獣は身近な存在であり、自分の生活を直に脅かす存在です。
一方、大都市の中心地に暮らす人は、野生の獣に接する機会はないので、恐怖を感じることもありませんし、明日収穫しようと思っていた野菜を野生獣に食べられ続けることもありません。そういう生活をしていれば、野生獣に苦しめられている人の気持ちを理解しにくいかも知れません。殺処分と聞けば、嫌悪感をいだくかも知れません。
私たち現代人はとても複雑な仕組みの中で暮らしています。複雑であることから、多くのことに自分の目を向けることを諦めてしまいがちです。なぜならば、逐一のことに拘泥する「暇」がないからです。
自分の常識が通用しない世界があること、そんなことは当たり前でしょうと言うかもしれませんが、知らず知らずの内に、常識に似ているかも知れないステレオタイプによって雁字搦めになってはいないでしょうか。
この講義は南伊豆でイノシシソーセージ作りを教えてもらったり、くくり罠作りを教えてもらったりしながら、南伊豆の人が吸う同じ空気を吸うことから始めて徐々にその土地への理解を深めていただきたい。
イノシシソーセージが語り掛けて来るまで、かすかな声を聴き分けられるまで、ゆっくりとじっくりと時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

成績評価方法　積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。
加えて事後レポートの内容で評価する。

教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook

ガイダンス　特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60229	A 2	続伊豆に学ぶ_伝統工芸を守ることから考える 伝統工芸は人が自然と向き合った営みが詰まっている	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】本ゼミはたたら製鉄・刀剣の里である岡山県を訪ねます。研磨炭焼き体験を基に考察するゼミですので、リモート受講はできません。 伝統工芸の価値とはいったいどの様なものでしょう。美術的な価値でしょうか、あるいは希少性に由来する類の価値でしょうか。 このゼミでは、長い歴史の中で培われてきた土地土地での人の営みを顧みたり、人がどの様に自然に向き合い活用してきたかを今に伝えたりする価値（≒意義）があると考えています。手に入れられるモノが、質・量ともに少なかった中で、使えるものを徹底的に工夫して、最大限に活用する（素材のところを最大限に引き出す）技が蓄積していったのでしょう。技が受け継がれ、その技の対象と成るモノがしっかりと供給されて、初めて伝統工芸が守られることになります。それらがしっかりと守られることによって、現代社会が見落としがちのことに意識を向ける絶好の仕掛けとして機能するのではないかと期待します。 このゼミで着目する駿河炭は、いわゆる伝統工芸品そのものではありません。駿河炭は伝統工芸に欠かせない研磨炭で、明治期に漆器製造が盛んであった静岡県（駿河）でアブラギリの炭が焼かれ研磨炭に用いられたという経緯があります。現在、駿河炭は駿河では焼かれておらず、福井県と岡山県で焼かれています。 駿河炭には、ニホンアブラギリ資源の枯渇という持続可能性の面で問題がありました。アブラギリはかつて桐油(乾性油)を得るために栽培され、明治初期は福井県や島根県が主要な産地でした。今も福井で駿河炭が焼かれているのは、資源量が多かったからと言えそうです。今は、それも底をつきつつあります。 木材の塗装や紙に撥水性を付与する用途のために桐油が使われましたが、石油由来の製品にとって代わられ、今ではアブラギリを栽培することはなくなりました。ということは、現状で何もしなければ、アブラギリ資源は回復を見込めないということになります。東大演習林は、アブラギリ資源を絶やさない施業の仕方に取り組んでいて、それも伝統工芸を守る重要な役割の一つであると考えています。 駿河炭は漆器表面の研磨に欠かせない研磨炭であるが、そのことはあまり知られていない。漆器と言えば、ウルシ（植物）や漆掻きや塗師の重要さは誰でも知っているが、研磨炭は漆器の仕上がりを左右するというのにその重要性が知られていないのはどうしたことであろう。 本ゼミでは日本刀の聖地のひとつ岡山県長船を訪ねます。刀工集団「福岡一文字派」が活躍した備前国福岡の地。現在の長閑な雰囲気と、かつて武器製造拠点であったという史実に大きな隔たりを感じるでしょうか、それとも蓋然性のようなものを感じるのでしょうか。自然と人の繋がり 文化
成績評価方法	積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60230	Ａ２	続伊豆に学ぶ エネルギーの森作りから考えるＡ２ 日本林業に早生樹を加える意味	鴨田 重裕	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に2年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【注意】本ゼミは千葉県にユーカリ苗の植林を実施します。リモート受講はできません。
我が国の一次エネルギー自給率は１１％ほどでとても低い。全方位でエネルギー自給率を上げる取り組みがなされるべきです。
洋上風力や太陽光パネルは参加するにはちょっと敷居が高いかも知れない。学生のあなたにも手軽に参加できるＳＤＧｓの取り組みがあります。
それは早生樹植えて、エネルギーの森を作ること。
昔々あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山に柴刈りに・・・
このよく聞く昔話の冒頭にもあるように、人類は長い歴史の中でずっと森林資源をエネルギー利用してきました。
７０年前くらいに燃料革命が起こり、先進国と言われる国々では主に化石燃料が重用されるようになり、森林資源がエネルギー利用されることはほとんどなくなりました。その結果わが国では薪炭利用されていた雑木林は放置され、ドングリを着ける木々が巨大化して、様々な問題（カシノナガキクイムシの蔓延や獣に栄養豊富なドングリを供給するなど）の原因になっています。
第二次大戦後、木質資源の枯渇を背景とした拡大造林によってスギ・ヒノキ・カラマツの針葉樹人工林の面積は倍増し、１０００万ｈａに及びました。木質資源の需要を見込んで拡大造林をおこなったのですが、現在は住宅着工件数は減少し、木質資源がだぶついています。１０００万ｈａの人工林を抱えた状況では、需給バランスが悪いと言わざるを得ない状況です。
伐期を迎えたスギ林を伐っても使う当てがない、つまり人工林が余っているという状態が見えてきています。
話を変えます。２０１９年に千葉県に上陸した台風１５号を覚えているでしょうか。家屋の損壊もさることながら、大停電が起こり、なかなか復旧できなかったことは大きな衝撃でした。停電の復旧が進まなかった原因として、溝腐れ病を患ったサンブスギが至る所で倒れて電線に掛かってしまったといいます。溝腐れ病で材質が悪く使い物にならないために、山野に放置されてしまったことが原因です。誰が悪いと言えるものではありませんが、森林資源を利用しないまま放置すれば、同様の大停電を繰り返す可能性が高いことは自明です。
この体験ゼミの背景には、そのサンブスギをバイオマス発電の燃料として活用する取り組みがあります。これは自明の負の遺産とちゃんと向き合う取り組みとして評価することができます。使い道が無いサンブスギも燃やせば発電の足しになります。バイオマス発電が動いていることの重要性を垣間見る思いがします。
皆伐した跡地をどうするか？
また、スギを植える？
スギが余っていることは上述した通りです。
同じサンブスギを植えれば、また溝腐れ病を患う可能性があります。
あなたなら、もう一度スギを植えますか？
今回は皆さんに早生樹ユーカリ植栽に参加してもらうことにしました。
スギ・ヒノキではなく
ドングリを着けるコナラ・クヌギでもなく
ユーカリを植えるということが、どういうことであるか、是非、じっくりと考える機会にしてください。
持続可能なゴールが見えるでしょうか？

成績評価方法　積極的に活動に取組む姿勢を最重視する。加えて事後レポートの内容で評価する。
教科書　教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス　第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60231	Ａ２	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ２_１（低山ゼミＡ２）	鴨田 重裕、平尾 聡秀	農学部	集中	1	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。
山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりにはしません。
山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという、ちょっと大それた目的を掲げている体験ゼミです。
こんな大目的こそは、楽しみながらしないと達成できないに違いありません。
多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄るコースとしています。温泉で汗を流したり、温まったりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。
本ゼミは「低山ゼミ」と自称してます。
Ａ１タームには２０００ｍクラス（低山？）の山にもお連れします。
Ａ２タームは正真正銘の低山にお連れしますが、厳冬期に当たるため、安全装備は必携となります。
Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行では味わいにくい、同宿による山行を振り返りと、各人の意見を交換する機会となるので、どうぞお楽しみにしてください。
【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。
逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。
歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではないからです。
【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しみながら山林の現状を知ってもらうのと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。
日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？
いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。
あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）
森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。
その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。
私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください）。
このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。
感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

	本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。 果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？ 実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。
成績評価方法	講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。 ・レポート提出が無い場合は不合格になります。 ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。 ・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。 ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。 ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。 51403「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、 51404「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が２単位になっています。 全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「１ゼミ」「２ゼミ」計３単位を付けます。 ２山行＋レポート合格の場合は「２ゼミ」に２単位を付けます。「１ゼミ」は欠席扱いとします。 １山行＋レポート合格の場合は「１ゼミ」に１単位を付けます。「２ゼミ」は欠席扱いとします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60232	Ａ２	森に学ぶ 林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ２_２（低山ゼミＡ２）	鴨田 重裕、平尾 聡秀	農学部	集中	2	1年 文科 理科 2年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ずUTASでシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】対面授業（野外実習≒山歩き）に参加可能な学生のみに履修を制限します。
山歩きを楽しんでもらい、山林に親しみを感じていただくことを本ゼミの一つの目的としていますが、それだけで終わりにはしません。
山歩きを切っ掛けとして、ご自身が暮らす日本の国土のことを考えてもらうという、ちょっと大それた目的を掲げている体験ゼミです。
こんな大目的こそは、楽しみながらしないと達成できないに違いありません。
多くの山行は、下山後に温浴施設に立ち寄るコースとしています。温泉で汗を流したり、温まったりしたあと、その日の山行を振り返って見ましょう。
本ゼミは「低山ゼミ」と自称してます。
Ａ１タームには２０００ｍクラス（低山？）の山にもお連れします。
Ａ２タームは正真正銘の低山にお連れしますが、厳冬期に当たるため、安全装備は必携となります。
Ａ１Ａ２タームそれぞれに、秩父演習林の宿泊施設に１泊する日程を組んであります。日帰り山行では味わいにくい、同宿による山行を振り返りと、各人の意見を交換する機会となるので、どうぞお楽しみにしてください。
【注意】この体験ゼミは森林・林業を意識するために現地に足を運ぶスタイルをとるため、対面受講できる学生のみが受講することができます。オンライン受講はできないのでご注意ください。
逆に、山歩きなら簡単に済むだろうという志望動機の方にも不向きなゼミです。
歩くことは必須ですが、歩いて終わりというゼミではないからです。
【注意】このゼミは歩くことが億劫でない限り、誰でも参加することができます。山野に興味ある人に、安全に山を楽しみながら山林の現状を知ってもらうのと同時に、山や森林で営まれる林業を意識し考えてもらうために実施する講義です。人並みの体力は必要ですが、山歩きとしては初級向けですので誰でも参加できます。
ゆっくり歩いて時間を過ごすことを東大生はあまり得意としないように見受けられます。この機会に極上の時間の過ごし方を身につけられてはいかがでしょうか。
日本の国土は７割近くが森林に覆われていることをあなたは当然ご存じのはずですが、その７割の面積におよぶ森林をどの様に管理するべきか、あなたは考えてみたことはありますか？
山林のことは林業関係者に任せておけば良いでしょうか？ 自分はそういう方面に就業しないから考えなくても良いのでしょうか？ 人任せ、あるいは誰かの考えに盲従していても、国土が取り返しのつかないことになる心配はないと思えますか？
いま現在、日本において、その肝心の林業はちゃんと回っているのでしょうか。
日本の林業は外国に比べてコスト高であるため、儲けを出しにくいと言われています。儲からない産業には資本が投下されにくい（資本主義から見放される）。すべてを資本主義的な価値観で判断するのであれば、日本の山林は放置するのが最も合理的であるということになりかねません。しかし、その判断はあくまでも資本を投下して、その投下に見合った回収を期待できるかどうかという価値観によるものに過ぎません。現状を放置すると、例えば獣が増えて植生を壊滅させることが起こり得ます。植生を失うと、豊かであった土壌が簡単に流亡することになります。土壌の流亡は規模を増したときには、大規模に近辺の植生もろとも土石を下流に押し流してしまうこともあるでしょう。その様な時、下流の人の営みに甚大な影響が出ないと考えることには無理があります。災害ばかりではありません、豊かな土壌を失うことは、生産性を失うことと同義でです。一度失うと、簡単に取り戻すことはできません。
あなたはハイキングや山野を歩くことが好きでしょうか（好きになりそうでしょうか）。
このゼミでは東京近郊の身近な山と、奥秩父のあまり人が訪れない山を歩きます。林業を意識しながら歩いたり、目の前の森林の来し方行く末を思いながら山を歩いたりする機会を提供することを目的とする講義です。自然豊かな秩父の山の奥の方と、人里に近い低山とを歩き比べてみましょう。どちらが自分好みか、優劣をつける様な価値を持ち込みがちですが、ここは是非両方の良さを知る機会にしていただきたいと思います。（低山ゼミでは奥秩父には参りません）
森林・林業を意識する？
山歩きはとても気持ちいいものです。色々なことをくよくよ考えたり、せわしなく過ごしたりしがちな日常生活から距離をとる。山歩きをしているその瞬間は、日常をすっかり忘れて、ただ歩くことのみに気持ちを向かわせることができます。それはそれでよいものです。
その様に無心に山野を歩くのも好いですが、このゼミでは森林を意識する・林業を意識するという視点を少し持って歩くことを提案します。意識を働かせることで見え方がグッと変わってくることを体験してもらいたい。そこで見えたコト・モノももちろん大切ですが、この体験ゼミでは自分の意識をコントロールすることで見えるコト・モノに変化が生じることを体験し、その体験の意味をしっかりと噛みしめていただきたいのです。このゼミで林業を自分で意識できるようになれば、いろいろなコト・モノに目を向ける姿勢を身につけることになるでしょう。
私たちが生きる現代社会の特徴
私たちが生きる現代社会は、いろいろなプロセスが見えづらい時代であると捉えることができます。構造が複雑になりブラックボックス化が進んでいることがその大きな要因の一つでしょう。しかし、それが原因だから仕方がないと片付けてしまえばそれまでです。複雑で忙しい日々を過ごすうちに、思考を節約して簡単に済ませる術を身に着けるという、いわば生活習慣によって観察できない状態・考えられない状態に追い込まれていると捉えることはできないでしょうか。
このゼミでは忙しなく歩くような山歩きはしません。まわりの植物をゆっくりと観察できるくらいの歩調で、時に立ち止りながら山林の中に身を置きます。ゆっくりと歩き、時に立ち止ることで見える量も質も大きく異なってきます。ブラックボックスに立ち向かうためにはゆっくりと思考する姿勢が何よりも大切になります（ゼミ中にたまに少しだけ先を急ぐことがあるかも知れません。そんな時はどうぞ笑って許してください）。
このゼミではたっぷりとその様なことを考えてもらいたい。
何か正解を見つけに山歩きをするわけではありません。知れば知るほど難しい問題になるのかも知れませんし、一つだけ正解がある様な問題とは限りません。よく考えてみること、それ自体がこのゼミの目的と言えそうです。
手つかずの奥山の様子と資源利用を行う人工林と、両方を意識して歩いてみると何が見えて来るでしょうか。自分が何を感じたか、感じたことを出発点として何を考えたか。そして、それをどの様に自分の行動に落とし込んでいくことができるか。
感じる・考える・行動するのサイクルを回そう。これは伊豆ゼミシリーズにも共通する理念です。本ゼミをきっかけに、これらのゼミを母体とするコミュニティに残り、どう行動するかの部分を大学生の内に何か一つでも実現できたならば、あなたの生き方が大きく変わるかも知れない。

	本文中に「自然豊かな秩父の山」と表現しました。自然という響きは豊かな状態を想起すると思います。ここにもステレオタイプが忍び寄ります。 果たして、あなたのそのステレオタイプは正しいのか？ 実際に秩父の山をご自身の目で見て確かめてみましょう。
成績評価方法	講義の受講態度と事後レポートの内容により合否を判定します。 ・レポート提出が無い場合は不合格になります。 ・受講態度が本ゼミに相応しくないと判断された場合には改善を求めますので、指示に従ってください。 ・レポートは内容により合否を判定します。大学生のレポートのレベルに達していると認められない場合は不可になることがあるのでご注意ください。 ・山行の感想文の様なものはレポートとは認められません。 ・無理な出席は推奨していません。そのため、欠席しても以下の様に単位を付けます。 51403「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_1」が１単位、 51404「森に学ぶ__林業を意識する低山歩きと森林生態系を意識する奥山歩きＡ１_2」が２単位になっています。 全ての日程に参加し、大学生のゼミレポートと認定されると「１ゼミ」「２ゼミ」計３単位を付けます。 ２山行＋レポート合格の場合は「２ゼミ」に２単位を付けます。「１ゼミ」は欠席扱いとします。 １山行＋レポート合格の場合は「１ゼミ」に１単位を付けます。「２ゼミ」は欠席扱いとします。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60235	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプI	河村 正二	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【Note1】英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。(Some programs will be conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website:
URL: https://drive.google.com/file/d/1BMtrEUE_Ed7qi_RSKhrFXpOKNLPCylnq/view?usp=sharing)
【Note2】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 2 泊 3 日あるいは 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
(宿泊は柏キャンパス周辺、神岡宇宙素粒子研究施設近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担します。)
KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室あるいは神岡宇宙素粒子研究施設で、実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
【ガイダンスとエントリー登録】
・10 月 3 日(金)6 限(18:45~)に KSC2025 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加は、KSC のホームページから申込みできます。
・履修希望者は、履修登録前に KSC のホームページにある応募フォームから必ずエントリーして下さい。エントリー後、KSC 事務局から採択結果をご連絡致します。
エントリー期限 ：2025 年 10 月 6 日(月)正午 12 時
(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Monday, October 6, 2025, 12:00 PM. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.)
【環境イノベーションとサイエンスコース（7 プログラム)】対象：理科・文科
2026 年 2 月 16 日(月)—19 日(木)(プログラムによって実施日が異なります。HP で確認してください。)
1.「カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン」
2.「二酸化炭素を捕まえる材料を作ろう」
3.「農業に起因した水環境問題について学ぼう」
4.「光のデザイン」
5.「骨から探る動物の生態：古生物研究入門編」
6.「音と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」
7.「新種の微生物を見つけよう！遺伝子で読み解く海洋微生物の世界」
【エネルギーとマテリアルコース（5 プログラム)】対象：理科・文科
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)（プログラムによって実施日が異なります。HP で確認してください。)
1.「 熱から電気を取り出そう」
2.「デバイスの作製と実測で学ぶ先端半導体技術の基礎」
3.「惑星磁気圏型配位でプラズマを作ってみよう」
4.「光の指紋で物質を見分けよう」
5.「核融合プラズマを電磁波で測ろう」
【生命コース（4 プログラム)】対象：理科のみ (プログラム 1 は理科、文科)
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)
1.「トゲウオから探る適応進化の分子遺伝機構」（理科・文科）
2.「性別決定の分子メカニズムとその人為操作」
3.「遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくろう」
4.「植物ウイルスの増える過程を調べる」
【生研コース(5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 1 は理科のみ）
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)
1.「 物性理論物理のフロンティア」(理科のみ)
2.「日本に降った雨は、いつどうやってブラジルに到着するのか」
3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」
4.「 身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう」
5.「コンピュータはどうやって「ビッグデータ」を扱うのか？その基盤技術を体験しよう」
【物理と数学による宇宙研究コース（4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科
2026 年 2 月 24 日(火)—27 日(金)
1.「ミリ波で観る宇宙の始まり」
2.「素粒子を見る技術」
3.＊English program「Vision at the Edge of Quantum Reality」使用言語：英語
4.＊English program「Studying Galaxies in the Cosmos with Subaru Telescope and Supercomputers (すばる望遠鏡とスーパーコンピュータによる宇宙の銀河の研究)」使用言語：英語
【宇宙コース（4 プログラム)】対象：理科のみ
2026 年 2 月 24 日(火)—27 日(金)
1.「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」
2.「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線」(神岡宇宙素粒子研究施設)
3.「マイケルソン干渉計を利用した重力波検出の原理」（神岡宇宙素粒子研究施設)
4.「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」
【サステイナブル政策コース(4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科

	2026 年 2 月 25 日(水)―27 日（金） １．「地球環境条約は有効に機能しているのか、考えてみよう」 ２．「デジタルヘルスで実現する未来の健康づくり」 ３．＊English program「Co-Designing Urban Futures: Demographics, Sustainability, and Planning Scenarios」使用言語：英語 ４．「複合的危機って何だろう？：気候変動対策と資源利用から学ぶ」 【物性コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2026 年 3 月 3 日（火）―6 日（金） 1.「理論研究を体験し新現象を発見しよう！」 2.「強磁場と超音波で見る物質の量子現象」 3.「原子数層のシート状物質で量子現象を見てみよう」 4.「モータータンパク質の運動を見よう!」 5.「光ファイバーで超短パルスレーザーを作ろう」 【大気と海洋コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2026 年 3 月 3 日（火）―6 日（火） 1.「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」 2.「南極海の石から探る変動する地球の姿」 3.「バイオロギングで調べる海洋動物の行動と生態」 4.「未知なる海の動物プランクトンの多様性を探索しよう」 5.「海と大気の微量元素分析」
成績評価方法	担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。（Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	所属	曜限	単位	対象
60240	A 2	柏キャンパスサイエンスキャンプ II	河村 正二	新領域創成科学研究科	集中	1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要

■全学体験ゼミナールを履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照し、本冊子には掲載されていない詳細な授業内容等を確認したうえで、履修登録を行ってください。

【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。
【Note1】英語のみで行うプログラムが含まれます。英語プログラムは以下の Web サイトも参照してください。(Some programs will be conducted entirely in English. For English programs, please also refer to the following website:
URL: https://drive.google.com/file/d/1BMtrEUE_Ed7qi_RSKhrFXpOKNLPCylnq/view?usp=sharing)
【Note2】この授業は、開講日程の都合上成績が前期課程修了要件に反映されないことがあるので、履修にあたっては十分に注意すること。(Please be aware that due to the course schedule, the grades for this course may not be reflected in the requirements for completion. Exercise caution when enrolling in this course.)
本科目は、本学柏キャンパスの先端研究部局における「知の冒険の現場」を、ウィンタープログラムとして 2 泊 3 日あるいは 3 泊 4 日にわたり集中的に体験する「柏キャンパスサイエンスキャンプ(以下、KSC)」(ホームページ:https://ksc.edu.k.u-tokyo.ac.jp)のひとつであり、将来の研究者としての基礎トレーニングを積むことを目的としています。
(宿泊は柏キャンパス周辺、神岡宇宙素粒子研究施設近隣の宿泊施設（基本的に 2 名 1 室）を利用、宿泊費用は大学が負担します。)
KSC では、4 名程度の小グループで行われる研究室体験活動を通じて、柏キャンパスの研究室あるいは神岡宇宙素粒子研究施設で、実際に最先端の研究を体験します。最終日には研究室体験活動の成果発表会を行います。研究テーマは多岐にわたり、世界トップレベルの教員のもと、普段の授業では体験できない「研究者」としての自分を発見する新しい世界へ誘います。また、本科目をサポートする研究室の大学院生や若手研究員、海外研究者との交流を通じて、今後の「研究者という人生」を考える絶好の機会が提供されます。
【ガイダンスとエントリー登録】
・10 月 3 日(金)6 限(18:45~)に KSC2025 のガイダンス(Zoom オンライン)を開催します。ガイダンス参加は、KSC のホームページから申込みできます。
・履修希望者は、履修登録前に KSC のホームページにある応募フォームから必ずエントリーして下さい。エントリー後、KSC 事務局から採択結果をご連絡致します。
エントリー期限 ：2025 年 10 月 6 日(月)正午 12 時
(Students who wish to enroll in this course must first apply through the application form on the KSC website before course registration. The application deadline is Monday, October 6, 2025, 12:00 PM. After applying, the KSC office will contact successful applicants to proceed with course registration on UTAS.)
【環境イノベーションとサイエンスコース（7 プログラム)】対象：理科・文科
2026 年 2 月 16 日(月)—19 日(木)(プログラムによって実施日が異なります。HP で確認してください。)
1.「カーボンニュートラル国際海運システムのデザイン」
2.「二酸化炭素を捕まえる材料を作ろう」
3.「農業に起因した水環境問題について学ぼう」
4.「光のデザイン」
5.「骨から探る動物の生態：古生物研究入門編」
6.「音と技術が紡ぎだす 森と人の将来像」
7.「新種の微生物を見つけよう！遺伝子で読み解く海洋微生物の世界」
【エネルギーとマテリアルコース（5 プログラム)】対象：理科・文科
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)（プログラムによって実施日が異なります。HP で確認してください。)
1.「 熱から電気を取り出そう」
2.「デバイスの作製と実測で学ぶ先端半導体技術の基礎」
3.「惑星磁気圏型配位でプラズマを作ってみよう」
4.「光の指紋で物質を見分けよう」
5.「核融合プラズマを電磁波で測ろう」
【生命コース（4 プログラム)】対象：理科のみ (プログラム 1 は理科、文科)
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)
1.「トゲウオから探る適応進化の分子遺伝機構」（理科・文科）
2.「性別決定の分子メカニズムとその人為操作」
3.「遺伝子の発現をコントロールするスイッチをつくろう」
4.「植物ウイルスの増える過程を調べる」
【生研コース(5 プログラム)】対象：理科・文科（プログラム 1 は理科のみ）
2026 年 2 月 17 日(火)—20 日(金)
1.「 物性理論物理のフロンティア」(理科のみ)
2.「日本に降った雨は、いつどうやってブラジルに到着するのか」
3.「シミュレーションで琵琶湖の環境を予測してみよう」
4.「 身の回りの金属の中をミクロな視点から覗いてみよう」
5.「コンピュータはどうやって「ビッグデータ」を扱うのか？その基盤技術を体験しよう」
【物理と数学による宇宙研究コース（4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科
2026 年 2 月 24 日(火)—27 日(金)
1.「ミリ波で観る宇宙の始まり」
2.「素粒子を見る技術」
3.＊English program「Vision at the Edge of Quantum Reality」使用言語：英語
4.＊English program「Studying Galaxies in the Cosmos with Subaru Telescope and Supercomputers (すばる望遠鏡とスーパーコンピュータによる宇宙の銀河の研究)」使用言語：英語
【宇宙コース（4 プログラム)】対象：理科のみ
2026 年 2 月 24 日(火)—27 日(金)
1.「最高エネルギー宇宙線の起源を探る」
2.「神岡地下で触れるニュートリノ研究の最前線」(神岡宇宙素粒子研究施設)
3.「マイケルソン干渉計を利用した重力波検出の原理」(神岡宇宙素粒子研究施設)

全学体験ゼミナール

	4.「高エネルギーガンマ線望遠鏡で見る極限宇宙」 【サステイナブル政策コース(4 プログラム)】対象：科類問わず 理科・文科 2026 年 2 月 25 日(水)―27 日（金） １.「地球環境条約は有効に機能しているのか、考えてみよう」 ２.「デジタルヘルスで実現する未来の健康づくり」 ３．＊English program「Co-Designing Urban Futures: Demographics, Sustainability, and Planning Scenarios」使用言語：英語 ４.「複合的危機って何だろう？：気候変動対策と資源利用から学ぶ」 【物性コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2026 年 3 月 3 日（火）―6 日（金） 1.「理論研究を体験し新現象を発見しよう！」 2.「強磁場と超音波で見る物質の量子現象」 3.「原子数層のシート状物質で量子現象を見てみよう」 4.「モータータンパク質の運動を見よう!」 5.「光ファイバーで超短パルスレーザーを作ろう」 【大気と海洋コース（5 プログラム)】対象：理科・文科 2026 年 3 月 3 日（火）―6 日（火） 1.「人工衛星データを用いて地球環境を調べてみよう」 2.「南極海の石から探る変動する地球の姿」 3.「バイオロギングで調べる海洋動物の行動と生態」 4.「未知なる海の動物プランクトンの多様性を探索しよう」 5.「海と大気の微量元素分析」
成績評価方法	担当教員による研究室体験活動の評価と成果発表会の評価による。（Evaluation will be based on the research experience activity assessment by the instructor and the final presentation assessment.）
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

「国際研修」の履修について

国際研修の各授業では、以下の共通目標が定められている。

> 異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養う機会を得る。

授業内容としては、（1）海外の学生との合同学習などを含む短期の海外研修、（2）海外教育機関との海外での共同教育プログラム、（3）海外の学生との日本国内での研修、（4）海外の教育機関が提供するプログラムを利用した研修、といったさまざまな活動がある。そのような機会によって得られる成果が単位として認定される。

国際研修の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問わない。国際研修はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目である。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれる。

授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合がある。研修のため海外に渡航する前に事前講義が実施される授業や、他の科目の履修が条件とされる授業もある。履修科目登録期間後に選抜の結果が発表される授業もある。その場合は履修を希望する授業にまず登録し、選抜にもれた場合は履修科目確認・訂正期間に登録を削除すること。また、履修が許可された後から出発までの期間の履修の辞退は、担当教員に膨大な負担をかけることになるので、あらかじめ十分に授業内容、渡航に際する留意事項、費用を確認して履修登録すること（履修を取りやめることで学生個人に対して生じるキャンセル料は原則学生負担になる）。学生が負担する費用については、授業によって異なる。それぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスに出席して説明を受けること。

※国際情勢・諸外国の動向により、開講形態や研修内容等が大幅に変更になる可能性があるため、履修にあたっては必ず最新のシラバスを UTAS で確認すること。

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60093	A 2	TLP ロシア語研修	浜田 華練	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 この授業は、2024 年度入学の TLP（トライリンガル・プログラム）ロシア語クラスに所属する学生を中心とした、すでに高度なロシア語運用能力を身に着けている 2 年生を対象に実施する（TLP 生以外でも、後述の選抜試験を通過すれば参加可能）。授業の参加には一定レベルのロシア語運用能力が必要とされるため、履修希望者には選抜試験（筆記試験およびロシア語による面接）を課す（選抜試験の日程は、後日 UTAS 掲示板および UTOL で通知）。 授業の目標は以下の通り。 1. ロシア語教育を専門とする教育機関において、ロシア語で授業を受けることで、総合的なロシア語運用能力の向上を目指す。 2. ロシア語というツールを用いて多様な言語的・文化的背景を持つ人々と交流することを通じて、グローバルな視野を養う。 3. 実際に現地で生活することで、知識だけでなく生身の経験に基づいて異文化への理解を深める。
成績評価方法	事前研修を含めた研修全体における参加および貢献と、研修後に提出するレポートに基づいて評価を行う。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60094	A 2	国際研修（台湾）	阿古 智子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 台湾にてフィールドワークを中心とする研修を行う（2 月下旬～3 月 2 週目の 7 泊 8 日で一部は澎湖諸島で行う予定）。A2 に行われる事前講習にも必ず出席しなければならない。台湾をめぐる歴史や国際関係、社会問題などに強い関心を持ち、事前授業から台湾でのフィールドワーク、レポート執筆に積極的に参加できるものを選抜する。
成績評価方法	後日連絡する。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60095	A 2	トリノ大学イタリア語研修	山﨑 彩	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 イタリア北西部の都市トリノに滞在し、トリノ大学の語学講座を受講して、初修外国語として学んだイタリア語の運用能力向上を図る。また、さまざまな体験からイタリア文化を少し深いところまで掘り下げて考察する。本研修の目標は以下の三点。 ①トリノ大学でイタリア語講習を受講し、イタリア語運用能力を向上させる。 ②トリノの歴史と文化を学ぶ。 ③現在のトリノの都市としてのあり方を考察する。多様な人々を都市の活力として取り入れていること、そのバックボーンとなる考え方、社会的弱者を取りこぼさないためのさまざまな試みを日本との比較において考察する。 ガイダンスをおこないます。提出書類などの説明をします。 10 月 9 日（木）12:15～ 18 号館 4 階コラボレーションルーム 1 【注意】この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意してください。
成績評価方法	事前学習、現地での活動、帰国後の成果発表会への参加を考慮し、あわせて帰国後の最終レポートで評価。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

国際研修

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60096	A 2	ケルン大学ドイツ語春季研修	速水 淑子	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本科目の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意】 ・この授業は、開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開されることがあるので留意してください。 ・「国際研修」科目では、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現状を体験し、グローバルな視野を養う機会を得ることを目標とします。 ケルン大学で約 2 週間ドイツ語集中講座を受講し、実践的なドイツ語能力習得を目指します。午前中は話す、聞く、書くを中心としたドイツ語集中コース、午後や週末はドイツ・ヨーロッパ事情の講義やワークショップ、ドイツの社会や文化に触れる研修等を行います。
成績評価方法	渡航前の準備会への参加、授業への積極的な参加と、帰国後のレポート（4000 字程度）の提出、（メールによる提出）。
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	講義題目	担当教員	曜限	単位	対象
60097	A 2	平和のために東大生ができること： 中央アジア研修	岡田 晃枝	集中	2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

授業の目標概要	■国際研修を履修する場合は、必ず UTAS でシラバスを参照した上でガイダンス等で必要な情報を得るなど、本冊子には掲載されていない詳細なプログラムの内容を確認して履修登録を行ってください。 【注意 1】この授業は開講日程の都合上、成績が所定の確認日より後に公開される見込みが高いので留意すること。特に 2 年生は本授業の成績が前期課程修了要件に含まれない見込が高いので、履修にあたっては十分に注意すること。 【注意 2】この国際研修の履修を希望する者は必ず 10/2（木）5 限に行われる全学自由研究ゼミナール「平和のために東大生ができること I」のガイダンスに参加し、A1 タームの同全学ゼミを履修してセレクションを受けること。セレクションに合格して国際研修を履修することになった者は、A2 ターム木曜 5 限に行われる全学ゼミ「平和のために東大生ができること II」を履修すること。 【注意 3】国際情勢や渡航先の状況によって変更・中止の可能性がある。 【注意 4】履修者数を前期・後期あわせて 12 名、うち後期課程生を 3 名までに制限する。 --- 旧ソ連中央アジアの一国カザフスタンは、ソ連時代に数百回の核実験が行われたセミパラチンスク核実験場（1991 年閉鎖）跡を国内に擁し、核軍縮分野でイニシアティブを発揮しており、この分野で日本と協働することも多い。一方で、エネルギー転換の必要性から原子力発電所の建設計画が動き出しており、2024 年 10 月の国民投票では建設賛成多数であったとはいえ、依然として残る核実験被害と核の平和利用の間で国民感情は揺れている。また、2022 年 1 月に大きな国内暴動と政治変動を経験し、現在は関係の深いロシアのウクライナ侵攻によりさまざまな影響を受けている。 この国際研修ではカザフスタンを訪問し、同国が直面している安全保障上の問題について現地で学ぶと同時に、持続可能な開発目標（SDGS）の目標 16「平和と公正をすべての人に」をテーマに、現地学生と学び合い、議論してその成果をまとめる。 事前準備として A1 ターム・A2 タームを使って全学ゼミ（上記注意事項参照）で基礎的な知識を得てもらうほか、外務省や駐日カザフスタン大使館等での事前研修を予定している。 実施時期は 3 月上旬から中旬の約 2 週間を予定している。出発日が 2 月末になる可能性がある。 ＊この国際研修のガイダンスは、A1 ターム全学ゼミ「平和のために東大生ができること I」のガイダンスと同時に行う。10 月 2 日（木）5 限実施。履修希望者は必ず出席すること。
成績評価方法	研修準備への取組、研修中のコミットメント、研修後の報告書
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特定日に行う。／Will conduct guidance at another time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50422	A	法・政治(PEAK)	杉之原 真子、 松原 健太郎	PEAK 前期	火 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Law and Political Science
授業の目標概要	The objective of the course is to familiarize the students with the basics of law and political science. The course will be taught by specialists in these fields.
成績評価方法	Written examination at the end of the semester. Class participation (including submission of comments via Google Forms) will also be taken into account.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook Class materials will be distributed digitally via UTOL.
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	経済・統計(PEAK)	Griffen Andrew Shields	PEAK 前期	火 6	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	
授業の目標概要	This is a topics course on economics and statistical models. We will approach the models from a mathematical, empirical, and applied perspective. Students will be expected to solve mathematical models however assigned readings will be used to frame the models and issues in an applied way. The overall goal is to give you a sense of how economics and statistics can be used to answer policy important questions. Topics will include markets, supply and demand, competition, monopoly, public goods, the commons, environmental policy, human capital, economic history, GDP, economic growth, monetary policy, finance, and AI.
成績評価方法	1. Homework There will be a small weekly homework assignment on Google classroom. 2. Quizzes There will be pop quizzes during the semester. This is to encourage punctuality, attendance, and for you to follow along with the course. 3. Exams There will be a cumulative final exam on the last day of class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50224	A	国際関係(PEAK)	鈴木 早苗	PEAK 前期	火 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to International Relations
授業の目標概要	This is an introductory course on international relations and aims to obtain theoretical perspectives to understand international phenomena. We plan to cover a wide range of issues related to international relations. This course consists of three parts. The first concerns history and structure of international system to learn basic concepts in international relations. The second part deals with how to order and manage international system and the role of nation-states. Finally, we will learn how to analyze transnational and global issues beyond nation-state in international relations.
成績評価方法	participation (40%), final exam (60%)
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50125	A	哲学・倫理(PEAK)	佐藤 邦政	PEAK 前期	月 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to Non-Ideal Epistemology
授業の目標概要	This class is designed to examine a wide range of basic topics in comtemporary non-ideal epistemology. In the analytic tradtiton, episteomlogy tended to focus exclusively on the nature of justification and knowledge. However, recent epistemology has diversified and have shed light on underexplored epistemological dimensions. They include social and political dimensions of knowledge acquisition, agential dimensions of doxastic and practical agency, such as inquiry, and ethical dimensions of epistemic injustice, epistemic oppression, culpable ignorance. This class provides opportunities for participants to understand the basics of the above themes so that they will be able to critically consider classical and contemporary questions, including a way to rectify epistemic disfunctions in the present social world. Learning goals: First, students will acquire historical and contemporary perspectives about non-ideal epistemology, such as dispute over the nature of ignorance. Second, students will acquire questioning competences through active participation in group discussion so that they will clearly express their views.
成績評価方法	Grade: Your grade is determined by participation in the group questioning practice in each class (13 times) (about 70%) and term paper submission (30% max.). I will adjust grades to expected levels for undergraduate programs. Regarding the term paper, students are assinged a term paper between 1000 and 2000 words (incl. any footnote, but excl. bibliography; the accepted file format is Word doc or PDF). Topic: Any theme is okay as far as your paper discusses themes relevant to the class discussion. Content: The term paper composes of the synopsis of the class argument and your critique of the discussion. Submission: the instruction is given in class.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50968	A	思想・芸術I(PEAK)	山辺 恵理子	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Philosophical Issues in Education
授業の目標概要	COURSE OBJECTIVES The aim of this course is to deepen students' understandings on education through philosophical dialogues on ethical and controversial issues in education. Abilities 1) to pose philosophical questions, 2) to think logically and critically, 3) to listen to counterarguments and to take them into serious account, 4) to reflect on one's own conceptions, perceptions, and assumptions and at times reshape or even abandon them, and 5) to read and write philosophical papers, are essential to philosophical dialogues, and thus will be developed and assessed in this course.
成績評価方法	GRADING CRITERIA Class participation 30% Mid-term essay and in-class discussions 30% Final essay 40%
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50648	A	思想・芸術III(PEAK)	GEILHORN Barbara	PEAK 前期	水 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Gender in Japanese Literature
授業の目標概要	The course will analyse how gender is constructed in modern and contemporary Japanese literature. Authors discussed will include but are not limited to: Higuchi Ichiyō, Kawabata Yasunari, Murakami Haruki, Yoshimoto Banana, Yamada Eimi, Murata Sayaka, and Kawakami Mieko
成績評価方法	will be explained in the first session
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50191	A	国際・地域II(PEAK)	大道寺 隆也	PEAK 前期	月 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to International Organizations
授業の目標概要	This course explores international organizations (IOs) from historical and theoretical perspectives. What is the United Nations (UN), and how has it evolved into its current form? What are regional organizations (ROs), and why do they matter? How should we analyze IOs? To address these questions, the course is divided into three parts. First, it examines the political contexts in which IOs were established and developed, aiming to "demystify" them. Second, it provides an overview of the history, institutional structure, and recent challenges facing ROs, with a particular focus on the European Union (EU). Finally, it introduces theoretical debates by contrasting traditional approaches to IOs with more critical perspectives.
成績評価方法	Active participation (30%), mid-term exam (30%), and final exam (40%)
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51101	A	社会・制度III(PEAK)	川坂 和義	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to Cultural Studies
授業の目標概要	This course offers an introduction to Cultural Studies which emerged in the UK. The discipline of Cultural Studies is focused on cultural processes in societies and their representations in the arts and the media. It examines the mechanisms of (everyday) culture and analyse the extent to which political, social, and economic interests of certain social actors or groups are inscribed in cultural works. This course aims to understand the basic frameworks of Cultura Studies as well as how Cultural Studies has developed in Japanese cultural contexts. In particular, the course examines strategies of representation, factor of audience, class struggles, power, ideology, processes of production, distribution, and cultural products as diplomatic tools and national brandings. This course will explore: 1. What is theoretical frameworks of Cultural Studies 2. What kind of discussions are being conducted in Japanese cultural studies
成績評価方法	Class attendance and participation: 20% Class Presentation: 30% Term's essay: 50%
教科書	その他。／Other
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50450	A	科学技術基礎論 (PEAK)	岡本 拓司	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	The birth of modern science and its introduction to Japan (with related topics)
授業の目標概要	This course will discuss the birth of modern science in Europe and the role of western science and technology in the modernization of non-western countries by mainly focusing on the history of Japan from the late 19th century to the 1950s. The following will be the main issues: diversity of the concepts of science and learning; the birth of science in the 17th century and its dissemination in the non-western world; the relation between science and technology; science and technology at crises; science and political thoughts. Participants will have chances to examine their ways of understanding what science means for their culture, society, and lives. The first class will be given online. For details please refer to UTOL.
成績評価方法	One or two essays must be submitted; presentations during the course. The topics will be discussed and given during the course.
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50980	A	地球環境(PEAK)	成田 大樹	PEAK 前期	金 2	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Global environmental problems and sustainable development
授業の目標概要	This course will introduce the students to the current debates surrounding the global environmental problems, such as climate change, transboundary air pollution, biodiversity loss, and the issues of natural resources and their use (water, etc.). In the course, we will not discuss environmental problems in isolation but view them as an element among other great social challenges of our time. Specifically, the course's perspective is summarized by the following basic questions: - People in the world are living under vastly different conditions in terms of income levels, etc. Given these differences, what kind of global environment should we aim for? - How can we form a global consensus on collective actions against environmental problems? On a more practical level, what are the existing global agreements and institutions on environmental management? - On a global scale, what kinds of environmental or resource limits are we bound by? Given the instructor's field of expertise, a particular attention will be paid to economic dilemmas of the global environmental problems, e.g., the needs for balancing environmental quality and poverty reduction. However, the lectures and class discussions also touch on various other aspects -- such as natural-scientific, policy (political and legal) and technological aspects -- of global environmental issues. From a methodological standpoint, the focus of lectures will be placed on: (i) how we can formulate consistent and comparable metrics regarding global sustainable development, which often needs to deal with vague concepts (e.g., "sustainability"); (ii) how we can distinguish reliable and unreliable data, and where we can find the latter in practice; (iii) what aspects of global sustainable development are potentially quantifiable, and what are not. The course is primarily designed for PEAK students, but participation of April-entry students (一般生、非 PEAK 学生) is also welcomed.
成績評価方法	Grading will be made based on a class presentation and commentaries about class presentations (25%), a final essay (25%) and short assignments/quizzes given at each class (50%). Details of each requirement will be given at class.
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50013	A	意思決定の数理 (PEAK)	前田 章	PEAK 前期	月 1	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Decision Analysis
授業の目標概要	Policy makers in governments and management in businesses are experiencing ever more complex situations these days in light of their economic surroundings, stakeholders, organizations, etc. To make rational and sound decisions in policy making or management strategy, they seek for transparent methodologies and tools that have a basis on objective information and quantitative analyses. In this lecture, students will learn the theory and practice of Decision Analysis (DA). DA is a school among theories of decision making that is on the basis of probability, optimization, and expected utility theories, and that is intended to offer a framework of "normative" decision making. Related disciplines include management science/operations research and microeconomics. This lecture thus also works as a good introduction to these subjects.
成績評価方法	Evaluation is based on take-home final exam (assignment). The details will be announced in due course.
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50163	A	コンピューティングの基礎 (PEAK)	甘蔗 寂樹	PEAK 前期	月 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Introduction to computing
授業の目標概要	In recent academic and scientific researches, computer aided researches such as analysis and design have become more highlighted than before. In this class, beginners will touch the academic computing and learn how to create the numerical computing algorithms using MATLAB, a computer programming software.
成績評価方法	Assignments and class participation
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50860	A	スポーツ・身体運動実習II (PEAK)	竹下 大介、田名辺 陽子	PEAK 前期	木 4	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Recreational activities for the promotion of fitness and wellness					
授業の目標概要	Provide an understanding of the fitness components and the importance of good strength, flexibility and endurance in physical health and wellness. Expose students to variety of activities that can be incorporated into a daily lifestyle. Apply the training principles for the management of the fitness components.					
成績評価方法	a. Participation – 60% (minimum two-thirds attendance required) b. Effort in class activities – 25% c. Written Report – 15%					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51103	A	電磁気学の基礎 (PEAK)	深津 晋	PEAK 前期	金 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Electromagnetism(PEAK)					
授業の目標概要	Electromagnetism is at the heart of most of, if not all, natural sciences. In fact, all chemical bondings are nothing more than electromagnetic couplings, whilst diverse activities in living things are largely controlled by the electromagnetic, if not gravitational, interactions. This course is intended to be an introduction to the concepts of classical nonetheless modern theories of electromagnetism building on Maxwell's equations plus Lorentz force. Key topics include electrostatics and magnetostatics, time-varying electric and magnetic fields with their origins, scalar and vector potentials, and electrodynamics. Relevant topics in view of potential applications will also be covered. More than a handful series of table-top, hands-on experiments for demonstrative purposes are planned.					
成績評価方法	Homework assignments: 30% (Vector calculus 5%, Electrostatics 5% , Magnetostatics 5% , Time-varying fields 5%, DIY experiment 10%) Final exam.: 70% Total 100% (Figures are approximate. The number and content of homework assignments may vary,)					
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	社会科学ゼミナール (PEAK)	ジロドウ イザベル	PEAK 前期	火 5	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科
講義題目	Science, Technology, and Law					
授業の目標概要	This course is an introduction to Science, Technology, and Law as an emergent field of study. It explores the multifaceted interplay existing between law (environmental law, constitutional law, human rights law, criminal law, property law, international trade law) and technological developments in both life sciences and information sciences. Through interactive lectures, case studies, and the preparation of a final mini-project, students reflect in particular on how to address the growing gap between the pace of such developments and the lagging responsiveness of legal and ethical oversight society relies on to govern innovations in science and technology.					
成績評価方法	Active participation in group and classroom discussions: 30%. Two 600-word write-ups: 30%. Final mini-project (joint oral presentation + individual 1000-word essay): 40%.					
教科書	教科書は使用しない。／Will not use textbook					
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance					

PEAK 科目

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
51039	A	自然科学ゼミナール (PEAK)	浜野 正浩、前田 章	PEAK 前期	金 3	1 年 文科 理科 2 年 文科 理科

講義題目	Applications of Mathematics in Sciences
授業の目標概要	This course introduces Quantum Computation with an emphasis on its aspect of application of linear algebra. Quantum computation has led to recent breakthrough to cryptography by enabling faster algorithms, and its mathematical formulation naturally arises as an extension of the classical computation using a concept of linear algebra. The extension is realised through quantum gates as well as quantum Turing machines, enabling the modelling of parallel computation (using quantum superposition) to speed up running time using novel algorithms. In order to understand a nature of computational phenomena, either classical or quantum, the theory of computation is learnt to strive to use mathematical concepts and methods. The theory practically explains creations, capabilities and limitations of computers of today, but any computers that could be built in future. The elements of computational complexity theory are overviewed to investigate on resources (time and space) needed to make certain problems solved by computers modelled mathematically by Turing machines. The complexity theory provides a foundation for the modern cryptography, where the aim is to design cryptosystems hard to break with limited amount of resources. The overall aim of the course is to explore how quantum mechanics represented in linear algebra can be integrated with the theory of computation to deepen our understanding of computation and cryptographic systems.
成績評価方法	Exercises (30 %) + Two Reports (Mid-term and Final) (70 %)
教科書	プリントを配布する。／Will distribute handouts
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time

